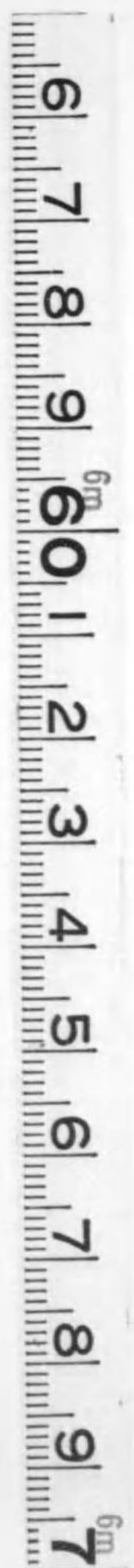


345

5



始





文學博士  
文學博士  
文學博士

三島毅先生  
服部宇治吉先生  
高瀬武次郎先生  
久保得二先生  
校訂

丁亥

三島毅  
神田白龍子  
問答

評註  
圖解  
七書俚諺抄  
神田白龍子

新瀨市立圖書館藏

大正  
2. 9. 18  
丙寅

東京  
博文館藏版

解題

(一)

三略三卷、一に黄石公三略といふ。その書上略、中略、下略の三部より成る。略は即ち方略の義なり。漢志、これを載せず。その名はじめて隋志に見ゆ。抑も黄石公の事は、史記の留侯世家に見え、張良、下邳の圯橋を過ぐるや、老人、これに書を授くとあり。隋志には、下邳神人撰といひ、黄石公といはず。唐宋藝文志、載するところ、並に同じ。

按ずるに、黄石公は張良の假託に出でて、自己の才略を神にせむとするが爲にせしこと、前人すでに定論あり。然らば、亦た是れ、一個の烏有先生たるに過ぎず。安んぞ書あるを得むや。現に、史記には、その張良に授けし兵書を以て、太公の兵法と爲せり。然れども、漢より以來、兵法を言ふもの、往々、黄石公を以て名とな

し、史志載するところ、黄石公記三卷、黄石公略注三卷、黄石公陰謀乘斗魁剛行軍  
秘一卷、黄石公神光輔星秘訣一卷、又兵法一卷、三鑑圖一卷、兵書統要一卷等あり。  
今多く亡佚して存せずと雖も、大抵附會に出づ。この書の如きも、文義古ならず、  
後人の依託に係るや言を俟たず。鄭瑗の井觀瑣言に稱す、老氏の遺意を剽竊し、  
迂緩支離、用に適せず、その足を知り貪るを戒む等の語、蓋し子房の明哲に因  
つて、これが解を爲す、子房、反つて此に得るあるに非ず。その圯橋授受の書に非  
ざることを明甚しと。この言、頗る肯綮に中れり。又後漢光武帝の詔書に、黄石公の  
柔能制剛、弱能制強の語を引き、實に書中載するところの軍讖の文に出づ。これ  
漢詔、この書を援據せしか、或は、この書、漢詔を剽竊せしか、均しく考ふべきなし  
と雖も、唯だこの一事を以て、漢代すでに此書あるの證となすを得ざること、亦  
た論なし。大凡、妙辭佳語、多くは口耳相傳へ、必ずしも、成書を俟たざるは、古今毎  
に觀るところ、何ぞ又疑を其間に挟むを須ひむや。

これを要するに、三略は、漢魏六朝の間、好事家が名を黄石公に託して偽撰せ  
しものにして、その本旨は、老子より出で、その文字、亦た時に老子を掇拾せしも  
のあり。

なほ黄石公の撰として知らるゝもの、素書六卷あり。因つて、圯上の授受は三  
略に非ずして、即ち此書なりといふものあり。張商英、これに序して曰く、前漢列  
傳を按ずるに、黄石公、圯橋子房に授くるところは、素書、世人多く三略を以て是  
となす。蓋し之を傳ふるもの、誤れるなり。晉の亂、盜あり、子房の家を發き、枕中に  
於て此書を得たり。凡そ三百六言、上に秘誠不許、傳於不道不神不聖不賢之人、若  
非其人、必受其殃とありと。然れども、是れ亦た商英の偽託にして、決して眞本に  
非ず。晁公武の讀書志に、商英の言、世未だ之を信するものあらずといへば、當時  
一般、すでに、その偽撰たるを看破せしもの、如し。こゝに於てか、愈よ知る、黄石  
公、すでに其人なく、従つて、遂に其書あらざることを。

この書の我が邦に渡來せるは、何時なりや、今知るべからず。足利氏の末に至りて、兵を言ふもの、必ず之と六韜とを並舉して、その談説に資せり。北條早雲、かつて儒士を召して三略を説かしめ、その首に主將之法、務攬英雄之心とあるを聞いて曰く、止めよ、吾、すでに之を得たりと、因つて復た説かしめず。これ世に傳ふる常套の話柄にして、徧ねく人の知るところなり。

三略は、諸家の七書註解以外、未だ特に解義の類あるを聞かず。次の六韜、衛公問對等、亦た然り。

(一)

六韜六十卷、周の太公望呂公撰すと稱す。尙の事蹟は、史記齊太公世家に見え、戰國の諸子、亦た喜んで其事を言ふ。史記には、尙の事蹟の前半に就いて、多く異説を擧げ、要之爲文武師と斷定し、後半に就いては、紀述極めて明白なり。尙は、そ

の齊を治めたる事蹟に徴すれば、法家の祖と爲すべき人なれども、戰國諸子は、皆兵權奇計の祖となし、蘇秦の揣摩も、戰國策に據れば、太公の陰符に本づくといひ、韓非子も亦た太公の般に對する陰謀を説けり。故に、史記には、周西伯昌之脫、姜里歸與、呂尙陰謀修德、以傾商政、其事多兵權與奇計、故後世之言兵、及周之陰權、皆宗太公爲本謀といへり。又史記の封禪書に據れば、齊の八神祠は、太公以來これを祀るとあり。支那人は、今に猶ほ太公を以て鬼神を支配する威力あるものと信せり。かくの如くして、太公は、權奇神變を貴ぶ諸種學派の宗として崇めらるゝこと、古今往々之ありしかも、亦た其故なきに非ざるを知了すべし。

六韜果して太公の撰に係るとせば、支那に於ける有數の古書なれども、これ大に疑ふべし。按ずるに、莊子の徐無鬼に、金版六弢あり。陸徳明の經典釋文に、司馬彪崔譔云ふ、金版六弢、皆周書の篇名とあり。釋文、更に曰く、祕識なりといへば、亦た今の六韜に非ず。然るに、陸徳明は、更に自ら説をなして、もと又六韜に

作る。太公の六韜、文武虎豹龍犬をいふなり」といひしが、もとより據るところを知らず。漢書藝文志兵家には、これを著録せず。唯だ儒家に周史六弢六篇あり。班固自ら註して「惠襄の間、或は曰く顯王の時、或は曰く孔子これに問ふ」といへば、六弢は別に一書たり。顔師古の註、今の六韜を以て之に當てしは、陸德明の説に因つて牽合附會せしものに過ぎず。六韜の名の始めて見えしは、三國志蜀先主傳の註にして「間暇諸子及び六韜商君書を歴觀すれば、人の志意を益す」といへり。隋志はじめて太公六韜五卷を載せ、註に「梁六卷、周文王師姜望撰」と記し、唐宋諸志皆これに因れり。

六韜の書は、漢末すでに之ありと雖も、今の六韜は、大抵詞意淺近にして、絶えて古書に類せず。四庫全書提要、これを詳論して曰く、中間「避正殿」の如き、乃ち戰國以後の事。將軍の二字は、じめて左傳に見え、周初亦た此名なし。その依託の跡、灼然驗すべし。又龍韜中、陰符篇あり、云ふ、主與將有陰符、凡八等、克敵之符長一尺、

破軍之符長九寸、至失利之符長三寸而止と。蓋し僞撰者、陰符の義を知らず、誤つて以て符節の符となし、遂に粉飾して以て此言を爲す、尤も鄙陋となす。殆んど未だ必ずしも漢時の舊本ならずと。

古しへ、太公の書と稱するもの、もとより少からず。漢志、兵權謀の部、班固の自註に、省伊尹太公管子云々とあり、又諸子道家の部に、太公二百三十七篇、謀八十一篇、言七十一篇、兵八十五篇といひ、班固の自註に、呂望は、周の師尙父たり、本と有道者、或は近世又以て太公の術を爲す者の増加するところあり」といへり。太公の書、すでに六弢と別に擧げらる、以て古しへの六弢が六韜に非ずして、今の六韜がその内容より論じて、漢時太公の書に非ざるを知了すべし。

されば、今の六韜は、劉先主が諸子商君書と並稱せしに似ずして、人の志意を益すこと、必ずしも多からず。周氏涉筆に謂ふ、その書、吳起に並縁し、その詞を漁獵し、しかも綴輯するに近代軍政の浮談を以てす、淺陋施すべきなしと。胡應麟

の筆數亦た謂ふ、その文代陰書等の篇、孫吳尉繚道ふを屑しとせざるところありと。然らば今の六韜は、蓋し魏晉以後の僞撰に出でしものならむ。

この書の我が邦に渡來せるは、宇多朝以前に在るべく、藤原佐世の日本國見在書目錄、すでに之を著録し、注して周文王師姜望撰とあるは、蓋し隋志に據れるならむ。

(三)

李衛公問對三卷、唐の司徒并州都督衛國景武公李靖が太宗と兵を論じたる語を後人の集録したるものなり。靖の事蹟は、新舊唐書の本傳に詳なり、文長ければ、こゝに録せず。

李靖もと兵法を著せしが、世に傳本なく、唯だ杜佑の通典に、その大概を録するのみ。この書は、始めて宋代に出づといへば、大旨、通典を粉本として附益せし

ものならむ。何達、陳師道、邵博は、皆以て阮逸の僞撰となせり。阮逸は、中説を始め、僞書を作るを以て有名なるものなり。然れども、馬端臨の撰、四朝國史兵志に、神宗熙寧の間、かつて樞密院に詔して、この書を校正すといへば、阮逸の僞託に非ざるに似たり。胡應麟の筆數には、痛く之を詆斥して、その詞旨、淺陋猥俗最も采るに足るなし。阮逸亦た鄙野こゝに至るべからず。これ唐末宋初、村儒俚學、貞觀君臣の遺事を掇拾して之を爲せしなるべしといへり。四庫全書提要、これを斷じて曰く、熙寧元豐の政に至つては、但だ更新を務む、何ぞ嘗て稽古尤も未だ據るべからざらむ。七書の制、斷じて唐代の舊文たり。たゞ其書、分別奇正、指畫攻守、變易主客、兵家の微意に於て時に得るところあり、亦た遂に應麟の詆るところの如きに至らざるのみ。鄭瑗の井觀瑣言問對の書、僞と雖も、必ず學識謀略ある者の手に出づといふ、この言、斯に近しと、鐵案山の如く、復た搖動すべからざるなり。

これを要するに、七書の中、孫吳尉繚司馬法の四部は、なほ古書の面目を失はざるものなれども、韜略問對の三種は、純然たる後人の僞撰にして、復た疑を挾むの餘地なし。然れども、その理を言ふの精該なる論を著くるの穩健なる、未だ驟に廢棄すべきに非ず、その千古に流傳する、亦た宜なりといふべし。

大正二年新秋

久保天隨識

### 三略傳記

コノ書ハ、本ト太公望ノ作書ナリト世ニ傳ヘタリ、然ルテ、中古ヨリ以來、コレヲ黃石公三略ト云フ、ソノ子細ハ、前漢ノ張子房、楚國ノ下邳ノ圯上土橋ナリトニ於テ、一ノ老人ニ遇ウテ、書一編ヲ授カル、老人教ヘテ云ク、コノ書ヲ讀メバ、必ズ王者ノ師トナルベシ、後十年ニシテ、我ヲ穀城山ノ下ニ見シ、黃石、即チ我ナリト云フテ、遂ニ去ル、張良、不思議ノコトニ思ヒ、コノ書ヲ見ルニ、太公ガ兵書ナリ、日ニ常ニ習誦ス、ソノ後十年ニシテ、陳涉等兵ヲ起ス時ニ、張良モ百人バカリノ兵ヲ催シ立テ、イヅレヘカ從ハント思フ處ニ、景駒ト云フモノ自立シテ、楚ノ假王トナツテ、留ト云フ處ニアリ、彼ガ手ニ從ハント思ヒ、兵ヲ率シテ行ク處ニ、道ニテ沛公ニ遇フ、沛公、數十人ヲ率キテ、下邳ノ西ニ陣ス、張良、即チ之ニ從フ、沛公、良ヲ廐將ノ官ニ任ズ、良、數バ太公ガ兵法ヲ以テ沛公ニ説ク、沛公コレヲ是ナリトシテ、常ニ其策ヲ用フ、後十三年ニシテ、高祖ニ從ツテ、濟北ヲ通ル、果シテ、穀城山ノ下ニ黃石アリ、取ツテ、コレヲ寶トシテ祠ル、良ガ死スル時モ、彼ノ黃石ヲ共ニ葬リ祠ルト、コノ故ニ【大全】**【全解】**【覺解】**【白文】**等、皆黃石公ノ三字ヲ載ス、然レドモ、黃石公ノ三字ハ、後人ノ添フル名ナリ、本ト太公ノ書ナルユヘニ【三略】トバカリ題號スベシ、太原ノ劉寅ガ【直解】宋ノ施氏美ガ【講義】黃皇肱ガ【武經開宗】ミナ黃石公ノ三字ヲ除ク、蓋シ、コノ説ヲ是トスベシ、張良ガ傳ハ【史記】卷ノ五十五世家二十五ニ詳ナリ、今コレヲ畧ス、世ニ【素書】ト云ヘル書卷アリ、宋ノ張商英ガ序ニ云ク、石公ガ子房ニ授ケタル【素書】ナリ【三略】ニテハナシ、晉ノ亂ニ、盜人アリ、張良ガ塚ヲアクルニ、枕ノモトニ書アリ、コレヲ見ルニ、上ニ祕戒トテ、イマシメノ文アリ、不神不聖ノ人ニ傳フルコトヲ許サズトアリ、コレ即チ素書ナリト云ヘリ、然レドモ、商英ハ佛老ニ淫スルノ徒ナリ、證トス



ルニ足ラズ、且ツ予久シク【素書】ヲ閱スルニ、決シテ秦漢以後ノ書ニシテ、太公ノ書ニアラザルコト明カナリ、曾テ  
 コノ【三略】ニ及ブベキ書ニアラズ、彼ノ唐ノ李筌ガ妄言ヲ以テ【陰符經】ハ、モト黄帝ノ書ニシテ、不思議ニ岐山ノ老  
 母ニ授受セント云フテ、己推シテ太公望、張良、或ハ孔明、韓信、朱子ノ註解ヲ作リテ、世ノ人ヲ惑ハスガ如シ、  
 若シ素書太公ノ兵符ニシテ、子房ニ授ケタルニ決セバ、宋朝ノ名儒、程子朱子ノ輩、豈ニ一言ヲ加ヘテ素書ヲ稱美シ  
 國家ノ寶ト爲サザランヤ、司馬溫公ノ【通鑑綱目】ニ云フ、張良與沛公遇於留、良數以太公兵法説沛公、公善用之  
 常用其策、與他人言輒不省、良曰、沛公殆天授、遂不<sub>レ</sub>去、又唐ノ李靖ガ云フ、張良所<sub>レ</sub>學、太公六韜三畧是也ト、コレ  
 皆素書ニ非ザルノ證トスベシ、

按ズルニ【日本正統記】ニ云フ、三畧ノ書、異説多シ、或ハ六韜ヲ以テ張良ガ一卷ノ書ト稱シ、或ハ素書ヲ以テ黃石公  
 ノ兵書ト號ス、唐説ノ浮言ナリ、人王十五代神功皇后元年辛巳六月、履陶公ト云フモノアリ、コノ書ヲ持チ來ツテ、  
 先帝仲哀ニ授ク、仲哀、コレヲ太子應神ニ授ク、應神崩御ノ時ニ、遂ニ其書ヲ吞ンデ、軍神タランコトヲ要ス、故ニ  
 軍旅ノ事アルゴトニ、旌旗ニ八幡大神ト書シテ、コレヲ宗トシ祭ル、人皇六十代醍醐ノ御宇ニ、左太辨宰相大江惟時  
 ニ命ジテ、沙金十萬兩ヲ持タシメテ、異朝ニ行カシム、時ニ延長元年癸未五月ナリ、八月、船ハ、明州ニ著ク、乃チ  
 持ツトコロノ金五萬兩ヲ獻ジテ、求ムルニ兵符ヲ以テス、輒チ龍馭將軍ニ敕シテ、六韜三畧軍勝圖及ビ四十二箇條ヲ  
 授ケテ本邦ニ歸ラシム、朱雀承平四年甲午、五代ノ閔帝應順初元ナリ、同五年、桓武四代ノ孫、平將門叛逆シテ、ソ  
 ノ伯父常陸ノ國大丞國香ヲ攻ム、國香、戰破レテ自殺ス、關ヨリ以東、悉ク將門ニ歸ス、自ラ平親王ト號シ、下總  
 ノ國相馬ノ郡ニ都ヲ建ツ、因ツテ、朝ヨリ藤原忠文、六孫王源經基ニ命ズ、忠文ガ弟仲舒、之ヲ討ツ、蓋シ清和ノ  
 尊子ヲ貞純ト云フ、ソノ子ヲ經基ト云フ、ソノ子ヲ多田新發意滿仲ト云フ、滿仲ニ五子アリ、ソノ一ヲ頼光ト云フ、  
 ソノ二河内守頼信、ソノ子ヲ伊豫守頼義、ソノ子ヲ八幡太郎義家ト云フ、義家、コノ書ヲ傳ヘント欲シテ、大江匡房

ニチナム、遂ニ八幡宮ニ於テ之ヲ授ク、白川院承暦二年戊午三月十二日ナリ、兵書ハ、李老君老子コレヲ太公ニ傳  
 ヘ、太公、コレヲ黃石ニ傳フ、黃石、コレヲ子房ニ傳フ、子房、コレヲ人ニ傳ヘズ、ソノ術重ク、太宗皇帝ニ至ツテ  
 顯ル、太宗ノ後、傳フルトコロヲ絶ツ、吉備大臣入唐ノ時禁籠セラル、神アリ、ソノ前ニ現ジテ、授クルニ一卷ノ三  
 畧ヲ以テス、歸朝ノ時、墨吉ニ籠宿ス、ソノ夕、夢ニ告ゲテ云フ、我、唐ニ於テ汝ニ三畧ヲ傳フト云云、故ニ大臣子  
 孫ニ傳ヘズシテ、鞍馬多門ノ寶前ニ納ム、ソノ後、鬼一法眼、彼ノ寺ニ指シ詣テ、祈ルニ兵術ヲ以テス、多門、夢  
 中ニ此書ヲ傳フ、義經、鞍馬ニ住スルノ日、鬼一ガ娘ヲ以テ妾トス、コノ女、彼ノ書ヲ盗ンデ義經ニ與フ、義經、奧  
 ニテ死スル時、コノ書飛ビ來ツテ、鬼一コレヲ得テ奇瑞ナリトシ、益ス之ヲ祕ス、鬼一、鞍馬ノ僧ニ傳フルモノ八人、  
 俗ニ一原次郎ト云フモノ、ソノ術ヲ傳フ、コレヲ驗サント欲シテ驪ヲ始ム、所謂白河驪是レナリ、鬼一ガ傳フルトコ  
 ロノ太刀刻刀略敵ノ事ハ傳フル者多シト云ヘドモ、コノ書ハ世ニ傳ヘズ、鬼一、弓矢ヲ以テ之ヲ上略ニ喩フ、蓋シ遠  
 ク敵ヲ謀ルハ、弓矢ニ如カザルノ謂ナリ、刀劍ヲ以テ中略ニタトヘ、良馬ヲ以テ下略ニ充ツ、蓋シ政ヲ以テ國ヲ治ム  
 ルナリ、故ニ六韜三畧、皆ソノ道ヲ得タリ、道行レザルトキハ兵ヲ絶ツト、

【三略】ハ、モト太公ノ兵書ナレバ古書ナリ、然ルニ、七書ヲ次序スルニ、孫子ハ吳子司馬法ヨリモ後ニ序ヅルコトハ  
 得タルトコロノ先後ヲ以テ次第スルユヘナリ、コノ故ニ、時代ノ前後ニ拘ハラズ、コノ例ハ【詩經】ノ那ノ詩ハ、殷ノ  
 成湯ヲ祀ル詩ニテ、商人ノ歌フトコロナリ、然ルテ、魯頌ノ後ニ列ネタリ、魯頌ガ商ノ先ニアルベキニハナケレドモ  
 詩ヲ得ルコト、商頌ハ魯頌ヨリ後ナルガユヘナリ、三略ノ次序モ、亦タ此意ヲ以テスルカ、

勝久按ズルニ【三略】ノ一書、異説紛々トシテ、ソノ實辨ジガタシ、且ツ書中疑フベキモノ少カラズ、今暫ク古説ニ從  
 ツテ、コレガ解ヲ作ル、蓋シ三十五家ノ兵法ニ三略ノ名ナク、又任宏ガ撰スル五十三家ノ中ニ亦タ三略ノ號ナシ、且  
 ツ【玉海】ニ云フ、張良能傳太公之旨、徹素書也、素書者即三略也、到於後世、後漢馬武、能讀素書、今到宋朝、朱服

能傳素書也、故奉敕編集七書者也ト云ヘリ、此ヲ以テ之ヲ見レバ、抑モ又別ニ素書ノ一書アリヤ、暫ク後賢ノ格言ヲ俟ツノミ、

### 武經七書合解大成俚諺鈔卷之十三三略上

神田勝久編輯

#### ●上略

上トハ、中略下略ニ對シテ云フノ詞ナリ、略ハ要ナリト、註シテ、三略中ノ文々句々、コトゴトク天下國家ヲ平治スルノ至要ヲ述ブ、コノ故ニ、要略ノ解ヲ正義トスベシ、上中下三段ノ中ノ第一ナルニ因ツテ、故ニ上ト云フ、凡ソ二十九章【直解】ニ云フ、略者要也、三略中言言、皆本道義、不尙陰謀、此治國平天下之要語也、陳說禮賞之事、辨別奸雄之人、著顯成敗之迹、人君知此、則能任賢取敵矣【全解】ニ云フ、略謀略、書有上中下、故名三略、篇中言言皆要妙、字字入精微、洵兵書之絕構也、

#### 夫主將之法。務學英雄之心。

訓 夫れ主將の法、務めて英雄の心を學ぶ、

按ズルニ【直解】ニ、學ノ字、攬ニ作ル、今世本ニ從フ●按ズルニ【戰國策】ノ註ニ才出萬人曰英【丹鉛錄】ニ云フ、草之精秀者爲英、獸之特群者爲雄、故人之文武茂異、取名于此、是故聰明秀出、謂之英、膽力過人、謂之雄、此其大體之名也【爾雅註疏】ニ云フ、德過千人曰英【禮記】ノ註疏ニ、雄武稱也、獸之將群爲雄、故借名●夫ハ發語ノ辭主將ハ二ツナリ、主ハ主君、將ハ大將ナリ、主人タルモノ、大將タルモノ、法ハト云フ心ナリ、將ヲ主ル者ノ法ト一ツニ

見ル説ハアシ、務トハ、晝夜オコタラス方ナリ、カヲ入レ、眼ヲ著ケテ見ルベシ、造次顛沛ノ間モ忘レザルノ義ナリ、英雄トハ、千人ノ英、萬人ノ雄トテ、千人萬人ニ秀レタル人ヲ云フ、タトヘバ、張良ハ英、韓信ハ雄トモ云ヒツベシ、言フ心ハ、君タル人、大將タルモノノ職分ハ、絶エズ忘ラズ、賢人哲人ノ人ニ勝レタル者ノ思ヒツクヤウニセヨトナリ、コレヲ心ヲ取ルト云フ、コノ發端ノ一句ハ、治國至要ノ妙言ナリ、見ルモノ、宜シク工夫ヲ用フベシ【大全】ニ云フ、此題全重在三擊心上、攪猶三收拾也、言爲主將者、統三軍、必得英雄、以爲助佐、方可料敵制勝、然英雄之心、最難得而易失、得之則爲我用、務必開誠布公、悉心體認、使主將之心、事事以英雄之心爲心、而後英雄之心、始合主將之心、爲一心、此攪心所以爲要務也、結歸三重主將之心上、非明不知攪、非虛不能攪、非決不能當機而攪、●英雄之骨氣不凡、原與世人不同、利祿不可、以羈縻、權勢不可、以挾迫、非致敬盡禮虛懷推赤心、不肯爲我用、所以不曰攪英雄、而曰攪英雄之心、心字全在精神意氣上、感乎【彙解】ニ云フ、英雄乃國之樞幹、不得其心、必不樂爲我用、然所以攪之者、不在爵祿禮貌之虛、而在推誠置腹之信任也、

賞祿有功。通志於衆。

有功を賞祿し、志を衆に通す。

按ズルニ【全解】ニ云ク、祿一作録●上ノ英雄ノ心ヲ攪ルト云フヲ承ケテ云フ、ソノ心ヲバ、ナニトシテトルベキゾト云フニ、功アル者ニハ恩賞ヲアタヘテ、官位ヲ高クシ、俸祿ヲ與フベシ、晉ノ文公ハ介子推ニ賞ヲ與ヘズシテ、功アル者ヲ失フ、コレ有功ヲ賞祿セザルノ過ナリ、漢ノ高祖ハ、張良ヲ留ニ封ジ、韓信ヲ齊ニ封セラル、コレ有功ヲ賞祿スルナリ、コノ故ニ、漢四百年ノ功業ヲ建ツ、賞ハ、恩賜恩賞ナリ、祿ハ、俸祿爵祿ナリ、功アルモノヲ賞スレバ、ソノ賞ニヨツテ、勸メラレテ、猶ホ亦タ功ヲ盡サントス、我ハ彼ニ報キ、彼ハ我ニ報ユル義ナリ、通志於衆トハ、志ハ主君大將ノ厚情芳志ナリ、英雄ノ心ハ、主將ノ身ノ上ノ如ク思ヒテ、一味ニ力ヲ合セ、心ヲ同ジウスルヲ通ト云フ

通ハ、融通ノ義ナリ、心ヲ同ジウシ、精力ヲ一ツニスルヲ云フナリ【大全】ニ云フ、上ニ英雄、下ニ云レ得レ人、則衆非士衆、即英雄也、既云レ覽英雄之心、又曰通志、是以心照心、呼吸夢寢、彼此相貫、故曰通志、要重一通字●上下勢位最懸、此志如何易通、上下情欲一理、此志自不難通、只是我怒、因衆而怒、我恥、因衆而恥、以及我好、我惡、無非、因衆、同好、同惡、這便是通志于衆、否則衆各有志、爾志爾用、我志我用、雖纒絲百萬、不足以舉事也、讀柔德剛賊人助人攻四語、眞兵家陰陽之妙、非聖人、不能識此、所以下句有守微保生之說【全解】ニ云フ、通字有力、謂主將通之也、志乃意念之所、在也、照下文與衆同好、與衆同惡、此便是通志于衆、先將上下勢分懸絶、各有其志、不易相通、

故與衆同好。靡不成。與衆同惡。靡不傾。

故に衆と好を同じうすれば、成らざるなく、衆と惡を同じうすれば、傾かざるなし。

又上ノ段ヲ承ケテ、有功ヲ賞祿シ、志ヲ衆ニ通ズルノ效ヲ明カニ示スナリ、言フ心ハ、大勢ノ人ガ好ズル事ヲバ同ジク好シ、モロモロノ人ノ嫌ヤガリ憎ム事アレバ、主將モ同ジク嫌ヤガリ憎ム、此ノ如クナルトキハ、當ルトコロ勝利ヲ得ズト云フコトナシ●勝久按ズルニ、傾ノ字、三義アリ【大全】【全解】【彙解】【開宗】ニ、傾、傾心也、講義ニ、可、以傾、彼之國【直解】ニ、作、惡事、靡、不、傾、ト、以上ノ三說、共ニ其理通ジガタシ、蓋シ、傾ノ字ハ、上ノ句ノ成ノ字ニ對シテ見ルベシ、衆人ト憎惡ヲ同ジクスルトキハ、小ニシテ起居動靜ヨリ、大ニシテ戰守治國平天下、悉ク之ヲ成就ス、衆人ト憎惡ヲ同ジクスルトキハ、向フトコロ必ズ潰エ、發スルトコロ必ズ敗ル、唯ダ敵國ヲ傾クルニ止マラス、故ニ所謂傾カザルナキナリ、猶ホ識者ヲ俟ツノミ、

治國安家。得人也。亡國破家。失人也。

國を治め家を安んずるは、人を得ればなり、國が亡びし家を破るは、人を失へばなり。

人ハ英雄ナリ、賢智才徳アル人ヲ得テ、國家ノ事ヲ打チ任セテ、道義ヲ本トシ、仁義ヲ行フトキハ、國モヨク治マリ  
 家モ安ク寧シ、國ハ天下ニ通ジ、家ハ諸家萬民ニ通ジテ、廣ク見ルベシ、賢哲ノ人ヲ得テ國ヲ保チ、賢人ヲ失ウテ敗  
 亡スルノ證據ハ、アゲテ言フニ及バズ、治國安家ノ一語ハ、國家ノ安寧喪亡ハ、賢ヲ得ルト失フトニアルコトヲ專ラ云  
 フナリ【全解】ニ云フ、國不自治、人治之也、家不自安、人安之也、欲治國安家、而不思治國安家之人、何益于  
 事、説不徒得之而已、真有擊其心而好惡與同之意、●人字所該者廣、得字即從通志于衆來、主將既能  
 與衆同其好惡、則衆心與主將之心、究若毛裏相通、自然毫無隔越、尙何國之不治、家之不平安乎【覺解】ニ云フ、得  
 人得英雄之人也、國家所以治安者、首在子得人、得人則國家之事理、而天下無不治矣●按ズルニ、人ノ字、賢智  
 ノ人ト見ベシ、全ク士衆ニアラズ、上ノ文、英雄ノ句、見ツベシ、

含氣之類。咸願得其志。

訓讀 含氣の類、咸く其志を願むことを願ふ、

含氣ノ類トハ、一切ノアラユル物ノ氣質ヲ受ケタル程ノモノヲ云フ、含ハ、含藏ノ義ナリ、類トハ、群類ナリ、氣ヲ  
 稟ケテ動キ働クホドノモノハ、コトゴトクニ志ヲ遂ゲ得ンコトヲ願フナリ、志情アルモノ、ソノ志ヲ得ンコトヲ思ヒ  
 願ハズト云フコトナシ、然レバ、人ヲ得テ人ヲ任用スレバ、ソノ人ハ、主ニ報ゼンコトヲ思フナリ、法ニ、智者ハ其  
 功ヲ立テンコトヲ樂ビ、勇者ハソノ志ヲ行ハンコトヲ好ミ、貪利者ハ其利ニ趨リ、愚者ハ其死ヲカヘリ見ザルモノ、  
 コレ皆コトゴトクソレゾレノ志ヲ遂ゲンコトヲ思フナリ、ソノ至情ニ因ツテ、人ヲ用ヒテ、コレニ任ズルハ軍ノ微權ナ  
 リ【開宗】ニ云フ、コレハ主將ヲサニ好惡ノ志ヲ衆ニ通ズベキコトヲ云フ、好ヲ同ジウスレバ、事成ラズト云フコトナ  
 ク、惡ヲ同ジウスレバ、人皆心ヲ傾ク、然レドモ、衆志ヲ通ゼント欲セバ、必ズ先ツ務メテ英雄ヲ擊ル、蓋シ國家治  
 安破區スル所以、恆ニ主將ノ人ヲ得、人ヲ失フニカ、ル、而シテ、生民ノ衆又皆ソノ志ヲ遂ゲンコトヲ得ンコトヲ願

フ、故ニ主將ハ之ヲ通ズル所以ヲ識ラズンバアルベカラズ、

軍讖曰。柔能制剛。弱能制強。柔者德也。剛者賊也。弱者人之所助。強者怨之所攻。

訓讀 軍讖に曰く、柔能く剛を制し、弱能く強を制す、柔は徳なり、剛は賊なり、弱は人の助くるところ、強は怨の攻むるところ、

按ズルニ、世本、皆強者人之所攻ニ作ル、ヒトリ【講義】ニ、人ノ字ヲ怨ノ字トス、今暫ク之ニ從フ●軍讖ト云フハ、  
 古シヘノ兵法ノ書ナリ、コレヲ引イテ云ヘルコトハ、私言ヲイハザル義ナリ、讖トハ驗ナリ、後ノシルシトナリテ、  
 人ノ爲ニスルノ義ナリ、柔能制剛トハ、柔ハ柔和ニシテ、強キヲ含メルモノナリ、コノ柔ヲ以テ、剛ヲ制スルナ  
 リ、弱ハ、ヨハクシテ強ヲ含ムモノナリ、コノユヘニ、ヨク強キヲ制スルナリ、柔ト弱ト、一ツノヤウニシテ二ツナ  
 リ、剛ト強ト、一ツノヤウニシテ二ツナリ、體ニ就イテ之ヲ云ヘバ、剛柔ト云ヒ、用ニ就イテ之ヲ云ヘバ、強弱ト云  
 フ、剛ヲ以テ柔ニ敵スレバ、柔ハ剛ニ敵當シ難キニ似タリ、シカルテ柔ニシテ能ク剛ヲ制ス、コレ爲ルコトナクシテ  
 大ニ爲ルコトアルガ如シ、弱ヲ以テ強ニ敵シテ見レバ、弱ハ強ニハアタラズ、然ルテ、弱、ヨク強ヲ制スルナリ、コ  
 レ用フルトコロナキヲ以テ、ソノ用テ成スガ如シ、コノ故ニ、柔者徳也ト云ヘリ、柔ナルトキハ、人ノ爭フ心ナク、  
 人ノ敵スル心ナシ、徳ニ服シテ、ソノ柔ニ感アルユヘナリ、剛者賊也トハ、コハキモノハ犯シ易ク、折伏シ易シ、剛  
 復ニシテ不仁ナルユヘニ、賊ト云フナリ、情意ノ剛キモノハ、義ヲ破リ、仁ヲ害スルコトアリ、コノ故ニ賊ト云フ、  
 弱者人之所助トハ、弱ナルモノハ、人ヨリモ謙下スルユヘニ、人助アルナリ、弱ニシテ徳アルヲ、至弱ト云フ、徳ナ  
 クンバ、何ゾ人ノ助アラシヤ、強者怨之所攻トハ、強盛ヲ本念トスルモノニハ、敵スルモノ多シ、人ニネタマレ、人  
 ニソネマル、ハ、皆強情ヨリ起ルナリ、コノ故ニ所攻ト云ヘリ、爲怨所攻ノ義ナリ、強ニシテ不仁ナルモノハ、必  
 ズ衆人ノ攻撃ヲウクルナリ【老子經】ニ、齒牙落而舌猶存ト云ヘリ、剛張ナルモノハ、早ク亡ビ、柔弱ナルモノハ、必

ズ久シキノ義ナリ、水ノ性ハ、至ツテ柔ナリト云ヘトモ、鐵ヲモクサラカシ、大船ヲモ覆ヘス、コレ亦タ例ナリ、柔有所設、剛有所施、弱有所用、強有所加。

剛も設くるところあり、剛も施すところあり、柔も用ふるところあり、強も加ふるところあり。

前ニハ、柔ヲ以テ剛ヲ制シ、弱ヲ以テ強ヲ制スルコトヲ云フ、コ、ニハ、柔剛弱強ノ四ツヲ一ツモ偏廢スベカラズ、ミナ兼ネ用ヒテ、宜シキコトアルコトヲ云フ、四ツノモノヲ兼ネテ、互ニ用ヒテ、事ヲ成ストキハ、成就セズト云フコトナシ、柔有所設トハ、柔カナルバカリナレバ、柔儲ニシテ、人ニアナドラレ、人ニ抑下セラレテ、衆ヲ用フルニモ、威ヲ失ウテ法令モ行ハレヌナリ、サルニヨツテ、設クルトコロアツテ、ムザト妄リニ柔ナルニハアラズ、弱モ妄リニ弱ナルニハアラズ、弱キバカリナレバ、臆病ノ理ニ至ル、用ユルトコロアリテ、弱ヲ加フルナリ、剛強ノ二ツモ同ジ理ナリ、柔弱剛強ハ、一ツモ廢スベカラズ、然レドモ、亦タ用フルトコロアリテ、妄リニ用ヒズ或人ノ云フ、柔有所設、以下四句、言不可偏著之義也、蓋中尚不可一定、曰時中、況剛柔強弱乎、

兼此四者而制其宜。

この四者を兼ねて、その宜しきを制す。

四ツノモノハ、剛柔強弱ナリ、剛ヲ用ヒテ善キニハ剛ヲ用ヒ、柔ヲ用ヒテ善キ處ニハ柔ヲ用ヒ、強ヲ用ヒテ善キニハ強ヲ用フベシ、コレヲ剛柔強弱ノ四ツヲ兼ネ合セテ、ソノ宜シキヲ制スベシトナリ、制ハ偏ナラズ、倚ラズ、ホドヨクツレバ、ニ四ツノモノヲ用フベシトナリ【大全】ニ云フ、此題兼字制字、各有三分別、而要緊關竅、只在制字上、見得剛柔強弱、乃身中所全具之體、而剛柔強弱、原有恰當之用、而所以措施之者、則在一人之可剛則剛、可柔則柔、可強則強、可弱則弱之制耳、制字故所獨重【全解】ニ云フ、四者指剛柔強弱、兼者全體之謂也、宜者協于宜也、制字内有運量調濟意、剛柔強弱、原非兩截、原自有至當恰好處、但要能全體之使、協于宜耳【彙解】ニ云フ、兼

字是剛柔強弱全體處、宜字是剛柔強弱中庸處、制字是剛柔強弱運用處、

端末未見。人莫能知。天地神明。與物推移。變動無常。因敵轉化。不爲事先。動而輒隨。

端末未だ見はれず、人能く知るなし、天地神明、物と推移し、變動常なし、敵に因つて轉化す、事の先を爲さず、動いて輒ら隨ふ。

端末未ハ、始終モトスエナリ、一氣ノキザサヌ處、一念ノ起ラヌ處ハ、人ノ知ラザルトコロナリ、モシ之ヲ知ルモノアラバ、智人ト云ツベシ、端末モ、未ダ顯レザルヲ知ルコトハ難シ、智アルモノハ、形ニ顯ハレザルヲ知り、未ダ見エザルヲ見ルナリ、コノ處ハ、敵ニ因ツテ見ルト云フコトヲ云ハンガ爲ニ、人能ク知ルコトナシト云ヘリ、敵ニ因ツテ察スルコトノ明カナルヲ智者ト云フ、天地神明トハ、天地ニ氣ノ理ハ、神ニシテ、シカモ明ナルト云フノ義ナリ神ハ【易】ニ、陰陽不測之謂神ト、妙ニシテ測リ難キヲ云フ、明ハ、分明ノ義ナリ、的然トシテ明カナルヲ云フ、天地ノ理ハ、造化ノ間ニ冥々トシテ、測リ知ルベカラズ、然レドモ、物ト推シ移ルユヘニ、ソノ移ル物ニ就イテ知ルトキハ、明々歴々トシテ知ルベキナリ、與物推移トハ、天ノ道ハ、春ヨリ夏ニ移リ、秋トカハリ、冬トナルノ時運、スコシモ違フコトナシ、地ノ道ハ、春ハ生ジ、夏ハ長ジテ盛ニナリ、秋ハ萬物收マリ、冬ハ藏ル、又春ニナツテ生ズ、コレ天地ノ理ニシテ、毫末モ違フコトナシ、神ナリト云ヘドモ、コノ四序ノ時運ニ就イテ求ムレバ、知ラズト云フコトナシ、兵ヲ用フルノ道モ、亦タ此ノ如シ、變動無常トハ、變ハ變化ナリ、動ハ舉動ナリ、敵味方、互ニ相望ムノ間ニ至ツテハ、或ハ正兵變ジテ奇兵トナリ、奇兵變ジテ正兵トナリ、方陣變ジテ圓陣トナリ、圓陣變ジテ直陣トナリ、ソノ變化、時々ニ計ツテ一定ノ法ナキユヘニ知りガタシ、或ハ進ミ、或ハ退キ、或ハ立チ、或ハ坐シ、或ハ東ニ聲シテ西ヲ擊ツ、ソノ舉動コノ如ク、刻々ニカハツテ、常ノ則ナシト云フ、變動ノ二字ハ、敵ト我トニ屬スト云ヘドモ、

コ、ニテハ、専ラ敵ニ屬シテ見ルベシ、因敵轉化トハ、上ニ云フ如ク、一定ノ法ナキガユヘニ、時々刻々、敵ノ變動スルニツイテ、ソレニ隨ツテ、我が計策ヲ轉化スベシ、コレヲ敵ニ因ツテ轉化スト云フ、敵ニヨツテ轉ズルハ、コレ兵ノ機ヲ知リテ明カニスルナリ、變動ノ常ナキヲバ、天地ノ神明ニシテ、測リ知リ難キニカケテ見ルベシ、敵ニ因ツテ轉化スルヲバ、物ト推シ移ツテ、物ニツイテ求ムレバ、天地モ知リ安キニカケテ見ルベシ、不爲事先トハ、事ヲ敵ヨリモ先ニセバ、敵、我がナス事ニ隨ツテ、計ヲ轉化スベシ、コノ故ニ、敵動イテ後ニ、ソレニ從ツテ變化シテ勝ヲ取ルベシ●勝久按ズルニ、不爲事先動而輒隨ト云フノ八字ハ、予ガ楠氏ノ流ニ口訣アリ、故ニ今之ヲ略ス、

故能圖制無疆扶成天威康正八極密定九夷如此謀者爲帝王師

故に能く無疆を圖制し、天威を扶

成し、八極を康正し、九夷を密定す、かくの如く謀るものは帝王の師たり、

按ズルニ、康ノ字【講義】ニ、匡ニ作ル、今、世本ニ從フ【開宗】ニ、九ノ字、刀ニ作ル、必然ノ誤、從フベカラズ、又按ズルニ、八極ハ【文選】ノ註ニ、向ガ云フ、八極八方也●九夷ハ、九種ノエビス國ナリ【後漢書】列傳七十五東夷傳ニ云フ、夷ニ九種アリ、曰ク、吠夷、干夷、方夷、黃夷、白夷、赤夷、玄夷、風夷、陽夷也●又一說ニ、玄菟、樂浪、高麗、蒲師、烏夷、索家、東屠、倭人、天鄙、是也●無疆トハ、限りナキコトナリ、ソノ莫大ノ限リモナキ事業ヲ圖リ制シテ、國家ノ平均ヲ致スノ義ナリ、能ノ字、ヨク心ヲ付ケテ見ルベシ、自ラ草創守成、二ツナガラ始終ヲ全クスルノ意アリ、サルホドニ、天子ノ威勢ヲ扶ケ成シ、八極トテ、四方四維ノ極メ盡ルトコロマデ、國郡邑縣ノ農民百姓マデモ康シ正スナリ、九夷ハ、三十蕃國ノエビスナリ、八極ノ遠キモノヲモ康シ正シテ、九夷ノ外マデモ密メ定ムルト云ヘリ、如此謀トハ、上ニ云フ如クニ、謀ヲ以テ治ムルヲ云フ、帝王ノ師トナツテ、輔佐スルゾト云ヘリ、コレ張良ガ籌ヲ帷幄ノ中ニ運ラシ、勝ツコトヲ千里ノ外ニ決スルト云フノトコロナリ、然ラズンバ、何ヲ以テカ三寸ノ舌ヲ以

テ、高祖ヲ助ケテ四百餘年ノ功業ヲ立テシヤ【大全】ニ云フ、天威天子之威也、天子亦何能威、頼有將相以扶成之也、言主將能運剛柔強弱、因敵之機勢、以轉化焉、不先事而執持、一有所動、輒能隨時合宜、故能圖無疆之勝、成天王之威、此子房所以佐漢高、滅秦項、定四海、爲帝王師也●一說ニ、扶成不在將相上、觀上文所設所施所用所加、端末未見、人不能知、變動無常、推移轉化等之語、不是外面人力粗浮說話、天威乃是人君性分之威也、以性分之剛柔強弱而用之、恰當天下莫測、人心畏服、是謂扶成天威●此題重任師字、言能知剛柔強弱謀者、非僅一將之任、實爲帝王之師也●一說ニ、爲帝王師、亦不在人臣上、講帝王指古今爲帝爲王者、言謀字指剛柔強弱用當其宜、言用剛柔強弱、至於天地神明、受我裁成、萬事萬物、受我變化、九夷八極、受我底定、豈非開天闢地、聖神功化也、是爲帝王之師●勝久按ズルニ、扶成天威トハ、タトヘバ、天ノ雨露霜雪ヲ以テ、四時順環シテ、萬物ヲ生長養育スルガ如ク、剛柔強弱ヲ兼用ユルモノハ、上ニアツテハ、ヨク天道ノ威勢ヲ扶ケテ、コレヲ成就サスルナリ、サルホドニ、下、人倫ニ在リテハ、帝王ノ師ト成ツテ、四海九州マデモ安穩ニ能ク治ムルナリ、天威ハ、天道ノ威ナリ、天子ノ威ニアラズ、既ニ天子ノ威ヲ扶ケテ、四海ヲ平均スルト云モノハ、下ノ文爲帝王師ノ四字ニ自ラ含蓄ス、

故曰莫不貪強鮮能守微若能守微乃保其生

故に曰く、強を貪らざるなし、能く微を守ること鮮し、若し能く微を守らば、乃ち其生を保

たむ、

コノ言フハ、人人ニ強キヲ貪リ求メズト云フコトナシ、強ハ國家ノ強モアリ、兵勢ノ強モアリ、或ハ一己ノ勢力ノ強キモアリ、今コ、ニ云フトコロハ、情意勢力ノ強キヲ云フ、國家兵馬ノ強ニアラズ、サルホドニ【講義】ニ、強ハ力ナリ、微守トハ、微ハ心ナリト云ヘリ、コノ解、甚ダ好シ、人皆力ヲ以テ攻撃スルコトバカリヲ知ルユヘニ、強ヲム

サホラズト云フコトナシ、心ヲ以テ守ルモノハ少シ、ヨク微ヲ守ルトキハ、干戈ヲ戰メ、弓矢ヲ袋ニシテ、乃チ活生ヲ保ツナリ、カヲ以テ争フトキハ、人モ亦タカヲ以テ争フユヘニ、互ニ民人ヲ傷リ、國郡ヲサハガセ、生ヲ保ツコトナシ、心ヲ以テ守ルナレバ、民ヲ害セズ、己ヲソコナハズ、コレ生ヲ保ツナリ、ムカシ、周ノ武王ノ紂ヲ伐ツトキニ、孟津ヲ渡ル、期セズシテ、四方ヨリ會スル諸侯八百人アリ、皆紂ヲ討ツベシト云フ、武王ノ曰ク、未ダ天命ヲ知ラズト云フテ、箕子微子比干ノ三仁アルウチハ、亡ブマジキコトヲ知ツテ師ヲ返シ、後ニ三仁去ツテ獨夫ノ紂ニナリシ時、遂ニ紂ヲ伐チ給フ、コンヨク微ヲ守ルナリ、又漢ノ高祖、自ら張良ヲ齊ノ三萬戸ニ封ジ給ヒケレバ、良、受クズシテ云フ、臣始メ下邳ヨリ起ツテ、上ト留ト云フ處ニシテ、會セリ、コレ天ノ我ヲ以テ陛下ニ授ケタルナリ、陛下、臣ガ謀ヲ用ヒ、幸ニシテ時ニアタル、留ト云フ處ガ某ニ似合ヒタリ、齊ノ三萬戸ハ過ギタリト云フテ、留侯ニ封セラレタリ、コレ微ヲ守ルトコロナリ、後ニ赤松子ノ術ヲ學ビ、功成リ、名遂ゲテ、身退キシハ、コレヨク其生ヲ保ツノ工夫ナリ、人タルモノ、ヨク、此理ヲ知ラズンバアルベカラズ【彙解】ニ云ク、微者陰而不露之意、人主能外施柔弱、把剛強、則持守于微之中、而不露、斯其妙用莫測、庶幾成伐暴救民之功、而能保全其生靈也、又云ク、人心莫不貪強、以致民生不致、而日尋于干戈、苟能守此剛柔強弱之心于幾微發用之際、因物付物而微、則動無過舉、發皆中節、而民生之安堵社稷之靈長、俱于是焉保之、又焉有瀕于危亡而不得其生者哉、

聖人存之以應事機。舒之彌四海。卷之不盈杯。居之不以為室宅。守之不以為城郭。

【訓】聖人これを存して、以て事機に應ず、これを舒ぶれば四海に彌り、これを卷けば杯に盈たず、これを居くに室宅を以てせず、これを守るに城郭を以てせず、

按ズルニ【講義】ニ、存之動應事機ニ作ル、考フルニ、事機ノ一字、動靜ノ一ヲ兼ネテ見ルベシ、故ニ今世本ニ從ツテ

動ノ字ニ作ル●又【講義】ニ、杯ノ字ヲ懷ニ作ル、今、世本ニ從フ【直解】開宗【二、杯ヲ杯ニ作ル、誤レリ【字彙】ニ、補回切、背、平聲酒器●コノ段ハ、聖人ヲ證據ニ引イテ、剛柔強弱ノ四ツヲ能ク保ツノ用ヲ云ヘリ、聖人トハ、聰明睿智ノ四徳ソナハリ、神ニシテ靈ナリ、事々ニ通ジ、物物ニ達セズト云フコトナシ、存之トハ、カノ微ヲ守ルコトヲ存在スルナリ、コノ心ヲ以テ守ルユヘニ、動クモ、靜カナルモ、ヨク事機ニ應ズルナリ、コノ事機ト云フハ、萬事萬物ノ機ナリ、聖人ハ微ヲ守ルガユヘニ、事ノ機ニ應セズト云フコトナシ、サルホドニ、コレヲ舒ベテ、事物ニ推シ及ボストキハ、四海九州ニワタリ、天地ニ充滿スルナリ、モシ之ヲ收メテ卷クトキハ、一杯ノ中ニモ滴タザルナリ、大ニシテ散ズルヲ四海ニ彌ルト云ヒ、小ニシテ收ムルヲ杯ニ盈タズト云フ【中庸】ニ、放之則彌六合【卷】之則退藏於密ト云フ、コノ謂ナリ、居之不以為室宅トハ、コノ微ハ、即チ心ナルユヘニ、宮室屋宅ニ居ルコトナシ、コレヲ守ルニモ、城郭ノ要室ヲ以テスルコトナシ、タダ心ヲ以テ心ヲ守ルガユヘナリ●【全解】ニ云フ、存之之指剛柔強弱ニ而言、蓋天下事原無一定體、而所以應之者、則在于一心、聖人存此剛柔強弱之理于一心、不妄發、亦不外露、唯以事機之來、隨事制宜、而應焉則不僨不逆、因物付物、自應之而當矣、又豈以己意爲好惡、而致其機先之哲哉【彙解】ニ云フ、事無一定體、剛柔強弱、亦無一定形、苟非存之于內、必不能應之于外【大全】ニ云フ、存字正與應字相合、如但存不應、亦何取之于存、如徒應無存、則所應者何事、所以說存便說寡、真是略有二待、動之意、及到事機、則但言應矣、存即兼之之意、應即制之宜之意●剛柔強弱、渾融於心、寂然不動、只待事機之來、以應之、如黃鐘太呂、寂然無聲、大聞大應、小聞小應、不聞不應、正是守微保生之理●不曰事而曰事機、此正將行而求行之間、微而未著之時也、常人見明、而聖人見微、常人見已然、而聖人見未然、所以能防微杜漸、當盛而慮衰、處得而防失、而天下亦久安長治矣●【指南】ニ云フ、卷之不盈杯、總是形容一心字、言聖人之心不露圭角、即一收養之間、則不盈乎一杯、而心無偏主、守之不以為城郭、隨機應變、不必據險守阻、而敵自不能撓我【衷旨】ニ云フ、宜剛

強則以剛強、宜柔弱、則以柔弱、其運所在于一心、而所守者、亦以心不以力也。【大全】云フ、守之不以城郭、此形容剛柔強弱之妙處、見得四者存于聖人之心、自能任卷舒、而適當測之無影、窺之無形、不以城郭而守、自不可拔也。

藏之胸臆而敵國服。

【訓】これを胸臆に藏めて敵國服す。

トハ、方寸ノ中ニ、コノ剛柔強弱ノ四ツヲ收メテ置ク故ニ、敵國自ラ屈服スルナリ、微ヲ守ルヲ以テ、天下ニ敵ナク、四海ニ争フモノナキヲ云フ【全解】ニ、云之字指、剛柔強弱而言、聖人把剛柔強弱四者、藏之于心、而變化莫測、則敵國皆屈于吾謀謀之内、再無有不順而服者矣【覺解】ニ云フ、心在胸臆、而爲身之主、妙三兼理、而宰萬物者也。許洞云、胸臆二字、總是描寫心字形像、見得剛柔強弱、本體至深至微、運用不測。汪殿武云、柔順也、剛強也、人君能剛柔兼濟、不使三千偏過、則國自光、大而不可掩矣ト云々。

軍識曰。能柔能剛。其國彌彰。能弱能強。其國必削。純剛純強。其國必亡。

【訓】軍識に曰く、能く柔に能く剛なれば、その國彌々光る、能く弱に能く強なれば、その國、削る。彰はる、純ら柔に純ら弱なれば、その國、必ず削らる、純ら剛に純ら強なれば、その國、必ず亡ぶ。

コレハ、重ネテ軍識ヲ引用シテ、又剛柔強弱ヲ兼ネ用ヒテ、ソノ證アルト云フコトヲ斷レリ、柔剛ハ德ナリ、體ナリ、強弱ハ勢ナリ、又用ナリ、能ク柔ニ能ク剛ナレバ、國ハイヨク光輝アルナリ、光トハ、日月ノ照臨シテ、四方四維ヲ殘サズ光ラスガ如ク、柔剛ヲ兼ネ用ヒテ、道德ヲ顯ハスユヘニ、國ハ光輝アルナリ、能弱能強トハ、弱ト強トヲ兼テ用フルノ術ナリ、弱バカリニテハ怯シ、強バカリニテハ妄リニ人ニ敵スルコト多シ、去ルホドニ、弱ヲ能クシ、強ヲ能クシテ、兼テ全クシテ、コレヲ用ユルナラバ、ソノ國ハ、イヨク彰明ナリ、彰ハ人ニヨツテ彰ハルルノ

義ナリ、主將ノ行フトコロニヨツテ、ソノ國ニ顯彰スルナリ、武王ノ退イテ弱ヲ示シテ、熊羆ノ師、商郊ニ驅馳スル是レ能ク弱ニ能ク強ナリ、故ニ文王ノ德ヲ廣メ、聲ヲ振フテ、武成ノ功ヲ立ツル、コレ彰ハル、ニアラズヤ、能弱能強ト云フ能ノ字ニ心ヲツケテ見ルベシ、純柔純弱トハ、純ハ純一ナルノ義ナリ、剛強ヲマジヘズ兼ネズシテ、タゞ一筋ニ柔弱ナレバ、ソノ國ハ削ラルベシ、削ハ改削ナリ、アラタメケヅラル、ノ義ナリ、純ノ字ニ心ヲ付クベシ、餘事ヲマジエザルヲ純ト云フ、純剛純強トハ、柔弱ヲマジヘズ、剛強バカリテ以テ行ハバ、國必ズ敗亡スルナリ、秦ノ始皇、長城ヲ築キ、函谷ヲカマヘテ、ソノ心、アクマデ強剛ナレドモ、遂ニ楚ニ敗亡セラル、コレ亦タ純一ノ剛強ナレバナリ、兵ニ在ツテハ、殊更剛強ヲ本トシテ、用ヒナスベキコトナレドモ、純ラスルニヨツテ失スルナリ。或曰、剛柔主於心、故光、光者其體立于此、而其澤及于彼、猶光明發輝也、強弱主於勢、故彰、彰者其體巍然、其勢足凌物也【講義】ニ云フ、一ニ於柔弱者懦而不振、故其國必削、一ニ於剛強者、堅而必折、故其國必亡【開宗】ニ云フ、コレハ主將當ニ剛柔強弱ノ用ヲ妙ニスベキヲ云フ。

夫爲國之道。恃賢與民。信賢如腹心。使民如四肢。則策無遺。

【訓】夫れ國を爲むるの道は賢と民とを恃む、賢を信する

こと、腹心の如く、民を使ふこと、四肢の如くすれば、策、遺すなし。

按ズニル【講義】ニ、肢ヲ支ニ作ル、今、世本ニ從フ國ノ字、廣ク天下ニカケテ見ルベシ、言フハ、國ヲ治ムルノ道ハ、賢德ノ人ト諸民トノ二ツヲ治ムニアリ、サルニヨツテ、古シヘヨリ、明君賢將ニ輔弼ノ賢臣ナキハアラズ、賢ト民トハ、車ノ兩輪ノ如シ、民ニアラザレバ、邦縣ヲ守リ、五穀ヲ生ジ、器財ヲ出シ、萬事ヲ滿ツルコトアタハズ、賢ニアラザレバ、法度ヲ立テ、政令ヲ正シクシテ、品ヲ平治スルコト能ハズ、コノ故ニ、賢ト民トヲ恃ムト云ヘリ、信ト賢トハ、賢智俊材ノ人ノ言フヲバ聽信シテ、コレヲ能クウケガヒ用フルコトハ、自己ノ腹心ノ如クスベシ、腹心トハ



人ノ體ノ中ニテノ肝要ノ處ナルニヨツテ、賢ヲ用フルコトヲ肝要トスルノ義ナリ、使民トハ、衆民ヲ使ヒ用フルコトハ、我が手足ノ四ツテ使フガ如クニスルナリ、四肢ハ、我が思フマ、ニ使ヒ用フルモノナリ、然レドモ、我が四肢ナルユヘニ、イタミ破ラザルヤウニ用フルナリ、民ヲ使フモ、コノ如ク恤ミイタム志ヲ深クシテ、使ヒ用フルトキハ、我が下知スル如クニ使ハル、ナリ、個様ニ賢ヲ信ジ、民ヲ使フナレバ、策ニ遺スコトナシ、策ハ國ヲ籌ルヲ策ナリ、國全クシテ遺策ナシト云フ義ナリ、國ヲ治ムル仕置ニ殘ルコトナキユヘニ、敵國モ服シ、衆人モナツキ來ルナリ【大全】ニ云フ、此題重在「恃」字、言非賢與民、便不得謂之恃、這恃字要在賢與民上、恃者倚靠之意、然必信賢如三腹心、使民如四肢、方可言恃【翼註】ニ云フ、有賢有民、所以能國也、恃賢恃民、所以爲國也、得賢以治民、所以爲國之道也【衷旨】ニ云フ、賢爲國幹、國必恃之、惟恃之則當信賢矣、民爲邦本、國亦恃之、惟恃之又當愛民矣【彙解】ニ云フ、信者信而不疑也、如三腹心、正形容信之切至處、蓋精神相爲流通、志慮相爲浹洽也、就如我之腹心一般、則賢自樂爲我用矣●金千仞云、信賢勿貳、愛民如子、二者不可偏廢也、然必賢者鼓舞于朝、而後小民得歡欣于野、故著「一與字」【全解】ニ云フ、前講恃、此講信、夫國家既恃在賢、則國家政事惟賢是賴、若信之不眞、賢者未必盡心爲我用、必信之如三腹心、而後賢乃足恃也、

所適如肢體相隨、骨節相救。天道自然、其巧無間。

【翼註】適とこころ、肢體相隨ひ、骨節相救ふが如し、天道自然、その巧、間なし。

按ズルニ【講義】ニ、肢ノ字、支ニ作ル、今、世本ニ從フ●我が兵ノ適クトコロ、肢體ノ相隨フガ如ク、自由ニナルナリ、支體トハ、支ハ四肢ナリ、體ハ身體ナリ、支ハ體ニツイテ從フナリ、骨節ノ相救フトハ、骨節ハ支體ヲ助ケ救フモノナリ、身體支骨、相互ニ助ケ救ヒ從ヒ隨フガ如ク、生ノ心ニカナフ、コノ故ニ、天道自然ト云フナリ、天ノ理ノ自然ニシテ然ルナリ、巧ヲ以テシ、人トシテ間ヘテ、カヤウニナルモノニアラズ、天道ノ自然ナリ、人力ヲ借ツテ驅

使スルニアラズトナリ【開宗】ニ云フ、コノ節ハ、言フハ、國ヲ治ムルニハ、能ク賢ヲ信ジ、民ヲ愛スベシ、獨リ籌畫ノ遺スコトナキノミアラズ、亦タ且ツ報ヲ受クルコト特ニ深シ、

軍國之要、察衆心、施百務。

【翼註】軍國の要は、衆心を察して、百務を施す。

按ズルニ【講義】ニ、百ノ字、旨ノ字ニ作ル、今、世本ニ從フ●コノ段、軍國ヲ治ムル至要ヲ云ヘリ、軍ノ道ハ、異ナル勢、サマザマアレドモ、コレヲ治ムル術ハ、異ナル理ナシ、衆士ノ心一ツヲ治ムルナリ、コノ故ニ、衆ノ心ヲ審ニ察シテ、百務ヲ施スナリ、察ハ、チンゴロニ見ルノ意ナリ、百務トハ、事務ノ多キヲ云ハン爲ニ、百ト云フ、務ハ、軍國ノ衆ノツトムル事ヲ云フ、衆ノ心ヲ能ク察セズシテ、務ヲナサシムルトモ、當ラザルコトアラン、能ク察シテ、コレヲ施サバ、應ジテ務ムベキナリ、ソノ察シヤウ、施シヤウ、詳ニ下ノ文ニアリ、三十八術アリ【大全】ニ云フ天下至渙而難一者、人之心也、至危而難安者、兵之務也、惟善軍國者、因心而動、必使無不可見之心、精而後、無不著之功能、故云察衆心、施百務【彙解】ニ云フ、察詳悉體察也、百務即下所謂治民之略、御將之術、處獲之方、待敵之制、皆是察衆心一句、最重施百務、

危者安之。

【翼註】危きものは之を安んぜよ。

人ノ常ノ情、安キヲ好ミ、危キヲ惡ムモノナリ、サルホドニ、コレヲ能ク察シテ、危殆ナルモノヲ扶ケ起シテ、安カラシムベシ、危急ナルヲ見テ、コレヲ救ヒタスケテ、安キニ居ラシムルハ、仁ニアラズンバナルベカラズ●按ズルニ【彙解】ニ、張江陵云、危者、烽煙四起、民無安枕也、安之者、市肆不易、雞犬不驚、婦子相保聚也、

懼者歡之。

【翼註】懼るものは之を歡ばしめよ。

衆人ノ心ハ、必ズ樂ムトキハ進ミ、惧ル、トキル退ク、コレヲ能ク察シテ、惧ル、モノヲバ、撫シテ之ヲ歡バシムルナリ、士卒歡喜スルノ心ナクンバ、使用スルニ勇ムベカラズ、勇マザルトキハ用フルニ益ナシ、コノ故ニ、畏懼スルモノアラバ歡ブヤウニスベシ、ムカシ、魏ノ曹操、袁紹ガ兵ヲ追フ、紹ガ兵ノ多キヲ見テ、曹公ガ兵、大ニ恐レテ、訴フルモノアリ、曹公、イカニモ何トモナク驚カヌ體ニテ申シケルハ、我、袁紹ガ人トナルコトヲ能ク知レリ、志ハ大ニシテ智ハ小シ、色ハ激シクシテ膽ハ薄シ、兵多クトモ分ツテ用フルコトヲ知ラズ、將アリトモ政令一ナラズシテ勝ツコトナルベカラズ、コレ恐ルルニ足ラズト云フガ如キ是レナリ、

叛者還之。

訓讀 叛くもの  
は之を選す、

ユヘナクシテ、敵ヨリ叛キ來ツテ、我ニ從フモノハ、コレヲ我が陣ニ留ムベカラズシテ、敵ノ方ヘ還スベシ、イカヤウノコト、心アツテ來ルモ知レズ、サルホドニ、ソノ叛キ來ル所以ヲ尋ネテ、心得ザルモノヲバ、味方トナスベカラズ、敵陣ヘ追ヒ返スベシ、

冤者原之。

訓讀 冤なるもの  
は之を原ぬ、

冤ノ字、一本ニ寤ノ字ニ作ル、寤ハ【韻會轉韻】ニ、寤、巨隕切【說文】ニ、迫也、徐云、入于穴、窮迫スルナリ、又困也ト●言フハ、誅伐スベキカ、ナダメテ助クベキカト思ハバ、功アル者ナラバ宥スベシ、小嫌ハ胸ニ置カズト云ヘリ、スコシノ過失アラバ、功ノアリシモノヲ宥メヨト云フノ義ナリ、原ハ、ユルスノ義、又タグスルノ義モアリ、冤ヲタシナメルト點ズルトキハ、原ヌト點スベシ、意趣ヲ尋ネテ、仔細ニスベキトノ義ナリ、又寤ノ字ノ義ハ、難義困窮シテ、居ルモノヲバ、ユルセトノ義ナリ、

訴者察之。

訓讀 訴ふるもの  
は之を察せよ、

訴者ハ訴訟ノ人ナリ、來ツテ訟フルハ、情ノ足ラザル故ナレバ、コレヲ審ニ察スベシ、理否ヲ能ク分ケテ訴訟スルモノノ、情ヲ盡サシムルヲ云フ、察ハ、明察ナリ、何故ニ此訴アリヤト、コレヲ察シテ、ソノ理否ヲ決斷スルナリ、

卑者貴之。

訓讀 卑きもの  
は之を貴くす、

卑下ノ人ナリトテモ、コレヲ偏ニ侮ルベカラズ、卑微ノ人ニテモ、貴クシテ用フベキコトアラバ、官ヲ高クシ、祿ヲ與ヘテ貴ブベシ、卑シキヲ賤ムレバ、彼ニ逆シテ使用スベカラズ、ムカシ、秦ノ國ヨリ韓ヲ擊ツトキニ、趙奢ト云フモノヲ大將トシテ、韓ヲ救フ、時ニ趙奢ガ仕ヘルモノニ、許歴ト云フモノアリ、卑賤ノ者ナリ、趙奢ヲ諫メテ軍ニ勝ツ、コノ故ニ、許歴ヲ拜シテ國尉トナス、コレ卑シキ者ヲ貴クスルナリ、

强者抑之。

訓讀 強きもの  
は之を抑へよ、

強氣強情ナルモノハ、事ヲナスコト危シ、コレヲ禁ジテ抑フベキナリ、強盛ノ氣ニマカセテ、前後ヲカヘリ見ヌナリ我が強勇ヲタノミニシテ、將吏ヲ輕ンジ侮ルナリ、カヤウノ者ヲバ、首ヲアゲサセヌヤウニシテ、抑ヘ下シテ置クベシトナリ、

敵者殘之。

訓讀 敵するもの  
は之を殘へ、

我ニ對シテ、敵當心ノアルモノヲバ、コレヲ能ク察シテ殘フベシ、一人敵スルモノアレバ、萬人コレニ習フニ依ツテ急度誅罰ヲ加フベシ●以上ノ八事ハ、民ヲ治ムルニ就イテ言フ、

貪者豐之。

訓 貪るものは之を豊にせよ。

大人小人、トモニ其性トシテ、貪心ノ盛ナルアリ、利ヲ見テ趨ルコトハ難ラモ避ケズ、勞ヲモ厭ハワヌナリ、コノ故ニ、貪ルモノヲバ、豊饒ニ財寶ヲ施シ與ヘテ、身ヲ潤ハシムルナリ、韓信黥布ハ、貪心ノ甚シキモノアリ、故ニ張良コレヲ見知りテ、關東ヲ與ヘタリ【全解】ニ云フ、此即使貪之說也、彼既貪利、我即因其貪而豐之、以財、彼自盡心爲我、矣ト云々、按ズルニ【開宗】ニ、貪ノ字、貧ニ作ルハ誤レリ、

欲者使之。

訓 欲するものは之を使ふ。

欲ハ、願フト云フ義ナリ、樂欲ノ義ナリ、ソノ思ヒ入レタル意事ヲ達セント思フモノヲバ、コレヲ使フベシ、ソノ意ヲ遂ゲバ功アルベシ、ス、ンデ勵ムノ理アリ、王翦ハ秦ノ將ナリ、六十萬人ニテ荊州ヲ伐ツベシト望メドモ、秦王コレニ與ヘズ、李信ヲ將トシテ、二十萬ニテ討伐スルニ、伐ツコトナラズ、敗亡シテ後ニ、王翦ニ六十萬ヲ與ヘテ、荊ヲ破リ取レリ、コレ【孫子】ニ、衆寡ノ用ヲ知ル者ハ勝ツト云フ義ニモ通ゼリ、欲ニ達スレバ、勢力ヲ益スコトアリ、故ニ欲スル者ハ之ヲ使フ、

畏者隱之。

訓 畏るものは之を隠す。

人トシテ畏ル、コトアレバ、自ラ心モ臆病ニナルベシ、少シノコトモ畏ルベキコトアラバ、隱スベキナリ、軍陣ニテ、妖怪或ハ雜說ナドアリ、畏ル、者ニハ之ヲ隱スベキナリ●按ズルニ【真解】開宗【覺解】大全【全解】ノ說ニ云フ、有レ過而畏人知者、隱使勿レ露ト、コノ意ハ、我が身ニ過罪ノアル者、コレヲ隱サントセバ、露ハスコトナカレト云フル義ナリ、從フベカラズ、

謀者近之。

訓 謀あるものは之を近づく。

智謀アツテ用ヒラルベキモノヲバ、ナルホド、コレヲ親ミ近ヅケテ、軍事政務ノ相談ヲナシ、ソノ言フコトヲ信用スベキナリ、高祖ノ張良ヲ用ヒラレタルガ如キ是レナリ、謀アル者ヲ持ツト云ヘドモ、ソノ言フコトヲ信用セズンバ、何ノ益カアラン、本朝ノ後醍醐天皇、楠正成ヲ用ヒザルガ如キナリ、

讒者覆之。

訓 讒するものは之を覆す。

按ズルニ【通鑑集覽】四十一ニ云フ、覆ハ、反覆シテ推訊スルナリト●讒者トハ、ナキゴトヲ信アル様ニ言ヒナシ、是ナルコトヲ非ナリト云フテ、人ヲ害フモノヲ云フナリ、讒言ヲ用フルトキハ、事敗ル、ト云ヒテ、人ト約束シタル事ヲモ、アチコトト惡ク云ヒナシテ、事ヲ防ギ、人ヲ害ヒテ、我がタメノヨキ様ニバカリスルナリ、覆ストハ、反覆シテ、ソノ者ノ云フトコロノ虚實ヲ推シ訊ネテ、甫ビ讒訴スルモノ、ナキ様ニ、ソノ巧ヲ顯ハシテ罪スベキナリ、

毀者復之。

訓 毀るものは之を復す。

人ノ善惡ヲ評シテソシルモノハ、必ズ人ノ實ヲ害フモノナリ、サルホドニ、言ヲカヘシテ、反復シテ、コレト毀ル事ノ邪正ヲ辨ズベシ、

反者廢之。

訓 反するものは之を廢す。

コレハ、味方ヲソムク謀反人ナリ、前ニ叛ク者ト云フハ、敵ヨリ叛イテ我が方ニ來ルナリ、コレハ味方ノ謀反ノモノ返逆無道ノモノナリ、社稷ヲ危クセントス、必ズ其身ヲ廢滅スベシ●勝久按ズルニ、廢トハ、ソノ身ヲ亡スバカリニ

アラズ、ソノ子孫マデテ廢滅スルナリ、故ニ【直解】ニ云フ、反逆則廢滅其身與家ト云々、重科三個條ノ法、一二主ヲ弑スモノ、二ニ親ヲ弑スモノ、三ニ謀反スル者、コノ三ツハ、必ズ其子孫ヲ廢滅ス、

横者挫之。

訓 横なるものは之を挫く、

横逆ト云フテ、ヨコサマナルコトヲナシ、邪佞ヲタクミ、己ガ勇勢ヲ逞シクシテ、法外ヲフルマヒ、横逆スルモノヲバ、ソノ威勢ヲ挫キ抑ヘテ、逞シカラザラシムベシ、

滿者損之。

訓 滿つるものは之を損す、

滿ハ、満足ナリ、人トシテ十分ニナリテハ、必ズアラヌ事ヲ思ヒ立モノナリ、コノ故ニ、コレヲ損ス、損ストハ、充滿ニナキホドニスルナリ、コレ霸王ノ政務ナリ、

歸者招之。

訓 歸するものは之を招く、

歸トハ、歸服シ來服スルナリ、思ヒヨリ思ヒツイテ歸スルモノナリ、徳ニナヅキ、仁ニヨルノ義ナリ、コレヲ招クベシ、後漢ノ光武、諸將ニ命ジテ、長安ノ吏民ヲ一定シ安集セラレシナリ、コレ歸スルヲ招クモノナリ、歸順スルノ義モアリ、

服者活之。

訓 服するものは之を活かす、

服トハ、服從ヲ義トス、我ニ敵シタレドモ、服シテ從フナリ、一義ニ、他處ニテ禍アルモノ、我が國へ來ルナリ、コレ等ハ、死ヲ赦シテ活カスベシ、前ニ云フ、歸スルモノハ、餘所ニ居テ來レルモノナリ、コノ故ニ招クト云フ、コレ

ハ一端ワレニ敵シテ服スルナリ、コノ故ニ、コレヲ治スト云フ、以前ノ罪ヲユルスナリ、

降者脱之。

訓 降るものは之を脱す、

コレハ降參スルナリ、降シテ來レルモノヲバ、ソノ難ヲ脱レシムルナリ、降參セント乞フナレバ、ソノ心弱ニシテ廉ナリ、ソノ難ヲユルサズシテ、降人ヲ死刑ニ行フトキハ、再ビ敵ヨリ降ルモノナシ、コノ故ニ、重罪ノ人ト云ヘドモ、一端ソノ罪ヲユルスモノナリ、古シヘ、源賴朝、泰平ガ郎從河田太郎ヲ脱ス、是レナリ、以上ノ十二事、將ヲ御スルニ就イテ言フ、

獲固守之。

訓 固きを獲ては之を守る、

敵國ヲ攻メテ、四方堅固ノ地ヲ護ルトキハ、ソノ要害ヲ離レズ、再ビ敵ノ方へ取り返サレヌヤウニ、虎口ヲ堅メ、人數ヲ備ヘテ、コレヲ守ルナリ、タトヒ相州鎌倉ナドノ如ク、四方トモニ堅固ノ地ハ、守ルニ善ク、防グニ便アリ、コノ故ニ、堅固ノ地ヲ取り得バ、隊伍法令ヲ正シクシテ、コレヲ守ルベキナリ、

獲阨塞之。

訓 阨を獲ては之を塞ぐ、

【吳子】ニ云フ、以一擊レ十、莫レ善於阨ト、阨トハ、地ノ形勢イカニモセバク、一人二人ナラデハ通ルコトノナラヌ地ナリ、我が小兵ヲ以テ、敵ノ猛勢ヲ防グニ便アリ、タトヘバ、笛吹峠、或ハ薩埵山ナドノ如キ、是レナリ【全解】ニ云フ、險阨之處、正敵人所ニ乘以渡越者也、故既獲之、後必嚴爲塞之、以杜非常之變焉●敵我之勝負、往往係于險阨之通塞、今既獲之、豈可不塞之以據地利乎、

獲難屯之。

訓 難を獲ては之に屯す。

難ハ險難ノ地ナリ、屯トハ、陣取ヲシテ、兵ヲ備ヘテ居ルヲ云フ、險難ノ地ハ、我防グニ利アリ、敵攻ムルニ便ナシコノ故ニ、難處ヲ離レズ屯シテ、敢ノ動クニ隨ツテ、コレヲ防グベシトナリ、以上ノ三事ハ、地ノ險難ニ就イテ守ルコトヲ云フ、

獲城割之。

訓 城を獲ては之を割く。

城ヲ獲ルトハ、敵ノ城ヲ我攻メ取ツテ、我ソノ利ヲ得ルコトアラバ、必ず又味方ノ人ニ分ケテ與フベシ、城ナラバ、ソノ城中ノ似合ヒタル所ヲ諸將ニモ與ヘ、ソノ將ハ又ソレゾレニ士卒ノ功ヲ施スベシ、割ハ分ツノ義ナリ、兵法ニ隙地ニハ利ヲ分ツト云フ義ナリ【寔解】ニ云フ、陳明卿曰、割之三句、皆不私其利、以歡有功之人也、是良將之法也、

獲地裂之。

訓 地を獲ては之を裂く。

地ハ、土地ナリ、地ハ城ヨリモ大ナリ、ソレゾレニ又功アル者ニ封ジテ與フルヲ裂クト云フ、裂モ分裂ナリ、分ケ與ヘテ、士卒ノ功ヲ先ヅ賞シ、我一人ノ有トセザルヲ云フナリ、

獲財散之。

訓 財を獲ては之を散す。

敵ノ財寶ヲ得テハ、散ジテコレヲ人ニ與フルナリ、散モ分散ナリ、コレ主君大將タル人ノ禮ナリ、斯様ニスルユヘニ思ヲ報ゼンコトヲ思ヒ、功ヲ致サンコトヲ思フナリ、コレヲ與フルニ節ヲ以テスルナリ、漢ノ高祖ノ齊ノ國ヲ得テ

ハ大國ナリトイヘドモ、韓信ニ與ヘテ齊王トナシ、趙ノ國ヲ得テハ、張耳ヲ王トシテ之ニ與ヘ、秦ノ府ニ入ツテハ府中多シト云ヘドモ、悉ク諸大將ニ委スルト云フテ與ヘラレタリ、コレ利ヲ分ツテ與フルナリ、高祖ノ沛ニ居ラレタルトキニ、財ヲムサボリ、色ヲ好ム、今關ニ入ツテハ、欲ヲ棄テ、財ヲ賤ムハ、大ナル望アリト、范增ガ察セシモ、是レナリ【全解】ニ云フ、財者群情之所欲得、而私爲己有者也、豈良將之所可獨據者乎、故曰、獲則散之、●獲而即散不惟群情悉定、亦且足以明公、所以不可不散矣、以上ノ三事ハ、獲ル處ニ就イテ言フ、

敵動伺之。

訓 敵動かば之を伺へ。

敵動トハ、敵ノ舉動ニヨツテ、ソノ隙ヲウカセヒテ我動クベシ、伺トハ、ソノ動クトコロノ虛實強弱、變化ノ計策ヲ計ルヲ云フ、變ハ兩陣ノ間ニ生ルト云フテ、互ニ權變ヲ用フルホドニ、コレヲ伺フコト肝要ナリ、或ハ、伺フトハ、我が討ツテ勝ツベキトコロノ便ヲ伺フトモ解スベシ、何故ニ敵ハコノ如ク變動スルヤト、ソノ變動スル所以ヲ能ク見切ツテ、ソレニ隨ツテ、敵ニ應ズル計ヲ廻ラスベシ【寔解】ニ、傳服水ガ云フ、敵靜而不動、則淵微難測、若一舉動、必有得失、伺其空隙、則可乘而擊之、

敵近備之。

訓 敵近くば之に備へよ。

敵近トハ、敵ト我ト陣取ノ間ノ近キヲ云フ、敵ノ陣、我が陣ニ近キトキハ、必ず不意ノ變アリ、サルホドニ、夜討朝掛ノ用心シテ、常ニ敵ニ對スル如ク、手組手配シテ、四方ヲ堅固ニ備ヘテ、不意ヲ討タレザル用心ヲナスベシ●一説ニ、近キトハ、敵段々進ミ來ツテ、我が陣ニ近ブク時ノ事ナリト云ヘリ、然レドモ、コ、ニテハ、常ノ陣取ノ近キト見ルベシ【直解】ニ、敵人相持地近、吾當修其備ト云フノ説、是レナリ、

敵強下之。

訓讀 敵強けれ  
ば之に下れ、

敵ノ兵卒強盛ナラバ、敵スベカラズ、我ハ勢ヲカクシ、卑下シテ、敵當コトノナラヌ體ヲナシテ、敵ヲ欺キ、ソノ意  
リタクムヲ見テ之ヲ討ツベシ【孫子】ニ、強而遷之ト云フノ義ナリ、古シヘ楠正成ノ宇都宮公綱ヲ討ツノ術ナリ、

敵佚去之。

訓讀 敵佚せ  
ば之を去れ、

佚ハ、安佚シテ苦マザルナリ【增韻】ニ、戈質切、安佚不勞也、敵人將卒、トモニ氣ヲ養ヒ、精力ヲ逞シフシテ合戦ス  
ルニ、強盛ニ働クベキ用意アラバ、我が陣ヲ引イテ去リ、ソノ勞スルヲ待ツテ討ツカ、或ハ勞苦スル計ヲ設ケテ、ソ  
ノ疲ヲ討チ取ルベシ、

敵陵待之。

訓讀 敵陵か  
ば之を待て、

陵トハ、憑陵ノ義ナリ、西ヲ取ラントテハ、東ヲ取ル方便ヲナシ、北ヲ取ラントテハ、南ヲ攻ムルナリ、待トハ、敵  
ノ來ラヌ處ナリトテ油斷セズ、備ヘテ待ツベキトノ義ナリ、コレヲ取ラン爲ニ、彼ヲ攻ムルヲ陵グト云フ、敵人ノ勢  
太ダ盛ナルナリ、

敵暴綏之。

訓讀 敵暴なれば  
之を綏んぜよ、

暴ハ剛暴ナリ、ムサト無理ニ強ミテ出シテ撃タントスルコトナリ、暴逆ノ義ナリ、不仁ニシテ剛ナルナリ、コノ故ニ、  
詐ヲ以テ彼ガ心ヲナダメ服スベシ、綏トハ【左傳】ニ云フ、出戰交綏、杜預注ニ、退軍爲綏、秦晉未致爭而兩退故曰ニ  
令綏、又安也、却也ト云々、タトヘバ、本邦ノ武田勝頼ノ如キ、コレ暴敵ナリ、

敵悖義之。

訓讀 敵悖らば  
之を義せよ、

悖トハ、狂悖スル義ナリ、然ラバ、義ヲ以テスベシ、敵ガ正意ニ亂レモドルトキハ、我ハ義ヲ以テ之ヲ正シウスベシ、  
ムカシ、桀紂ガ亂ニ、武王、湯王ノ義ヲ以テ正ス、是レナリ、

敵睦携之。

訓讀 敵睦まじ  
くば之を携せ、

睦ハ、親睦ナリ、敵ノ大將士卒、相睦ジク和合セバ、或ハ間者ヲツカワシ、或ハ矢文ヲ射入レ、色々ノ計策ヲメグラ  
シテ、下下ノ間シタシカラズ、不和合ニシテ、萬事ノ整ハヌヤウニスベシ、携ハ離ナリト注シテ、人ノ睦ジキ中ヲ隔ツ  
ルヤウニスルヲ云フナリ【講義】ニ、敵動伺之ト云フヨリ、コレマデハ、敵ニ應ズルノ術ヲ云フ、應ズル道ヲ能ク知察  
シテ、敵ヲ制スル術ヲ用ヒ施スベシ、コレヨリ下ニ敵ヲ制スル術ヲ云フナリ、

順舉挫之。

訓讀 舉ぐるに順  
つて之を挫け、

トハ、敵ノ舉揚セントスルところ、事ヲ舉ゲテ爲サントスルヲバ、ソノ鋒ヲ折ツテヒシグベシ、舉グルトコロニ從ヒ  
テ挫ゲバ、敵ガ志情ヲ逞シウスルコトナラヌナリ【直解】ニハ、順舉スト點セリ、敵ノ心ニ順ジテ、事ヲ舉グレバ、敵  
ノ威ヲ挫クナリト云ヘリ、コノ説、用フベカラス、

因勢破之。

訓讀 勢に因  
つて之を破れ、

トハ、敵ノ形勢ニヨツテ、コレヲ破ルナリ、軍ニ形勢ナクテハ叶ハヌモノナリ、ソノ勢ニヨツテ破ルトキハ、力ヲホ  
シヒマ、ニ施スコトナラズ、宜シキヲ見テ、奇ヲ出シテ破ル、勢ノツノラザルトコロヲ破レトナリ、

放言過之。

訓言を放つて之を過たしめよ。

コレハ、敵ノ陣中ニ忍ヲ入レ、或ハ里人ヲナヅケ、欲ヲス、メテ、味方ニ抱キ入レ、様々ノ雜說妖怪ノ言ヲ云ヒハヤサセテ、敵ノ手立ヲ誤ラシメ、一定ナルコトヲ成シ得ヌヤウニシテ、コレヲ撃ツベシトナリ、

四網羅之。

訓四に網して之を羅む。

四方ニ網ヲ張ツテ、鳥ヲ漏ラサズ取ルガ如ク、ヨク計策ヲメダラシテ、敵ヲ網ニカケテ漏サヌヤウニ取ルベシトナリ。コノ一句、敵ヲ制スルノ術ヲ結ブノ句ト見エタリ【直解】ニ云フ、招延賢士、當張四網而羅取之、欲致其用也【大全】【彙解】【全解】ノ説、皆同ジ、コノ意ハ、四方ニ網ヲ張ツテ、鳥ヲカケテ取ル如ク、賢士ヲ招キ延クナリ、野ニ遺賢ナシト云フヤウニ、敵國ノ賢士モ、皆來ルヤウニ招イテ、ソノ用ヲ致スナリ●勝久按、ズルニ、敵國ノ賢士ヲ招クモ、兵術ノ一端ナリト云ヘドモ、コノ所ノ正解ニアラズ、何ノ所以ヲ以テ、賢士ノ解ヲ下スヤ、更ニ本文ニ於テ見ルトコロナシ、故ニ、予、敵ヲ制スル術ノ結句ナリト云ヘリ、見ル者、幸ニ焉ヲ訂セヨ、

得而勿有。

訓得て有する勿れ。

得トハ、敵ノ國ヲ得、敵ノ家財ヲ得ルナリ、有トハ、我が有ナリ、得ルコトアリトモ、我が物トスルコト勿レトナリ天下ハ、天下ノ天下ナリト云ヘルガ如シ、周ノ天下ヲ分ツテ千八百國トナス、コレ己ガ有トセザルナリ、有トハ、保テ我が一人ノモノトスト云フノ義ナリ【直解】ニ云フ、得二人財則當散勿以爲己有ト、コノ説、從フベカラズ、居而勿守。訓居て守る勿れ。

拔而勿久。

訓抜いて久しきこと勿れ。

トハ、守ルコトハ敵ヲ防ギ用心スルユヘナリ、四方ヲ垣壁ノ如クニウチナビケテカラハ、守護スルコトモナシ、天下國家ヲ一統ニ睦クシテハ、別ニ守ルベキノ理ナシ、

立而勿取。

訓立つて取ること勿れ。

敵人社稷ヲ建テテ、仁義ヲ逞シウシテ、君ヲ立ツルナラバ、コレヲ攻メテ取ルコトナカレ、民ヲ殘賊スルモノヲバ討シテ、去ツテ、ソノ跡ニ君ヲ立テタラバ、取ルコトナカレ、立テズンバ、コレヲ取レ【左傳】ニ、鄭伯、許ヲ取ツテ許叔ヲ其國ニ封ジテ置キタルハ、立ツテ取ラザルナリ、

爲者則己。有者則士。焉知利之所在。彼爲諸侯。己爲天子。使城自保。令士自處。

訓爲すものは己、有するものは士、焉んぞ利の在るところを知らむ、彼は諸侯たり、己は天子たり、城をして自ら保たしめ、士をして自ら處らしむ

按ズルニ【講義】ニ、上ノ士ノ字ヲ亡ノ字ニ作ル、處ノ字ヲ取ノ字ニ作ル、今、世本ニ從フ●コノ段ハ【講義】【直解】ノ異アリ【直解】ノ義ニ依ツテ云フトキハ、己ノ字ハ自己ニテ我ナリ、亡ノ字ヲ士トナスベシ、國ノ政ヲナスモノハ自己ニテ、主人ナリ、成功ヲ有ツモノハ衆士ナリトノコトナリ、何ゾ利ヲ貪ツテ、ソノ所在ヲ知ルベキトナリ、彼ノ分チテ與フルモノハ諸侯ナリ、己ハ天子トナリテ、天下取ナリ、天下ノ城ヲ能ク保持シ、諸侯衆士ヲシテ、自ら處置シテ

國ヲ與エテ均平ナラシムルナリ、使レ城ヨリ令レ士、諸侯ニカケテ見ルベシ、城ヲ保タシメン爲ニ、衆士ヲシテ處置セシムルトノ義ナリ【講義】ノ意ニ云フ、天下ノ事、惟ダ心ナキニ出ヅ、コノ故ニ、爲レ之則已ナリ、有者亡、コノ二句ヲ一意ニ見ルナリ、爲ル者ヲバ、心アルニ取ルベシ、事ヲ遂ゲズシテ已ムナリ、直スル者ハ、吾ガ有トスルモノト見ルベシ、爲スモノハ已ムナリ、有スル者ハ、亡ブルホドニ、イツクンゾ利ノ在ルトコロヲ知ラン、利ニ心ヲ留ムベカラズ、我ハ權柄ヲトツテ、天下ヲ一ツニシテ、上位ニアツテ、士タルモノニ地ヲ分チテ城ヲ保タセ、コレヲ下ニ治メテ、諸侯トナスナリ【大全】ニ云フ、爲者則已指レ兵遣將而言、蓋發レ兵遣將之爲ニ其權柄、實在ニ于一將、將不得下委ニ于人、人亦不得僭越其將也●有者則士、有指レ攻城掠地而言、蓋攻レ城掠レ地之有ニ其功效、全歸ニ于衆士、士不得歸ニ功于其將、將亦不得下比ニ于上也●三略中、有ニ此軍之要一篇、其篇中、又有察衆心、施三百務等事、眞個是略中之略、要中之要、後來張子房佐沛公、取天下、眞眞從此中、陶鑄而出、如何項羽之強、不落落其套中、而死●有志、韜畧者、須將此等書、細細休認、句句研究、方知三言入妙、勿只妮妮數過不、求實用【開宗】ニ云フ、此言軍國當審察人心、以施三百務、凡治民御將、處優待敵、皆要各盡其道

世能祖祖。鮮能下下。祖祖爲親。下下爲君。

世能く祖を祖とすれども、能く下を下とすること鮮し、祖を祖とするは親たり、下を下とするは君たり、

世ノ人君、ヨク尊祖ノ禮ヲ以テ、先祖ノ廟ナドヲ祀リナドスルコトハ、勤ムレドモ、下ヲ下トシテ、民ヲ惠ミ憐ミ、撫スルコトヲバセヌナリ、下レ下トハ、吾ガ民ヲ民トシテ、仁愛ヲ以テ使フノ義ナリ【開宗】ニ云フ、上祖字以禮貌言、下祖字指君言、上下字以禮貌言、下下字指民言、言世人但知以尊祖之禮、祖其君、少下有以以下賢之禮、下其民、蓋此說詳也、

下下者。務耕桑。不奪其時。薄賦歛。不置其財。罕徭役。不使其勞。則國富而家娛。

然後選士以司牧之。

下を下とするものは、耕桑を務めて、その時を奪はず、賦歛を薄くして、その財を厚くせず、徭役を罕にして、その勞を使はざれば、國富んで家娛む、然る後に士を選んで以て之を司

牧す、

按ズルニ【大全】【彙解】【全解】ニ、耕ノ字、農ニ作ル、今【直解】【講義】【開宗】ニ從フ【全解】ニ、穿ノ字、空ノ字ニ作ル、蓋シ傳寫ノ誤カ、義ニ於テ害ナシ●下ヲ下トスルト云フハ、別ノコトニテハナシ、民ニ耕作ヲツトメ、桑蠶ヲナサシムルニ、ソノ時々ヲウシナハズ、民ヲ勸ムルコトヲ云フ、不奪トハ、田ヲタガヤシ、桑蠶ヲナス時ニハ民ヲ用捨シテ、役ヲアテズ、コレ奪ハザルナリ、耕ハ、男兒ノ業ナリ、桑ハ、女婦ノ業ナリ、コレ本ヲ務ムルナリ、民ハ本ナリ、賢哲ノ功ヲ爲スハ末ナリ、田ヲ作ルニモ、多少ノ法アリ、農ニ上中下アリ、人民ノ少ナキニ田多ケレバ、田ヲアラスナリ、勸農ノ職トハ、ソノツカサアリテ、耕作ヲサスルナリ、薄賦歛トハ、年貢ナドヲ辛ク取ラヌコトナリ、賦ハ戰ニ出ル時ノ兵車兵器馬ナトヲ出ス定マリナリ、尉繚子ニモ云ヘルガ如ク、天子ハ萬乘ナリ、諸侯ハ千乘ナリ、大夫ハ百乘ナリ、一乘ノ出ストコロ六十四井ナリ、歛トハ、收歛ナリ、年貢ヲ收メ取ルコトナリ【論語】ニ、收歛ノ臣ト云フハ、ツケマシテシテ、重ク民ヨリ取ルコトナリ、コノ歛ヲ薄クスルユヘニ、資財モトモシカラズ、徭役トテ、不時ノ用事ヲ罕ニスレバ、公義へ使ハル、コト少クシテ、民モ苦勞ヲセズ、カチ養ヒテ居ルユエニ、何時ノ用ニモ立ツナリ、財ニ乏シカラザレバ、資用ヲタスニ事ヲ缺カズ、此ノ如クスル故ニ、國ハ富ミテ強クナリ、萬家トモニ娛樂スルナリ、徭役ハ、普請ナドノ課役ナリ、然後トハ、カヤウニシテカラニ、賢士ヲ選ンデ司牧スルナリ、司ハ、ツカサナリ、牧ハ、ヤシナフ義ニテ、民ヲ治メ養フノ官人ナリ、東西ノ牧ト云フテ、二人ノ司牧アリ、農業ヲ教ヘ、ソレゾレノ所作ヲサセテ國家ヲ豊ニシテ、強富ナル様ニスルナリ、コノ書ニ、民ヲ養フコトヲ先ニシテ、士ヲ選ブコトヲ後ニスルコトハ、民ヲ養フヲ本ヲ務ムルノ義トスルユエナリ、賢士哲人ヲ求ムルモ、民ヲ撫育シテ平治ナラシメンガ爲ナリ【直解】ニ



云フ、胡氏曰、天之立レ君ヲ以爲レ民也、君之求レ臣以行レ保レ民之政也、臣之事レ君以行レ養レ民之術也【書】ニ云フ、民惟邦本、本固邦寧ト、三略ニ、以レ民爲レ本、ソノ意明カナリ、

夫所謂士者英雄也。故曰羅其英雄則敵國窮。

夫れ謂ゆる士とは、英雄なり、故に曰く、その英雄を羅すれば、敵國窮す、

英雄トハ、材能モ人ニスグレ、智慮モ衆人ニ超エタル者ヲ云フ、詳ニ卷頭ニ見エタリ、士ト云フハ、カクノ如ク、尋常ノ人ニスグレタル者ヲ云ナリ、常ノ士ニハアラズ、然レバ、ソノ如キ賢士ヲ我方國家ニ列羅シテ置クトキハ、敵國ハ困窮スルナリ【直解】ニハ、羅ヲ羅網ノ義トナス、賢士ヲ逃サヌヤウニシテ、我方國家ニ取リコムノ意ナリ、我方國ガ強ケレバ、敵ハ弱クナリ、我方國ニ賢材ノ者多ク得レバ、敵國ハ窮スベキナリ、周ノ國ハ十人ノ賢人勇夫ガ助ケテナシ、一老ノ太公伯夷ガ如キモノ歸服セシカハ、殷ハヒトリ亡ビテ、國ヲ保ツコトナラズ【孟子】ニ、不信仁賢、則國空虛ト云フモ、コノ義ナリ【全解】ニ云フ、英氣勃勃爲レ英、雄心湧湧爲レ雄、此正士林中ノ傑出者、所以欲レ選レ士以司牧ニ正此英雄之人也【衷旨】ニ云フ、讀レ書懷レ古、俱謂之士、不知士也者正英雄之所寓也、蓋古往今來、英雄原不在士之外也【彙解】ニ、王漢若曰、其字指敵國、說、羅其英雄、謂敵國所、有之英雄、我能羅而致之也、敵國窮、謂經畫無人一籌莫展也【指南】ニ云フ、敵國之所、以爲我難者、以有英雄也、羅其英雄、自無敵國【句解】ニ云フ、羅有取盡人才之意【大全】ニ云フ、羅字與攬字、有別攬還有二段自然處、羅不免有強致之意、然務窮敵國、則羅之術有レ所不問矣●重在羅其英雄之四字、其字所指者廣、并敵國、在內、見得羅其英雄、自無敵國、故曰窮●羅有取盡天下人才之意、觀漢高之所、以興、楚項之所、以滅、不過信布平越數英雄耳、楚不能、用而漢用之、故漢興而楚滅、爲國者可、不思所以羅之之道乎、

英雄者國之幹。庶民者國之本。得其幹收其本。則政行而無怨。

英雄は國の幹、庶民は國の本、その幹を得、その本

を收むれば、政行はれて怨なし、

按ズルニ、【周易本義】乾文言ニ云フ、幹木之身、而枝葉所、依以立者也【左傳】僖公十年ニ云フ、禮者國之幹也、又木之正出者爲幹●言フ心ハ、英雄ノ賢士ハ、國ノ爲ニハ木ノ幹ナリ、幹トハ株ナリ、木ニ株アリテ、モチ合ヒテ木ヲ強クシ、威ヲモ見セ、木ツキヲモヨクスルナリ、庶民者トハ民百姓ナリ、民ハ國ノ根本ナリ、賢士アリト云ヘドモ、民ガ安カラサレバ、國ハ治マルコトナシ、民ヲ撫育センタメノ賢智ナリ、然レバ民ハ、國ノ本ナリ、根本ノ民モヤスク、枝末ノ賢モ歸服シテアルユエニ、政化ヨク行ハレテ、天下ニ怨ムルコトナク、仇スルモノナキナリ、古シヘ、周ノ文王ノ興リシトキ、多士濟々タリト云フテ、賢士多クシテ幹トナルナリ、天下ヲ三分ニシテ、ソノ二ツヲ保ツ、民ヲ得テ本ヲナスナリ、政ヲ發シ、仁ヲホドコシテ、民百姓ガコトゴトク其德ニナツキ、其德ヲネガフ、怨ムルコトナキナリ、コレ天下ヲ掌ニスルノ理ナリ【大全】ニ云フ、幹材幹也、猶言棟梁也、言英雄爲國之楨幹棟梁也、故人君重英雄者、所以重國之楨幹棟梁也、幹字最重、以木之義、論蓋幹從本生、千枝萬條、又從幹生、故暢達其本者幹也、顯明其本者亦幹也、且人因幹以知木、又因幹以見千枝萬條、則幹是本末中第一有レ力可用、其關係不小可知也●此申明上文務攬之旨、所以復提英雄者三字、以見英雄所關不小、非枝葉比、乃國之幹也●庶民者國之本、本所以生幹者也、若徒羅其英雄、以植國之幹、而於庶民、置之膜外、則國本不固、雖有幹亦無用也、必貴於得民心、而後本固邦寧、英雄乃得、以展其猷●此題須重講本字、木既非幹不立、非本亦不能生、幹則本與幹必相爲倚恃、而後枝葉賴以茂盛、而國祚綿遠矣【開宗】ニ云フ、此節言爲國當羅致英雄、以收民而收衆庶之心、

夫用兵之要在崇禮而重祿。禮崇則智士至。祿重則義士輕死。故祿賢不愛財。賞

功不踰時。則下力并而敵國削。

るに時を踰えざれば、下力め併せて、敵國削らる。

夫れ兵を用ふるの要は、禮を崇んで謀を重んずるに在り、禮崇れば、智士至り、謀重ければ、義士死を輕んず、故に賢を疎するに財を愛まず、功を賞す

コノ段ノ心ハ、凡ソ兵ヲ用ユルノ要トスルコトハ、禮ヲ崇ブト謀ヲ重ンズルトニアリ、崇レ禮ト云フハ、上ヲ以テ敬ヒ下ヲ撫育シテ惠ム、コレ禮ナリ、禮ヲ節ニセザレバ、賢士ハ歸セザルナリ、將タル人ノ崇ブトコロノ禮ハ、己ヲ以テカブルコトナク、賢ヲ得テハ崇ブノ禮ナリ、己ノ禮ヲ節ニスル故ニ、謀ヲ重ンズルナリ、重レ禮トハ、財ヲ惜マズシテ、功アルニ賞ヲ行フヲ云フ、禮ヲ厚クシ、謀ヲ重クスル故ニ、智士モ至リ、義士モ死ヲ輕ンズルナリ、時ヲ踰ヘズトハ、即時當座ニ賞スルノ義ナリ、速ニスレバ、下タル者ガ善ヲナスコトヲ、我モ我モト思フ故ニ、亦タソノ利アルナリ、コノ故ニ、下タル者、カヲ并セテ、我モ我モト、上ノタメニ、忠ヲ盡サンコトヲ思フモノナリ【大全】ニ云フ、用兵之要四字、最要者眼、是此處大關處、不然用兵之事頗多、如何便把箇崇禮厚禮、叫個要見得智謀節義之士即英雄也、而即賢也、此英雄此賢士、非崇禮重禮、不足攬其心、心不爲我用、如何致勝、所以崇禮重禮、爲用兵大要【全解】ニ云フ、崇禮重禮、所以致士也、所以從來明主賢將欲用兵、必先求得士、欲求得士、必先崇禮重禮、可知要之在是矣 ●智士者國家所恃以運籌帷幄者也、至之原自不易、故必崇其禮節、以得其心、然後爲我至也 ●言智士之所不至者、以其上之禮不崇也、惟上之禮崇、則智士皆至、而效用于上矣、則待士豈易哉、

夫用人之道。尊以爵。贍以財。則士自來。接以禮。勵以義。則士死之。

爵を以てし、贍すに財を以てすれば、士、自ら來る、接するに禮を以てし、勵ますに義を以てすれば、士、これに死す。

夫れ人を用ふるの道、尊くするに

人ヲ用ヒ使フ道ハ、爵ト云フテ宮位ヲス、メテ、ソノ人ヲ尊クシ、財寶ヲ與ヘテ、ソノ家ヲ贍スベシ、コノ二ツヲ以テスレバ、人ノ欲スルコロナルユエニ、賢士モ自ら來リテ服スルナリ、人トシテ、名ト利トヲ思ハザルハナシ、位ヲ以テハ尊貴ヲナシ、財ヲ以テハ富潤ニスルナリ、接之トハ、接ハ接引ナリ、賢ヲ招キ入ルル義ナリ、禮ヲ以テ接シ入ル、ナリ、禮ハ、節ニスルノ禮ナリ、以テ義トハ、士ノ心ヲ勵マシ激スルニハ、義ヲ以テスルナリ、義ヲ以テ、サシヒキモナラヌヤウニ、善ナルヲ褒美ヲナシ、惡ヲバ罪罰スルコトヲスルナレバ、士タル者モ、亦タ義ヲ以テ上ノタメニ必ズ死セントスルナリ【開宗】ニ云フ、死非必死、只是出死力耳ト ●勝久按ズルニ、死之ノ二字ハ、爵ヲ以テシ、財ヲ以テシ、禮ヲ以テシ、義ヲ以テスルノ效ヲ云ヘリ、此ノ如クナレバ、士必ズ上ノ爲ニ死スルナリ【開宗】ニ云フ、此節言用兵當崇禮重禮、以收士之用ト、

夫將帥者。必與士卒同滋味。而共安危。敵乃可加。故兵有全勝。敵有全囚。

夫將帥は

必ず士卒と滋味を同じうして、安危を共にす、敵、乃ち加ふべし、故に兵に全勝あり、敵に全囚あり、

按ズルニ【直解】【大全】ニ、帥ノ字、師ノ字ニ作ル、從フベカラズ、今、世本ニ從フ ●又按ズルニ、世本、囚ノ字ヲ以テ皆囚ノ字ニ作ル、ソノ義、通ジガタシ、蓋シ囚ト困ト、字相似タルヲ以テ、傳寫ノ誤レルカ、今【講義】ニ從フ ●又按ズルニ【直解】ニ云フ、囚字當作溲、言吾兵有全勝、則敵有全沒者ト、コノ說、亦タ附會ニシテ更ニ通ゼズ、從フベカラズ ●將帥トハ、イクサヲ率ユル義ナリ、將軍ト云フト同ジ、帥ハ所類ノ切ニテ、スイノ音ナリ、主也、統也、領也、只ダ大將ノ心ニテモヨシ、士卒ハ、軍中ノ衆兵ナリ、同滋味トハ、糧食ヲ用フルニモ、ワケヘダテナク、我レ飽味ヲ食ヘバ、士卒モ同クシ、滋味ナレバ、亦タ士卒ト同ジクスルヲ云フ、大將一人、美食シテ淡味ヲ士卒ニ與フルハ非義ナリ、共安危トハ、我バカリ安佚ニシテ、士卒ニハ勞苦ヲサスルハ義ニアラズ、安クトモ、危クトモ、士卒ト

共ニシテコソ、士卒モ、我がタメニ死テ致スナリ、コレ皆士卒ノ我が志ヲ感ズルニヨルナリ、敵乃可レ加トハ、此ノ如クナルホドニ、我が兵ヲ敵國ニ加フベシトナリ、或ハ云フ、陵加ノ義ナリ、敵ヲ凌グ心ナリ、衆ト心ヲ同ジクシ志ヲ一ツニシテハ、イカナル強敵ヲモ加グベシトノ義ナリ、故兵有ニ全勝ト云ヘリ、一分ニ向フトコロ勝タズト云フコトナシ、全囚トハ、我が兵威一味同心ナルホドニ、敵人全ク囚トナルコト必セリトナリ【大全】ニ云フ、全勝二字、要根ナリ、上文與士卒同滋味共安危上來、上下心同意同、自是遇敵爭先奮勇、其兵一出不唯得人得國、而且自保全勝、決無損兵虧衆之事【彙解】ニ、王漢若云、全勝謂自保克敵、完全取勝、其所以全勝、却緊跟上文說來、蓋惟其能與士卒同滋味共安危、有以聯屬感激其心、故能全勝如此也、

昔者良將之用兵。有饋簞醪者。使投諸河與士卒同流而飲。夫一簞之醪不能味一河之水。而三軍之士思爲致死。以滋味之及己也。

【圖說】むかし良將の兵を用ふる、簞醪を饋るものあり、これを河に投ぜしめ士卒と流を同じうして飲む、夫れ一簞の醪、一河の水を味ふこと能はず、しかも三軍の士、爲に死を致さむと思ふものは、滋味の己に及ぶを以てなり、

按ズルニ【講義】ニ、一簞之醪ノ之ノ字ヲ脱ス、蓋シ傳寫ノ誤カ●又按ズルニ、簞ハ【字彙】ニ、都艱切、音丹、盛飯器、以竹爲之、圓曰簞、方曰筥【孟子】ニ、簞食壺漿ト●醪ノ字【字彙】ニ、郎力切、音穿、汁滓合之酒也ト、アマザケト訓ズ●古シヘノ善兵ヲ用フル大將ハ、人ノ心ヲ得テ、我が志ヲ人ニ及スコトヲ專トスルナリ、良將トハ、名大將ノ良智良能ノアル人ナリ●按ズルニ、吳長卿ガ【兵鏡】卷之二ニ云フ、夫能以威爲表、以猛爲裏、以強居中、兼三將而有之、此之謂良將也、古シヘ、良將ヘ一簞ノ醪トテ、酒ヲサバエニ入レテ遣ハシタルモノアリ、ソノ酒ヲ小キ河ノ上ヘ流シテ、衆卒ニ、ソノ流ル、水ヲノマシメタリ、私ニ一人シテ飲マズシテ、三軍ノ衆ニ志ヲ與フル義ナリ、

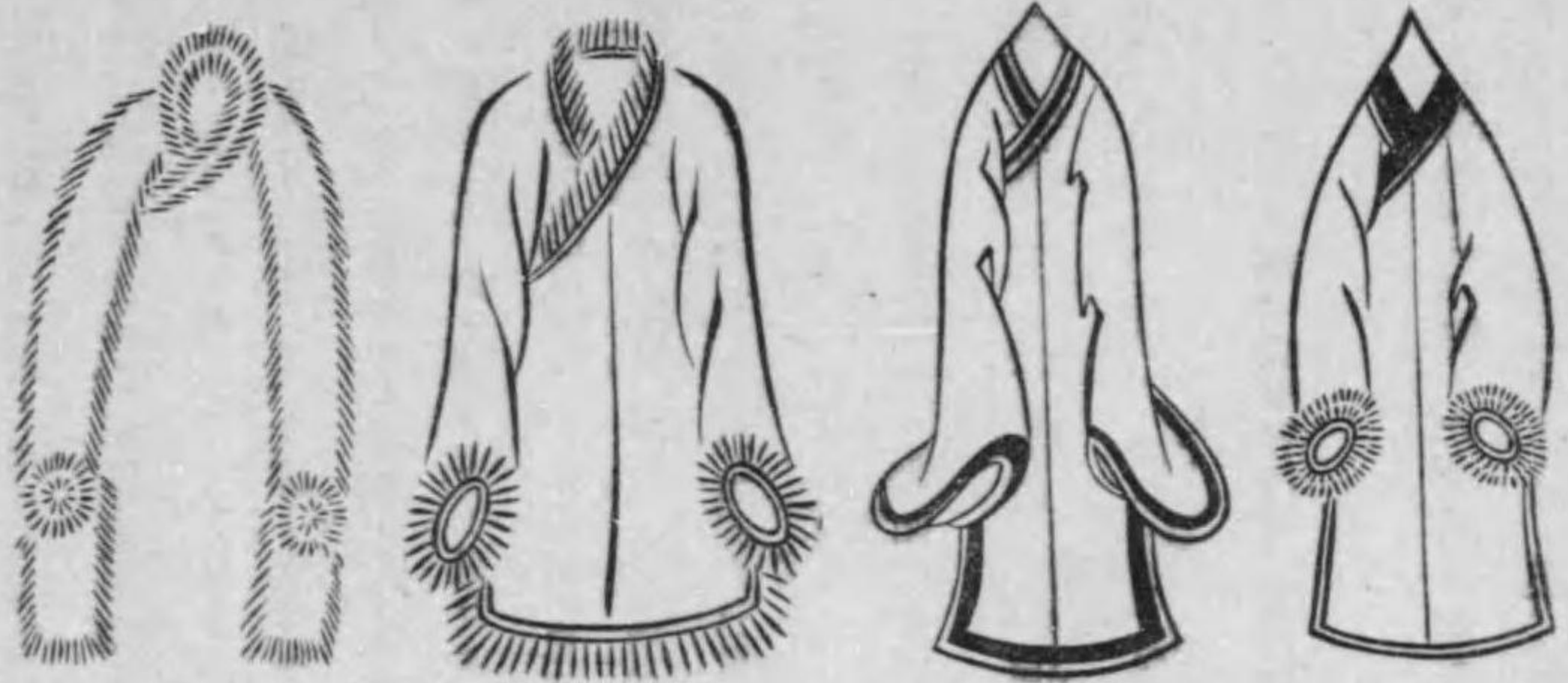
簞ハ、竹ニテ拵ヘタル筒ノヤウナル入レ物サザエナリ、コレニ一盃アル酒ヲ河ニ流シタレバ、ソノ水ニ味スルコト能ハザレドモ、三軍ノ士ガ、悉ク將ノ命ニヨツテ、死テ致スノ心アリ、志ヲ一ツニスルノ義ナリ、大身ニヨラズ、小身ニ限ラズ、貴トナク賤トナク、我が身ヲ惜シミ、死ヲ畏ル、コトハ一ツナリ、コノ故ニ、將ノ心モ亦タカクノ如クスルナリ、滋味之及己トハ、大將ノ志ノ士卒ニ及ブコトノ切ナルヲ思フヲ云フ、滋ハ、シゲシト訓ズ、厚味ノ心ナリ●或人ノ云フ、今、日本ニ一味同心ト云ヘルモ、コノ竹器ノ酒ヲ河ノ流ニ投ジテ、三軍トソノ味ヲ同ジクシテ、三軍ノ士大將ノタメニ、命ヲ捨テント思フタル故事ナリ、ソノ事、越王勾踐ニ起ルト【衷旨】ニ云フ、同流而飲以示甘苦、與共之意也【明說】ニ云フ、良將用恩之法、雖一簞之醪、亦不肯獨飲、必欲公之士卒、又不能遍及、只得投河、與之同飲、所以士卒咸爲感悅、後來遂爲主君效死【直解】ニ云フ、按、此是勾踐事、豈黃石公引之而增廣其說歟、或踐之前、別有以酒投諸河、而飲三軍者歟●山中信氏論之曰、此書中可疑者、不爲不多也、或呂望著之、石公演之等之說者託之者乎、然亦豈不曰乎、以言不取人、以人不廢言、故其所言之者善則揚之、惡則隱之、則其利豈少哉、必索人而實之、則亦鑿而已●勝久按、三略之一書、其出處殆可疑、何以謂之呂尚之書、亦豈石公演之乎、

軍議曰。軍井未達。將不言渴。軍幕未辨。將不言飢。冬不服裘。夏不操扇。雨不張蓋。是謂將禮。與之安。與之危。

【圖說】軍議に曰く、軍井未だ達せず、將、渴を言はず、軍幕未だ辨せず、將、倦を言はず、軍幕未だ炊かず、將、飢を言はず、冬は裘を服せず、夏は扇を操らず、雨に蓋を張らず、これを將禮といふ、これと安く、これと危し、

按ズルニ【講義】ニ、辨ノ字、辯ニ作ル、今、世本ニ從フ【開宗】ニ、窺ノ字、炊ニ作ル、コレ亦タ世本ニ從フ【大全】ニ裘ノ字、喪ノ字ニ作ル、必然ノ誤、從フベカラズ●又、將禮ヲ禮將ニ作ル、是レ又世本ニ從フ●言フハ、軍陣ノ井モ

裘 表 裘 襦 裘 狐 裘 羔



未ダホラザルニ、大將タル人、渴スルト言ハズ、軍中ノ幕ヲモ辨ゼザルニ  
 疲レクタビレタリト言ハズ、辨ズルトハ、ソコソコヘ幕ヲ張ルコトナリ、  
 誰ガ陣屋、タレガ小屋ト云フコト定マラザル時ヲ云フ、幕ハ【事物紀原】ニ  
 云フ、幕人ノ註ニ、旁ニアルヲ帷ト云ヒ、上ニ在ルヲ幕ト云フ、皆布ヲ以  
 テコレヲ爲ルト云々、軍籠トハ、軍中ノ惣陣ノ兵糧ガ出テ來ラバ、大將  
 モ用フベシ、イマダ三軍ノ食モ炊ガザルニハ、大將一人飢エタリト云フベ  
 カラズ、軍中各々ノ籠ヲコシラヘ、飯ヲ整フルニ及ンデハ、大將モ、トモ  
 ニ三軍ト食ヲ共ニスベキナリ、冬不レ服裘トハ、寒天ノ時分ナリト云フト  
 モ、暖カナルヤウニ、大將一人ガ裘ヲ重ネテキルコトナカレ、コレモ、士  
 卒ト寒苦ヲ同ジウスルノ義ナリ、裘ノ製、一品ナラズ、今【四書略圖解】ニ  
 據ツテ其圖ヲ記シテ童蒙ニ便ス、夏不レ操扇ト云フモ、炎天ノアツキハ、  
 上下トモニ變リナシ、大將一人、團扇ヲトリ、或ハ人ニアラガレテ、涼フ  
 セント思フベカラズ、コレ熱ノ苦ヲ同ジウスルナリ、雨フルトモ、蓋トハ蓋  
 傘ナリ、士卒トモニ雨ニ濡レ得サルベシ、大將一人、蓋ヲ張ツテ雨露ヲイ  
 トヒ、士卒ノ雨滴ニ苦ムヲ見テ、何トモ思ハヌ體ヲスベカラズ、カヤウニ  
 辛苦シテ、士卒ガ志ヲ得ルヤウニシテ、人ヲ使用スル、コレヲ大將ノ禮ト  
 ハ云フナリ、我がアリタキママニシ、我が働キタキマ、ニスルハ、禮ニソ  
 ムケリ、良將ノ行跡ニアラズ、去ルホドニ、亦タ士卒ノ志モタガフベシ、

三軍ノ士將ノ私ナキコトヲ感じテ、功ヲナス、コレ心ヲ得ルノ義ナリ、與之トハ、士卒トナリ、安キコトヲモ同ジク  
 シ、危キコトヲモ同ジウス、タゞ其心ヲ得ルガ故ニ、力ヲモ得ルナリ、

故其衆可合而不可離。可用而不可疲。以其恩素蓄。謀素合也。故曰。蓄恩不倦。  
 以一取萬。

按ズルニ【講義】ニ、素合ヲ素和ニ作ル、今、世本ニ從フ●或人ノ云フ、和合ノ字、ソノ義相通ズ、拘泥スベカラズト  
 ●此ノ段、上ノ文ヲ承ケテ云フ、士卒ノ心ヲ得、力ヲモ得ルガ故ニ、士卒ガ辛苦ヲモカヘリミズ、大將ト一味合體シ  
 テ、離散スルコトナシ、合ハ、聚合ノ義ナリ、人數ノ合スルトモ解スベシ、心ヲ合一ニスルノ義モアリ、ソノ衆兵  
 ノ力、用フベクシテ、ソノ力ハ疲ルベカラズ、我が心カラ進ンデ用ヒラル、力ナルユエニ、疲ル、コトナキナリ、  
 何故ニヨク此ノ如クナルゾト云ヘバ、ソノ恩、素ヨリ蓄ヘテ、ナイナイヨリ恩賞ヲ與フルニ、禮ヲ以テ善ク行フ、謀  
 素合ト云フテ、智謀和合シテ、上ト下ト熟スル故ヲ以テナリ、蓄ハ、貯蓄ノ義ナリ、大將ト士卒ト、別心ナク和合ス  
 レバナリ、故曰トハ、古シヘヨリカク云フ義ナリ、蓄恩不レ倦トハ、主君大將ヨリ、恩ノ惠ヲ蓄ヘテ、倦ミ怠ラザレ  
 トナリ、此ノ如クナレバ、一ヲ持ツテ萬ヲ取ル、一人ノ恩、コレヲ蓄ヘテ、萬人自ラ歸スルト云フ義ナリ、一ハ大將  
 一人ナリ、萬トハ衆卒ヲ指シテ云フ、將ノ心一ツニテ、萬衆ノ心ヲ得ルナリ、或ハ一ツノ心ニテ、敵ノ數萬ヲモ服ス  
 ルノ義ナリ【大全】ニ云フ、良將用恩之法、直無レ逾、此數者、故七書往言レ之、而總レ之曰、以其恩素蓄。謀素合。二語尤  
 爲ニ要言●恩素蓄、謀素合、乃總結ニ上文ノ語也、夫用三軍、到了可合而不可離、可用而不可疲の地步、斷非刑威鞭  
 朴所能必定、見良將有素蓄之恩、有素合之謀、方能以致此●蓄恩不レ倦、以一取萬、此言三用恩收效之神、重不  
 倦、二字上、將統三軍、未レ有不用恩者、但或用之且夕、而不能蓄之悠久、則感之者淺、惟能蓄恩不レ倦、則其感心

者深、自可<sup>レ</sup>以<sup>レ</sup>一取<sup>レ</sup>萬【全解】ニ云フ、蓄<sup>レ</sup>恩不<sup>レ</sup>難、不<sup>レ</sup>倦爲<sup>レ</sup>難、將能<sup>レ</sup>如<sup>レ</sup>此、自然士卒同心、氣勵<sup>レ</sup>雲霄、可<sup>レ</sup>以<sup>レ</sup>我之寡少、取<sup>レ</sup>敵之衆多、此理勢之自然者、以<sup>レ</sup>一取<sup>レ</sup>萬、不<sup>レ</sup>過<sup>レ</sup>甚言<sup>レ</sup>取<sup>レ</sup>勝之神、非<sup>レ</sup>真<sup>レ</sup>以<sup>レ</sup>一取<sup>レ</sup>萬也【彙解】ニ云フ、此章蓄恩二字、一篇之主、能用<sup>レ</sup>士卒之力者、能得<sup>レ</sup>士卒之心者也、世將只知<sup>レ</sup>有<sup>レ</sup>己、不<sup>レ</sup>知<sup>レ</sup>有<sup>レ</sup>人、視<sup>レ</sup>己太重、視<sup>レ</sup>人太輕、故<sup>レ</sup>己欲<sup>レ</sup>安而與<sup>レ</sup>人以<sup>レ</sup>危、己欲<sup>レ</sup>甘而與<sup>レ</sup>人以<sup>レ</sup>苦、士卒焉肯盡<sup>レ</sup>死力、即滋味之細、無<sup>レ</sup>自私自利之心、萬人皆可<sup>レ</sup>感通、而何<sup>レ</sup>不可<sup>レ</sup>全勝之有【開宗】ニ云フ、此言主將當<sup>レ</sup>與<sup>レ</sup>士卒同<sup>レ</sup>甘苦、以<sup>レ</sup>結<sup>レ</sup>其心、

軍議曰、將之所<sup>レ</sup>以<sup>レ</sup>爲<sup>レ</sup>威者號令也。戰之所<sup>レ</sup>以<sup>レ</sup>全勝者軍政也。士之所<sup>レ</sup>以<sup>レ</sup>輕戰者用<sup>レ</sup>命也。

軍議に曰く、將の威を爲す所以は號令なり、戰の全く勝つ所以は軍政なり、士の戰を輕んずる所以は命を用ふればなり、

按ズルニ【開宗】ニ、輕戰ヲ輕死ニ作ル、今、世本ニ從フ●大將ノ威ヲ高ウスルハ、號令ノ嚴整ナルナリ、號令ハ軍中ノ下知ナリ、萬事ノ下知ヲシテ、軍法ヲ急度タバスタ云フ、陣中ニ大將ノ威ナクレバ、號令正シカラズ、威ハ號令ニヨツテ生ル、我が兵將ノ一言ニテチ恐レテ、カタク守ル、コレヲ號令ノ正シク、威ノ行ハル、ト云フ、此ノ如クナルホドニ、進ミ戰ツテ死テ致ス、コレ將ノ威行ハル、ニアラズンバ、イカデカ快ク死テ致サンヤ、戰之所<sup>レ</sup>以<sup>レ</sup>全勝者軍政也ト、敵ト鋒ヲマジヘ、又ヲ合セテ、我が兵十分ノ勝利ヲ得ルモノハ、ヨク常ニ軍政ノ行ハル、ガ故ナリ、衆兵ヲ馭シテ功ヲナサシムルニハ、軍政ニアラザレバ成リガタシ●勝久按ズルニ、數本ニ軍政ノ二字ノ明解ナシ【講義】ニ、施氏【左傳】ノ杜預ガ註ヲ引イテ、軍政ヲ以テ賞罰ノ二ツト解ス、甚ダ當ラズ、既ニ【開宗】ニ、コレヲ辨ズルコト詳ニシテ、是ナリト云ヘドモ、未ダ軍政ノ二字ノ解ヲ下サズ、蓋シ軍政ハ包ムトコロノモノ廣シ、凡ソ軍ヲ練リ、卒ヲ料リ、天ヲ察シ、地ヲ審ニシ、器具ヲ修メ、賞罰ヲ明カニシ、一切撫綏愛養ノ事、スベテ其中ニ在リ、軍政修マツテ、自然ニ進退節アリ、全勝致シツベシ、施氏ガ解、甚ダ附會ス、從フベカラズ、士之所<sup>レ</sup>以<sup>レ</sup>輕戰トハ、我が士卒ノ戰ヲ輕

ンジテ、進<sup>レ</sup>ンデ死スルコトヲ榮トシテ、退イテ生キンコトヲ辱トスルハ、大將ノ命令ヲヨク一筋ニ用フレバナリ、大將ノ敵陣ヘカ、レト云ヘバ、水火ノ中ト云ヘドモ、恐<sup>レ</sup>ズ死ラス、メ身ヲ捨ツルナリ、

故將無<sup>レ</sup>還<sup>レ</sup>令。賞罰必<sup>レ</sup>信。如<sup>レ</sup>天如<sup>レ</sup>地。乃<sup>レ</sup>可<sup>レ</sup>使<sup>レ</sup>人。士卒用<sup>レ</sup>命。乃<sup>レ</sup>可<sup>レ</sup>越<sup>レ</sup>境。

故に將令を還すこと勿れ、賞罰必ず信、

罰必ず信、天の如く、地の如く、乃ち人を使ふべし、士卒命を用ひて、乃ち境を越ゆべし、

按ズルニ、使ノ字【講義】ニ御ノ字ニ作ル、蓋シ使ト御ト、其ノ義相通ズ、今暫ク世本ニ從フ●上ノ三句ヲ承ケテ故ニト云フ、言フハ、大將士卒ニ號令ヲ下スナラバ、ヨクソノ號令ヲ出ス、始メテ正シウシテ、一度出シタル令ヲ再ビ變改スルコトナカレ、還ハ變改スルナリ、モシ大將ノ號令、朝ニ替リ、夕ニ變ジテ、一定ノ則ナキトキハ、士卒ノ心ニ迷ヒ出來テ、萬事ノ令ヲ疑フモノナリ、コノ故ニ、令ハ再ビセザルヲ以テ、士卒一定ノ心アツテ死力ヲ出スモノナリ、賞ハ、功アルモノヲ賞祿スルナリ、罰ハ、罪アルモノヲ刑罰スルナリ、有功ヲ賞シ、有罪ヲ罰スルコト、必ズ信ニスベシ、信トハ、至誠至寔一至公ニシテ、毫末モ私ナキヲ云フナリ●ソノ信アルコト、必ズ天ノ春夏秋冬ノ四時、ソノ次第ヲ失ハザルガ如ク、地ノ生長收藏、ソノ時ヲ違ハザルガ如クニスベシ、人ヲ馭スルコト、天ノ如ク、地ノ如クナルユエニ、士卒ヨク大將ノ命ヲ用ヒテ、國ノ境ヲ越エテ戰タク輕ンシ、死ヲカヘリミザルナリ、境ハ我が國ノ境、或ハ他人ノ境ヲ越エテ行キテ、敵ト戰フトモ見ルベシ【大全】ニ云フ、此題重在<sup>レ</sup>信字、上ニ賞以<sup>レ</sup>勸<sup>レ</sup>功、罰以<sup>レ</sup>懲<sup>レ</sup>罪、用<sup>レ</sup>兵未<sup>レ</sup>有<sup>レ</sup>不用<sup>レ</sup>賞罰者、第恐<sup>レ</sup>於<sup>レ</sup>信未<sup>レ</sup>合、則無<sup>レ</sup>有<sup>レ</sup>以<sup>レ</sup>服<sup>レ</sup>人心、故<sup>レ</sup>必<sup>レ</sup>如<sup>レ</sup>天地之信、方可<sup>レ</sup>天地春必<sup>レ</sup>生、秋必<sup>レ</sup>殺、這便<sup>レ</sup>天地之信了、今賞罰正<sup>レ</sup>一如<sup>レ</sup>天地之生殺、便是<sup>レ</sup>信矣、如<sup>レ</sup>字須<sup>レ</sup>要<sup>レ</sup>體貼●信者至誠至寔一至公之總名、天地之所<sup>レ</sup>以<sup>レ</sup>爲<sup>レ</sup>天地者信也、今良將之賞罰、一如<sup>レ</sup>天地之信、士卒自然<sup>レ</sup>用<sup>レ</sup>命【全解】ニ云フ、有<sup>レ</sup>功者賞有<sup>レ</sup>罰者罰此國家大政也、有<sup>レ</sup>功當<sup>レ</sup>賞、我雖<sup>レ</sup>惡<sup>レ</sup>之而必<sup>レ</sup>賞、有<sup>レ</sup>罪當<sup>レ</sup>罰、我雖<sup>レ</sup>愛<sup>レ</sup>之而必<sup>レ</sup>罰、不<sup>レ</sup>吝<sup>レ</sup>賞、不<sup>レ</sup>濫<sup>レ</sup>罰、不<sup>レ</sup>爲<sup>レ</sup>一己之私、而顛<sup>レ</sup>倒賞罰之權、如<sup>レ</sup>天有<sup>レ</sup>四

時、地有三山川、毫無遷轉、乃爲之信、斯可也。賞罰之權也。【彙解】ニ云フ、此章必信二字、一篇之主、惟必信、方是個賞罰、若不必信、則賞罰亦是虛文、何以勸懲士卒用命【開宗】ニ云フ、此ハ主將當ニ號令ト賞罰トヲ嚴ニスベキコトヲ云フト云々、

夫統軍持勢者將也。制勝敗敵者衆也。

夫統軍を統べ勢を持つものは將なり、勝を制し敵を敗るものは衆なり。

按ズルニ【講義】ニ、敗ヲ破ニ作ル、今、世本ニ從フ●三軍ヲ總統シ、軍陣ノ威勢ヲ握リ持ツモノハ大將ナリ、行陣ヲナストキ、部伍ヲ正シクシ、列序ヲ亂サザルハ、コレ軍ヲ統ブルナリ、強弱ノ現ハル、トコロ、衆寡ノ形スルトコロ、虛實ノ示ストコロ、コレ勢ヲ持ツナリ、コノ二ツハ將タル人ノ權ナリ、鋒ヲ折リ、陣ヲ陷レ、力ヲ合セ、列ニ就クハ、コレ勝ヲ制シ、敵ヲ敗ルナリ、コレ衆兵ノナストコロナリ、コレヲ制スル術ハ大將ノ職ナリ、將ニ用ヒラルル衆ナルユエニ、軍ヲ統ブルト云ヒ、勢ヲ持ツト云フ【全解】ニ云フ、將司三軍之職、原與三軍之衆不同、三軍爲所統率、兵爲所持、故曰、統軍持勢者將也、將勇則三軍俱勇、將怯則三軍俱怯、是以國家欲治兵、必先選將、不然何獨以三軍持勢歸之于將、制勝敗敵者衆、承上統軍持勢、固在爲將之得人、而所以應其指揮者、尤在衆人之用力、故曰、制勝敗敵者衆、衆勇然後成一其一人之勇、衆強然後成一其一人之強、故運籌雖在將、而戰勝則在衆也、

故亂將不可使保軍。乖衆不可使伐人。攻城則不可拔。圖邑則不廢。二者無功則士力疲弊。士力疲弊則將孤衆悖。以守則不固。以戰則奔北。是謂老兵。

故に亂將には軍を保たしむべからず、乖衆には人を伐たしむべからず、城を攻むれば拔くべからず、邑を圖れば廢せず、二者功なければ士力疲弊す、士力

疲弊すれば、將孤に衆悖る、以て守れば固からず、以て戰へば奔り北ぐ、これを老兵といふ、

按ズルニ【講義】ニ、不可拔ノ可ノ字ヲ脫ス、今、世本ニ從フ●又悖ノ字、特ニ作ル、コレ亦タ世本ニ從フ●數本ミナ弊ノ字ヲ敵ニ作ル、今【講義】ニ從フ●亂將トハ、軍法ヲ知ラズ、陣列ノ正シカラザル我が軍ヲ我ト亂スノ將ナリ、カクノ如クノ大將、何ゾ軍ヲ統べ、勢ヲ持ツベキヤ、乖衆トハ、大將ノ命ニソムキ、號令ヲ聽カズ、禁法ニソムクノ衆ナリ、何ヲ以テカ、人ヲ伐ツベケンヤ、コノ故ニ、亂將ニハ三軍ヲ保護セシメズ、乖衆ニハ人ヲ伐タシメズト云ヘリ亂將ヲ用イテ見、乖衆ヲ馭シテ見ルニ、城ヲ攻ムレバ、敵ノ城ヲ抜クコト能ハズ、邑ヲ圖ルトキハ、人ノ邑ヲ廢滅スルコトナラズ、二ツノモノニ功ヲ立ツルコトナシ、功ナキノミナラズ、士卒ノ勢力甚ダ疲レ弊ユルナリ、士卒ノ力ハゲムコトナク、勸ムコトナキユエニ、士卒ツカル、ナリ、士卒ノ力ツカレ潰ユルトキハ、大將ハ孤ナリト云フテ、ミナシゴノ如クナルナリ、衆モ悖レリト云フテ、陣列ヲハナレ、隊伍ヲハナレテ、面々各ニナルナリ、コノ故ニ守ルトキハ、固カラザルナリ、士卒ノ力、疲レ折イテ守ルトキニ堅カラズ、敵ト及テ交ヘテ戰フトキハ、奔リ北グ、コレヲ老兵ト云フ、老トハ、疲ルルノ義ナリ、銳氣既ニ衰ヘテ、再び用ヒラレザル事、人既ニ老イテ、身體柔弱ニ元氣衰微ナルガ如シ、乖ハ離ナリ、猶離心離德ノ如シ●勝久考フルニ、亂將乖衆ハ、トモニ愚將暗卒ナリ、謹マサルベケンヤ、兵老則將威不行。將無威則士卒輕刑。士卒輕刑則軍失伍。軍失伍則士卒逃亡。士卒逃亡則敵乘利。敵乘利則軍必喪。

兵老るれば、將威行はれず、將威なければ士卒、刑を輕んず、士卒刑を輕んずれば、軍、伍を失ふ、軍、伍を失へば士卒逃亡す、士卒逃亡すれば、敵利に乗ず、敵、利に乗れば、軍、必ず喪ふ、

兵卒ハ、大將ノ羽翼ナリ、羽翼ツカレ苦ンデ用ヒラレズ、コノ故ニ、大將タルモノ、威ヲ陣頭ニ振ヒ行フコトナラズ士卒疲レ弊ユルニ依ツテ、イカホド下知スト云ヘドモ、耳聞カザルガ如シ、コノ故ニ、威令行ハレザルナリ、威ナキ

トキハ、勢力ヲ勵マスベキヤウナシ、將無威トハ、大將ニ威ガナクシテ、士卒陣中ノ刑法ヲ輕シムルナリ、刑罰ヲ畏レテコソハ、衆軍ヲヨク使ヒコナスベキニ、今刑法ヲ輕シムルナレバ、士卒ノ心、離々別々ニナツテ、伍ノ法モ正シカラズ、ミダラニナツテ、心々ノ陣ヲナシ、行伍ノ法ヲ失フ、コノ故ニ、備モトトノララズ、アトサキニナツテ、亂雜スルナリ、伍ハ五人組ナリ、軍法ニ五人ヲ伍トシ、五伍二十ヲ兩トシ、四兩百ヲ卒トシ、五卒五百ヲ旅トシ、五旅二千五百ヲ師トシ、五師ヲ軍トス、一軍ハ一萬二千五百人ナリ、三軍ハ三萬七千五百人ナリ、五ヲ以テ數トシテ組合セカ、ルモ引クモ相合セテ行列スルナリ、士卒ガ刑法ヲ恐ル、コトナキニヨツテ、組合セタル五々ノ行列ヲモ失ヒテ、士卒逃亡スルナリ、逃レ亡グルトキハ、敵ヨリ其利ニ乗ジテ、來ツテ擊ツナリ、勝ツコトノ利アルヲ決シテ來ル故ニ、軍必ズ喪ルナリ、喪ハ喪敗ナリ【大全】ニ云フ、老之一字、最爲兵家所忌、然人但知師久ニ城下ニ爲老耳、豈知乃在精神不振故、故曰、日將威不行、因之極善形容老字狀、凡爲將者、不可犯之、師老以後、尤能善發喪亡景象、凡爲將者、不可不早爲慮乎【開宗】ニ云フ、此言不可下任亂法之將、以率乖離之衆、兵老之弊深、

軍議曰、良將之統軍也。恕己而治人。推惠施恩。士力日新。戰如風發。攻如河決。故其可望而不可當。可下而不可勝。以身先人。故其兵爲天下雄。

して人を治め、惠を推し、恩を施し、士力日に新に、戰ふこと風の發するが如く、攻むること河の決するが如し、故に其望むべくして當るべからず、下るべくして勝つべからず、身を以て人に先つ、故に其兵、天下の雄たり、

按ズルニ【講義】ニ、惠ノ字、慧ニ作ル、今、世本ニ從フ●前ノ章ニハ、亂軍ノコトヲ云ヒ、コノ章ニハ、良將ノナストコロヲ云フ、凡ソ良將ノ三軍ヲ統領スルハ、ソノ身ヲハカツテ、己ガヨキコトヲ人ニアテガヒ、衆ノアシキコトヲバ捨テ、ナサザルナリ、恕ハ、己ヲ推シテ物ニ及ボスノ義ナリ、己ヲ愛スル心ヲ以テ、衆ヲ愛スル心ナリ、與之安與

之危ト云ノ義ト同ジ、治人トハ、治ハ理治平治ナリ、寒暑勞苦ヲモ衆ト同ジウシテ治ルナリ、惠ハ、恩惠ナリ、メグミヲ推シテ恩ヲホドコサバ、士卒ノ心ハ、日ニ新ナルナリ、恩惠ヲ以テ人ニ及ボスナレバ、衆人ガ其志ヲ感戴シテ、心イツバイヲモイル、モノナリ、然レバ、日々ニ新ナルベシ、新トハ、主將ヲ思ヒイレ功ヲ盡クサント思フ心、日々ニマサリテ勵ム心ナリ【大學】ニ云フ、日新ノ如シ、日々ニ軍功ノ精ヲ磨キ勵マシテ勤ムルノ義ナリ、戰如風發トハ、合戰スルニ迅速ナルヲ云フ、敵ニ息ヲモツカセズ、迅風ノ發揚スルガゴトシ、ソノ勢、震動シテ、當ラレザルヲ云フ、攻如河決トハ、コレ戰ノ猛烈ナルヲ云フ、大河ヲ決スルガ如ク防ギトバムルコトノナラヌニ例ヘテ云フ、我が兵ノ猛烈ナルコト、大河ノ水ヲ決ツテツ、ギ流スガ如クナレバ、イカナル敵モ防ギ止メ難シ、コノ故ニ、可望而不可當、望トハ、我ニ敵センコトノ望ハアリト云ヘドモ、敵當スベカラザルナリ、可下トハ、首ヲサゲ氣ヲ下シテ助ケラレンコトヲ求ムルコトハアリトモ、中々我ニ向ツテ勝ツコトヲ決スルコトハナラズ、何故ニ我方兵、此ノ如クナルゾト云ヘバ、身ヲ以テ人ニ先キタツユエナリ、人ニ先ツトハ、大將ガ先ヅ辛勞ヲシテ、身ヲクダキ、骨ヲ粉ニシテ見スルユエニ、士卒モカクノ如クシテ、將ト士ト一ツニ合スル心ニナルユエニ、ソノ兵、天下ノ雄タリ、雄ト云フハ、獸ノ中ノ雄ト云フ心ニテ物ノカシラナリ、萬人ノ雄ノ義、天下ノ英雄ト云フハ、並ビモナキモノ、コトナリ【大全】ニ云フ、良將恕己而治人、推心之謂恕、恕己治人、乃是聖賢以心推心治心の道理、今治兵亦然、故曰良將此題要見、將士一體意、己指將、人指士、己者是人所聽命之己也、對人方有己、外人固無所謂己也、人者是己所指揮之人也、對己方有人、外己亦無所謂人、己者是指己之心、度人之心、心如其心、而後謂之恕、如己欲飽煖、便知人亦惡飢寒、己欲安佚、便知人亦惡勞苦、己欲生命、便知人亦惡死亡、以恕道自處、而後及千人、不專責備于人、如是則士力日新、而將士但樂爲之用矣●良將以身先人、先字是此題關要、蓋有一身而臨戰、臨攻、處處退縮、只是要人上前、這便不是恕了、所以一先字、正是禮將力將止欲將的道理、重講先字爲是●以身先

人、即恕己也、總是推恩爲要、如吳起與最下者同衣食、穰苴躬親醫藥、韓滉囊米置舟、宋祖馬上負石解喪帽、賜全賦、皆恕己以先人之事。●良將兵爲天下雄、人情莫不惡勞樂佚、亦莫不貴己、況將與士、猶尊卑貴賤之懸等、以身先人、此真可稱將之良、士卒遇此良將、自是同仇敵愾、血刃不事、而望風披靡、故曰天下雄。●此題專重良將二字、將惟其良所以賞罰既信、慈愛又周、以心推心、安得不雄。●上文恕己而治人、以至故其衆可、望一句一結、下云以身先人、故其兵爲天下雄、則此題又當以身先人句作發脈也。●彙解云云、此章恕己二字最重、以身先人、正是恕己實處、不欲勿施、此聖賢治心之學也、故稱良將、躬先倡率、感思圖報、士氣自倍、豈不足稱雄。●開宗云云、此言良將當推己及人、而後兵稱雄於天下。

軍議曰、軍以賞爲表、以罰爲裏、賞罰明則將威行、官人得則士卒服。所任賢則敵國

畏。

訓讀 軍議に曰く、軍は賞を以て表となし、罰を以て裏となし、賞罰明かなれば將威行はれ、官人得れば士卒服し、任ずるところ賢なれば敵國畏る。

按ズルニ「講義」ニ、官ノ字、官ニ作ル、蓋シ官ト宮ト、字相似タリ、蓋シ傳寫ノ誤、從フベカラズ。●又畏ノ字、震ニ作ル、コレ亦タ世本ニ從フ「大全」ニ、任ノ字、伍ノ字ニ作ル、コレ亦タ傳寫必然ノ誤、從フベカラズ。●以賞爲表トハ、賞ハ人々好ミ願フコトナリ、罰ヲ用フルハ、人ノ恐ル、コトニシテ、コレヲ用フルモノモ、己ムコトヲ得ズ、是非ナクシテ、刑罰ヲ行フ、コノ故ニ、賞ヲ以テ表ト爲シ、罰ヲ以テ裏トスルナリ、賞ヲ表ニ立テ、コレヲ衆士ニ顯ハセテ、善事ヲス、ムルナリ、罰ヲ裏ニシテハ、人ヲシテ恥ヲ知ラシメテ、惡ヲ犯サヌヤウニシテ、罰スベキヲ罰シ、ユルスベキヲ恐ブユエニ、罰ヲバ内ニ藏ムルノ義ナリ。●「六韜」ニ、明ニ賞於前、決ニ罰於後ト云フモ、是レ亦タ表裏ノ謂ナリ、賞罰明則將威行トハ、賞スベキモノヲバ惡ムモノト云ヘドモ、法ノ如クニ賞シ、罰スベキモノヲバ、愛スルモノト云ヘドモ、法ノ如クニ罰シテ、毫厘モ賞罰ニ私ナク、嚴明ナルトキハ、衆軍ノ心ハ千差萬別ナレドモ、人トシテ、

罰ヲ畏レ、賞ヲ願ハザルハナシ、コノ二ツ嚴明ナルユヘニ、人ヲ馭スルニ、人必ズ思フヤウニ從フナリ、將ノ下知ヲ分寸モ背クコトナク、從ヒ守ツテ、死ヲ輕ンズルモノハ、コレ將ノ威ノ行ハル、ニアラズヤ、威トハ、人ノ重ンジ恐ルトコロヲ威ト云フ、權威トモ云フナリ、官人得トハ、物ノカシラ物奉行ヲシテ、ヨク其職ヲツトメ成スベキ善キ人ヲ得ルトキハ、ソノ下知ヲウクル士卒、ヨクソノカシラノ裁判ニ服從シテ、進退心ノ如クナルナリ、所任トハ、官職ニ任ジテ、國ノ大事ヲサバカスルヲ云フ、賢智雄才ノ人ニ國政ヲ任ジ、軍務ヲ任用シテ事ヲサバカスレバ、敵國上下ノ人民畏レテ、我方國ヲ何フノ害ナシトナリ。●「大全」ニ云フ、賞罰明則將威行、威者將之要道也、將而無レ威、不但難以制勝、且難以統衆、然其所以行威者、惟在賞罰之明而已、明字要三重講、明即信也。●將威行、不行係于賞罰明不明、可見軍中賞罰一事、爲最行事也、焉可一毫忽略。●所任賢則敵國畏、此題重在任字上、任賢則必舉國聽之矣、敵國安有不畏者乎。●「全解」ニ云フ、賢能制敵之禽、特患我不能任之耳、果能任之、不必修兵于敵國、而敵國自畏之矣。●勝久考フルニ、コノ節ハ賞罰ノ一端ヨリ講ジ起シテ、一步一步ヲ進ムルノ意アリ、之ヲ究ムルニ、賢ニ任ズルコト、又賞罰ノ本原タリ。●「開宗」ニ云フ、此言治軍當明賞罰之先後。

軍議曰、賢者所適其前無敵、故士可下而不可驕、將可樂而不可憂、謀可深而不可疑。

訓讀 軍議に曰く、賢者の適くるところ、その前に敵なし、故に士は下るべくして驕るべからず、將は樂むべくして憂ふべからず、謀は深かるべくして疑ふべからず。

上ノ文段ヲ引ウケテ、又コノ文段ヲ云フ、賢人ノ適クトコロニハ、ソノ前ニ敵スベキ人ナシ、敵スベキモノモ、ミナ降參スルユヘナリ、降參セネバナラヌ様ニスルナリ、故士可下トハ、我方士卒ヲバ抑下スベシ、驕修ナレバ心ノ如ク大將ノ下知ニ從ハズ、驕ルトキハ變生ズルト云フテ、士卒ノ心ガ色々ニ變ジ、我方マ、ヲ云ツテ使ハレザルモノナリ、コノ故ニ、驕ラスベカラズト云ヘリ、將可樂トハ、將タル人ハ樂ムベシ、憂フルコトナカレ、將ノ患アル氣



色アレバ、衆人コトゴトク弱クナルモノナリ、樂ム色アレバ、衆軍モ勇ムモノナリ、謀可レ深トハ、智謀ハ深クスベシ、計策深遠ニシテ、淺陋ナラザルトキハ、祕ニシテ知リガタク、神ニシテ測リガタク、智謀ヲ深密ニシテ、決定シテ疑フベカラズ、疑フトキハ、萬事ノ相談決斷スルコトナシ、決斷ナケレバ、敵ニ勝ツベキ圖ヲハズスコトノミ多シ、亦タ必ズ敵ニハカルル、モノナリ、古シヘ、補正儀、智謀アツテ決斷ナキ者ナリ、コノ故ニ、勝ツニ圖ニ當ル勝ナク、負クルコト多シ、大將タルモノ心得ベキコトナリ【大全】ニ云フ、做此題、當痛發賢者二字、賢者雖無大勇力、而風聲所被、自足以感化天下、一有所往、兵不必血刃、無不拱手降服者、故曰無敵、如樂毅適燕、而齊亡、韓信適漢、而楚屈、是也。一說所適二字、乃是賢者既用之後、奉使以適他國也、所以下文云、其前無敵也、此說更暢【題矩】ニ云フ、謀畧人莫能過、軍威人莫能當、故云無敵也、

士驕則下不順。將憂則內外不相信。謀疑則敵國奮。以此攻伐則致亂。

士驕れば下順はず、將憂ふれば

内外相信せず、謀疑へば敵國奮ふ、此を以て攻伐すれば亂を致す、

上ノ文ヲ反シテ、再釋スルナリ、士卒驕ルトキハ、下タルモノ順ナラズシテ、下ヲ犯スコト多シ、士ノ驕ルニマカセテ、亦タ其下タルモノモ、上ノ命ニ從ハズ逆スルナリ、大將憂フルトキハ、内外トモニ疑フ心出來テ相信セザルナリ、大將ハ士卒ヲ信セズ、士卒ハ大將ヲ信セズ、コノ故ニ、萬事ト、ノフルコトナシ、遂ニ敗亡ニ至ルナリ、謀疑ハ敵、國威ヲ奮ツテ、我ニ勝ツ、以此トハ、上ノ士、驕將憂謀疑、コノ三ツヲ以テ、敵國ヲ攻伐スレバ、亂ヲ致スナリ、主將ノ謀ノ定マラザルヲ云フ●或鈔ニ、奮ノ字ヲ奪ノ字ニ作ルト云ヘリ、從フベカラズ、理ニ於テ甚ダ迂セリ、

夫將者國家之命也。將能制勝則國家安定。

夫れ將は國家の命なり、將能く勝を制すれば、國家安定なり、

按ズルニ【講義】ニ、上ノ家ノ字ヲ脱ス、今、世本ニ從フ●國家ノ命トハ、國家安危ノカ、ルトコロナリ、將一人ノ覺悟ニヨツテ、國ヲ全ウシ、家ヲ治ムル、安危存亡、コレ將ノ身ニアリ、コノ故ニ、國家ノ命ト云ヘリ【六韜】ニ、兵者國ノ大事、存亡之道、命在於將ト云フモ、コノ義ナリ【孫子】ニ、將者國之司命也ト云フモ、亦タコノ義ナリ、將能制勝トハ、上ノ國家ノ命ト云フヲ釋セルナリ、將ヨク敵ニ勝ツコトヲ制シ、暴亂ヲ討伐スレバ、國家安寧ニ安定スルナリ、國家ノ存亡、諸民ノ死生ハ、將ニ係ル、コノ故ニ命ト云フ、命ハ司命星ナリ【孫子】ニ詳ニ記ス【大全】ニ云フ、敵我勝負懸於一將、軍民死生、懸於一將、非國家之司命、而何【全解】ニ云フ、不曰國輔、不曰國幹、而曰國命、可見國之所以爲國、非將不生、非將不存、將即國家之命也●一將字有大小不同、有一軍之將、有一國之將、有一天下之將、此云能制勝則國家安定、這將乃一國之將、天下之將也【大全】ニ云フ、國家安定、全繫於將、能制勝、上則將能制勝一事、豈是尋常小小之事、故才品不可不擇、威權不可不假、任時不可不親、則字最有意味、正見功效之速【彙解】ニ云フ、此章表彰賢士之當重、人君不可輕視將才也【開宗】ニ云フ、此節言賢者有裨益于國家、

軍識曰將能清

將能く清く、

ヨク清クトハ、大將タルモノ、ヨク善ク清キトキハ、下タルモノ、私ヲ以テ犯スコトナラズ、敵、財寶珍器ヲ以テ謀ルコト能ハズ、清トハ、無欲清潔ナル義ナリ●勝久考フルニ、將能清ト云フヨリ下、能制軍權ト云フマデ、コレヲ大將ノ十二能ト云フ、十二ノ能ノ字、甚ダ意味アリ、忽畧ニ見ルベカラズ、而シテ専ラ大將ノ上ヲ云ト云ヘドモ、亦タソノ以下タル者ト云ヘドモ、十二能ヲ守ラズンバアルベカラズ【大全】ニ云フ、清以心之廉言、

能靜。

靜に、

靜トハ、心ヲ動セズ、騷シカラヌナリ、安靜ノ義ナリ、詐ヲ以テ欺クコトナラズ、廉動ナルモノハ感ジヤスシ、安靜

ニシテ、常ニ心定マルモノハ惑シガタシ【大學】ニ、靜ニシテ後ニ慮ルト云フモ、人ノ心安靜ナレバ、事物ノ分別工夫モヨク出ルモノナリトゾ、清ト靜トハ、將ノ心ヲ定メシヅムル方ナリ【大全】ニ云フ、靜以心之鎮定言、

能平。

平に、  
訓讀 能く

平ハ、平直平等ノ義ナリ、ヒイキ、ヘンバノコトナク、心ヲ配ルコト平等ニシテ、表裏ナキユヘニ、士卒自ラ將ノ心ニ服シテ順フモノナリ、モシ將己ガ心ヲ合フテ以テ、ソノ人ノ徳ナキヲ愛シ、心ニ合ハザルヲ以テ、ソノ人ノ徳アルヲ惡ム、コレ平公ノ心ニアラズ【大全】ニ云フ、平以心之公正言、

能整。

整ひ、  
訓讀 能く

整トハ、齊整ノ義ナリ、法度政令ヲヨク整ヒテ、胡亂ナラヌヤウニスベシ、下タル者ヲ率ユルニハ、整ナラザレバ必ズ亂ル、コノ故ニ、嚴整ヲ主トスルナリ、平整ノ二ツハ、法ヲ正シクスルヲ以テ云フ●或ハ大將ノ行儀作法ヲ正シクシテ、カローシカラズ、安リナラズ、威アツテ猛カラズ、恭シクシテ安キヲ云フ【全解】ニ云フ、四者爲將之所重、故論十二能而以爲首、

能受諫。

諫を受け、  
訓讀 能く

トハ、諫ハ臣下ハ云フニ及バズ、ソノ以下ノ至ツテ卑賤ノモノ、異見ナリトモ、ヨク之ヲ聞キ受ケテ、ソノ善惡ヲ批判シテ、用フベキヲ用ヒ、捨ツベキヲ捨ツ、然ルニ、大將タルモノ、始メヨリ人ノ諫ヲ拒ンデ受ケズ、我が心ノ中ニハ、彼ガ云フトコロ善ナリト云ヘドモ、或ハ一たび我が云ヒ出シ、我ノ成シタルヲ諸人ニ惡シク思ハレジト思フテ、ソノ諫ヲ用ヒズ、或ハ卑賤ノ者ノ云フ處、至ツテ善ナリト云ヘドモ、彼ガ智ニハ劣レリト、諸兵ニ下ゲ墨マレンコトヲ耻ヂテ、コレヲ用ヒズ、コレ皆大將ノ度量狭小ニシテ、偏智ノ病ノナストコロナリ、諫ヲ聽キ受ケザルモ

ノハ、智アリト云ヘドモ、必ず過失アリ、大將タル人、ヨク知ルベキコトナリ【彙解】ニ云フ、受諫虛懷、以聽言也

【直解】ニ云フ、受諫則衆善進而無遺謀、

能聽訟。

訟を聞き、  
訓讀 能く

トハ、訴訟或ハ工事ヲ聞クナリ、訴訟スルコトヲ明カニ聽キ分クルトキハ、理ヲ以テ争フモノ、精ヲツクサズ、身ヲ勞セズ、理非分明ニシテ、理アツテ罪ニ沈ムモノナク、罪アリテ幸ヲ受ルモノモナシ、若シ、將、訟ヲ聞クコト明察ナラザレバ、天下ノ理、コトゴトクウヅマル【請義】ニ云フ、聽訟則爭者息ト、【直解】ニ、コノ段ノ解ヲ脱ス、當ニ誤ナルベシ、

能納人。

人を納れ、  
訓讀 能く

人ヲ納ルトハ、衆人ノ材ヲ愛シテ、アマサズ納レ用ユルノ義ナリ、雞鳴狗犬ノ土ト云ヘドモ、必ず用フルコトアリ、楠正成ヨク泣クモノヲ杉本左兵衛ト號ス仕ツテ、戰勝利ヲ得タルガ如シ、人ヲ選ビキラハズ、ソレノ用ユルヲ云フ【直解】ニ云フ、納人則衆賢集而無遺材ト、云云、多ク人ヲ納ルルユヘ、ソノ中ニハ賢哲ノ人モアリ、或ハ匠人モアリ、或ハ幻術ノ人モアリ、或ハ辨口ノ人モアリ、或ハ勇力ノ人モアリ、コレ皆遺材ナキナリ、

能採言。

言を採り、  
訓讀 能く

トハ、ヨク上下ノ人ノ言辭ヲ取ルヲ云フ、人ノ言語ニハ、必ず是非ノ詞アリ、是ナルヲ取ツテ、コレヲ用ヒ、非ナルヲバ敢テ聽カズ、下劣ノ者ノ詞ハ云フニ及バズ、世ノ諺、童子ノ歌謠マデラステズ採リ聞キテ、コレヲ我が用トスルナリ【直解】ニ云フ、是者採而聽之、無稽者不聽也、

能知國俗。

訓讀 能く國俗を知り、

トハ、敵國上下ノ人ノ賢愚ノ風俗ヲ知ツテ、コレヲ詳ニシ、ソノ風俗ニ從ツテ、手當ソナヘノ計策ヲナスベシ、國ノ風俗ヲ知ラザレバ、敵人ノ情ヲ察スベカラズ【直解】ニ云フ、要ニ能知敵國之風俗、敵國風俗、各有レ所尙、知レ其所尙、則隨其俗ニ而爲之備。●勝久按ズルニ、兵法ノ要、只ダ敵國ノ風俗ヲ知ルノミニアラズ、兼ネテ治平ノ時ニ於テ、我が國ノ風俗ハ云フニ及バズ、近國遠境ノ風俗賢言語ノナマリマデヲ知ルベシ、然ラズンバ、俄ニ何ゾ功ヲ得ンヤ、凡ソ本朝ノ將タル者ハ、先ヅ弱年ノ時、六十餘國ノ廣狹ヲ知り、國々ノ山川險難ヲハカリ、國ノ風俗賢愚ヲ知り、一國ノ兵ノ高兵糧ノ出ルツモリ、弓矢ノ取りヤウヲ知ル、コレ大將ノ學ナリ、豈ニ敵國ノ俗ノミナランヤ、以下山川險難ノ二ツモ亦タ同ジ、

能圖山川。

訓讀 能く山川を圖り、

トハ、惣ジテ國國ノ名山川澤ノ形勢ヲ圖ルナリ、山ヲ見テハ、ソノ險難ヲ圖ツテ攻守ノ要ヲ考ヘ、川ヲ見ルトキハ、ソノ水ノ源ヲ知り、淺キ深キヲ測リ、淺瀬深瀬ヲ考ヘ知り、水ノ早キ緩キヲ知り、川ノ廣狹ヲハカリ、攻守ノ要ヲ見、足場ノ善惡ヲハカル、我が國ノ山川猶ホ常ニ之ヲ知ルベシ、

能表險難。

訓讀 能く險難を表し、

ツネニ能ク敵味方ノ險難ノ處ヲ表白スレバ、應變ノ時ニ失ナシ、險トハ、足モタマラヌ様ナル山坂ノケハシキ處ヲ云フ、アソココ、ノ險アルコトヲ能ク知レバ、ソノ害ヲ避クルノミニアラズ、必ズ其險ニヨツテ、勝利ヲ得ルコトアリ●勝久考フルニ、蜀ノ鄧艾ツネニ高山大澤ノ險ヲ知ル、コノ故ニ、陰平ノ勝アリ、本邦ノ義經、兼ネテ一ノ谷ノ險ヲ知ル、ココヲ以テ、十萬ノ兵ヲ一時ニ破ル、豈ニ一朝一夕ノ故ナランヤ、

能制軍權。

訓讀 能く軍權を制す、

三軍ノ成敗ヲナシテ、權柄ヲ敵ニ示シ、下タル士卒ヲ善ク馭シテ、敵ニオチ恐レル、コノ如キヲ大將ト云フナリ、凡ソ十二ノ能ヲヨクシテ、始メテ大將ト云フベシ【大全】ニ云フ、十二能、件件都是爲將要務、而其尤要者、又在三子制軍權ト云云●細玩此軍識一章、如能清能靜等語、雖是言爲將之要道、而實告人君以立將之方也●能受諫、是心之虛、能聽訟、是心之明、能納人、是心之能容、能採言、是心之能擇、能知國俗、是心之名學、能圖山川、是心之多識、能表險難、是心之能處變、能制軍權、是心之能御衆【彙解】ニ云フ、軍權者君所授、而我得爲之制者也、若將不能制、如授鉞之意【開宗】ニ云フ、制馭三軍進退之權、孫武諸將、以智信仁勇嚴、此言十二能、又孫武所未發者、

故曰仁賢之智、聖明之慮、負薪之言、廊廟之語、興衰之事、將所宜聞。

訓讀 故に曰く、仁賢の智、聖明の慮、負薪の言、廊廟の語、興衰の事、將所の宜聞。

の言、廊廟の語、興衰の事は將の宜しく聞くべきところ、  
コノ段ハ、上ノ十二能ヲ承ケテ云フ、言フハ、コノ故ニ、仁人賢者ノ智略、聖人明哲ノ謀慮、負薪トテ薪ヲ負フ山賤ノ詞、廊廟ノ上ニ居スル貴キ公人ノ語、前代ノ天下國家ノ廢レタルヲ興セント、盛ナルト衰ヘタルトノ事迹、コレ等ハ、大將タル人ノヨク聞イテ戒トナスベキコトナリ、コノ故ニ、將所宜聞ト云ヘリ【講義】ニ、仁賢ハ臣ヲ指シテ云フ、聖明ハ君ヲ指シテ云フト解ス、甚ダ附會ノ說ナリ、從フベカラズ●勝久按ズルニ、智ト云ヒ、慮ト云ヒ、語ト云ヒ、皆文ヲ互ヒニスルナリ、興衰ニ事ト云フハ、コレソノ興衰セル事業アレバナリ、

將者能思士如渴則策從焉。

訓讀 將たるもの能く士を思ふ、と渴するが如くなれば策從ふ、

按ズルニ【開宗】ニ、者ノ字、及ビ能ノ字ヲ脱ス、從フベカラズ、今、世本ニ從フ●大將タル者ノ士卒ヲ思フコト、渴シテ水ヲ飲ミタキガ如クスレバ、必ズ良士ガ來ツテ、大將ノ計策モ思フヤウニ服從スルナリ【句解】ニ云フ、思フ士ハ如レ渴者、孜孜汲汲、眞有ニ一刻難キ緩キ之心ト云云●注殿武云、身既爲レ將、其所レ思者、皆禦敵致勝之道、今言思士、則亦尙賢敬士之將也、如渴者、總見ニ眞誠急迫之狀

夫將拒諫則英雄散

夫れ將諫を拒めば英雄散す

コレヨリ以下、士卒濫ト云フマデヲ大將ノ八失ト云フ、將タルモノ、謹ムベキコトナリ●拒諫トハ、衆人ノ異見ヲキ、イレズ、是非善惡、トモニ己ガ智慮ヲ專トスルナリ、將トシテ、諫ヲ防グトキハ、英雄ノ臣下ハ、ミナ離散スルナリ、英雄ハ前ニ云フゴトク千萬人ニスグレタル者ヲ云フ、賢士ノ心ヲ失フユヘニ、智士散ズルナリ、

策不從則謀士叛

策從はざれば謀士叛く

謀士トハ、智謀アツテ、將ノ軍慮ヲ助クルモノナリ、タトヘバ、張良ハ、コレ高祖ノ謀士ナリ、近代本朝ニテ、甲州ノ山本道鬼ガ如キ、コレ信玄ノ謀士ナリ、コノ如ク謀士アツテ、品々ノ計策ヲメグラシ、主ノ軍術ヲ助クルト云ヘドモ、大將、ソノ云フトコロノ如クニ、事ヲナサ、ルトキハ、謀士ノ心ニ恨ミ憤ルモノアリ、我が志ヲ折レテ達セザルガユヘナリ、去ルホドニ、ノチニハ、益ス眼前ノ勝利アリト云ヘドモ、謀士恨ミテ將ノ爲ニ策ヲメグラシテ、コレニ勝タシメズ、楠正成ガ元弘ノ帝ノ愚ヲ知ツテ死セシガ如シ、

善惡同則功臣倦

善惡同じれば功臣倦む

善惡ヲ同ジクスルトキハ、功ヲナシ、忠ヲツクセル臣下、心ニ恨出來テ、功ヲハゲムニ倦メルナリ、善ト惡トハ、極

メテ各別ナルコトナリ、然ルニ、惡逆ノ者ヲモ賞シ祿スルハ、コレ善惡ノ分タザルナリ、倦ハ倦怠ナリ、タユミオコタル義ナリ●勝久按ズルニ、功臣倦ムトキハ、善者ハ日々ニ退キ、不善者ハ益ス進ム、コノ故ニ、輕薄未練ノ士ノミ多クシテ、忠義正直ノ士離散ス、

專己則下歸咎

己を專にすれば下咎を歸す

トハ、大將ノ行ヒタキマ、ニ、何事ヲモ己ガ用ノ如ク專ニシテ、談合モナクシテ、氣儘ニ行フユヘニ、惡シキコトアリテモ、下タルモノハ、咎ヲ主人ニ歸シテヲクナリ、下ヨリ上ヘ歸シテ置クヲ云フ、下タルモノ、身ニ咎アリテモ、主人ノコレクナルユヘニト云フテ、將ノ我儘ヲ振舞フノ過ヲ云フテ、士卒大將ヲ輕ンズルモノナリ、コノ故ニ、將ノ威、輕クナツテ、下知ヲ用ヒズ、

自伐則下少功

自ら伐れば下功少し

大將、自ラ伐ルトハ、功アルコトハ、我が爲スワザバカリナリト、自己ヲ慢ジテ、ソノ善ニ伐ルユヘニ、下タルモノハ、向後ノ用ニタズ、功ヲ施ス志ヲハゲマズ【論語】ニ、願クバ善ニ伐ルコト勿レト、顔子ガ云フモ、コノ意ナリ、己ガ善ニ誇ルユヘニ、諸兵ハ氣ヲクサラカスナリ、コレ大將ノ職ニアラズ、コノ故ニ、下功少シト云フ、

信讒則衆離心

讒を信すれば衆心を離る

トハ、人ノ讒言スルヲ寔ト心得ル人ナレバ、如何ヤウノ事ヲカ聞キ入レラレテ、善モ惡トナラント思フユヘニ、專ニ眞寔ノ忠ヲ盡クサヌナリ、主人ト心ヲ一和セヌトコロアリ、故ニ衆心ヲ離ルト云フ、心ニ油斷ナク氣遣ヒスルユヘニ心ヲ離ルト云フナリ●勝久按ズルニ、大將タル人、讒ヲ信ズルトキハ、智アル人、必ズソノ下ニ居ラズ、是レ一ツ、

必ず讒ヲ信ズレバ、忠功アル者ヲ徒ニ殺ス、コレ二ツ、讒言ヲ專ト信ズレバ、必ず金言止ム、コレ三ツ、讒言ツノル  
トキハ、讒者必ズソノ國ヲ奪ヒ、ソノ家ヲ亡ス、コレ四ツ、讒言ヲ信ズレバ、敵必ズ讒ニ依ツテ、方便ヲメグラシ、  
其國ヲ計ル、コレ五ツ、ソノ外、品々ノ惡事生ズ、大將タル者、謹マザルベケンヤ、

貪財則姦不<sub>レ</sub>禁。

財を貪れば姦禁せず。

財ヲ貪ルトハ、財寶ヲホシガル心アリテ貪欲ナレバ、大將カラムサボルユヘニ、下タル者ヲ律ニシテ、ヨク法度スル  
コトナラズ、コノ故ニ、奸不<sub>レ</sub>禁ト云ヘリ、奸ハカタマシキニテヌスミナリ、將タル人、貪ルナレバ、下ニハ惡逆ハ禁  
ジガタシ●勝久按ズルニ、大將タル者、貪欲深クシテ、財貨ヲムサボルトキハ、必ず敵ニハカラル、モノナリ、上ノ  
行フトコロ下モナスワザナレバ、必ず奉行役人、主ノ財貨ヲ奪ツテ貪欲ナル者多シ、只大將ハ無欲ニシテ、國モ治マ  
リ家モ齊フベシ、ムサボル心深キ者ハ、大人ハ國ヲ亡シ、小人ハ家ヲ失フ、謹マザルベケンヤ、

内顧則士卒淫。

内に顧れば士卒淫。

内ニ顧ル、内トハ如色淫亂ノ義ナリ、將タル人、女色ヲ好メバ、士卒ハモトヨリ好ムコトナレバ、皆聲色ニヲボル、  
ナリ、コノ故ニ、士卒淫スト云ヘリ、飲食男女ハ、人ノ大欲存ストアレバ、大將タル人、謹マザルベケンヤ、コノ八  
ヶ條ノチモムキハ、ミナ將タル人ノ過ナリ、次上ノ文段ニ反シテ云ヘリ●勝久考フルニ、古シヘ、楠正成、三個國ノ  
太守トシテ、妻一人ノ外ヲ愛セズ、コレ良將ノナストコロナリ、義經ノオアル、義貞ノ寛勇ナル、皆淫亂ヨリシテ、  
軍利アラザルノミニ非ズ、身死シ國亡フ、

將有一則衆不服。有二則軍無式。有三則下奔北。有四則禍及國。

將一あれば衆服せず、二あれば軍に式

なし、三あれば、下奔り北ぐ、四あれば禍國に及ぶ、

コノ段ハ、上ノ八失ヲ結ンデ、ソノ禍ノカ、ルトコロノ深淺ヲ云ヘリ、八事ノ内、一事大將ノ身ニアルトキハ、衆人  
大將ニ服從セズ、人ノ心ヲ壓スコトナケレバナリ、二事アルトキハ、軍陣ノ法度號令ミダレテ、士卒心ヲハナル、三  
事アルトキハ、下々ノ至ツテ賤シキ者マデモ奔り北グ、四事アルトキハ、兵陣忽チ破レテ、禍、國家ニ及ブ、將タル  
モノ、八失ヲ謹マザランヤ【直解】ニ云フ、若八事俱全則身死家殘、國亦破滅、其任<sub>レ</sub>將者、可不<sub>レ</sub>慎歟【講義】ニ云フ、有<sub>レ</sub>  
一則無<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>壓<sub>レ</sub>人心、故衆不<sub>レ</sub>服、有二則無<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>爲<sub>レ</sub>下法、故軍無<sub>レ</sub>式、有三則人不<sub>レ</sub>爲<sub>レ</sub>用、故下奔北、有四則兵必敗、故禍  
及<sub>レ</sub>國【題矩】ニ云フ、拒<sub>レ</sub>諫以下八件事、件件都與<sub>レ</sub>上文相反、有<sub>レ</sub>一尙且不<sub>レ</sub>服、況有<sub>レ</sub>二、有<sub>レ</sub>三有<sub>レ</sub>四乎【開宗】ニ云フ、此  
言<sub>レ</sub>主將當<sub>レ</sub>虛<sub>レ</sub>心探訪、以<sub>レ</sub>收<sub>レ</sub>國策之用、而并<sub>レ</sub>及<sub>レ</sub>不能<sub>レ</sub>清靜<sub>レ</sub>之害、

軍議曰。將謀欲<sub>レ</sub>密。士衆欲<sub>レ</sub>一。攻敵欲<sub>レ</sub>疾。將謀密則好心閉。士衆一則軍心結。攻敵疾  
則備不<sub>レ</sub>及。設軍有此三者。則計不<sub>レ</sub>奪。

軍心結ぶ、敵を攻むること疾ければ備設くるに及ばず、軍にこの三者あれば、計奪はれず、

大將ノ智謀計策ハ、ナルホド隱密ニシテ、味方ト云ヘドモ、妄リニ知ラザルヤウニスベシ、コレ肝要ナリ、古シヘ、  
織田信長、武田勝頼ガ陣城鷲巢山ヲ攻メント欲ス、時ニ、酒井忠次、諸將ノ中ニ於テ、鷲巢山ヲ攻メテ勝ツベキノ謀  
ヲ云フ、信長大ニ怒ツテ、忠次ヲ叱シテ去ラシム、直ニ其夜、俄ニ忠次ヲ大將トシテ鷲巢山ヲ攻ム、果シテ勝利ヲ得  
タリ、信長、コレヲ知ラザルニアラズ、コレヲ知ルコト忠次ニ越エタリ、コノ故ニ、忠次ヲ怒ル、コレ謀ヲ密スルコ  
ト、味方ト云ヘドモ、コノ如シ、蓋シ亦タ善シト見テソシルノ一計策ナリ 鷲巢山合戦ノコトハ、三河風土  
記織田軍記三陽實錄等ニ詳ナリ士衆ノ心ハ、齊  
一ニシテ氣ヲ散ゼズ、勢ヲモラサヌヤウニセンコトヲ欲スベシ、敵ヲ攻ムルコトハ、疾速ニシテ、スキマヲアラセズ

勢ノ勇銳ナランコトヲ欲ス、コノ三ツヲ次第スルニ、先ヅ大將ノ謀ヲ秘密ニシテ、敵ニ勝ツコトヲ決シ、サテ衆士衆軍ノ齊シク一ナルトコロヲ能ク極メ得テ、サテ、戰ヲ出シテ攻メ討ツトキハ、疾速ニシテ、攻メ取ルベキナリ、將ノ謀密ニシテ祕ナルトキハ、奸邪ノ者モ、我が軍ヲウカバフコトナラズ、間諜ノ者モ、閉チフサガル、ヤウニ、我ヲ犯シ窺フコトナラズ、我ヲ料リ量ツテコソ、奸心モ犯スベキニ、密ナルヲバ、何トシテコレヲ伺フベキヤ、士衆一トハ、齊一ナレバ人心散ゼザルユヘニ、三軍カタク結ブ、結ブトハ、什伍ノ部隊、思ヒ合フテ、合離トモニ、等シク心ヲ合セテスルヲ云フ、前後相助ケ、左右相救フナリ、攻敵トハ、疾ク速ニ敵ヲセムレバ、敵ノ備モシカク、備ハザルトコロヲ討ツ、コノ故ニ、疾速ナレバ、敵アハテ、備ヲ設ケテ拒グコトナラズ、故ニ備不<sub>レ</sub>及<sub>レ</sub>設ト云ヘリ、コノ三ツノモノ、全ク我が軍ニアレバ、敵人ノタメニ我が計ヲ奪ハレザルナリ【全解】ニ云フ、三者謀密也、心一也、攻疾也、謀密則情不<sub>レ</sub>外洩、奸詭無<sub>レ</sub>自而生、心一則衆志成<sub>レ</sub>城、什伍共相保護、攻疾則備不<sub>レ</sub>及<sub>レ</sub>設、進攻出人意表、誠于<sub>レ</sub>此三者而有<sub>レ</sub>之、止有<sub>レ</sub>我奪<sub>レ</sub>人之計、而人自不能<sub>レ</sub>奪<sub>レ</sub>我矣、●有<sub>レ</sub>此三者、是總承之詞、見得缺<sub>レ</sub>一不可<sub>レ</sub>的、

將謀泄則軍無<sub>レ</sub>勢。外闕内則禍不<sub>レ</sub>制。財入<sub>レ</sub>營則衆奸會。將有<sub>レ</sub>此三者軍必敗。

將の謀泄る

れば、軍は勢なし、外、内を闕へば、禍制せられず、財營に入れば、衆奸會まる、將、この三者あれば、軍必ず敗る、

大將ノ謀、妄リニシテ、諸人コレヲ知リ、イマダ其謀ヲ爲サザルニ、敵モ亦タ之ヲ知ル、コノ如ク外へ泄ル、トキハ、軍權心ノ如クニ用ヒガタシ、コノ故ニ、軍ニ勢ナシト云フ、外ヨリ内ヲ窺フトキハ、我ヲハカルコトアリテ、禍出來ル、其ノ禍、制スベカラズ、外ハ敵ナリ、敵人ヨリ、我が内證ヲヨク見スカシテ、ハカリ料ルユヘナリ、財寶珍器我が軍營ニ入レバ、奸人多ク陣中エアツマル、大將怒<sub>レ</sub>フカク、財ニフケルユヘニ、姦人聚會シテ、益ス邪欲ヲス、ム、大將ニコノ三ツノモノアレバ、軍必ず敗亡スルナリ【武經佐議】ニ云フ、謀密則計不<sub>レ</sub>泄、路一人不<sub>レ</sub>得<sub>レ</sub>乘<sub>レ</sub>機而奪<sub>レ</sub>之、

之、衆一則計出<sub>レ</sub>同心、人不得<sub>レ</sub>窺<sub>レ</sub>暇而奪<sub>レ</sub>之、攻疾則計不及<sub>レ</sub>拒、人不得<sub>レ</sub>預備而奪<sub>レ</sub>之、我有<sub>レ</sub>此三事、則我凡所<sub>レ</sub>爲<sub>レ</sub>計、俱不<sub>レ</sub>可<sub>レ</sub>奪<sub>レ</sub>矣【大全】ニ云フ、將家最忌<sub>レ</sub>貪財、故七書中、往往以此爲<sub>レ</sub>戒【寔解】ニ云フ、此章此舉<sub>レ</sub>兵之大端、爲<sub>レ</sub>言重ニ密一疾三字、一得一失利害截然、以示<sub>レ</sub>人、當<sub>レ</sub>知所<sub>レ</sub>從事也【開宗】ニ云フ、此言<sub>レ</sub>主將、當<sub>レ</sub>有<sub>レ</sub>不<sub>レ</sub>可<sub>レ</sub>奪<sub>レ</sub>之計、否則敗ト云云、

將無<sub>レ</sub>慮則謀士去。將無<sub>レ</sub>勇則士卒恐。將妄動則軍不<sub>レ</sub>重。將遷<sub>レ</sub>怒則一軍懼。

將慮な

り、將、勇なければ、士卒恐れ、將、妄りに動けば軍重からず、將、怒を遷せば一軍懼る、

按ズルニ【講義】ニ、士卒ノ二字ヲ吏士ニ作ル、コノ義モ亦タ面白シ、今暫ク世本ニ從フ【大全】ニ、妄ノ字、忘ニ作ル從フベカラズ●又妄動則軍不<sub>レ</sub>重、軍ノ字ヲ脱ス、從フベカラズ●智者ハ、闇主ノタメニ計ラズト云フテ、大將ニ智慮ナケレバ、謀士ノ云フコトヲ合點セザルユヘニ、ソノ士、ソノ將ノ下ニ居ラズ、我が智謀ヲ信仰シ、用ヒラレテ志ヲ達シ名ヲ高クスルコトナラヌホドニ去ルナリ、將無<sub>レ</sub>勇トハ、我が大將、勇猛ニシテ、敵ノ堅陣ト云ヘドモ、勝ツベキニ當ツテハ、士卒ニ先ツテ乘リ、破ルベキ氣勢ナク、柔弱ナルトキハ、味方ノ士卒、敵ヲ恐れ、コト甚シ、我が兵、敵ヲ恐れレバ、必ズ戰ヒ利ヲ得ルコトナシ、將妄動トハ、大將タルモノ、虛寔強弱ヲモ辨ゼズ、妄リニ舉動スレバ、軍ヲモカラズ、重カラザレバ、號令下知<sub>レ</sub>モ行ハレズ、利ニ合ウテ動クト孫子モ云ヘリ、將ノ妄リニ動クハ、敵ニハカルルノ端ナリ、將遷<sub>レ</sub>怒トハ、我が怒ノ起ルトキハ、罪ナク答ナキモノヲモ、詞ヲアラ、ゲ、眼ヲ見出シ、雜言惡口スルヲ云フ、コレ怒ルベキヲ怒ルニアラズ、コノ故ニ、一軍ノ士皆懼ル、答ナキニモ怒ヲウツスナレバ、何事ニカアハント心ニアヤブミ恐れ、ナリ、凡ソ七情【喜怒哀樂】中ニテハ、己ヲ破リ、人ヲ損ジ、國ヲ亂スハ怒ナリ、コノ故ニ、孫子ニモ、將ハ怒ヲ以テ師ヲ起スベカラズト云ヘリ【寔解】ニ云フ、慮不<sub>レ</sub>是<sub>レ</sub>畏<sub>レ</sub>慮之慮、乃事必參<sub>レ</sub>謀、而後行也、勇不<sub>レ</sub>是<sub>レ</sub>血

氣之勇、乃機必奮發而不洩也、且勇因慮生、而勇爲大勇、慮以勇決、而慮爲美慮、豈不爲將之所重乎【大全】ニ云フ  
將爲三軍司命、非慮不能以定謀、非勇不能以決機、王漢若云、慮與勇、絶不可無、怒與動、萬不可苟、爲  
將者、誠以此爲統々、則有慮有勇、鎮靜和平、而制勝不難矣、

軍讖曰。慮也勇也。將之所重。動也怒也。將之所用。此四者將之明誠也。

軍讖に曰く  
慮や勇や、將の重

んするところ、動や怒や將の用ふるところ、この四者は將の明誠なり、

軍讖ヲ引イテ、上ニ云フ四ツノモノヲ斷ハルナリ、智慮勇銳ノ二ツハ、大將ノ身ニ兼備セズンバアルベカラザルモノ  
ナリ、コノ故ニ、將ノ重ズルトコロト云ヘリ、動クト怒ルトハ、戰ノ上ニ於テ無クンバアルベカラズ、利ニ合ウテ  
勇ハ動キ、怒ルベキニアタツテ怒ル、然ラザレバ、敵ニ勝ツコト難シ、コノ故ニ、將ノ用ユルトコロト云ヘリ、慮勇  
動怒ノ四ツノモノハ、將トシテ忽ニセザルトコロナリ、故ニ誠ノ字ヲ以テ、コレヲ斷ワレリ、勝久考フルニ、重用ノ  
二字、意味アリ、重ハ將タルノ職、片時モナクンバアルベカラズ、コノ故ニ、慮勇ニハ重ノ字ヲ以テス、甚ダ重ンジ  
保ツベキノ意ナリ、用ハ時ニアタツテ施スベキニ施シ、施スマジキニ施サズ、將ノ一心ハ事物ノ來ル處ノ上ニ在リ、  
コノ故ニ、用ノ字ヲ以テコトハル、必ズ動クベキニ動キ、怒ルベキニ怒ツテ、理ニ當ツテ動怒ノ二ツヲ用フルノ意ナ  
リ、只ダ徒ニ用ユルノ義ニアラズ、重用ノ二字、眼ヲ著ケテ見ルベシ、甚ダ工夫アリ【大全】ニ云フ、誠即戒也、從言  
乃爲箴爲銘、爲書文以誡之也【開宗】ニ云フ、此節言慮勇動怒爲主將之明誠、不可不知之意、

軍讖曰。軍無財。士不來。軍無賞。士不往。

軍讖に曰く、軍に財なければ  
士來らず、軍に賞なければ士往かず、

按ズルニ【講義】ニ、軍讖ノ字ノ上ニ又軍ノ字アリ、蓋シ傳寫ノ誤ノミ、師ヲ起スコト十萬ナレバ、日ニ千金ヲ費スト

云ヘリ、然レバ、軍陣ニハ財ナケレバ、軍士ヲ招クコトモナラズ、コノ故ニ、軍士モ來ラズ、軍無賞トハ、士卒ヲ賞  
スルコトナケレバ士往カズ、往トハ、大將ノ心ノ如ク士卒ノ往來セヌ義ナリ、古シヘヨリ、軍ヲ起スニハ、貨財資糧  
器械ノ三ツ不足ニシテハ、必ズ勝利ヲ得ガタシ【直解】ニ云フ、上言財入營則衆好會、乃爲將貪求私取之財也、此言  
軍無財士不來、乃爲國積聚公用之財也【大全】ニ云フ、上言財入營則衆好會、是不重財之意、今又言軍無財士  
不來、是不可無財之意、不似自相矛盾乎、

軍讖曰。香餌之下必有死魚。重賞之下必有勇夫。

軍讖に曰く、香餌の下には必ず死  
魚あり、重賞の下には必ず勇夫あり、

按ズルニ【講義】ニ、死魚ヲ懸魚ニ作り、勇夫ヲ死夫ニ作ル、今、數本ノ多説ニ從フ、言フハ、釣ヲスルニ魚ノ鈎ニ懸  
ルハ、餌ノ香シキヲ食ハンタメニ、一命ノスタルトコロヲ忘レテ、コシラヘラル、ナリ、士タルモノ、戰場ニテ一命  
ヲ輕ンジテ、屍ヲ敵陣ニサラスハ、恩賞ノ重キニ役セラル、ナリ、重賞ノ下ニ勇夫アリト云ハンタメニ、香餌ノ下ノ  
死魚ヲ云ヒ出セリ、下ノ句ニ詳ナリ、

故禮者士之所歸。賞者士之所死。招其所歸。示其所死。則所求者至。

故に禮は士  
の歸するところ、

賞は士の死するところ、その歸するところを招き、その死するところを示せば、求むるところのものに至る、

禮ヲ以テ人ヲ招カントスレバ、人必ズ歸服シテ招クニ應ジテ來ルナリ、恩賞ヲ厚クスレバ、士卒必ズ死ヲ輕ンズルナ  
リ、死スルヲ知ツテ恩ノ重キヲ報ゼンタメナリ、コノ故ニ、賞ハ士ノ死スルトコロト云ヘリ、人ヲ敬スル者ハ、人常  
ニコレテ敬スト云ヘリ、禮ヲ以テ人ヲ待スルユヘニ、死ヲ以テ功ヲツクスナリ、招其所歸トハ、我が禮ヲ以テ招ク  
ニ、ソレニ從ツテ來ラントスルモノヲ招クナリ、示其所死トハ、賞ヲ厚クシテ、コレニ報ズルコトヲナス、死スル

コトヲ知ツテ、其ノ賞ニ死スルヲ云フ、コノ如クシテ、人ヲ招キ、人ヲ來ストキハ、求ムルトコロノモノ至リ服セズト云フコトナシ【大全】ニ云フ、此題禮字固重、士字亦不輕、從來大聖大賢、未レ有下不待以禮者也、士既以禮自待、必不以下非禮、自處上不以禮而欲士之歸、是已失乎士所自待之心、孰肯傾心爲我歸乎【指歸】ニ云フ、天下有道義者謂之士、不可下以法術、來不可下以小惠、致必過慮、已禮賢之主、而後感發興起、志同道合、始可言歸、這歸字不徒言身歸、是心歸也、

故禮而後悔者士不止。賞而後悔者士不使。禮賞不倦則士爭死。

故に禮して後に悔ゆるものは、士止まらず、賞

して後に悔ゆるものは、士使はず、禮賞倦まざれば、士、死を争ふ、

禮ヲ以テ人ヲ待スレドモ、後悔シテセマジキモノヲト思フハ、禮ヲ盡スニテハナシ、コノ故ニ士止ヌラズシテ去ルナリ、賞シテモ後ニ悔イテ、カホドニハスマジキモノヲト思フハ、コレ吝嗇ナルユヘニ、士意ツテ死力ヲ出サズ、コノ故ニ不使ト云ヘリ、禮賞不倦トハ、禮モ賞モヲコタラズ悔ユルコトナクセバ、大將ノ心ヲ感じ、恩ヲ報ゼント思ツテ、戦フトキハ、死力ヲ争ウテ働クモノナリ【寔解】ニ云フ、此章見人主當以禮招來天下之士、惟士能辨天下事、亦惟士能死天下事、而非禮不足致之、賞亦禮中事也、求士必以禮爲重【大全】ニ云フ、禮賞之後、必不可無此不倦説話、正是王者禮賞之純處、開宗【二】云フ、此言主將當審士之所歸、而得其所死也、

軍議曰興師之國務先隆恩。攻取之國務先養民。以寡勝衆者恩也。以弱勝强者民也。

軍議に曰く、師を興すの國は務めて先づ恩を隆にす、攻め取るの國は、務めて先づ民を養ふ、寡を以て衆に勝つものは恩あり、弱を以て強に勝つものは民なり、

興師之國ハ、コレ兵ヲ舉グルトコロノ國ナリ、攻取之國ハ、コレ兵ニ我ガ切り取ルトコロノ國ナリ、言フハ、師ヲ興サン

トスル國ハ、必ず務メテ先づ恩ヲ厚ク隆ニシテ、士卒萬民ノ尊シト思フヤウニスルヲ先務トスルナリ、恩トハ、恩賜賞祿ニカギラズ、萬卒ノ心ニ悅ブヤウニ事ヲナスナリ、攻取ノ國ハ、民ヲ撫育シテ、敵國ノ民ヲ我ニ親シムヤウニスルナリ、凡ソ我ガ寡少ノ兵ヲ以テ、敵ノ衆多ナル兵ニ勝ツモノハ、常ニ能ク我ガ士卒ヲ養ヒ、恩ヲ厚クシテ、大將ノタメニ、水火ノ中ト云ヘドモ、死ヲ惜マザルヤウニス、コノユヘニ、衆ト云ヘドモ、寡ニ負ク、我ガ弱キヲ以テ、敵ノツヨキニ勝ツモノハ、民ヲ養フテ民ノ助ヲ得ルユヘナリ【大全】ニ云フ、興師之國、務先隆恩、隆恩何、獨興師之國、即不興師、又豈不宜隆恩、所以妙在務先二字、蓋謂不興師、恩宜隆固矣、然禮樂政刑農桑課督、何事不宜務、則恩亦諸事中之一務、非所先也、今既欲興師、勢必役民、民不役不從、不感不死、惟恩足以樂之、感之、如何不務先觀、務先二字、正是養於平日、用於一旦、意重在得士心上【全解】ニ云フ、民者國之本、即不攻取、何可不養、育之、然在攻取之國、尤宜務先養之也、故必先爲養育、有以固結其心、而後用以蹈危亡、臨忠難、無不濟事者矣【大全】ニ又云フ、三略中無一句、不正是經語、而此興師之國數句、尤是經中之經、不可忽過、

故良將之養士。不易於身。故能使三軍如一心。則其勝可全。

故に良將の士を養ふこと身に易はず、故に能く三軍を使

ふこと、一心の如くすれば、その勝、全かるべし、

上ノ文段ヲ以テ、コレヲ承ケテ言フ、良將ノ士ヲ養フコトハ、自身ニ易ヘス、我ガ身ヲ養フ如クニシテ、始モ終モ同ジヤウニシテ、改易スルコトナシ、カクノ如クナルユヘニ、士卒必ズ感激シテ、奮ツテ功アランコトヲ思フナリ、コノ故ニ、三軍トイエドモ一心ニ同ジクスルナリ、三軍ノ士、大將ト心ヲ一ツニセバ、全ク勝ツコト知ンヌベシ●勝久云フ、三軍ノ士卒ノ心、大將ト同ジキ、コレヲ當流ノ兵法ニ、異體同心ノ兵ト云フ、吳子ガ所謂父子ノ兵ト云フモノ是レナリ、大將タル者、知ツテ是ノ如クセズンバアルベカラズ【大全】ニ云フ、以レ士視レ士、則士之勞佚飢飽、恆不相關、以レ



身視士、則士之勞佚飢飽、恒聯一體、是以分甘共苦、暑不張蓋、寒不重衣、險必下步、軍井成而後飲、軍食熟而後飲、軍壘成而後舍、以養身之養、養之也。此正是與三軍一心、實際工夫【指歸】ニ云フ、三軍之心不一、惟良將養之、不易其身、而三軍皆戴其恩、故任其所使、就如一心的、一般、要非良將養之、何以至此、使字宜玩【全解】ニ云フ、良將使三軍、如一心、ト云フ、最難一者三軍之心、良將何法、使之如一哉、非有威術以臨之也、要不過養士、不易其身、而三軍皆戴其恩、故任其所使也、就如一心的、一般、以一心而應敵、何勁敵之不克耶【開宗】ニ云フ、此言良將以身視士、故收全勝、

軍議曰。用兵之要。必先察敵情。

軍議に曰く、兵を用ふるの要は、必ず先づ敵情を察す、

兵ヲ用ユルノ肝要トスルトコロハ、必ず先づ敵ノ情ヲ明カニ察スルナリ、察ハ明察ノ義ニテ、毛ノサキ程モ違ハヌヤウニ知ルヲ云フ、手ノ裏ヲ返ス如ク、明カニ知ルナリ、必先ノ二字、重ク見ルベシ、察ノ字、亦タ輕カラズ、眼ヲ着クベシ、コレヨリ以下、視其倉庫ト云フヨリ、伺其空隙ト云フマデ、コレヲ五事ト云フ、孫子ノ五事ト經變ノ違アリ、孫子ハ度ヲ云フ、三略ニ云フトコロハ變格ナリ【傳】【大全】ニ云フ、敵情即下文五事、敵情先察、便可因敵取勝、而五事之中、尤在下伺其空隙、上爲其妙訣、故下文十引不用賢之禍、處、皆是敵人空隙、不可不察者也【佐議】ニ云フ、用兵必使敵情、燎然干月中、然後可因、所謂必先察者、蓋言察得敵情、便可因敵取勝、否則徒察何益【題】【題】ニ云フ、必先二字、本要字、生來【指歸】ニ云フ、用兵必使敵情、預察于機先、然後能臨事而神、致勝之用也、倘不察之、將何以爲、應敵之具乎、按ズルニ、要ノ字、及ビ必先ノ二字、妙ナリ、工夫スベシ、

視其倉庫。度其糧食。卜其強弱。察其天地。伺其空隙。

その倉庫を視、その糧食を度り、その強弱を卜ひ、その天地を察し、その空隙

を窺ふ、

倉庫ハ、二字トモニ、クラト訓ズ、視トハ、ソノ敵國ノ倉庫ノ財用ノ有無、不足ヲハカリ視ルナリ、或ハ武具馬具、スベテ軍用ノ器械、イヅレカ滿チ、イヅレカ不足ナルゾト云フヲ視ルナリ、度其糧食トハ、糧食ハ軍中ニ人馬ノ食物ナリ、コノ兵糧ハ、人馬トモニ澤山ナルカ、不足ナルカ、或ハ何年何百日ノ糧ヲ畜ヘタルゾ、コノ城、コノ岩ニハ、何程ノ糧アルゾト云フコトヲ度リ知ルベシ、卜其強弱トハ、敵ノ形勢ノ強キ弱キナリ、兵將トモニ同ジ、或ハ誰カ備ハ強ク、誰カ備ハ弱キト云フコトマデヲトヒ知ルベシ、トハ、コレヲ筮シテ知ルニアラス、心ニ考ヘトフヲ云フナリ、察其天地トハ、天ノ時ト地ノ利ナリ、コノ利ヲ得タルカ得ザルカト云フヲ察知スルナリ、天ハ孤虛旺相ノタダヒ、時日十干十二支星辰曆數ノ吉凶善惡ナリ、地ハ廣狹險阻川澤スベテ要害ノ地ナリ【全解】ニ云フ、此天地單在敵人邊、講、察其天時之凶徵已著、地利之逆形已昭、然後乘機以征伐之、則用力劣而成功倍、一説言、兵未易用、必上察乎天官時日、下察乎山川險阻、然後以之用兵、斯稱善用兵者矣、勝久按ズルニ、如此解則自己用兵之説、似與上察敵情不相合、以前説確、順乎天地者勝、逆乎天地者敗、故欲知敵之勝敗、必先察敵之于天地、爲何如也、伺其空隙トハ、敵ノ油斷スルトコロノスキマアリヤナキヤヲ伺フナリ、ソノ空隙ヲ知ルトキハ、ソレニヨツテ、敵ヲ討ツノ術アリ、古シヘ、元弘年中ニ、陶山備中守ガ笠置ノ城ヲ攻メ落シタルガ如キ、コレ空隙ヲ伺ツテ討ツノ術ナリ【正義】ニ云フ、空隙不止一端、如下文國虛盜端亂源根國奸等情、皆空隙之處、故兵要在干伺其、有一空隙之處、然後舉兵往征討之、則師出有名、且易于獲捷也【全解】ニ云フ、視其倉庫五句、孫子七計中容有、未及者、而伺其空隙一句、尤爲妙法、故下十二章亟爲敷演之、蓋有由淺入深、由粗入細、由顯入微之別、勝久按ズルニ、五ツノ其ノ字、皆敵人ヲ指シテ云フナリ、

故國無軍旅之難而運糧者虛也。民菜色者窮也。千里饋糧士有飢色。樵蘇後爨師不宿飽。

國故に國に軍旅の難なくして、糧を運ぶものは虚なり、民に菜色あるは窮するなり、千里糧を饋ふ、士に飢えたる色あり、樵蘇して後に爨く、師、宿飽せず。

按ズルニ【講義】ニ、土有飢色ヲ民有飢色ニ作ル、今、世本ニ從フ●軍トハ一萬二千五百人ナリ、旅ハ五百人ナリコ、ニテハ、タゞ軍アルノコト、見ルベシ、兵ノ多少ヲ云フニアラズ、國ハ敵ノ國ナリ、軍ノ事モナキニ、兵糧ヲ他國ヨリ運ブハ其ノ國ノ虚ナリト知ルベシ、コレ國ニ糧ナキガユヘナリ、民菜色トハ、民百姓ノ面ノ色、菜ノ葉ナドノ如クナルハ、食物ナクシテ、飢エタル色ナリ、國ノ貧シキト云フコトヲ知ルベシ、窮ハ貧窮ナリ、窮ノ字ハ、穴ニ從ヒ、身ト弓トニ從ツテ作ル、人ノ難義ニ及ブコト、タトヘバ、穴ニ居テ、ソノ口ニ弓ヲ以テ射ントセラル、ガ如シ、後ヘモ前ヘモカナハヌヲ窮スト云フナリ、大體ノコトニアラズ、早水損モナキニ、民ノ菜色アルハ、窮マツテ貧ナリト知ルベシ、千里饋糧トハ、千里ノ外ヘ糧ヲ運ブトキハ、民ガ農耕ヲ勤ムベキヤウナシ、コノ故ニ、民ニ飢エタル色アルナリ、コレハ軍ヲ起ス時ニ轉輸スルナリ、千里トハ、道ノ遠キヲ云ハントメナリ、遠ク敵地ノ味方ノ陣ニ送リ運ブナレバ、國民貧シクシテ飢エルト知ルベシ、樵蘇後爨トハ、薪ヲトルモノヲ樵ト云ヒ、草ヲ刈ルモノヲ蘇ト云フ、芝ヲトリ薪ヲコリテ、軍中ニ役ラスルモノハ、諸軍ノ後ニ食フ、コノ故ニ、隔宿ノ飽ナシトテ、昨日ヨリ今日マテニ飽滿シタルコトハナシトナリ、爨ハ爨炊ニテ、食物ヲコシラユルコトナリ、宿ハ夙也、昔也、昨日ヨリ今日エ食ヲ十分ニ用ヒヌト云フノ義ナリ、食ノ給シガタキコトヲ云ヘリ、師ヲ起スノ費ヲアゲテ、士卒萬民ノ苦ムコトヲ云フ、次ノ文ニ、猶ホ亦タ國ノ費ヲ云ヘリ●按ズルニ【前漢書】韓信ガ傳ニ云ク、臣聞千里饋糧、士有飢色ト、然レバ、民ノ字ノ解、從フベカラズ、士ノ字ノ多説ニ從フベシ。

夫運糧千里無一年之食。二千里無二年之食。三千里無三年之食。是謂國虛。國虛則民貧。民貧則上下不親。敵攻其外。民盜其內。是謂必潰。

訓讀 夫れ糧を千里に運べば一年の食なし、二千里なれば二年の食なし、三千里なれば三年の食なし、これを國虚すといふ、國虚なれば民貧し、民貧しければ上下親まず、敵、その外を攻め、民、その内を盜む、これを必ず潰といふ。

按ズルニ、千里二千里三千里ヲ【講義】ニ、百里二百里三百里ニ作ル、今、世本ニ從フ【大全】全解ニ、潰ノ字ヲ匿ニ作ル、義相通ズ●コノ段、又上ノ文ヲウケテ云フ、兵糧ヲ千里ノ外ヘ運ビ送レバ、國中ニ一年ノ食費ヘテ、民人ニ給フベキ食ナシ、二千里ノ外ヘ送レバ、二年ノ食ナシ、二千里ノ外ニ轉輸スレバ、三年ノ食ナシ、カヤウニ民百姓ノ食物ヲヘラストキハ、ソノ國必ズ空虚トナルナリ、古シヘノ法ニハ、民農ノツトメ三年スレバ、一年ノ蓄ハアルナリ九年耕シテハ、三年ノ蓄ヘアリ、カクノ如クニ、古シヘハ、國ノ蓄アルニ、三千里ニ糧ヲハコビテ、二年ノ食ヲ費シヘラサバ、國ハ必ズ虚ナルベシ、國虚ニナレバ、民自ラ貧シ、民貧乏ナレバ、上下親マズ、民ハ上ヲ恨ミソネム、恨ムルユヘニ、奉行代官ノ下知ト云ヘドモ重ンズルコトナシ、上ヨリハ、國ノ虚トナルニヨツテ、マハノ民ニ咎ヲ負セテ、年貢ヲキビシク取り、課役ヲアテ、民ノ油ヲ搾リ取ラントス、コノ故ニ、上下シタシカラズ、上下親シカラザルユヘニ、敵國ヨリソノ虚ヲ伺ウテ、ソノ外ヲ攻メ討タントス、民盜ニ其内ト云フテ、年貢等ヲ十分ニスマサズ、財ヲヘラサヌヤウニシ、少シテモ、我が身ノカクマエヲスルナリ、國ノ破レンコトヲ知ツテ、此ノ如クニスルナリ、カヤウニナルトキハ、國ヲ防グコトモナラズ、國ヲ守ルコトモナラズ、コノ故ニ、コレヲ必ズ潰ト云フ、内外ヨリ潰亂シテハ、智者アリト云ヘドモ、ソノ國ヲヨクスルコトナシ、潰トハ、岸ナドノ崩ル、ヤウニ、アトノトメラレヌヲ云フナリ【彙解】ニ云フ、此章欲強兵、必先足食、欲料敵、必先富民、貧乏者潰敗之道也【開宗】ニ云フ、此言下用兵

當先察敵之情、而深致意于空虛之警、五者洵可察、

軍讖曰。上行虐則下急刻。賦重歛數。刑罰無極。民相殘賊。是謂亡國。

軍讖に曰く、上、虐を行へば、下、

急刻、賦重く、歛數ばにして、刑罰極なく、民相殘賊す、これを亡國といふ、

接ズルニ【全解】ニ、亡國ハ國亡ニ作ル、今、世本ニ從フ●上トハ主將國君ナリ、虐ハ暴虐ナリ、君タル人、虐ヲ行ヘバ、下タル萬民ハ、截リ刻マル、ヤウニ嚴シク忙シキナリ、或ハ上ニ虐ナレバ、民ヲセリセタケテ急迫ナリトモ解スベシ、賊重歛數トハ、軍役年貢ナドヲ多ク云ヒカケテ嚴シク取ルナリ、重キハ、ツネニ過ギテ多キナリ、數ハ、シゲシゲノ意ナリ、此ノ如クナレバ、民ガ財盡キテ出スベキモノナキニヨツテ、刑罰ヲ以テ行フマジキ者モ刑セラル、ホドニ、刑罰無極ト云ヘリ、民相殘賊トハ、賦歛ヲキビシク刑ヲ強ク行フユヘニ、財ヲコトゴトク盡サレ、命ヲ破ラレテ、センカタナク、手足ヲ置クトコロナキユヘニ、民百姓ガ互ニミヅカラ殘賊シテ、惡ヲナシ盜ヲ企ツルナリ、此ノ如キ風俗ナル、コレヲ亡國ト云フ、必ズ亡ブルノ國ナリ【大全】ニ云フ、此一讖所言、是以上下相殘、占其空隙可乘之處【開宗】ニ云フ、此言類刑重歛之禍、

軍讖曰。内貪外廉。詐譽取名。竊公爲恩。令上下昏。飾躬正顔。以獲高官。是謂盜

端。

軍讖に曰く、内貪り、外廉に、譽を詐り、名を取り、公を竊んで恩となし、上下を昏らしめ、躬を飾り、顔を正し、以て高官を獲、これを盜の端といふ、

コレハ、奸シク詐アル人ヲ云フ、内心ハ、如何ニモ貪欲フカクシテ、外ヲバ廉潔トテ、ナルホド清ク無欲ナルヤウニ見セ、内々ニテハ、アラヌ巧ヲシテ、食ツテ財ヲ求ムルヲ務トスルナリ、詐譽トハ、我がシモノナサヌ手柄武邊ヲ偽ツテ、諸人ニ云ヒキカセ、或ハ智アル巧ナルコトヲ聞キ傳ヘテ、我が事ニ取り成シ、偽ツテ諸人ニ、サテモ智惠アル人

カナ、器量アル武功ノ達人カナト名ヲ取り、尊敬セラレント思フニアリ、竊公トハ、我が主ノ物ヲ手ク口表裏ニテ盜ミ取り、己ヲ尤モト思フモノニ與ヘテ、恩ト思フヤウニスルナリ、公ハ公界ノ物ヲ云フ、人ノ物ニテ、我が物イラズニマカナツテ、而カモ恩ト思ハル、ヤウニスルナリ【直解】ニ、盜竊公朝之爵賞、以爲私門之資恩、コレ上下ノ人ヲシテ昏スナリ、人ハコレヲ知ルマジキソト思フハ、コレ人ノ耳目ヲクラマスナリ、上ハ君タル人、下ハ我ヨリ下タルモノヲ云フ、飾躬トハ、イカニモ衣服ヲ結構ニシテ飾リ、行義ヲ嚴カニカマユルナリ、正顔トハ、面體ヲイカニモハツキトシテ、人ニアガマヘラル、ヤウニ、己ガ方ヨリ威ヲツクルヲ云フナリ、顔ヲ正シテ詐ツテ正士ト爲ツテ、以テ高官ヲ取ル、コレ盜臣ナリト、施氏モ云ヘリ、衣冠ヲカザリ、顔色ヲ正ウスルハ、高官ヲ得ルカタメナリ、カヤウノモノヲ、盜ノ端ト云フナリ、正魯國ノ奸臣少正卯ガ如キ、是レナリ【大全】ニ云フ、外飾廉名、内恣貪心、此欺世盜名之僞人、豈可使之獲高官●此一讖所言、是以大臣詐譽取名、占其空隙可乘之處【開宗】ニ云フ、此言奸詐欺蔽之禍、

軍讖曰。群吏朋黨。各進所親。招舉奸枉。抑挫仁賢。背公立私。同位相訕。是謂亂

源。

軍讖に曰く、群盜朋黨、各親むところを進め、奸枉を招舉し、仁賢を抑挫し、公に背き、私を立て、位を同じうして相訕るこれを亂源といふ、

按ズルニ【大全】ニ、背ノ字、昔ニ作ル、從フベカラズ【講義】ニ、位ノ字ヲ倍ニ作ル、コレ亦タ從フベカラズ、皆傳寫ノ誤ナリ●群吏トハ、モロ／＼ノ奉行頭人ナリ、カヤウノモノガ互ニ徒黨ヲタテ、云ヒ合セ、己ガ黨ニナラヌモノヲバ、謗リノケテ、己ガ心ニ合フテ親ミ近ヅクモノヲバ進メ舉ゲテ、奸枉トテ、邪佞淫曲ノモノナレドモ、招キ舉ゲテ、己ガ同類トシ、仁人賢者ナレトモ、己ガ心ニ合ハザルモノヲバ、抑ヘ挫イテ、頭ヲアゲサセヌヤウニシ、背公ト

テ、公ノ道ヲバ悉ク背イテ、ミナ私ヲ立テ、萬事ヲ己ガシタキマ、ニスルナリ、同位トハ、我が相役ナスルモノ、或ハ朋友ナドノ我ト同ジキ奉公ヲスル人トハ、一和セズシテ、コノ人ヲ訕ルコト、互ニ相訕ルナリ、コレ小人ノ専ラナストコロナリ、コノ故ニ、コレヲ亂ノ源ト云フ【大全】ニ云フ、此一讖所言、是以朋黨背公、占其空隙可乘之處【開宗】ニ云フ、此言群小朋黨之禍、

軍讖曰。強宗聚奸。無位而尊。威無不震。葛藟相連。種德立恩。奪在位權。侵侮下民。國內諠譁。臣蔽不言。是謂亂根。

譯すれども、臣、蔽うて言はず、これを亂根といふ、

按ズルニ【講義】及【直解】ニ、諠譁ヲ譁諠ニ作ル、今、世本ニ從フ●強宗トハ、ソノ國君ノ一族親類ナリ、聚奸トハ一家親族ノ邪曲奸佞ノ輩、チノノ相聚マツテ奸曲ノコトヲナシ、官位ナクシテ、ソノ身ヲ尊クシカケ、イロノノ事ヲナシテ、威勢震ハズト云フコトナク、人ヲコナシ、スベテ腕楯ヲシテ、強情ナルモノナリ、葛藟相連トハ、彼ノ威勢ニヨツテ、我がモノト肩ヲイレ腰ヲカ、メテ、葛ノ木ニ纏フヤウニトリツイテ、親類一族ニナルナリ、葛藟ハ草ノ名木ニ附イテ蔓生スルモノナリ【詩經】ニ、葛藟猶纏其本ト云フ、是レナリ、種德立恩トハ、一族ノ中ニテ、己ガ私ノ德ヲ種エ、恩ヲ立テ、徒黨ヲタツルナリ、時ニアタツテ、權ヲ取り、人ニ用ヒラル、人ノ權ヲ奪ヒ取ツテ、下民ヲ侵シアナドルナリ、在位ノ權トハ、ソノ時ノ宰相ナドノ事ナリ、下民トハ、下タル士民ナリ、此ノ如クナルユヘニ、國中諠譁スルトモ、人臣ヲツレテソラシラズ、蔽ヒ隠クシテ云フコトナシ、諠譁トハ、國ノ大事ニナル不平ノ事ナリ、ヒソ／＼ト云ヒ合フコトナリ、コレ亂ノ起ル根ナリ、根ハ根本ナリ【全解】ニ云フ、種ニ小德立私恩、皆非宗室之所宜有者也、是在君天下者、預爲防之、故下文云是謂亂根【大全】ニ云フ、威無不震、惟天子可也、雖曰

君宗、不過臣也、豈宜有此乎、況爭相依附、皆其種德立恩之所致、此一讖所言、是以強宗聚奸、占其空隙可乘之處【開宗】ニ云ク、此ハ強宗權ヲ擅ニスルノ禍ヲ云フ、

軍讖曰。世世作姦。侵盜縣官。進退求便。委曲弄文。以危其君。是謂國姦。

譯すれども、世世、世々ト云フ、姦、邪ニシテ、國姦、國ノ姦ニシテ、世々ト云フ、

を作し、縣官を侵盜し、進退便を求め、委曲文を弄し、以て其君を危くす、これを國姦といふ、  
按ズルニ【開宗】【全解】ニ、求ノ字、棄ノ字ニ作ル、今、世ニ從フ●世々ハ代々ト同ジキ意ナリ、奸惡ヲナシテ、世々ヲワタリ、縣官ヲ侵シ盜ミ、進ムモ、退クモ、己ガ利方ニヨキヤウニバカリシテ、公ヲ惠ムコトナク、ネンゴロニ、文ヲ弄シテ、君ヲ危クスルナリ、下ヲ欺ムキ、上ヲ罔ル、コレ君ノタメニ危キナリ、委曲トハ、クハシキコトナリ、弄ストハ、文章ヲ認ムルコトナリ、證文ナドヲ引イテ云フコトナリ、縣官トハ、國ノ府庫ノ司ヲスル者ヲ云フ、或ハ縣官ハ俸祿ノアル官ナリ、アカタメシノ心ナリ、求便トハ便利ナリ、我が利ヲ得ルコトヲ求ムルナリ、コレヲ國奸ト云フ、一國ノ奸臣ナリト云ハシタメナリ【大全】ニ云フ、此一讖所言、是以侵盜縣官、占其空隙可乘之處【開宗】ニ云フ、此言世族姦欺之禍、

軍讖曰。吏多民寡。尊卑相若。強弱相虜。莫適禁禦。延及君子。國受其害。

譯すれども、吏多、吏多ク、民寡、民少ク、尊卑相若、尊卑相若ク、強弱相虜、強弱相虜ク、莫適禁禦、莫適禁禦スル所ナシ、延及君子、延及君子ト云フ、國受其害、國受其害ト云フ、

按ズルニ、若ノ字【講義】ニ苦ノ字ニ作ル、害ノ字、咎ノ字ニ作ル、今、世本ニ從フ●吏ハ物ノカシララスルモノナリ、吏ハ多クシテ、民ハ寡ナシ、下タルモノ、上ヲ尊ビ從フコトヲ知ラズ、コノ故ニ、尊卑ノ次第ヲ亂リ、尊卑相若シクシテ、ソノ序ナキナリ、相若トハ、名分等級ナキナリ、吏ヲ多クシテ、民ハ寡ク、尊キト卑シキガ等シクシテ、知レ

ヌヤウニナレルナリ、強弱相虜トハ、強ヲ以テ弱ヲ陵グナリ、ケナゲナル者ガ弱キ方ヲ虜ニシ、或ハ互ニ相欺キ罔ルナリ、コレヲ禁止防禦シテ、君タル人、イロノトスレドモ、中々禁禦スルコトナラズ、反ツテ小人ノ身ヲ以テ、ソノ禍ヲ延イテ君子タル人ニ及ボス、此ノ如クナレバ、ソノ國必ズソノ害ヲ受ケテ、滅亡ニ及ブ【大全】ニ云フ、此一識所レ言、是以善延君子、占其空隙可棄之處【開宗】ニ云フ、コレハ分守明カナラザルノ禍ヲ云フ、

軍讖曰。善善不進。惡惡不退。賢者隱蔽。不肖在位。國受其害。

賢者は隱蔽し、不肖は位に在れば國その害を受く、

コレ言フハ、賢ヲ得テハ、コレヲ用ヒ、不肖ノ人ヲ見テハ、コレヲ忌ミ去クベキナリ、然ルニ、善人ヲ見テ善トシレドモ進メテ用ヒズ、惡人ヲ見テ惡トシレトモ、退ケテ去ケザレバ、賢人ハ隱レ蔽ハレテ、不肖ノモノハ舉ゲ用ヒラレテ、位ニアルナリ、カクノ如ク任ズルコト、ソノ人ニアラザレバ、ソノ國、必ズ害ヲ受ケズト云フコトナシ【古文】ニ鸞鳳伏竄分鷓鴣翔ト云フモ、賢者ハ野ニ居テ用ヒラレズ、小人ハ朝ニ位ニ任ジテ威ヲ震フヲ嘆クノ詞ナリ【大全】ニ云フ、善善不進、惡惡不退、是有善善惡惡之心、而無善善惡惡之明者也【彙解】ニ云フ、小人進而君子退也、雖有善善惡惡之心、而無善善惡惡之智、所以有善不進惡不退之流弊也【大全】ニ云フ、此一識所レ言、是以善善不進、占其空隙可棄之處【開宗】ニ云フ、此言用舍倒置之禍、

軍讖曰。枝葉強大。比周居勢。卑賤陵貴。久而益大。上不忍廢。國受其敗。

軍讖に曰く、善を善として進めず、惡を惡として退けず、賢者は隱蔽し、不肖は位に在れば國その害を受く、

大、比周勢に居り、卑賤貴を陵ぎ、久しうして益す大なるも、上、廢するに忍びざれば、國、その敗を受く、枝葉ハ臣ナリ、根本ノ木ヲ君ニタトエテ云ヘリ、枝葉ガハビコリテ、強大ニシテ比周シ、勢アルコトニ居シテ、卑賤

トシテ貴キヲ陵ギ犯スコト久フシテ、イヨク強大ニナルニヨツテ、上トシテ、コレヲ廢スルニ忍ビズ、コノ國、必ズ敗ヲ受クト云ヘリ【又云フ、我が宗族ガ枝葉ノ如クニハビコリ、比周シテ勢居テ皆惡事ヲタクミ、逆暴ヲナス、互ニ相濟スナリ、助ケ合ウテ惡ヲナスヲ比周ト云フ、黨比周偏スルナリ、卑賤陵貴ト云フテ、尊貴ノ人ヲ欺キ犯シテ下タルモノヲアナドリ、放逸ヲナスナリ、カクノ如クスルコト久シケレバ、必ズ大ニナル、益大ナリトハ、増長スルヲ云フ、上廢スルニ忍ビスト云フテ、コノ惡人ヲ取ツテ退ケントスルユヘニ、國必ズ敗ル、ナリ、宗族ノ枝葉ガ強クハビコレバ、國ノ敗ナリト知ルベシ【正義】ニ云フ、比周居勢、黨與分據要地也【大全】ニ云フ、此一識所レ言、是以臣強主弱、占其空隙可棄之處【開宗】ニ云フ、此言君弱臣強之禍、

軍讖曰。佞臣在上。一軍皆訟。引威自與。動違於衆。無進無退。苟然取容。專任自己。舉措伐功。誹謗盛德。誣述庸庸。無善無惡。皆與己同。稽留行事。命令不通。造作苛政。變古易常。君用佞人。必受禍殃。

軍讖に曰く、佞臣上に在れば一軍皆訟ふ、威を引いて自ら與せず、苛政を造作し、古を變じて常に易ふ、君、佞人を用ふれば、必ず禍殃を受く、

按ズルニ【開宗】ニ、皆ノ字、喜ノ字ニ作ル、今、世本ニ從フ【佞臣トハ、邪智猛惡ノ人ナリ、コノ佞人ガ上ニアツテ萬事ヲサバクユヘニ、三軍ノ人、皆カマビスシク訟フルナリ、軍中ニ言事ガタエザルナリ、法令正シカラズ、惡シキ仕置バカリニテ、衆ガ用ユルコトナケレバ、訟ハタエズ、彼ノ佞臣ガ訟ヲキクホドニ、我が威勢ヲ引イテ、談合ニモ及バズ、我がヨクスルトコロヲ自ら與ヘテ、人ニ許シテ訴訟ヲサバクナリ、動違ニ於衆トハ、我が一分ノ分別ニテ許

スユヘニ、舉動ノ事ハ、コトゴトク衆人ノ心トハ異フナリ、無進無退トハ、進退ヲモ知ラズ、ワキマエズ、苟然トハ、トモカウモシテト云フナリ、國主ノ氣ニ合フノテダニアラバトスルナリ、取容トハ、上ノ意ニ容レラレントスルナリ、國主ノ氣ニサヘ入ラバ、進退ニモカマハヌト思フノ義ナリ、専ラ己ガ智恵ニ任ジテ事ヲ行フユヘニ、一舉一措、ミナ己ガ功ナリトシテ伐ルナリ、舉トハ、アケテ用ユルコトナリ、措トハ、措イテ捨ツルコトナリ、功アルモ、功ナキモ、我が心ニマカセテ、或ハ舉ゲテ用ヒ、或ハ措イテ用ヒザルナリ、主君ヨリモ、一人ニ専ラ任ズルユヘニ、功能ニ伐ツテ、盛徳ノ士ヲ誹謗スルナリ、徳アル人ヲソシリテ、チシコミテ用ヒズ、功アル者ヲバ誣述スト云フテ、悪ク云ヒナスナリ、庸トハ功ナリ【禮記】ニ、保庸安有レ功也ト云ヘリ、又庸ハツネナリ、功モナキ常ノ人ヲモ、己ガ心ニ合ヘバ述スルナリ、述ハ稱述ナリ、ホムル義ナリ、然レバ、功ナキ常ノ人ヲ功アルヤウニ云フトナシテホムルナリ、無善無惡トハ、惡ヲナスモノモ、善ヲ行フ者ニテモ、善惡トモニ、己ト同ジク、一味合點スルヤウニスルナリコノ故ニ、皆與レ同ト云ヘリ、稽留行事トハ、行フベキコトアレトモ、行ヒ用ユルヤウヲ知ラヌホドニ、事ヲ留メテ行ハズ、イカバズベキト稽留ムルナリ、命令不通トハ、事ヲ行ハズシテ留ムルユヘニ、君ノ命令モ通ジ行ハレズ下民ノ仕置以下モ、流通セザルホドニ、惡ヲ犯スコトハ日々ニマサルナリ、造作苛政トハ、惡王ノ政ヲ苛政ト云フキツクキビシキ政法ナリ、去ルホドニ、秦ノ世ノ政ヲ苛政ト云ヘリ、苛ハ怒也ト云ヘリ、人民ノタメニ、カラクキビシキ法ヲ造作シテ、古シヘノ法ヲ變ジ、常ニ制スル法ヲ易ヘテ、苛政ノ新法ヲ己ガ智ニ任セテ出シ用フルナリ、カヤウノ諛佞ノ人ヲ用ユレバ、必ず禍害殃咎ヲ受クベシトナリ【大全】ニ云フ、此題見得人君任人、要慎重之意、一佞在上而三軍咸驚、訟不平者、所以深惡其爲、辨言亂政、爲害甚大也●此一讒所、是以臣佞得志、占其空際可乘處【開宗】ニ云フ、此言佞臣用事之禍殃、

軍讖曰。奸雄相稱。障蔽主明。毀譽並興。壅塞主聰。各阿所私。令主失忠。

軍讖に曰く、奸雄相

稱して主明を障蔽し、毀譽並び興つて主聰を壅塞し、各私するところに阿り、主をして忠を失はしむ。

按ズルニ【講義】ニ、壅ノ字、雍ニ作ル、從フベカラズ【大全】ニ、塞ノ字、寒ニ作ル、字相似タルヲ以テ、傳者ノ誤レルナルベシ●奸雄トハ、邪奸ニシテ雄ナルモノナリ、雄ハ、スグレタル義ナリ、相稱トハ、互ニホムルナリ、我が事ヲ人ニホメサセ、我ハ人ヲホムルナリ、稱ハ、美稱ノ義ナリ、コレモ黨與ヲナスナリ、云ヒ合セテ、相ホメニシテ、主君ノ心ノ明智ヲ障蔽フナリ、智ヲ惑ハシテ明ヲ蔽フナリ、毀譽並興トハ、毀トハ、人ノ材智ノ短キヲ讒スルナリ譽トハ、人ノ美ヲ稱スルナリ、彼ノ奸雄ガ、主人ニ對シテ人ノ善ヲバ惡シトツシリ、惡ヲバ善シト稱ス、コレ毀譽並ビ興ルナリ、イロク、ニ品ヲカエ、詞ヲ巧ニシテ、主ノ心ヲ惑ハスユヘ、人主モ是非ヲワキマヘ難クシテ、壅塞主聰ト云フテ、聰ヲモ塞ギ塞ガレテ、見聞スルトコロナキナリ、聰トハ、聞カザルトコロモナク聞クヲ云フ、明トハ、見サルトコロモナク見ルヲ云フ、コノ聰明ノ二ツヲ奸雄ニクラマサル、ナリ、各トハ、彼ノ奸雄ノモノドモナリ、阿レ所レ私トハ、イヨク、奸邪ノ心タクマシクナル故ニ、主君ヲマトワシテ、忠臣アリトイヘドモ、用ヒヌヤウニスルナリ故ニ令主失忠ト云ヘリ、阿レ所レ私トハ、奸邪ノ人タガヒニ心ヲ合セ、口ヲソロヘテ云ヒ立テ、主ヲ惑ハシ、忠臣ヲ失ハシムルナリ【大全】ニ云フ、此一謀所、是以下羣奸助惡謀、害忠臣、占其空際可乘之處●以上十二空際、無一非庸人之所、易忽、而智士之所、爲深憂【開宗】ニ云フ、此言奸雄蔽主之禍、

故主察異言。乃覩其萌。主聘儒賢。奸雄乃遷。主任舊齒。萬事乃理。主聘巖穴。士乃得實。謀及負薪。功乃可述。不失人心。德乃洋溢。

故に、主、異言を察すれば、乃ち其萌を觀る主、儒賢を聘すれば、奸雄乃ち遷る、主、舊齒に任

すれば萬事即ち理す、主、巖穴を聘すれば、士、乃ち實を得、謀、負薪に及べば、功、乃ち逃ぶべし、人心を失はざれば、徳、乃ち洋溢す、

按ズルニ【講義】ニ、遷ノ字、遷ノ字ニ作ル、今、世本ニ從フ●主ハ主君國主ナリ、異言ハ衆ニ抽ンテタル善言、政事ニ甚タ益アルコトナリ、人君、ヨクコノ異言ヲ察シテ、日ニヨク患ヲ防ギ、禍ヲ末萌ニ杜ツベシ、コレヲ其萌ヲ觀ルト云フ、萌ハ治マルト亂ル、トノ治ヲ見ルナリ、一説ニ、異言トハ、黑白是非ノ言ヲ變ズル異性ノコトナリ、人主ヨクコレヲ察スレバ、ソノ亂ノ萌ヲ見ルベシト云ヘリ●勝久按ズルニ、此ノ如ク説クトキハ、コノ一段ノ意ニタガフナリ、コノ一段ハ、六事三十國ヲ興スノ説ナリ、何ゾ異言ノ一句ノミ別意ナランヤ、前説ヲ以テ、是トスベシ【講義】ノ説、亦タ後説ニ從フ、故ニ管蔡二叔ノ事ヲ引ク、甚ダ切當ナラズ、從フベカラズ●主聘ニ儒賢トハ、儒士賢材ノ久ヲ聘體シテ用フレバ、奸雄ナルモノハ、外へ遷リ退クモノナリ、君子進ムトキハ小人退ク、理ノ必然ナリ、主任ニ舊齒トハ、舊齒ハ老人ノ稱ナリ、故舊者徳ノ士ト云フテ、舊キコトヲヨク知り、實ニ久シキ者徳ノ者ニ、國家ノ政道ヲ任ズレバ、萬事理セズト云フコトナシ、任ハ、ウチマカスルノ義ナリ、理ハ治ナリ、主聘ニ巖穴トハ、岩穴ニテ隱逸ノ賢士ナドヲ求ムルハ、コノ士ハ、モトメテ我方ヨリス、ム心ナキ士ナレバ、コレヲ得ルノ寔ヲ得ルナリ、岩穴ニ名ヲ隱ス士ハ、謀ニソノ名ヲ食リテ、出テント求ムルニアラズ、コノ故ニ、寔ヲ得ルナリ、殷ノ高宗ノ傳説ヲ岩野ノ間ニ得テ、一朝ニシテ、コレヲ左右ニ置クガ如キ、是レナリ、謀及負薪トハ、タキギヲ負フモノハ、至ツテ微賤ノ者ナレドモ、謀ハトルベキコトアリ、功可レ述トハ、負薪ノモノ、云フコトマデヲモ捨テズ、取ツテ用フレバ、功ヲ述ベ得ベキゾトナリ、不レ失ニ人心トハ、下タル衆人ノ心ヲ失ハザルヲ云フ、徳アルモノハ、人ノ心ヲ治フスルユヘニ、人心ヲ失ハザルナリ、コノ故ニ、徳乃洋溢ト云ヘリ、洋溢トハ、四海ニ滿チアフル、ナリトノ義ナリ、上ノ文ニナタヒ軍讖ヲ引イテ、賢ヲ用ヒザルノ禍ヲ云フ、故ニ末ニ又コノ六ツノ事ヲアゲテ、コレヲ結ブ、蓋シ人主コノ六事ヲ

行フテ、ヨク彼ノ十段ノ禍ヲ戒メントス、ソノ丁寧ナルコト深ヒカナ【大全】ニ云フ、應ニ名附レ利之人、多混ニ跡ヲ王侯之門ニ獨リ實ニ古樂ニ道之士、往往埋ニ光於巖穴ニ伏ニ隱於山巖ニ不肯枉道以從人、人主能聘用之、則得賢才實矣【開宗】ニ云フ、此因上文凡十引軍讖言不能用賢之禍、故結言此六事以動之也、

卷之十三終

### 武經七書合解大成俚諺鈔卷之十四

#### 中略

コノ略ハ、聖君明帝ノ道化德行ヲ明カニシ、大將タル人ノ權變ヲ云ヒ、或ハ將ヲ御シ、衆ヲ統ブルコトヲ審カニスルナリ、大君明將ノ専ラニスベキコトナリ、凡ソ六章アリ【大全】ニ云フ、中略爲差ニ德行、審ニ權變、御レ將統衆、然多危語、使ニ功成身退者、知レ所決計也、

夫三皇無言而化流四海。故天下無所歸功。

【訓】夫れ三皇は言なくして、化、四海に流ふ、故に天下功を歸すると、るなし、

按ズルニ【直解】全解ニ、三皇ハ伏羲、神農、軒轅ナリト【大全】ニ、三皇ハ天皇、地皇、人皇ナリト云ヘリ【史記】ニ、伏羲、女媧、神農ヲ以テ三皇トス【尙書大傳】ニ、又燧人、伏羲、神農ヲ以テ三皇トス、カクノ如ク異説シテ云ヘドモ、三皇ハ上世ノ君ナリ、イヅレヲ以テ正義トセンヤ、蓋シ其名ニ拘泥スベカラズ【字彙】ニ、皇、胡光切、音黃、君也、三皇伏羲神農黃帝、又美也ト●又按ズルニ【事物紀原】ニ云フ、天地初起、溟滓鴻濛、即生天皇、治萬八千歲、此稱皇之始也ト、コレ言フハ、上古ノ代、三皇ノ時ニ君タルコトハ、言辭ヲ下スコトモナク、民ヲ治ムル法ト云フコトモナクシテ、自然ニ道化ノ行ハレテ、四海一天下ニ其ノ化ヲ流フルトナリ、言ヲ下シテ治世ノ政ヲ行ハザレドモ上古ノ時代ナレバ、風氣ハジメテ開ケテ、大朴イマダ散セズ、民ノ心ヲノゾカラ平治ナリ、聖ノ心慮、ヨク流通シ、會同スルユヘニ、言辭ヲ用フルニ及バズシテ、化ガ善ク行ハレテ、四海ニ流ハルナリ、不言ノ化、行ハレテ、政ヲ萬

民ニ正フセストイエドモ、心ノ契フトコロ、四海ニ傳フ故ニ、ソノ治世ノ功ヲ誰ガ功トモ敢テ知ラヌナリ、誰ニ歸スベキコトナキ故ニ、無所歸レト云ヘリ、コレ太古ノ風規ナリ、コノ發端ノ文段ハ、太古三皇ノ治世ノ事ヲ云フテ、皇ヨリ降ツテ帝トナルコトヲ此下ニ云ヘリ、帝降ツテ王ナリ、王降ツテ霸トナル、時異ニ勢ノ異ナルコトヲ云フ、三皇ハ道ノ自然ヲ以テ天下ヲ化シ、帝ハ徳ヲ以テ治メ、王ハ業ヲ以テ治メ、霸ハ功ヲ以テ治ム、コレ治法ノ異ナルナリ【大全】ニ云フ、無言化流、亦三皇之時則然、夫以三皇之時、而又有三皇之君、此所以無言、所以化流也、若非三皇之時、雖有三皇者、出、恐欲無言、亦不可得、可見皇帝王霸固聖徳之純不純以爲之分、然亦時分也、無言乃三皇之化、化流乃無言之神、無言非不言也、有言歸於無言也、即不大聲色之謂、要之惟上有雍熙穆穆景象、所以不言、養而厚生之化流、不言、教而徳性之化流、不言、賞罰而民勸民威之流、是自天下相感通、帝者體天則地、有言有令、而天下太平。君臣讓功、四海化行。百姓不知其所以然。故使臣不待禮賞。有功美而無害。

【訓】帝は天に體し、地に則り、言あり、令あり、而して天下太平なり君臣功を讓り、四海化行はる、百姓その然る所以を知らず、故に臣を使

ふに禮賞を待たず、功の美あつて害なし、  
按ズルニ【全解】直解ニ、帝ハ五帝ナリ、少昊、顓頊、高辛、唐堯、虞舜ナリト【彙解】ニ云フ、五帝ハ少昊、顓頊、帝嚳、帝堯、帝舜ナリト【大全】ニ云フ、五帝ハ伏羲、神農、軒轅、堯舜ナリト云ヘリ、此ノ如ク異説アリト云ヘトモ、コレ亦タ前説ノ如シ、洪荒ノ世、必ズソノ實ヲ求ムベカラズ【白虎通】ニ云フ、徳合レ天者稱レ帝ト、【易緯】ニ云フ、帝天號也、徳配天地、不レ私ニ公位、稱レ之曰レ帝ト、【事物紀原】卷之一ニ云フ、由天皇至燧人、皆稱皇、故有天皇、地皇、人皇、而燧人亦號燧皇、及太昊、帝王世紀稱曰帝、庖犧氏繼天而王、爲百主先、帝出於震、末有所因、此稱帝之始也、●帝ハ皇ヨリモ其徳次ナリ、體天トハ、帝ノ政ヲナスハ、私ヲ以テセズ、皇ノ言ナキニハ似ザレドモ、天ニ體



シ、地ニ則ツテ、私ノ意ヲ以テセズ、言ヲ出シ、令ヲ下シテ、天下ヲ太平ニスルナリ、天ノ道ヲ體トシ、地ノ理ヲ則トシテ、言ヲ出シ、令ヲ行ヒテ、萬民ニ施シテ、太平ヲ致ス、コレハ德ヲ以テ治ムルナリ、三皇ノ時ニハ、書ト云フコトモナク、文字モ亦タ無ク、禮樂制度モ無シ、無爲天然ニシテ治マレルナリ、帝ニナリテハ、文字モ始マリ、書契ヲ造リ、禮樂ヲ作シ、法度ヲ言辭ニ下シテ、令ヲ行フナリ、君臣讓レ功トハ、君ハ臣ニ功ヲユヅリテ、コレヲ稱シ、臣下タルモノハ、功ヲ君ニ歸シ、上下相ユヅルナリ、タトエバ、舜ノ禹ヲホメテ云フ、時乃功ト、禹モ亦タ曰ク、帝時克ト云フノ言ナルハ、コレ君臣功ヲ互ニ讓ルナリ、コノ故ニ、政化四海ニ行レテ太平ナリ、百姓不知其所、以然トハ、百姓黎民ハ、何ノコヘニカヤウニ、太平ニ治マルゾト云フノ道理ヲバ知ラザルナリ、太平ナルコトハ、三皇ノ世モ、帝ノ時モ變リナシ、皇ハ太古ナルユヘニ、時代ガ異フテ、禮樂モナク、文書モナシ、帝ノ時ニハ法制ガ出テ來レリ、不待禮賞トハ、臣タルモノハ、皆悉ク禮ノ賞ノト云フコトヲマタズ、功ヲツクシ、忠ヲ致スコトヲ專トスルナリ、臣ヲ使フ道ハ、禮ヲ尊ビ、賞ヲ重クスルヲ詮ニス、帝ノ時ハ、君臣ノ心、ヒトツナルユヘニ、賞ヲ待タズ、禮ヲカヘリミズシテ、功ヲ盡スノ義ナリ、恩ガナキ禮ガナキナドト云フコトハナキナリ、有ニ功美ニ而無害トハ、君臣ガ一ツニシテ、互ニ功ヲ讓ルユヘニ、教化ガ四海ニ行ハレ、イヨク臣ハ功ヲナシテ、賞ヲモ祿ヲモイハズ、禮ヲモトメズ、功ノ美ナルノミアツテ、災害ノ作ルコトハナキナリ、唐虞ノ代ノ治マルコトノ極マルルガ如クナリ、コノ故ニ、孔夫子、堯ヲ稱シテ、巍々タルカナ成功アルコトト云ヒ、舜ヲホメテ、美ヲ盡シ亦タ善ヲ盡スト云ヘリ、コレ亦タ功ノ美アツテ、害ナキヲ云フノ義ナリ【大全】ニ云フ、帝者體天則地、帝者法天之剛、應地之柔、故端居以象北辰、典讓以象日月、分職以象列星、仁覆爲雨露、令出如雷霆、而日設九官、以象九列、咨四岳、以象嶽瀆、其參贊位育之功、固非可以檢揚盡者、然以較之、三皇無言之化、則稍有間矣、重在帝德上、體者德爲之體、則者德爲之則、胸中先具一天地、故能體天則地、成參兩之功【句解】ニ云フ、體者乃體段之體、言與之合也、則乃準則之則、言與之一也、

與ニ效ニ天法ニ地不可【全解】ニ云フ、體者與之爲一也、則者取之爲法也、天地以好生爲心、而長養萬物、聖人亦以好生之德、而無育萬民、真有體之則之而無遺者、但好生固是體、則即有時用刑威、亦是體則、要兼此意、講方妙【經武要略】ニ云フ、天之覆育曰大生、地之持載曰廣生、帝者養民教民、體天地之春生也、用兵用刑、法天地之秋肅也、體者相依而不致踰越之意【大全】ニ云フ、有言有令而天下平、云々、帝者之世、既體天則地、便不能無言與令了、但有言而天下莫不共其言、有令而天下莫不其令、則是其言有令、較之無言者、只加一有耳、而天下實不知言令之苦、人也、天下平、亦甚拙、有言有令、今者之仍爲天下平也、亦是流化之意【全解】ニ云フ、使臣不待禮賞、云々、不待禮賞、言帝者之于臣、其精神之所感召、深于崇禮、德意之所鼓舞、渥于厚賞、所以其臣自爲之效、力宣獻、不待禮賞而勸也ト、

王者制人以道、降心服志。設矩備衰。四海會同。王職不廢。雖有甲兵之備。而無戰鬪之患。君無疑於臣。臣無疑於主。國定主安。臣以義退。亦能美而無害。

るに道を以てす、心を降し、志に服し、矩を設けて衰に備へ、四海會同、王職廢せず、甲兵の備ありと雖も、しかも戰鬪の患なし、君、臣に疑ふなく、臣、主に疑ふなし、國定まり主安く、臣は義を以て退く、亦た能く美にして害なし、按ズルニ、數本、皆、甲兵ノ上ノ有ノ字ヲ脱ス、今【講義】ニ從フ、又按ズルニ【全解】ニ、於ノ字ヲ于ニ作ル、今世本ニ從フ、王ハ三王ナリ、夏ノ禹王、商ノ湯王、周ノ文王武王ナリ、文武ノ二王ハ、ソノ德一ナルユヘニ、合セテコレヲ三王ト云フナリ、王者ノ天下ヲ治ムルコトハ、亦タ帝ヨリハ劣レリ、コノユヘニ、王ノ道ヨリ始メテ人ヲ制スルト云フコトアリ、刑罰ヲ以テシ、禮樂ヲ作ル、コレ上下ヲミタラヌ制法ナリ、王者ノ代ニナツテハ、人ノ心アシクナリ、天理ノマ、ニ行ハレズ、法ニ從ハザルモノアルニヨツテ、人ヲ制スルニ道ヲ以テスルナリ、道トハ、君臣父

子夫婦長幼朋友ノ道ナリ、制法ハ、禮樂刑罰ノ法ナリ、コレヲ以テ、不仁不法ノ人ノ心ヲ降シ從ヘ、志ヲ服ス、服トハ、民百姓ヲ歸服サスルナリ、周ノ武王ハ殷ノ紂王ノ暴逆ヲ退治シ、殷ノ湯王ハ夏ノ桀王ガ無道ヲ正ス、コノ時ニナツテハ、此ノ如ク惡逆ノ人出ヅルユヘニ、コレヲ制シテ治メネバナラヌナリ、元來、根本ハ法ト云フコトナシト云ヘドモ、惡ヲナスモノアルニヨツテノ法アリ、道ト云フベキモノケレトモ、暴逆ニ對シテ道ガ出デネバナラヌナリ、設レ規備衰トハ、規トハ法度ノコトナリ、大工ノモツカネナドノ如ク、マツスグニ物ヲハカルヲ云フ、法度ヲ定メ置イテ、ソノ法ヲ破ラヌヤウニスルハ、タトヘバ、大工ナドノ曲尺ヲ以テ、方ヲ知ルヤウニ、直ナルコトヲ制ス、コレヲ設レ矩ト云フ、衰ハ世ノ衰フルナリ、衰フル世ノ諸侯ニ、彼ノ法ヲ備ヘテ、惡逆侵凌ノ志ヲ服シ、大ニ擾亂セヌヤウニスルナリ、夏殷ノ代ニサエ、人ノ心カタマシク、逆暴ノ志多シ、イハシヤ季ノ世ニトツテハ、大ニ亂ルベシトテ、矩ヲ設ケテ、衰フルニ備エテラクナリ、四海會同トハ、天下ノ諸侯ガ天子ニ見ルニ、時ヲタガヘズシテ會同スルナリ、凡ソ諸侯ノ天子ニ見ルコト、春ノ目見ヲ朝ト云ヒ、夏ノ目見ヲ宗ト云ヒ、秋ノ目見ヲ覲ト云ヒ、冬ノ目見ヲ遇ト云フ、會同トハ、天下ノ諸侯一統ニ天子エ來服シテ目見スルノ義ナリ【周禮】春官大宗伯ニ曰ク、春見曰朝、夏見曰宗、秋見曰覲、冬見曰遇、時見曰會、殷見曰同、王職不廢トハ、天子ノ行フベキコトヲ諸侯ガウケタマハリテ、ソノ職ヲアヅカリテ行ヒ、ヨク治マリタルト、ソノ時々ニ王ニ申シ上ルナリ、コレ廢レザルナリ、國々ノ職ヲアヅカリ任ジテ天子ヘソノ治平ノ功ヲ獻ジテ申シ上クルヲ述職トモ云ヘリ、王者ノ職ノ諸侯ガ行フユヘニ、王職トモ云ヘリ、雖有甲兵之備トハ、甲ハ武夫ノ身ヲ堅ムル器、兵ハ武夫ノ持ツテ戰フ具ナリ、國々ニ職アツテ、處々在々ヲヨク治メ、遠國近國、ソノ分々ヲヨク守護スルユヘニ、甲兵ヲヨク備ヘテ置クト云ヘトモ、和順輯睦シテアルユヘニ、アラソヒ關フコトノ患ハナキナリ、兵アレドモ用フルコトハナシト云フ義ナリ、コノ故ニ無戰鬪之患ト云ヘリ、君無疑ニ於臣トハ、信ヲ以テ、君ハ臣下ヲ使フナレバ、臣モ亦タ誠ヲモツテ君ニ事フルナリ、主モ、臣モ、俱ニ心ヲ同ジウシテ信

ヲ一ツニスルユヘニ、イヅレヲ疑フベキコトモナシ、禹王ノ伯益、湯王ノ伊尹、文王武王ノ周公召公太公、コノヤウニ君ト臣トナルホドニ、疑情ヲ起スベキヤウナシ、聖主ニ賢臣アツテ、互ニ相信ズルナレバ、國勢ノ寧定ナリ、國定マルトキハ、主ハ奠安ナリ、君、ナンゾ臣ヲ疑ハンヤ、臣、何ヲ以テ君ヲ疑フベキヤ、臣以義退トハ、ソノ宜シキヲ得テ退クヲ云フ、國ノ政ガ氣ニ合ハザルニヨツテ退クニハアラズ、主ノ無道ヲ見テ退クニモアラズ、義ヲ以テスルハ年ヨリテ輔弼ノ力ニ堪ヘズシテ、我が行フトコロヲ人ニ能ク譲リナドシテ、退クヲ義ヲ以テ退クト云フ、功名ヲ全ク保ツテ後ニ、退クナリ、亦能美無害トハ、王者ノ世ヲ治ムルナレバ、帝者ノ治法ニハ及バズトイエドモ、ヨク美ヲ盡シテ災害ハナキゾト云フノ義ナリ【大全】ニ云フ、王者制人以道、道即仁義禮智孝弟忠信之道、有レ人則有レ道、制字是使、人相安於道之内、而不越軌於道之外、所謂以人治人是也、王者曰制人、霸者曰制士、王者曰以道、霸者以權、人之途廣、而士之途隘、道出於誠、而權出於偽、此王伯之辨也、未言甲兵之備以防其叛、道者、也、雖兵亦道也、●細玩此篇文字、甚有令人冷淡功名之意ト、

霸者制士以權。結士以信。使士以賞。信衰則士疏。賞虧則士不用命。

覇者ハ士を制するに權を以て

し、士を結ぶに信を以てし、士を使ふに賞を以てす、信衰ふれば士を疏、賞虧くれば士命を用ひず、按ズルニ【議義】全解ニ、霸ノ字、伯ニ作ル、義相通ズ●按ズルニ【韻】ニ、覇把也、把ニ持諸侯之權ト【莊子】ノ註ニ、五霸ハ夏ノ昆吾、商ノ大彭、豕韋、周ノ齊桓、晉ノ文ト【孟子】ノ注ニ、五霸ハ齊桓、晉文、秦穆、宋襄、楚莊、或作伯ト、霸ト伯トハ同ジ、伯ハ侯伯ノ伯トマギル、ユヘニ、漢人霸ノ字ヲ借ツテ用ユルナリ、天子ノ行フトロノ政ヲ諸侯ガ把ツテ行フユヘニ、霸王ト云フナリ【直解】ニ云フ、霸若ト以太公之時ニ論之、即夏昆吾商大彭豕韋之類爲レ是、若ト以黃石公之時ニ言之、則齊桓晉文之類爲レ是ト、●コ、ニハ、霸者ノ世ニナリテ國ヲ治ムルヲ云フ、王者ニ遙

ニ劣リタルユヘニ、士ヲ制スルニ權謀ヲ以テスルナリ、謀ヲ爲シテ治ムル權變ノイウハリヲ以テスルナリ、實ニ僞ルニハアラズ、誦詐ヲ以テ理ニ合フナリ、權ヲ以テ制スル法ニ、シバラク誦詐ヲ以テセザレバ治マラズ王道ニハ、ハルカニ間アリ、結レシ以テ信トハ、信ヲ以テ衆ノ心ヲ結バネバ、士卒ヲ用フルコト成リガタシ、邪惡ノ心盡クシテ、フタ心アルユヘナリ、カヘツテ、主ヲ害スルコトアリ、コノ故ニ、ソノ心ヲ能ク主ノ心ト結ビツナイテ、上下相離レヌヤウニシテ用フルナリ、使レシ以テ賞トハ、賞祿恩賜ヲ厚クシテ、士ヲ使フヲ云フ、利欲ノ心サカンニナルユヘナリ、主ノ心ヲ感ジテ、使ハル、コトハナクシテ、我方爲ニ利アルコトヲ感ジ、利ニフケリテ使ハル、ナリコノ故ニ、賞ヲ以テスルナリ、信衰トハ、上ニ云フ士ヲ結ブニ信ヲ以テストイフノ信ヲ、コ、ニテ再ビ釋スルナリ、信ガ衰フレバ、士ノ心モ疏クナルナリ、主人ハ疎略ナリト義ナリ、賞祿ニ虧アレバ、士ガ主君ノ命ヲ用ヒザルナリ、コノ賞ハ、使レシ以テ賞ト云フノ士ヲ再ビ釋スルナリ、禮賞ヲ待タズシテ、功ノ美アル時代ニハチガフナリ、時ガ變ルトキハ、ソノ治法モ、亦々變リアルナリ、信ガ衰フルトキハ、士モ疏ンジ、賞ヲ待タザレバ士モ進マズ、賞ガ虧クレバ、命ヲ用ヒズ、時代ヲ知ツテ、治法ヲ行フベキナリ【開宗】ニ云フ、此四條述ニ皇帝王伯、重論ニ君臣相與之道ト、

軍勢曰。出軍行師。將在自專。進退內御則功難成。

軍勢に曰く、軍を出し、師を行る、將、自ら專にするに在り、進退内より御すれば功成り難し。

按ズルニ【大全】ニ、在ノ字、有ノ字ニ作ル、從フベカラズ、今、世本ニ從フ●軍勢トハ、兵家ノ一書、上畧ニ軍謀ト云フガ如シ【直解】ニ、兵家ノ形勢ヲ論ズル書ナリト注スルハ、甚ダ附會ノ解ナリ、從フベカラズ、軍勢ノ勢ノ字ニ泥シテ、推シテ形勢ヲ論ズルノ書トスルカ、上世ノ書、豈ニ之ヲ知ランヤ、モシ全書アラバ、茅元儀ガ【武備志】等ニ

載セザル、タゞ三略ニ引クトコロノミニシテ、ソノ本據ヲ知ラズ、抑モ劉演ガ解、何ノヨリドコロアルヤ【講義】ニ、所謂軍勢者亦兵法之一書也ト云フノ害ナキニハ如カズ●上ニハ、太古ノ道ヨリ霸王ノ治法マデテ明カシテ、霸ノ權謀ヲ以テ治ムルヨリ、コ、ニ軍勢ヲ引イテ、大將ノ道術ヲ顯ハスナリ、凡ソ軍ノ出興シ、師ヲ行ルコトハ、將軍ノ專ニスルコトナリ、大將コレヲ自ラ專ニセザレバ、勝ヲ取ルコトカタシ、コ、ヲ伺ヒ、カシコト思ヒ、忖ルニアラズ、專ラ任ズルナリ、權變自在ニシテ、策ヲメグラシ、進ンデ攻メ、退イテ勝ヲ全ウシ、轉中ノ事々物々、大將一人ノ心ノマ、ニス、コレヲ自ラ專ニスト云フ、進退内御則功難成トハ、内ハ主君ナリ、進退ハ軍ノ指引ナリ、トセヨカクセヨト云フテ、軍事ノ下知ヲ主君ヨリ大將ニ下スナラバ、將ノ權威モウスク、土衆ヲ用フルコトモ自由ナラズ、御トハ車ヤ馬ヲヤリタキ所ヘヤルヲ云フ、ソノ如ク、主人ヨリ軍ノ下知ヲシタキマ、ニスルナリ、コノ故ニ、大將ヨク其變ヲ量ツテ、進マントスレドモ、内ヨリ御シテ進ムベカラズト命ヲ下シ、大將害アルコトヲ知ツテ、軍ヲ退ケントスレトモ、君ヨリ下知シテ進ミ戰ヘト命ズ、カヤウニ軍事將ノ心ノマ、ナラズシテ、何トシテ、勝利ヲ全ク得ルコトアラシヤ、本邦元弘ノ亂ニ、後醍醐帝、軍ノ指引シテ勝利ヲ失ヒシガ如シ、新田楠名和結城ノ名將アリト云ヘドモ、ソノ功ヲ全ウスルコト能ハズ、コノ故ニ【孫子】五勝ノ中ニモ、將能而君不御者勝ト云フ、九變ノ中ニハ君命有所不受到云ヘリ、スベテ、軍中ノ事ハ、君命ヲ受ケズシテ、大將專ラ之ヲ主トスルニアリ、然ルトキハ、ソノ功全ウシテ、國家平治スベシ【正義】ニ云フ、行レ師之日、天子既以闕外之事屬之我矣、我雖欲旁分、亦不可得、故云自專、然所重將權、亦所以尊君命也【指歸】ニ云フ、將權重而軍後軍機密、故將不在爵祿之重、而在委任之專、必進退無掣肘之虞、攻守無稟命之患、便宜從事、方可行軍【六全】ニ云フ、此題與將能不御不同、彼言不御、其責在君、此言自專、其責在將【開宗】ニ云フ、此引言爲將者、當專制之于己

軍勢曰。使智使勇。使貪使愚。智者樂立其功。勇者好行其志。貪者邀趨其利。愚者不顧其死。因其至情而用之。此軍之微權也。

軍勢に曰く、智を使ひ、勇を使ひ、貪を使ひ、愚を使ふ、智者は其功を立てむことを樂み、勇者は其志を行はむことを好み、貪者は其利を邀趨し、愚者は其死を顧みず、その至情に因つて之を用ふ、これ軍の微權なり、

コノ段ハ、大將タル人ノ士卒ヲ用ヒテ、ソノ材ヲ捨テザルコトヲ云ヘリ、凡ソ人情ニ千差萬別アリ、皆得テ之ヲ用フルニ、用ヒラレズト云フコトナシ、智者アリ、勇者アリ、貪者アリ、愚ナル人アリ、ソノ大目ヲ舉グルニ、ソノ等シカラザルコト此ノ如シ、然レドモ、コレヲ用フルノ心ハ一ツナリ、故ニコノ四ツヲ能ク使フトキハ、ソノ餘ノ氣稟萬端ノ人ミナ能ク之ヲナスベシ、凡ソ人倫禽獸、トモテ血氣ヲ含ムモノハ、ミナ各、ソノ欲スルコトコロアリ、智謀アルモノハ、是非トモニ我が智ヲメグラシテ、功ヲ立テンコトヲ樂ムモノナリ、コレ天下ノ智者ノ至情ナルホドニ、大將コレト與ニ謀ツテ、ソノ智謀ヲ用ヒテ、彼ニ功ヲナサシムベシ、コレ智ヲ使フノ術ナリ、勇敢ナルモノハ、敵ニ當ツテ、己ガ勇猛ヲアラハシ、威力ヲ振ツテ、ソノ志ヲ行ハンコトヲ思フ、勇ニシテ悍ナレバ、ソノ志ヲトケントスルナリ、我が好愛スルコトナレバ、必ズ其事ヲシヌマスモノナリ、コレ天下ノ勇者ノ至情ナリ、コレヲ知ツテ、彼ガ好ムトコロノ勇悍ヲ振フトコロヘ使フベシ、コレ勇者ヲ使フノ術ナリ、貪者ハ利ニフケリ、欲ニテボル、ナレバ、利ヲコシラヘテ之ヲ使フナリ、財寶ヲサヘ與フレバ、ソノ好ムトコロノ利ニ趁ツテ、火ノ中、水ノ底ヘモ一命ヲ棄テ、行クモノナリ、コレ天下ノ貪者ノ至情ナリ、愚者ハ、コレヲ用フルニ誠ヲ以テスルトキハ、彼必ズ死スルコトヲモ顧ルコトナシ、タダ一偏ニ思ヒ入ルモノナリ、コレ愚ヲ使フノ術ナリ、カクノ如ク、シカモ各々ノ情意アルニヨツテ、コレヲ使フニ、因其至情而用之ト云ヘリ、至情トハ、ソノ人ノ心情ノ中ノツカサドリテヨキ所ニ因ツテ、コレヲ使用スルナリ、此軍之微權也トハ、コレ軍陣ニ於テ人ヲ使フ微密ノ權謀ナルナリ、漢ノ高祖ノ張良陳平ヲ

得テハ、策ヲメグラシ、奇ヲ出サシム、コレ智ヲ使フナリ、樊噲ガ徒ハ力ヲ出シテ戰タイタス、コレ勇ヲ使フナリ、信布ガ徒ハ、數千里ノ地ヲ列ネテ王タラシム、コレ貪ヲ使フナリ、紀信ガ徒ハ、身ヲ捨テ、敵ニ委ヌ、コレ愚ヲ使フナリ、コレミナ、ソノ情ニヨツテ使フノ術ナリ、天地ノ間ニステ、用ヒザルモノハナシ、譬ヒタルモノニハ火ヲ司ラシムベク、譬ヒタル者ニハ聲ヲツカサトラシムベク、ソレノ用ヒラレズト云フコトナシ、勝久考フルニ、ソレ人材ニ長短アリ、將ヨクソノ短ヲステ、長ゼルヲ取ラバ、天下ニ捨ツル人ナカルベシ、タトヘバ、良工ノ竹木ヲ用ユルガ如シ、曲直大小、皆ソノ所ニ從ツテ用フ、故ニ一ツトシテ捨ツルコトナシ【全解】ニ云フ、本文樂立其功、好行其志、邀趨其利、不顧其死、四者正是朝勇貪愚之至情義、我惟因此四者之至情而用之、則人只知其自爲用、不知其塞爲我用也、此所以叫微權、不然而不知人之至情所在、雖有用人之權、而人未必肯爲其用、不可言權、又安得言微、着眼全在微權二字上、【開宗】ニ云フ、此言行軍微妙之權、在隨人至情而鼓之、使樂爲用也、

軍勢曰。無使辨士談說敵美。爲其惑衆。無使仁者主財。爲其多施而附於下。

軍勢に曰く、辨士をして敵の美を談說せしむるなかれ、その衆を惑はすが爲なり、仁者をして財を主らしむるなかれ、その多く施して下に附くが爲なり、

辨士トハ、辨舌口才ニシテ、是非ト云ヒ爲スノタグヒノ人ナリ、カヤウノモノヲ以テ、軍陣士卒ノ中ニ於テ、妄リニ、敵方ノ善美ナルコトヲ談說サスルコトナカレ、敵ノ大將ハ、智勇兼備シタル、或ハ士卒モ勇敢ナル、兵糧モ満足ナル、地形モソノ所ヲ得タルナドト云ヒテ、敵ノ善キコトヲ物語スレバ、我が衆軍ノ心ヲ惑ハスモノナリ、三軍ノ士敵ノ善美勇銳ナルコトヲキケバ、心ニ疑惑出來テ、互ノ勝負ヲアヤブミ、或ハ敵方ニ降參シ、或ハ敵ト戰フニ臨ンデ

モ、心ニ疑アルユヘニ、一筋ニ決定シテ働キ、功ヲ立テンコトヲ欲セズ、コノ故ニ、軍家ノ習トシテ、敵ノ強ト善トハ、相詞ヲ以テ大將ニ言上シ、或ハ密カニ申シ上グルコトナリ、將モ亦タ妄リニ衆卒ノ聞ク處ニテ、コレヲ談説セシムルコトナシ、コレ和漢軍法ノ通例ナリ、古シヘ、平家ノ亂ニ、齋藤別當實盛方關東源氏ノ強ヲ談ジテ、平家ノ衆卒惑ヲ生ジ、ソノ夜、富士沼ノ鳥ノ羽音ニ驚イテ、尾張ノ洲股マデ敗軍セシハ、誠ニ實盛ガ一生ノ不覺ナラズヤ、偽ツテ敵ノ惡事ハ説クコトアリト云ヘドモ、假初ニモ敵ノ善事ヲ談ズルコトナカレ、コレ兵家一ツノ習トスルコトコロニシテ、重々ノ口傳アリ、無使仁者主財トハ、仁ハ慈愛ノ心アルモノヲ云フ、人ニ物ヲ取ラセ施スコトヲ好ム心アルナリ、富則不仁、爲レ仁不富ト古人モ云ヘリ、コノ故ニ、仁者ニ軍中ニテ財寶兵糧ノツカサ奉行ヲサスルコトナカレ、下タルモノニムザト施シ與ヘテ、軍中ノ用意ヲ早ク遣ヒ果シテ、後ニ迷惑スルバカリナリ、附於下トハ、下タルモノハ、ソノ惠ニ親附スルユヘニ附於下ト云ヘリ、アトサキ知ラズニ、多ク施スホドニ、下民ハ親附スレドモ、軍中ヨハクナリ、軍用不足スルトキハ、良將アリト云ヘドモ、攻守一ツナガラ益ナシ【大全】ニ云フ、吳子云、百姓皆是吾君、而非隣國、則戰已勝矣、今不説談敵非、以開人意、而反談説敵美、故曰惑衆●多施附下、雖是散財得衆之好事、但財爲國家之大命、閻闔之脂膏、亦所必慎、豈容濫施【彙解】ニ云フ、此二者、皆足以離間衆心、欲人君預防之也、無使二字、見用レ人之當慎【開宗】ニ云フ、此嚴揚敵市恩之弊、

**軍勢曰。禁巫祝。不得爲吏士。問軍之吉凶。**

軍勢に曰く、巫祝を禁じて、吏士の爲に軍の吉凶を卜ひ問ふことを得ず。

按ズルニ【論語】子路篇ニ曰フ、南人有言、曰人而無恒不克、以作巫醫、善矣、朱子註ニ、巫所ニ以交鬼神ト、【韻會】ニ云フ、巫祝也、以舞降神也、古者巫咸初作巫【國語】ニ云フ、民之精爽不攜貳者、則明神降之、在男曰巫、在女曰巫比、巫祝ハ、吉凶ヲ卜占スル陰陽師、ミコ、カンナギ、トノ體ナリ、軍中ニテ、コノ巫祝ヲ禁ズベシ、軍中ニ

妄リニ巫祝ヲ用ヒテ、軍ノ吉凶ヲ占ヒ問フトキハ、吏士ノ心ニ疑生ジテ、進ムニモ、退クニモ、心一定ナラズ心決定ナラザレバ、人ノ心、豪強ナラヌモノナリ、コノ故ニ、詐ヲ禁ジ、疑ヲ去リ、兵家ノ要トスベシ、若シ大將謀アツテ、巫祝ヲ用ヒテ、軍ノ吉凶ヲ用フルモノハ、各別ノコトナルベシ、所謂織田信長ノ熱田ノ神主ト心ヲ合セテ、神拜ノ時、内陣ニカスカニ響ノ音ヲシテ、諸兵ノ氣ヲ勇マシムルガ如シ、但シ妄リニ陣中ニテ巫祝ヲ用ヒ、コノ陣彼ノ陣ニテ、心々ニ軍ノ吉凶ヲトハセテ問フモノハ、必ズ我が衆軍ヲ惑シテ敗軍ノ本ナリ●勝久考フルニ、巫祝ヲ用ヒテ軍ノ吉凶ヲ問ヒ、コレヲ眞實ト心得テ、ソノ如クニ事ヲナスモノハ、皆愚將蒙將ノ專トスルトコロニシテ、良將ノ深ク禁ズルトコロナリ、巫祝ノ妄言、豈ニ一定ノ吉凶ヲ知ランヤ、皆婦人女子ノタダヒテ惑ハシテ、財貨ヲ食リ、時ニ應ジ、事ニ從ツテ、ソノ座ノ宜シキヲ云フノミ、安ゾ信用スルニタランヤ【彙解】ニ云フ、此見下禁止妖祥鬼神則士心自一【開宗】ニ云フ、此節嚴ニ巫祝惑衆之害、

**軍勢曰。使義士不以財。故義者不爲不仁者死。智者不爲閻主謀。**

軍勢に曰く、義士を使ふに財を以てせず、故に義者は不仁者の爲に死せず、智者は閻主の爲に謀らず。

按ズルニ【直解】ニ、閻ノ字、暗ニ作ル、今、世本ニ從フ【全解】ニ、閻主ヲ闇者ニ作ル、コレ亦タ世本ニ從フ●義士ハ清潔ノ士ナリ、義ヲ重ンジテ利ヲ輕ンズ、財ヲ食ルノ心ナシ、コノ故ニ、義士ヲ使フニハ財ヲ以テセズ、禮ヲ以テ使フベシ、不仁者ハ、人ヲ使フニ禮ヲ以テセズ、財貨アリト云フトモ、義士コレガ爲ニ死セズ、智者ハ材能アル智士ナリ、閻主ノ爲ニハ、謀ヲナサズ、閻主トハ昏闇ノ主君ナリ、理ニ暗ク事ニウトキ主ナルユヘニ、謀ヲナセドモ、主ノ心ニ應ゼサレバ益ナシ、コノ故ニ、敢テ謀ラズ、陳平ガ楚國ヲ去ツテ漢ニ來リ、遂ニ大功ヲ立テシガ如シ、漢ニ智アツテ楚ニ愚ナルニアラズ、楚王ノ闇昧、與ニ謀ルニ足ラザレバナリ【正義】ニ云フ、義士清潔之士、彼方輕ニ爵祿、

重禮義、安可<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>財使<sub>レ</sub>乎【大全】ニ云フ、既謂<sub>レ</sub>之義士、胸中自有<sub>レ</sub>一種見解、方且視<sub>レ</sub>富貴、如<sub>レ</sub>浮雲、舍<sub>レ</sub>生以<sub>レ</sub>取<sub>レ</sub>義、豈是<sub>レ</sub>因<sub>レ</sub>財動<sub>レ</sub>心之人、故曰不<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>財<sub>レ</sub>好<sub>レ</sub>義之士、威刑不<sub>レ</sub>可<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>屈<sub>レ</sub>勢位、不<sub>レ</sub>可<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>動<sub>レ</sub>區區財物、何足<sub>レ</sub>動<sub>レ</sub>之【全解】ニ云フ、義字與<sub>レ</sub>財字、兩不<sub>レ</sub>相涉、好<sub>レ</sub>義者決不<sub>レ</sub>好<sub>レ</sub>財、好<sub>レ</sub>財者決不<sub>レ</sub>好<sub>レ</sub>義、今既以<sub>レ</sub>義士<sub>レ</sub>稱<sub>レ</sub>、決不<sub>レ</sub>是因<sub>レ</sub>財動<sub>レ</sub>心之士、人主欲<sub>レ</sub>用<sub>レ</sub>義士、必有<sub>レ</sub>所以<sub>レ</sub>感<sub>レ</sub>心之道、而決不<sub>レ</sub>可<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>財致<sub>レ</sub>矣【開宗】ニ云フ、此言<sub>レ</sub>使<sub>レ</sub>士當<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>恩禮<sub>レ</sub>、不<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>財貨<sub>レ</sub>、乃能<sub>レ</sub>得<sub>レ</sub>義士智士之用<sub>レ</sub>。

主不<sub>レ</sub>可<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>無<sub>レ</sub>德、無<sub>レ</sub>德則臣叛、不<sub>レ</sub>可<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>無<sub>レ</sub>威、無<sub>レ</sub>威則失<sub>レ</sub>權。

士は以て徳なかるべからず、徳なければ臣叛く、以て威なかるべ

からず、威なければ權を失ふ、

人主國君タル人ハ、徳ナクシテハ、國家ノ治平ナリガタシ、徳トハ、得ナリト注シテ、道ヲ行ツテ、心ニ得ルコトアリ、コレヲ徳ト云フナリ、萬民ノ心ヲ得ル徳アルユヘニ、上下齊一ニシテ、治平ナリ、徳ナケレバ、臣下ナツクルコトナシ、コノ故ニ無<sub>レ</sub>徳則<sub>レ</sub>臣叛ト云ヘリ、叛ハ逆叛ナリ、臣ハ其徳ニ歸シテ、綏<sub>レ</sub>ンジナツクコトナクンバ、離叛スベキナリ、不<sub>レ</sub>可<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>無<sub>レ</sub>威トハ、威アツテ畏ルベキ、コレヲ威ト云フ、下タルモノハ、主ノ威ヲ畏ル、ユヘニ、馭シテ、コレヲ用ユルナリ、賢臣智士ヲ用フルモ、威アルニヨツテ馭スルナリ、徳ニハナツキ親ミ、威ニハ畏レ服シ、コノ二ツヲ兼全シテ、臣ヲ使用シ、萬民ヲ使フナリ、威ナケレバ、權ヲ失シテ、使用スルコトナリガタシ、威ト云フハ權ナリ、威ヲモカラサレバ權ナシ、權ナケレバ民ヲ用フルコトナリガタシ、柔剛ヲ並ベテ用フルヲ至要トスルナリ、亦タ柔ハ徳ナリ、剛ハ威ナリト云フノ義ナリ【大全】ニ云フ、君爲<sub>レ</sub>一國之主、無<sub>レ</sub>徳不<sub>レ</sub>可<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>協<sub>レ</sub>和股肱、無<sub>レ</sub>威不<sub>レ</sub>可<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>制<sub>レ</sub>服人心、故失<sub>レ</sub>權。

臣不<sub>レ</sub>可<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>無<sub>レ</sub>徳、無<sub>レ</sub>徳則無<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>事<sub>レ</sub>君、不<sub>レ</sub>可<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>無<sub>レ</sub>威、無<sub>レ</sub>威則國弱、威多則身蹶。

臣以て徳なかるべからず、徳なければ、以て君に事ふるなし、以て威なかるべからず、威なければ國弱し、威多ければ身蹶く、按ズルニ【字彙】ニ、蹶居月切、音蹶、跌也、僂也、跳也、走也、速也、又拔也【左傳】ニ、蹶其本、必不<sub>レ</sub>有<sub>レ</sub>其宗ト云フハ、臣下トシテモ徳ナケレバ、君ニ事フルコトナラズ、臣ノ徳ハ君ノ爲ニスルナリ、徳ナキ臣ハ良臣ニアラズ、威ナクンバ、敵ニ畏レラレシ下タルモノヲ收スルコトモナリ難シ、衆ニ威ヲホドコシテ馭スルノ義ナリ、威アツテ徳ナケレバ、ナリガタシ、コレ亦タ威ト徳トヲ並ベ用ヒテ、カタツクスツルコトナシ、無<sub>レ</sub>威則國弱トハ、威ヲ敵國ニ行ヒテ、ソレヲナサシメ、衆ニ畏レラレテ、ヨク馭スルヲ云フ、威ナクンバ、何ヲ以テ、敵ニ畏レラルベキ、衆ヲ馭セズンバ、何ヲ以テカ國ヲ強クスベキ、故ニ國弱シト云フ、威多トハ、アマリ威ヲ強ク誇リ過グルトキハ、必ズ其身ヲ陷ル、ナリ、コノ故ニ、身蹶クト云ヘリ、威ニ誇ルモノヲ戒メテ云フナリ、漢ノ韓信、陳稀、黥布ガタグヒナリ

●勝久考フルニ、コ、ニ云フ臣ハ常ノ臣ニアラズ、國政ヲ預リ、萬民ヲ指揮スル大將、或ハ大臣タルモノヲ指シテ云フ、凡ソ威ニ誇ルトキハ、必ズ驕生ズ、驕盛ナレバ、必ズ其身ヲ亡スノ害生ル、慎マザルベケンヤ【開宗】ニ云フ、此言<sub>レ</sub>主臣當<sub>レ</sub>有<sub>レ</sub>徳而濟<sub>レ</sub>之<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>威。

故聖王御<sub>レ</sub>世、觀<sub>レ</sub>盛衰、度<sub>レ</sub>得失、而爲<sub>レ</sub>之<sub>レ</sub>制。

故に聖王の世を御する、盛衰を觀、得失を度つて、之が制を爲す、

聖上ノ世ヲ治メ御スルハ、矩ヲ設ケテ、衰ニ備ルユヘニ、制法ヲ定メテ行フニモ氣運ノ盛衰ヲ觀、人事ノ得失ヲ度リ知テ、世ニ應ジ時ニカナフヤウニ、兵ノ制法ヲモ下スナリ、世ノ盛衰アルハ、人主ノ治ムル道ニ得失アルニヨツテナリ、去ルホトニ、得失ヲ見テ、世ノ盛ナルト衰フルトヲ知ルナリ、制法ヲ得ルコトアツテ、失フコトナケレバ、世ハ盛ニシテ、衰フルコトナシ、制法ニ失アルユヘニ、世ハ衰フルナリ【正義】ニ云フ、兵者所以<sub>レ</sub>轉<sub>レ</sub>衰爲<sub>レ</sub>盛、轉<sub>レ</sub>失爲<sub>レ</sub>得、乘<sub>レ</sub>氣運<sub>レ</sub>而起<sub>レ</sub>者也、御<sub>レ</sub>主<sub>レ</sub>謹<sub>レ</sub>幾微<sub>レ</sub>、說<sub>レ</sub>欲<sub>レ</sub>使<sub>レ</sub>世常治而不<sub>レ</sub>亂、亂亦而轉爲<sub>レ</sub>治之意【大全】ニ云フ、此題須<sub>レ</sub>知<sub>レ</sub>本文之

制上有二而爲二字、則這制字、便是盛而慮衰、得而慮失之意、如諸侯制二師、方伯制三師、天子制六師、無非欲使天下常盛而不衰、常得而無失、以保永寧於萬年之制、【全解】云フ、制謂兵制、即下文諸侯二師、方伯三師、天子六師、便是兵非聖王所樂用者、但氣化不能、有得而無衰、人事不能、有得而無失、使不設爲兵制、以統御之、則無以防其叛逆、過其亂萌也、故說一御字、便是聖王着定幾微、使世常治而不亂、亂亦轉治之理、着眼全在御世二字、

故諸侯二師。方伯三師。天子六師。

【訓】故に諸侯は二師、方伯は三師、天子は六師、

按ズルニ、方伯ノ方ノ字、諸注明解ナシ、考フルニ【禮記】ニ所謂東伯西伯ト云フ意ナルベシ、東西南北ノ四方ニ居スル諸侯ノ長ナルユヘニ、萬伯ト云フナリ、故諸侯二師トハ、諸侯ノ國ハ二軍ニ萬五千人ナリ、コレ上軍下軍ノ二軍ナリ、方伯ハ二軍三萬七千五百人ナリ、コレ上軍中軍下軍ノ三軍ナリ、天子六師トハ、コレ六軍七萬五千人、左右前後上下ノ六軍ナリ、此ノ如ク多キト寡トアルハ、尊卑ヲ以テ其法ヲ定ムルナリ、天子ヲ尊シトスルユヘニ六師ナリ、ソノ次ハ、方伯ヲ三師トシ、諸侯ノ長タリト云ヘドモ、國ヲ成スコトハ、天子ノ半分ナリ、故ニ三師トス、諸侯ハ卑シ故ニ二師トス、コレ大ヲ以テ小ヲ制スルナリ、コレ聖王ノ制法ナリ、周官之制、司馬之法、凡制軍、王六軍、大國三軍、次國二軍、小國一軍、正ニ此制ナリ、周公ノ法ハ即チ大公ノ法ナリ、黃石公、コノ法ヲ以テ、張良ニ授ク、故ニ周公ノ法ト同ジ【大全】ニ云フ、御世之制、有二師三師六師之不同者、蓋諸侯爲天子守主地、恐其境內有竊發、故與之二師、以自衛、方伯爲天子奉九伐、威不恪、故與之三師、以專征、至于天子、則總六師、以示居重馭輕之意、

世亂則叛逆生。王澤竭則盟誓相誅伐。

【訓】世亂るれば叛逆生じ、王澤竭くれば盟誓して相誅伐す、

言フハ、聖主ノ道スタレテ、世亂ル、トキハ、叛逆ノ人ガ出生スルナリ、上ヨリノ治法ナキユヘニ、叛逆ノ人、蜂起シテ、世ヲ亂サントスルナリ、王澤竭トハ、王澤ハ天子ノ德澤ナリ、德澤ガコトゴトクツキテ、萬民ニ及ブコトナキハ、道ノスタレルナリ、世ヲ御スル道、衰フルニヨリテ、諸侯ガヨリ合ヒテ、互ニ盟誓シテ、相誅伐スルナリ、彼ヲ擊チ、コレヲ伐ツテ、亂世ニナツテ、天子ノ命ヲ用ヒズ、コレヲ相誅伐スト云フナリ、彼ノ戰國ノ七雄ノ時ノ如キ、是レナリ盟誓トハ、互ニ堅ク云ヒ合セテ、誓ヲ結ビ、心ヲ變ズマジキト約束スルナリ、按ズルニ【左傳】隱公元年正義ニ云フ諸侯自不ニ相信、則盟以要之、凡盟禮殺牲敵血、告誓神明、若有背違、欲令神加殃咎、使如此牲也【曲禮】ニ云フ、約信曰誓、泄牲曰盟、

德同勢敵。無以相傾。乃擊英雄之心。與衆同好惡。然後加之。以權變。故非計策。無以決嫌疑。非譎奇。無以破奸息寇。非陰謀。無以成功。

【訓】德同じく勢敵すれば、以て相傾くるなし、乃ち英雄の心を撃り、衆と好惡を同じうし、然る後、これに加ふるに權變を以てす、故に計策に非ざれば、以て嫌を決し疑を定むるなし、譎奇に非ざれば、以て奸を破り寇を息むるなし、陰謀に非ざれば、以て功を成すなし、

按ズルニ、數本ニ陰謀ヲ陰計ニ作ル、今【講義】ニ從フ、擊ノ字【直解】ニ攬ニ作ル、今、世本ニ從フ、コレ言フハ、敵ト我トガ德モ同ジク、勢モ敵シクテ、スコシモ強弱ナク、兵ノ多少モナクンバ、勝負ノ勢立チガタク、何トシテ相傾クルコトナルベキヤ、傾類ノ義ニテ、國ノ敗レ傾クナリ、コノ時ニ、英雄ノ心ヲ擊ツテ、賢ヲタノミ、塞ト好惡ヲ同ジフシテ、民ノ助ヲ特ミ、コレニ權變ノ術ヲ加ヘテ勝ツコトヲナスベシ、英雄ノ心トハ、上畧ノ發端ニ云フガ如シ、賢哲ノ人ノ心ヲトツテ、我が助トスルナリ、同好惡トハ、衆ト心ヲ一ツニシテ、我ニヨク從容サスルヲ云フ、以ニ權變トハ、敵ニ因ツテ制スル權謀ノ變化ナリ、權變ヲ能クシテ、敵ヲ制セズンバ、勝ヲ取ルコトナシ、賢ト民トヲタ

ノムハ本ナリ、權變ヲ加フルハ末ナリ、功ヲ成シテ勝ヲ決スルハ權變ナリ、故非計策トハ、計策ハハカリゴトナリ  
 權變ヲ以テ功ヲ得ルトキハ、ハカリゴトニテ、嫌疑ヲ決定セネバ、上下トモニ齊一ニナラヌナリ、嫌ハ、吾ガウタガ  
 フ方ナリ、疑ハ人ノ疑フナリ【禮記】ノ曲禮ニ決嫌疑ト云ヘリ、非譏奇トハ、譏ヲ以テ事ヲハカツテ、奇絶ナルヲ  
 云フナリ、コノ譏奇ノ巧ナル術ヲ以テセズンバ、奸シキ心ヲ破リ、寇ヲ息ムルコトナリガタシ、凡ソ奸邪寇敵ノモノ  
 ハ、譏奇ニテ破リ息メスンバ、制シガタシ、陳平ガ奇ヲ出シテ戰フ、コレ譏奇ノ術ナリ、非陰謀トハ、イカニモ隱  
 密ニシテ、イカナルモノモ知ラザルヤウニナス事ナリ、深遠密々ニシテ、測リガタキ謀畧ニテアラザレバ、動功ヲ成  
 スコトハナリガタシ、衆人コレヲ知ルトキハ、ソノ事ノ破ル、本ナリ、去ルホドニ、事ハ密ナルニ過ギタルハナシ、計  
 策譏奇陰謀ノ三ツ、コレヲ權變ノ術ト云フナリ【全解】ニ云フ、軍中之事、最忌洩露【易】ニ云フ、機事不密則害成、故  
 非陰計無以成功也●陰謀秘計、兵家所賴以成戰勝之功者也、使非陰謀、何以成敵功哉、挽是釋上文加之、以  
 權變之說也【大全】ニ云フ、非計策無以決嫌疑、非譏奇無以破奸寇、非陰計無以成功、這三句、正是  
 申明加之、以權變一句、說話雖屬衰世事、亦時爲之也【策解】ニ云フ、聖王之意、非樂乎此而爲之也、觀乎氣化  
 之盛衰、度乎人事之得失、而欲用、是以匡而救之、抑而扶之、使盛者常保其生、得者常保其得、即不然衰者不至  
 于極衰、失者不至于失、斯則其爲慮至深、而爲計至遠也、故曰、聖王之制兵、非聖王意也、勢也【開宗】ニ云フ、  
 此言聖王治保有制、及衰世戰伐之事、

聖人體天賢人法地智者師古。

聖人は天に體し、賢人は地に法り、智者は古を師とす。

按ズルニ【講義】ニ、賢人ヲ賢者ニ作ル、今、世本ニ從フ●言フハ、聖人ハ天ヲ體トシテ、兵ヲ法ルナリ、天道ハ、爭  
 ハズシテ、ヨク勝ツモノナリ、聖人ノ兵コレナリ、物トシテ通ゼズト云フコトナシ、ソノ兵、人ト爭ツテ勝ツコトヲ

用ヒズ、默シテ能ク之ヲ化スルナリ、天、何ヲカ云フヤ、四時行ハレ百物成ルト云フノ義ナリ、無爲無事ニシテ、シ  
 カモ、ヨク治ヲ成スナリ、聖人ノ無爲安全ニシテ、爭フコトモナク、戰フコトモナクシテ、コレヲ行フニ自ラ靜安ナ  
 リ、コノ無爲ノ全體ハ、コレ天ナリ、コノ故ニ體ヲ以テ、コレヲ言フナリ【前漢書】列傳二十六董仲舒傳ニ云フ、天者  
 羣物之祖也、故徧覆包函而無所殊、建日月風雨以和之、經陰陽寒暑以成之、故聖人法天而立道、亦溥愛而仁私  
 布德施仁以厚之、誼設立禮以導之、春者天之所以生也、仁者君之所以愛也、夏者天之所以長也、德者君之所  
 以養也、霜者天之所以殺也、刑者君之所以罰也、此言之、天之之微、古之道也、正ニ亦天ニ體スルノ意ナリ、  
 賢人法地トハ、賢人ノ兵ヲ法コト、聖人ト遙ニ異ナリ、物トシテヨクセズト云フコトナシ、爲ルコトアツテコレヲ  
 行フナリ、輕ク用ユベカラズ、持重ヲ以テ尙シトスルユヘニ地ニ法ルナリ、地ハ萬物ヲ生長シテ、コレヲ載セテ重  
 ク厚キナリ、ソノ形アツテ靜カナリ、聖ニ及バザルコトハ、字ニハ形ナクシテ、ソノ用、亦々述ナシ、地ハ形アリ  
 述アリ、コレヲ以テ異ナリトス、賢人ノ爲ストコロ、守ルトコロヲ欲ス、守ルトコロアレバ、コレ法ナリ、コノ故ニ  
 地ニ法ルト云ヘリ、體スト法ルトノ義ハ、ハルカニ異ナルコトアリ、智者師古トハ、前代ノ聖君明主ノ跡ヲ師トシテ  
 ソノ軌範ニヨツテ行フナリ、コレハ、賢ノ跡ヲ學ビ、聖ノ後ヲシタフナリ、亦々賢人ノ治ニ及バズ【開宗】ニ云フ、  
 智者師古、可以永世、重此句、起下人主當曉三略意【大全】ニ、聖人體天ト、云々、體字要三玩味、是尊奉之意、  
 非法則之意、天之心、至公無私、聖人體其至公無私之心、以治天下、天命有德、聖人體其禮善之心、而爲慶賞、天  
 討有罪、聖人體其禍淫之心、而爲刑威、雖征伐、亦是奉天行道耳、作文專在征伐上講、亦可【全解】ニ云フ、智者  
 料事固明、然必師法古人已成之事、而爲之損益變通、則其所行之事、無不善矣●勝久考フルニ、天ト云ヒ地ト云  
 ヒ、古ト云ヒ、正ニ是レ天地人ノ三ツ各ソノ異ナルコトアリ、



是故三略爲衰世作。

略は衰世の爲に作る、

是故トハ、上ノ文ヲ承ケテ云フ、三略一篇ノ書ハ、何ノ故ニ作爲スルゾナレバ、衰世ノタメナリ、時ガ季ニナリ、世モ衰ヘテ、道ハ微ナリ、人ノ心ハ危シ、奸詐並ビテコツテ、帝王ノ道ハ、イヨイヨ廢レタルニヨツテ、三略ヲ作ツテ古今ノ盛衰ヲ考ヘ、權正ヲ明カニシ、變態ヲ審ニシテ、コレヲ分別シテ、天下ノ正通ヲハジメテ著顯スルナリ、聖人ノ春秋ヲ作爲スルモ、亂臣賊子ガ世ヲ亂ルコトヲ思フテ作レルナリ、今コノ三略モ、衰世ノ爲ニ作ル●勝久考フルニ、三略ノ一書、王ニ備ハツテ伯ニ行ハル、正ニ衰世ノ爲ニ作ル、

上略設禮賞。別姦雄。著成敗。

上略は、禮賞を設け、姦雄を別ち、成敗を著す、

上略ノ一巻ニハ、禮賞ヲ設ケテ、功アルヲ賞祿スルヲ云ヒテ、祿ヲ與ヘ、爵ヲ尊ヒ、財ヲ贍ハスコトヲ云フ、コレ禮賞ヲ設クルナリ、別姦雄トハ、奸邪ノ者ト英雄ノ人ヲヨク辨別スルナリ、著成敗トハ、成ハ國ヲ安ンジ、家ヲ修ムルヲ云フ、敗トハ、國ヲ亡シ家ヲ破ルヲ云フ、篇ノ中ニ治國安家ノ事ヲ擧ゲテ云ヒ、亡國ヲ云フ、コレ後世ニ之ニヨツテ世ヲ治メ、國ヲ安ゼンコトヲ爲サシメシメタメナリ【講義】ニ云フ、上略所謂賞祿有功、禮崇則智士至、以爵以財者、此設禮賞也、所謂是謂亂根、是謂盜端者、此別奸雄也、所謂治國安家、是謂亡國者、此著成敗也、

中略差德行。審權變。

中略は、德行を差にし、權變を審にす、

中略ニハ德行ヲ差ニストハ、三皇無言而化流四海ト云フヨリ、霸者制士以權ト云フマデハ、コレ德行ヲ差ニスルナリ、審權變トハ、計策論奇陰謀ノ三ツヲ云フ、コレ權變ヲ審ニスルナリ、コレヲイフノ意ハ、後世ニ去ルト取ルトヲ知ラシメシメタメナリ、德行ノ差ヲ知ルトキハ、王ヲ尊ンデ霸ヲ細クナリ、權變ノ用ヲ知ツテハ、仁義ヲ先ニシ

テ、權謀ヲ後ニスルナリ、コノ書ニヨツテ、去ルベキヲ却ケ、取ルベキヲ用ヒバ、功ヲ得ンコト必然ナリ、コレ中略ノ重ズルトコロナリ、

下略陳道德。察安危。明賊賢之咎。

下略は、道德を陳べ、安危を察し、賢を賊ふの咎を明かにす、

陳道德トハ、道ト徳ト仁ト義ト禮トノ五ツノモノ、一體ナリト云フガ如キ、道德ヲ陳ブルナリ、察安危トハ、明ニ盛衰之源、通ニ成敗之端ト云フガ如キ、コレ安キト危キトヲ詳ニスルナリ、明賊賢之咎トハ、傷賢者殃及三世ト云フ、コレ即チ賢ヲ賊スルノ咎ヲ云フナリ、コレ後世ノ人賢人君子ヲ賊スルノ咎ヲ知ツテ鑒トセバ、コノ下略ノ法ヲ知ルベシ、コノ故ニ悉ニスルナリ【開宗】ニ云フ、總挈三略大意【直解】ニ云フ、按此節以下、至中卷末、疑是黃石公推演之言、

故人主深曉上略。則能任賢擒敵。

故人主深く上略を曉れば、能く賢に任じ、敵を擒にす、

人君國主タル人、深クコノ上略ヲ曉リタラバ、賢智ノ人ヲ求メテ、コレニ任ズルコトヲ能クシ、敵人ヲ擒ニスベキナリ、任賢トハ、禮賞ヲ設クルノ義ヲアカスニ因ツテナリ、擒敵トハ、成敗ヲアラハス義アルユヘナリ、深トハ、深切ノ義ナリ、深密ノ義ナリ【大全】ニ云フ、深曉、註言悉明其理、而能措之、極是三略之書、各具一義、皆爲衰世而作、上略多爲禮賞之設、姦雄之別、成敗之著、以立言也、故人君欲知任賢擒敵、不可不深曉上略、以明其理而措之、行上深曉者、三略恐後世人君不能任賢、以致敗、是以反覆倦倦耳、作文要得著書憂世心、

深曉中略。則能御將統衆。

深く中略を曉れば、能く將を御し、衆を統ぶ、

ヨク深ク中略ヲサトスナラバ、我が大將ヲヨク御シ、我が衆兵ヲ統ブルコトヲ善クスベシ、中略ニハ、德行ヲ差ニシ

權變ヲツマビラカニシ、衆ヲ馭スルノ法アルナリ【全解】ニ云フ、中略所載、多爲下差等德行、審察權變、爲之立言、故人君欲知御將統衆之能、不可不于中略一書、悉明其理、而措而行之也、

深曉下略。則能明盛衰之源。審治國之紀。

深く下略を曉れば、能く盛衰の源を明かにし、治國の紀を審にす、

下略ヲ曉ストキハ、盛衰ノ本ヲアキラカニシ、治國ノ法度ヲ審カニスベシトナリ、下略ニイフトコロ、安危ノ一ツヲ明カニシ、禍福ノ分ルトコロヲ云フ、紀トハ紀綱ナリ、法度ヲ云フ【詩經】天雅假樂篇ニ云フ、之綱之紀【朱子學的】ニ云フ、張之爲綱、理之爲紀【字彙】ニ云フ、大曰綱、小曰紀、總之曰綱、周之曰紀ト、曉ハ曉明ナリ、了曉也、凡ソ書ハ用フルトコロアリ、用フルト固ニ明カニスルトコロアリ、能クコノ三略ヲ明カニスルトキハ、上中下ノ略ハ、虛文ニアラズ、皆備ヘ用ヒラル、ナリ、曉トハ、サトシテヨク用ユルヲ云フ、去ルニヨツテ、コノ書ハ、用フルトコロニ因ツテ明カストコロアリ、書ニアラハル、ニハアラバ、書ハ言ヲ盡スベカラズ、言ハ心ヲ盡スベカラズト云ヘリ【全解】ニ云フ、下略一書、多爲陳道德、察安危、明賊賢之咎、爲之詳說、故人君欲明盛衰之源、審治國之紀、不可不于下略、所載悉明其理、而措而行之也●下略一書、非比上略任賢、中略保身已也、所關係、却是國家治亂、原委不曰道、不曰理、而曰紀者、見得道德安危賊賢、是國家一大綱紀所在、不可不素亂、治之所由致、在此、要在紀字、上看眼方好、

人臣深曉中略。則能全功保身。

人臣深く中略を曉れば、能く功を全うし、身を保つ、

按ズルニ【大全】ニ、保功全身ニ作ル、傳寫ノ誤カ、今、世本ニ從フ●人君ノミ三略ヲ用フルニアラズ、人臣モ深ク曉ストキ、能ク功ヲ全ウシテ、身ヲ保持スベキナリ、人臣ヨク曉了スベキモノハ、三ツノ中ニ於テモ、コノ篇ヲ曉

サバ、功名ヲ全ウシテ失ハズ、身軀ヲ保テ護ルベキナリ、亦タ必ズ上略下略ヲ一偏ニ廢スルニアラズ、タゞ能ク人臣ノ重ンジ曉スベキモノハ中略ニアリ、一ツノ深ノ字眼ヲ著ケンコトヲ要ス【全解】ニ云フ、三略全書、既爲人君所當ニ深曉、寧獨不爲人臣所當曉耶、然中略差德行、審權變之說、尤人臣全功保身之切要、故人臣果能深悉著言之旨、體而行之、則身自不罹禍網、君臣兩相全美、斯無負于前人作略之深意矣【講義】ニ云フ、明此篇之意、則可以全功保身、蓋盛名之下難處、人臣之爲國輔者、非威不可也、威多身蹶、中略之所戒也、此所以能明此篇之意、則可以保全其身名●勝久謂、深曉者古人叮嚀反覆之意也、

夫高鳥死良弓藏。敵國滅謀臣亡。亡者非喪其身也。謂奪其威廢其權也。

夫れ高鳥死して

良弓藏し、敵國滅びて謀臣亡ぶ、亡ぶとは、其身を喪ふに非ざるなり、その威を奪つて、その權を廢するを謂ふなり、按ズルニ【大全】ニ、喪ノ字ヲ致ノ字ニ作ル、從フベカラズ、今、世本ニ從フ●言フハ、高ク飛ブ鳥ヲ射テ取ラントテノ良弓ナリ、鳥ヲ射殺シタレバ、弓モ射ラザルホドニ、府庫ニ收メテ置クナリ、コレハ、下ノ句ヲ云ハントテ、言ヒカケテ喻テアグルナリ、敵國ヲ滅シテハ、智謀アル臣モ亡ビ去ルナリ、モハヤ合戦ヲセズ、敵國モ亡ビテ、謀ヲ頼ムベキコトモナキホドニ、高鳥ノ死シテ良弓ノイラザル如ク、謀臣モ、其ノ智慮ヲ用ユベキヤウナシ、亡者非喪其身トハ、謀臣ガ我ト其ノ身ヲ亡スルニハアラズ、臣ノ威多ク權ヲ恣ニスルニヘニ、人君ソノ威ヲ奪ヒ、ソノ權ヲ廢シテ兵柄ヲ統ベサラシメヌヤウニスルナリ、然レバ、謀臣ガ自ラ身ヲ喪フヤウニシカクナリ、亡者ト云フヨリハ、亡ノ字ヲ解釋シタル辭ナリ【前漢書】列傳四韓信傳ニ、狡免死走狗烹ト云フモ亦タコノ意ナリ【開宗】ニ云フ、不令總兵權、此下言人主保全功臣之道ト、

封之於朝。極人臣之位。以顯其功。中州善國。以富其家。美色珍玩。以悅其心。

【訓】これを朝に封じて、人臣の位を極め、以て其功を顯す、中州善國、以て其家を富まし、美色珍玩、以て其心を悦ばしむ、按ズルニ【講義】ニ、悦ヲ説ニ作ル、今、世本ニ從フ●言フハ、大ニ功アル臣下ヲバ、コレヲ朝廷ニ封ジテ、人臣ノ官位ヲ極メテ、ソノ勳功ヲ顯ハスナリ、朝ハ朝廷ナリ、官位ハ或ハ大將、或ハ上卿、軍師ノタグヒノ極位ニススメテ舉用スルコトナリ、コノ如クスレバ、ソノ人ノ爲シタル功名ヲ恰ク天下國家ニ顯ハスナリ、サテ、地ヲ分ツテ、コレニ予フルニハ、中州ノ善國トテ、イカニモ中國ノウチニテ、ヨキ國ヲ選ンデ知行ニ與フルナリ、中州トハ、國ノマンナカト云フ義ナリ、貢賦ヲヨク納ムル國ナルユヘニ、臣下ノ家ガ富ミ榮フナリ、美色珍玩トハ、美色ハ好色ナリ、珍玩ハイロノノ珍ラシキ財寶、モテアソビ、諸道具ノ結構ナルモノヲ云フ、カヤウノ財マデヲ賜ハルナリ、ソノ功ノ莫大ナルユヘニ、恩ヲ報ユルコトハ大キナリ、美色ヲ愛シ、珍寶ヲモテアソンデ心ヲ悦バシムルコト、カクノ如クニ隆ナリ、兵ヲ用ヒテ、人ノ死力ヲ得ルコトハ、コレニ報ユルニ厚ク重クセズンバ、時ニ臨ンデ用ヒラルベカラズ、コノ故ニ、カクノ如クスルナリ【全解】ニ云フ、功臣既奏凱旋之勳、若不封之以世爵、尊之以極位、不唯難以服其心、仰且閉塞將來之賢路、所以威可奪、夜可廢、而官秩爵位依然不改、其尊榮也●美色珍玩、乃蕩情損志之事、以此賜功臣、正欲其優游歲月、使無他念耳、

夫人衆一合而不可卒離。權威一與而不可卒移。還師罷軍。存亡之階。故弱之以位。奪之以國。是謂霸者之略。故霸者之作其論駁也。

【訓】夫れ人衆一たび合して卒に離るべからず、權威一たび與へて卒に移すべからず、師を還し軍を罷むるは存亡の階なり、故に之を弱くするに位を以てし、之を奪ふに國を以てす、これを霸者の略といふ、故に霸者の作る、その論駁たり、

按ズルニ【講義】ニ、權威ヲ威權ニ作ル、今、世本ニ從フ●又駁ノ字、駁ニ作ル、今考フルニ【字彙】ニ、駁、獸名、如馬

銜牙、能食虎豹●駁伯各切、音博、馬色不純、詩ノ幽風ニ皇駁其馬、又木名、梓榆也、其皮青白如駁、駁ハブチムト訓ズ、亦タマダラト訓ズ、物ノ純一ナラザルヲ駁雜ト云フ、駁ノ字、音同ジウシテ、ソノ義大ニ異ナリ、從フベカラズ●言フハ、軍ヲ興シ、兵ヲ舉グルコトハ、輕シクスルコトニアラズ、シカレバ、既ニ士衆ヲ合シテ、一たび軍ヲ取リ結ビタラバ、倉卒ニ分レ離ルベカラズ、一度衆ヲ合シタラバ、シツカリト保ツテ、勝利ヲ得テ功ヲ爲スベシ權威一與トハ、權威アルヤウニ、一たび大キニ舉ゲ用ヒテハ、俄ニ之ヲ移シテ、權威ヲ奪ハントスルコトナシ、一度與ヘタルモ、與フベキ故アリテ、與ヘシホドニ、朝ニ與ヘテ、タニコレヲ奪フヤウニハスベカラズ、コレヲ奪ハントナラバ、ソノ久シキヲ俟ツテ、漸々ニシテ除クベシ、移ハ移易ナリ、還移ナリ、ウツシカユル心ナリ、還師罷軍トハ、軍陣モヤミ、師モハテ、歸陣スル時ノ事ナリ、コ、ニテ、臣タルモノ、存亡ノ階ナリト云ヘリ、功アルハ功ヲアラハシテ、賞祿ニアヅカリ、功ナキモノハ、ソレホドノ、シチキニアテガフナリ、功アリテ、亦タ反ツテ亡サル、モアリ、コンニヨツテ、存亡之階ト云ヘリ、階ハ端ノ字ノ義ナリ、コノ時ニアタツテ、弱之以位ト云フテ、官爵ヲ降シテ、ソノ人ノ氣ヲ弱ムルナリ、コレハ、人ノ勢ヲ押ヘテ、氣マ、ナルコトヲサセジトスルナリ、奪之以國トハ、國ヲ奪ツテ、要害ノ地ナドニ置カズ、ソノ勢分ヲ微弱ニスルナリ、コレミナ臣下功アル人ヲシテ、大ナル權威ニ誇ラセヌヤウニスルナリ、コレ霸者ノ專トスル略ニシテ、王者ノナスコトニアラズ、霸ハ士ヲ制スルニ權ヲ以テスルニヨツテ、カクノ如クナリ、故ニ霸者ノ作、其論駁也ト云ヘリ、駁トハ雜ナリ、論ハ理論ナリ、評論ナリ、霸者ノ理論ヲナシテ、治法ヲ行フコト駁雜ナリ、王者ノ如ク純一ニナキト云フノ義ナリ、コレ王伯ノ異ナリ、

存社稷。羅英雄者。中略之勢也。故世祕焉。

【訓】社稷を存し、英雄を羅するも、中略の勢なり、故に世祕す、

按ズルニ、數本ニ勢主祕焉ニ作ル、今【講義】ニ從フ●中略一篇ノ大綱ハ、皇帝王霸ノ其國ヲ治ムルコトヲナシテ、然

カモノノ時代ノ異差、治法ノ異別ヲ明カニシ、功臣ノ去就ヲ詳ニスルナリ、存ニ社稷トハ、コレ帝王ノ祕ツトムルト  
コロナリ、社稷ヲ安存シテ、英雄ヲ收羅スルトキハ、ソノ國治マラズト云フコトナシ、コノ故ニ、世、祕密シテ、祕  
テ妄リニ漏スコトナシト云ヘリ【開宗】ニ云フ、此言時不能無爲安靜、君臣當明古之義、而後可以有濟、

●下略

コノ略ハ、先聖先賢ノ政ヲ論ジ、禮樂ヲ以テスルコトヲ重ンズ、人君明將、ヨク此略ヲ明カニシテ、國家ノ紀  
綱ヲ得ン【開宗】ニ云フ、此篇、發明人政之當重、故婉婉不厭其詳、至論人重聖人、論政重禮樂、推本王  
道、多得之子輿七篇、前二篇、引軍讖軍勢、蓋述所聞、此無所引、則已自爲言與ト【大全】ニ云フ、凡十五  
章ト、

夫能扶天下之危者。則據天下之安。能除天下之憂者。則享天下之樂。能救天下之禍者。則獲天下之福。

夫能扶天下之危者。則據天下之安。能除天下之憂者。則享天下之樂。能救天下之禍者。則獲天下之福。夫能扶天下之危者。則據天下之安。能除天下之憂者。則享天下之樂。能救天下之禍者。則獲天下之福。夫能扶天下之危者。則據天下之安。能除天下之憂者。則享天下之樂。能救天下之禍者。則獲天下之福。

コノ段ハ、天下ノ利ト害ト云フナリ、害ヲ去ツテ利ヲ得ル、コレ古今ノ通義ナリ、危ト憂ト禍トノ三ツハ、コレ天  
下ノ害ナリ、安ト樂ト福トノ三ツハ、コレ天下ノ利ナリ、主將タル人、ヨク天下萬民ノ危殆ノ事ヲ扶ケ救フトキハ、  
我必ズヨク天下ノ安靜ニ據ルナリ、天下ノ萬民、憂ヒ悲シムモノヲヨク除キ去ルトキハ、天下ノ逸樂ヲ享クベキナリ  
天下ノ衆人ノ禍害ヲヨク救フトキハ、必ズ天下ノ福澤ヲ得ルナリ、天下ノ爲ニ危ト憂ト禍トヲ扶ケ除イテ、ソノ利ヲ  
衆人ト共ニシテ、ソノ樂ニ處ルベシ、コレ先聖古賢ノ業トスルコトナリ、周ノ代三十世、八百七十三年ヲ保チシ、  
天下皆コノ如ク、萬民ノ爲ニモロクノ害ヲ除キ去ツテ、利ヲ享ケ憂ヲ救フテ樂ヲ與フルナリ、阿清海晏ノ紀綱、コ

ノ一段ノ文ニスグベカラズ、禹王ノ九年ノ辛苦シテ、甚雨ニ沃ヒ、疾風ニ櫛リテ、力ヲ溝洫ニツクサレシモ天下ノ危  
ヲ扶ケ、天下ノ憂ヲ除ンガタメナリ、天下ノ危、天下ノ憂ト云フハ、一家一郡ナドノ少々ノ利タイハズ、天下ノ大事、  
天下ノ大利ナルナリ、

故澤及於民則賢人歸之。澤及昆蟲則聖人歸之。賢人所歸則其國強。聖人所歸則六合同。

故に澤民に及べば、賢人これに歸し、澤、昆蟲に及べば、聖人これに歸す、賢人の歸するところは、その國強く、聖人の歸するところは、六合同じ、

澤ハ德澤ナリ、恩澤ナリ、天下國家ノ萬民ハ、コトゴトク聖人ノ德ノ澤ストコロ、賢人ノ歸スルコトノ恩タイタマ  
カズト云フコトナシ、聖ト賢トノ思ノ加フルトコロ、深キト淺キトアリ、澤及於民トハ、ソノ思イマダ至ツテ深カ  
ラヌナリ、去ルホドニ、賢人ガ來服スルホドノ德澤ナリ、コレ萬民ニ及ブノミ、齊ノ威公ノ寒エタル老人ニ衣ヲ與ヘ  
或ハ食物ナドヲ取ラセラレタルノ類、コレ澤及於民ノ分際ナリ、コノ故ニ、管仲ガ徒、來ツテ歸服セリ、澤及昆蟲ト  
トハ、乾坤宇宙ノ間ニ恩澤ヲ蒙ラズト云フコトナキノ義ナリ、昆蟲ハ至微ノ物ナリ、目ヘ入ルホドノ小蟲ナリ、或ハ蟲  
ノ總名ナリ、至微ノ物マデモ、德澤ノ及バザルトコロモナキトキハ、聖人、コレニ歸スルナリ、コレ德澤ノ至ツテ深キ  
ナリ、般ノ湯主ノ德ハ、山川草木マデニ及ベリトナリ、去ルホドニ、伊尹ソノ聘ニ應ジテ、民ヲ塗炭ニ救フナリ、コレ  
德澤ノ深遠ナルナリ、賢人ノ歸スルコトハ、ソノ國強盛ナリ、コレハ國バカリノ澤ナリ、至ツテ深カラズ、聖人ノ歸  
スルトコロハ、六合同ジト云フテ、天地四方、コトク其ノ德タイタ、カズト云フコトナク、共ニ和シテ同ジクスル  
ナリ、山川草木禽獸ニ及ベルガ如シ、全ク備ハラズト云フナシ【正義】ニ云フ、賢人以匡濟斯民爲念者也、澤及於  
民、必省刑薄賦、能愛民之君也、賢人抱才欲用、安得不歸【翼註】ニ云フ、人君苟能愛民之生、使其安居樂業、  
毫無苛政、以及于民、則賢人自感動而歸附、相與輔助、共成休美之治矣【大全】ニ云フ、賢人歸之者、亦是危邦不入、

視其可歸而歸之也。又按ズルニ【文訣】ニ云フ、澤及于民之國、其君必賢、其政必治、故賢人歸之【題矩澤及于昆蟲、是鳥獸魚鱉、咸若上下得所、景象如下胎卵不割、著網以時、皆是澤及之意】指歸ニ云フ、生意瀟瀟、鳶飛魚躍、萬物欣欣誘焉、皆生而不知其所、以得同焉、皆得而不知其所、以得此大和世界、聖那不歸。

求賢以德致聖以道。賢去則國微。聖去則國乖。微者危之階。乖者亡之徵。

賢に求むるに徳

を以てし、聖を致すに道を以てす、賢去れば國微に、聖去れば國乖く、微は危の階、乖は亡の徵、

按ズルニ【講義】ニ、微ヲ微ニ作ル、傳寫ノ誤ナリ。言フハ、人君タルモノ、賢人ヲモトムルニハ、徳ヲ以テスルナリ。ソノ徳サカンナラザレバ、賢人ソノ國ニ至ラズ、コノ故ニ、先ヅ賢人ヲ求メ得ントスル君ハ、徳ヲ盛大ニスベシ、聖人ヲ致シ來スニハ、道ヲ以テスルナリ、道行ハレザレバ、聖人ハ歸セズ、コレ亦タ稟クルトコロノ材ニ異ナルコトアルニヨツテ、求ムルトコロモ異術アルナリ、賢人ハ徳ヲ積ンデ、コレヲ爲スナリ、聖人ハ道ヲ備ヘテ美ヲ全フスルナリ、コノ故ニ、賢ヲ求ムルハ徳ナリ、聖ヲ致スハ道ナリ、賢ヲ求ムトイヒ、聖ヲ致スト云フハ、賢人ハ求メテコレヲ得ルナリ、タトヘバ、殷ノ高宗ノ傳説ノ野ニ傳説ヲ得ルナリ、コレ形ヲ以テ求ムルナリ、聖人ニ至ツテハ、求ムルニ得ルコトナシ、コレヲ致シテ、自ら我ト至ラシムルナリ、タトエバ、伊尹ハ聖人ナリ、殷ノ湯王ノ三聘ヲ待ツテ、ソノ後ニ幡然トシテ改ム、コレ聖人ハ求ムベカラズ、自ら至ルナリ、コノ故ニ致スト云ヘリ、賢去トハ、モシ賢人ガ去ツテ居ラザルトキハ、ソノ國ハ衰微スルナリ、賢人ニ在ツテコソ國ヲ強クシ、盛大ニスルコトナルニ、賢人去ルニヨツテ、國ハ微ニナルナリ、百里奚ガ虞ヲ去ツテ、虞ノ弱クナルガ如シ、聖去則國乖トハ、ソノ國和同スルコトナシ、コノ故ニ乖クナリ、乖ハ違乖ナリ、上ハ下ニソムキ、下ハ上ニソムクホドニ、國ノ敗亡スル效ナリ、コノ故ニ、微者危之階也ト云ヘリ、國ノ微ニナルハ、危殆ノ端ナリト云フ、ヤガテ危難ガ出デキテ、國家ガ迷惑ヲセントノ義ナ

リ、乖亡之徵トハ、聖人去ツテ國中不和ナルホドニ、滅亡スベキノ微ナリト云フノ義ナリ、微子箕子比干ハ殷ノ三仁ナリ、紂王ガ惡逆ユヘニ、三人トモ去ル、比干ハ諫メテ殺サレ、殷即チ滅亡セリ【全解】ニ云フ、徳字道字、是此題聖眼處、賢人原以修徳爲賢、聖人原以修道爲聖、且不特自修其徳、自修其道、並欲合天下之人、以共修其徳、共修其道、今過人君能以徳爲求、以道爲致、正所謂君臣遇合之際、儼然同徳同通之盛、豈有下不願立其朝、者乎。求屬有心、致屬無意、感通在精神最爲微細、作文不可不辨【指歸】ニ云フ、聖人者不可不以隆禮、求、不可不以爵祿、致、惟以德應徳、測賢人不待召而自來矣【開宗】ニ云フ、此節言治安天下者、在得聖賢之歸往。

賢人之政。降人以體。聖人之政。降人以心。體降可以圖始。心降可以保終。降體以禮。降心以樂。

賢人の政、人を降すに體を以てし、聖人の政、人を降すに心を以てす、體降る、以て始を圖るべし、心降る、以て終を保つべし、體を降すに禮を以てし、心を降すに樂を以てす、

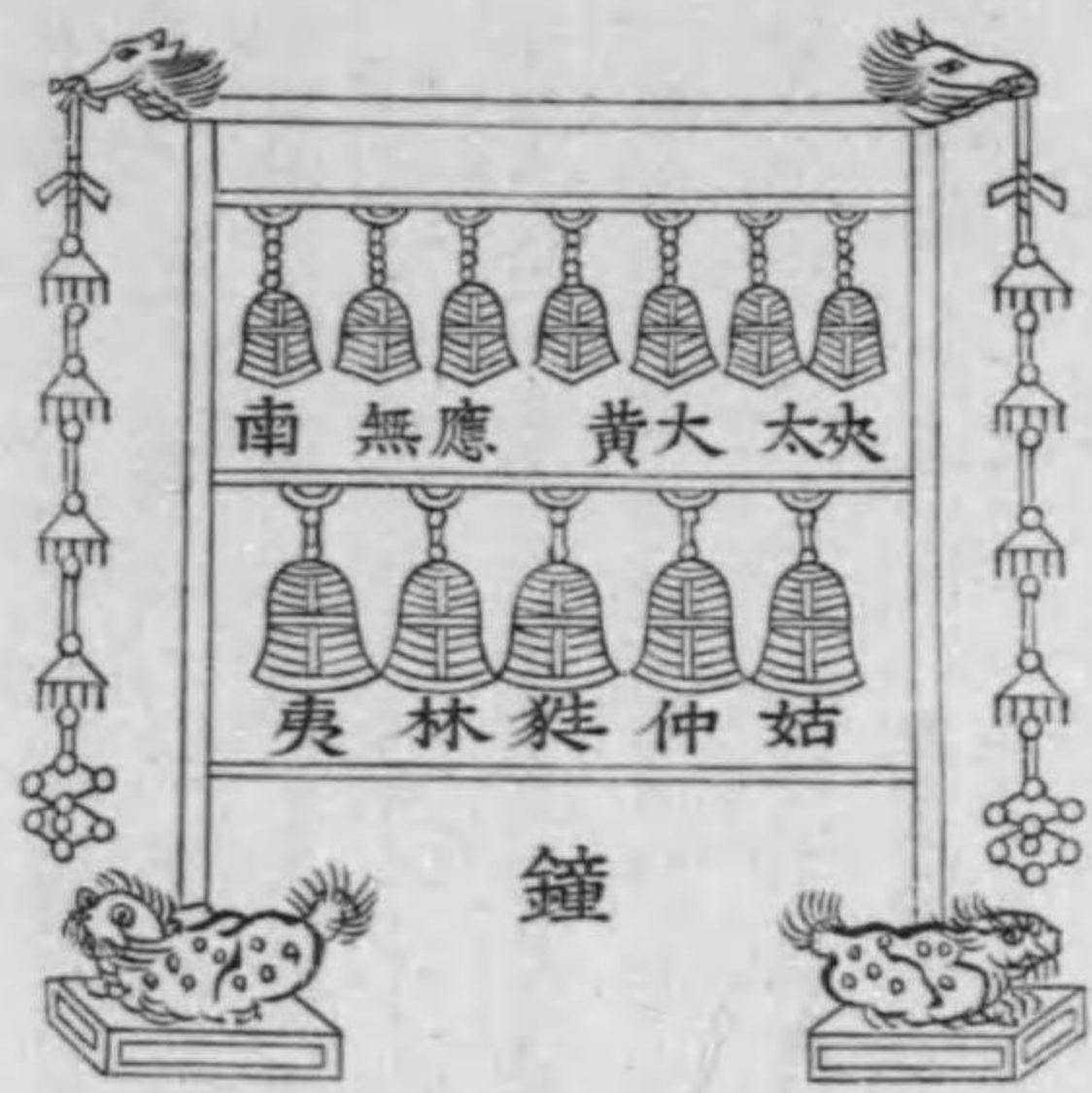
賢人ト聖人ト異ナルコトアル故ニ、政ヲナシ、人ヲ治ムルニモ異ナルナリ、賢人ノ國ヲ治メ人ヲ治ムルニハ、人ヲ降スニ體ヲ以テスルナリ、體ハ支體ナリ、外ナリ、我が支體ノ行儀ニテ、手ヲ垂レ、腰ヲカバメテ、人ヲ降伏スルナリ、コノ故ニ、降人以體、體ヲ以テバカリ降スユヘニ感榮スルコトナシ、コノ故ニ淺シ、聖人之政降人以心、心ヲ以テ降スユヘニ、甚ダ深シ、ソノ内ヲ格スモノナリ、内ヲ服スルユヘニ感ズルトコロアリ、體ト心トノ異別、コレ聖ト賢トノタガヒナリ、心ヲ以テ降スハ、全體ヲ降伏スルナリ、コレニヨツテ、感アツテ深シ、外バカリヲ服スルト心ヨリ降伏スルトハ、大ニ違ヒアリ、體降可ニ以圖始トハ、コレハ上ノ句ヲ釋シテコトハルナリ、體ヲ屈シテバカリ降スハ外バカリナルユヘニ、圖始ト云フテ、ハジメハ降シテ從ヘトモ終ナシ、後マデハトケヌトノ義ナリ、心ヲ以テ降スモノハ、朝ヨリ暮ニ至ルマデ、隨從シテモ、勞トモセズ、身ヲ終ルマデモ去ルニ忍ビザルユヘニ、終ヲ保ツナリ、終ヲ以テ降スハ、始アツテ終ナシ、心ヲ以テ降スハ始アリ、終アリ、從フコトヲ樂ンデ服スルナリ、降體以禮トハ

禮ハ人心各固有スル心ノ徳ナリ、コレヲ以テ、我ガ動作起居ヲ正シクシテ、人ヲ降伏スルナリ、降レ心以レ樂トハ、樂ハ心相樂ンデ、ソノ感情モツトモ深シ、コノ故ニ、萬民和樂シテ、叛クコトナク、中心悅ンデ、眞實ニ服従スルナリ【彙解】ニ云フ、降者非聖人有以レ心降之也、是天下之人、中心誠服、問之天下、而天下不知、歸功于聖人、而聖人不有、此時見得聖人降人以レ心耳、

所謂樂者非金石絲竹也。

訓讀 謂ゆる樂は、金石絲竹に非ざるなり、

上ヲ承ケテ云フ、樂ト云フハ、金石絲竹ノ器ヲ假ツテ、コレヲ樂ムニハアラズ、人自ラ樂ムヲ云フ、金石絲竹ハ、天下ノ和樂ヲカタドツテ造ルモノナリ、金ハ鐘ナリ、石ハ磬ナリ、絲ハ琴瑟ナリ、竹ハ簫管ナリ、外ニ和スルハ政令ナリ、



内ニ和スルハ道徳ナリ、天下ノ事、和ヲ以テ貴ハズト云フコトナシ、樂ハ其ノ和ヲウツセルモノナリ●按ズルニ【書經】舜典ニ、四海遇、密八音、蔡沉註、八音、金石絲竹匏土革木也●又按ズルニ【群書拾唾】卷八ニ云フ八音、金鐘鑄、石磬、絲琴瑟、竹簫管、匏笙、土壎、革鼓鼗、木祝敔、(鐘)【事物紀原】卷二ニ月令章句ニ曰ク、上古聖人本陰陽、別風聲、審清濁、不可ニ以レ文載口傳、於是始鑄金以主十二月之聲【山海經】ニ云フ、炎帝之孫、伯岐因鼓遂爲鐘、又云フ、伯岐生鼓延、是始爲鐘【呂氏春秋】ニ云フ、黃帝命伶倫鑄十二鐘、世本ニ云フ、黃帝工人垂所造【皇圖要紀】ニ云フ、帝嚳造鐘磬、禮ニ云フ、垂之和鐘、鄭康成云フ、垂、堯時鐘工也ト、云云(磬)按ズルニ【說文】ニ、無勾氏作磬、世本モ亦タ云フ、又

日叔所造、不知何代人、古史考ニ云フ、堯時人也、樂錄曰ク、磬叔所作、禮記曰ク、収之離磬、皇圖要紀ニ曰ク、帝嚳造鐘磬、通禮義纂曰ク、黃帝使伶倫造磬也、云云●勝久云フ、三略ニ云フ樂ハ、全ク八音ノ音器ヲ假ルモノヲ樂ト云フニアラスト云ヘドモ、今本文金石絲竹ノ字有ルニ依ツテ、今蒙者ノタメニ、コレヲ記スコト、左ノ如シ、

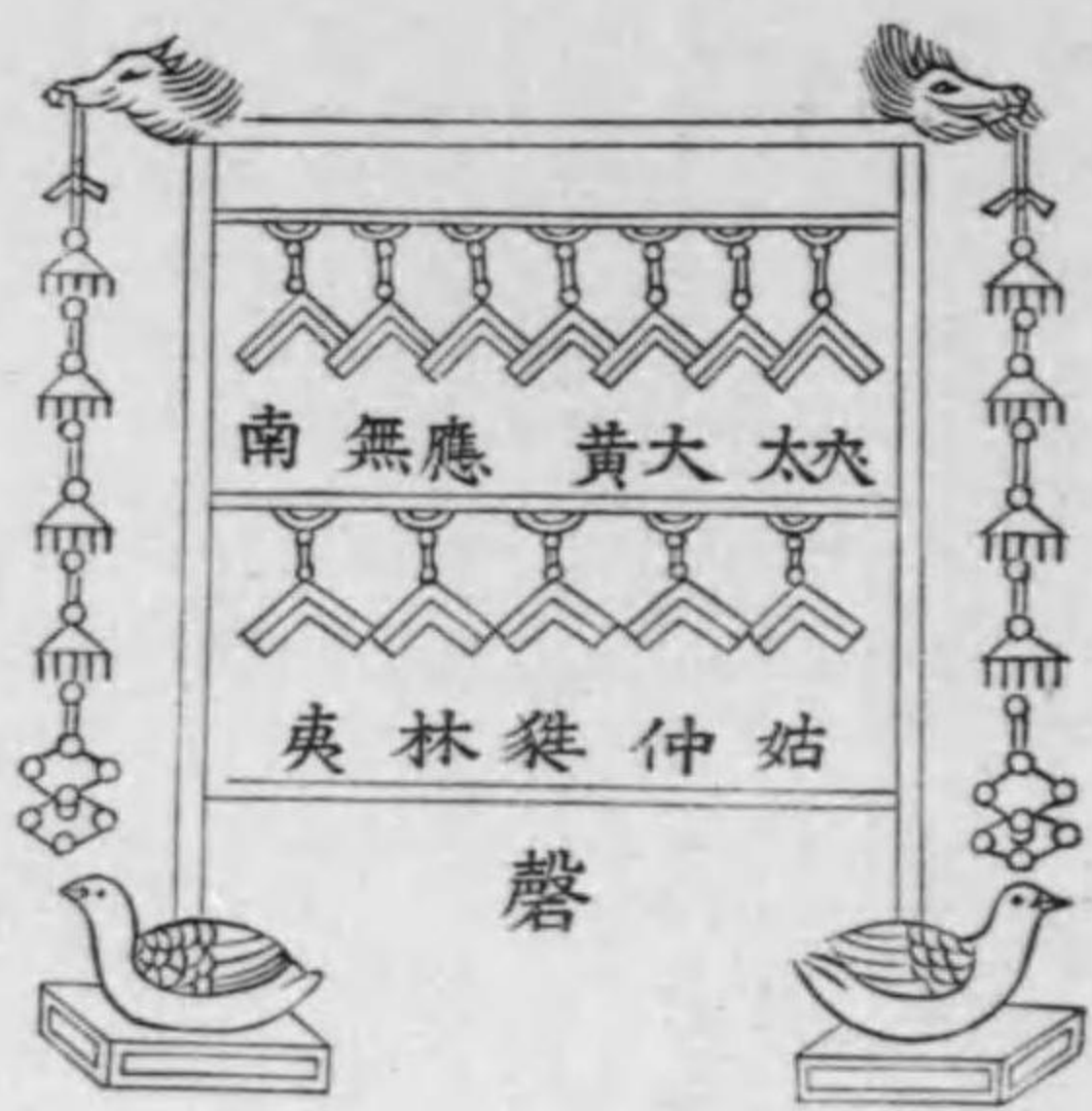
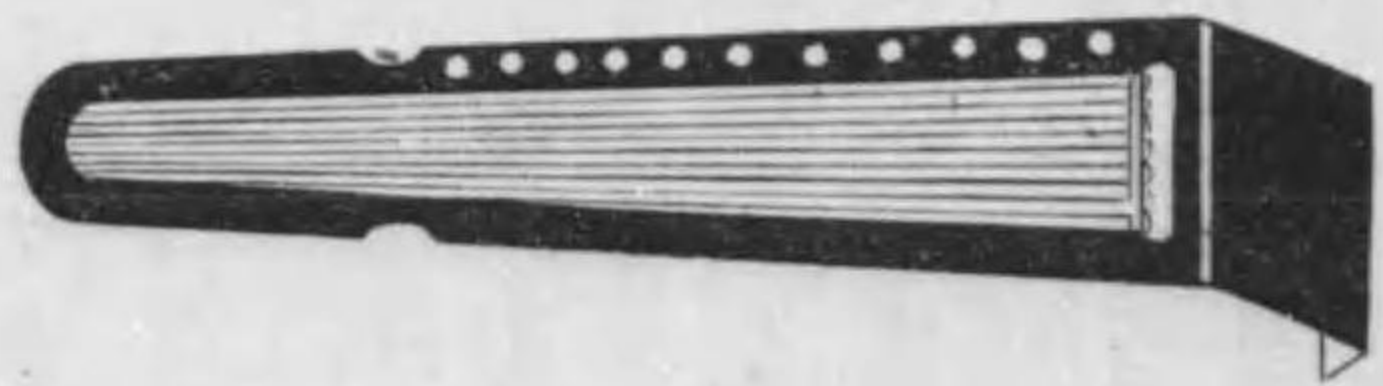


圖 瑟 琴



(琴)【文選】西都賦ニ曰ク、伏犧作琴、世本ニ云フ、伏造琴、琴操ニ云フ、伏犧作琴、長三尺六寸六分、琴書ニ云フ、

管

長九寸前各六孔下



各一孔數度同篇

簫



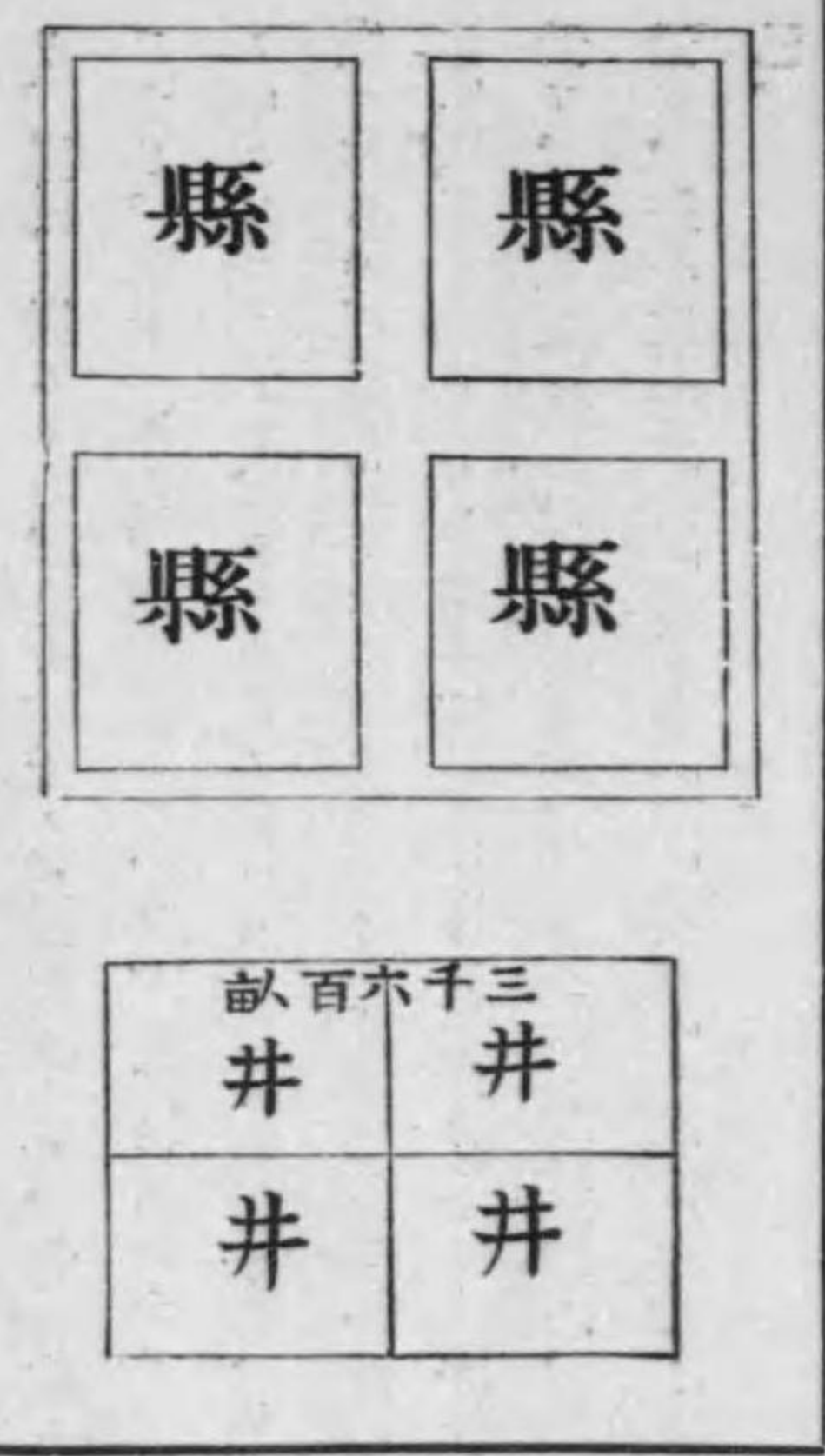
伏犧氏王天下，削桐爲琴，【廣雅】云云，伏犧氏琴長七尺二寸【說文】云云，琴神農所造，桐越練朱五絃，至三周文增其二，云云，琴世本云云，伏犧造瑟，王子年【拾遺記】云云，庖犧氏絃桑爲瑟，世本云云，又云，庖犧氏作瑟五十絃，後黃帝使素女鼓瑟，哀不自勝，破爲二十五絃，具二均聲，帝王世紀云云，伏犧作瑟三十六絃，隋ノ音樂志云云，瑟二十七絃，伏犧所作也，【四書略圖解】云云，管兩篇並列，管端安哨併而吹之，其吹法亦與篇同，夫律管之制，雖因聽鳳凰之鳴，雄六雌六，而爲三十有二，然惟鳳簫則各爲二管，其簫管則只合爲一管而七孔，右往俱從左律之數，取雌從雄之義也，【鳳簫】以木爲槽，通高九寸，廣八寸，中空五寸六分，厚一寸二分，用管十有二，長短如律，篇端各開半竅，爲吹口，管底留節以列於槽中，從左而右，起黃鐘，終應鐘，上平列於槽柱齊，下

則參差如鳳尾，然故又名曰鳳簫，吹法以兩手奉槽，按律吹之，又云，鐘者空也，空其中，以出聲，其象圓而上覆，曰象天也，故八音金爲重也。

謂人樂其家。謂人樂其族。謂人樂其業。謂人樂其都邑。謂人樂其政令。謂人樂其道德。如此君人者，乃作樂以節之，使不失其和。

樂むをいひ、人の其政令を樂むをいひ、人の其道徳を樂むをいふ、かくの如くして、人に君たるものは、乃ち樂を作つて、以て之を節し、その和を失はざらしむ。

コレ言フハ、樂ハ心ノ和ニモトヅイテ、必ズシモ鐘鼓ノ聲ニヨラズ、コノ故ニ、金石絲竹ヲ假ツテ樂ムニアラズ、人自ラ樂ム、家ヲ樂ムトハ、各ソレノノ居ルトコロヲ安ンジテ樂シムナリ、ソノ族ヲ樂ムトハ、族ハ氏族宗族ナリ相互ニ一家視類シタシミ合ヒテ、ムツマジクスルヲ樂ム、樂業トハ、業ハ事業ナリ、ソレノ所作家職ヲ安ン



ジテ樂ムナリ、ソノ都邑ヲ樂ムトハ、都邑ハ人ノ集ルトコロナリ、國君ノ居處ナリ、諸人ノ集マレルトコロ繁昌シテ、萬事ノ用ヲ辨ズルニ滯リナシ、コレヲ安ンジテ樂シムナリ、都邑ノコトハ、前ニ往々記ス、今圖ヲ以テ童蒙ニ示ス、コレ所謂四縣ヲ都トシ、四井ヲ邑トスルノ圖ナリ、ソノ政令ヲ樂ムトハ、政令ハ天下國家ノ政道號令ナリ、國ノ仕置ヲ云フ、君ヨリ出シ行ハル、政令カ正シクシテ、萬民ソノ惠ニアツカルホドニ安ンジ樂ムナ

下略

一一一

リ、道德ヲ樂ムトハ、コレ君子ノ道義徳義ナリ、善ヲ安ゼンコトヲ樂シムナリ、コレ和順輯睦ノ風ナリ、上下ニ行フナリ、君子タル人、樂ヲ作シテ、コレヲ節ニスルナリ、和ヲ失ハシメザルノ義ナリ、節レトハ、物ヲ直ニシテ、マシ中ニスルヲ云フ、ヨキホドノ義ナリ、和ハ和順ニテ、ヤハラグ義ナリ【論語】ニ禮之用、和爲レ和ト云フ義ナリ、君子ノ樂ヲ作スハ、和ヲ以テセンガタメナリ【正義】ニ云フ、作レ樂以節、聖人在レ上、恐レ人過ニ于佚樂、後必至レ驕奢淫佚、所以制レ樂、五音相宣、各有三節、黃帝作レ咸池、堯作レ大章、舜作レ韶、禹作レ大夏、湯作レ大濩、武作レ大武、皆是此意【指南】ニ云フ、聲音從レ性出、性原是和的、此是從レ聖人ニ推到レ心、從レ心推到レ樂、又從レ心推到レ和、一步進ニ一步、的道理【衷旨】ニ云フ、民心之樂不レ可無、亦不レ可過、君レ人之作レ樂、不レ過節ニ制之、使レ日遊于優柔和平之中、保ニ全其本性天然、而已、

故有徳之君、以樂樂人、無徳之君、以樂樂身、樂人者久而長、樂身者不久而亡。

故に有徳の君は、樂を以て人を樂ましむ、無徳の君は、樂を以て身を樂ましむ、人を樂ましむるものは、久しくして長く、身を樂ましむるものは、久しからずして亡ぶ。

按ズルニ【全解】ニ云フ、樂、身者不レ久而亡、樂、人者ニ作ル、必然ノ誤ナリ、從フベカラス、上ノ句ヲ承ケテ云フ、徳アル君子ハ、樂ヲ作シテハ、天下國家ノ人ヲシテ和樂シテ樂マシムルナリ、徳ナキ君ハ、自己ノ身バカリヲ樂ム、樂トハ、孟子ノ所謂獨リ樂ンデ樂ムノ義ナリ、天下ト共ニ樂シムハ、無窮ノタノシミナリ、獨リ樂ムハ、ソノ樂ヲホシヒマ、ニスルユヘニ、樂ニ限アルナリ、コノ故ニ云ク、人ヲ樂シマシムルモノハ久而長ズト云ヘリ、コレ孟子ノ衆ト樂ンデ樂ムノ義ナリ、衆人ト共ニ樂ムユヘニ、國祚久シクシテ長ズルナリ、盛長ノ義ナリ、ソノ身一人ヲ樂シマムルモノハ、久シカラズンテ敗亡スルナリ●按ズルニ【彙解】ニ、朱氏云フ、承上樂、家樂、族六句、總是樂人承上作レ

樂節和、總是以樂樂人、諧神人、和上下、與民同樂、非有徳之君、其孰能之【大全】ニ云フ、此題專重有徳之君上、惟有徳、故能使三人咸得其樂、乃作樂以宣暢、若無徳之君、不能與民偕樂、只借聲容以娛一己之耳目、故曰、有徳之君、以樂樂人【開宗】ニ云フ、此言聖賢出政得爲心、

釋近謀遠者勞而無功、釋遠謀近者佚而有終、佚政多忠臣、勞政多怨民。

近きを釋て、遠きを謀るものは、勞して功なく、遠きを釋て、近きを謀るものは、佚して終あり、佚政には忠臣多く、勞政には怨民多し、

コレ言フハ、近キハ隣國ヲ云フ、遠キハ遠國ナリ、マヅ近隣ノ國ヲバ取ラズシテ、遠國ヲ謀ラントスルハ、勞シテモ其功ナキナリ、遠キヲ舍テ、ソノ近キヲ謀リ圖ルモノハ、安佚ニシテ、始終ヲ全ウスルナリ、終アリトハ、終末ガ都合スルノ義ナリ、勞ト佚トヲタカハセテ云ヘル文ナリ、佚政多ニ忠臣トハ、上ノ文ヲ再釋スルナリ、遠キヲ舍テ近キヲ謀ルハ佚政ナリ、忠臣ノ者多シ、近キヲ舍テ遠キヲ謀ルハ勞政ナリ、コノ故ニ、怨怒ノ民ガ多キナリ、秦ヨリ韓魏ノ國ヲ越エテ、齊ヲ攻ムルガ如キ、コレ近キヲ舍テ、遠キヲ攻ムルナリ●一説ニ、近キハ我が國ヲ云フ、遠キハ他ノ國ヲ云フト云ヘリ、然レドモ、近隣ノ國ヲ治メ取ルホドノコトナレバ、我が國ハ云フニ及バズ、治ムベキコトナリ、又【講義】ニ云フ、近キハ中國ナリ、遠キハ夷狄ナリ、中國ヲバ治メズシテ、夷狄ヲ取ラントスルナリト云ヘリ、コノ解、從フベカラズ、近キモノ、何ゾ中夏ニ限リ、遠キモノ、豈ニ夷狄ニ限ラン、甚ダ偏説ナリ【直解】ニ所謂、如秦越韓魏ニ而攻、齊ト云フノ害ナキニハシカズ、佚政トハ、上ヨリノ行フトコロ佚政ナレバ、民ガ力ヲ勞セズ、財ヲ費サズ、コノ故ニ、民マタ上ニ報ゼントスルナリ、コノユヘニ、忠節ヲツクス臣下多キナリ、政勞スルトキハ、民クタビレテ、上ニ怨怒スル心アリ、故ニ多ニ怨民ト云ヘリ【正義】ニ云フ、佚字是好字眼、以佚道使民、雖勞不怨、此是百事治理、上下相安、不爭不擾、多由股肱効力之故【指歸】ニ云フ、政清事簡、上無催科之擾、下無力役之煩、



使民各得其所、而政多俟者、自非忠君愛國之臣、以匡扶國政、何以能俟【大全】ニ云フ、天下國家、萬機萬務、最難  
理矣、因難理而政遂擾亂不寧、凡此皆無忠勤之臣以治之也、今云云俟政、如何得俟、必多忠臣以治之、而後政乃  
得俟ト、

故曰、務廣地者荒、務廣德者強、能有其有者安、貪人之有者殘、殘滅之政、累世受  
患、造作過制、雖成必敗。

成ると雖も必ず敗る。

廣地トハ、土地ヲ廣大ニセンコトヲ願ヒ、頭處ヲ大ニセントバカリスレバ、必ず己ガ國荒ハナリ、荒トハ、荒レ壞ル  
ルナリ、務廣德トハ、德ヲ寬廣ニスルコトヲ務ムルナリ、德ヲ務ムルナレバ、自ラ四夷來服シテ、國ハ強キナリ、  
タトヘバ、人ニ勝ツコトヲ求ムル心ナシトイヘドモ、人オノゾカラ服スルユヘニ、國カナラズ強キナリ、明君タル人  
ハ、德ヲ度ツテ、地ヲ度ルコトナシ、德ヲサヘ廣厚ニ勤ムルナラバ、土地ハ自ラ廣クナルベシ、能有其有トハ、我  
ガ有スベキトコロノ國ヲ善ク保有シテ、人ニ伺ヒ侵サレヌヤウニスレバ安穩ナリ、人ノ有テムサボリテ、分ニモアタ  
ハズシテ、人ノ土地ヲネラヒ、人ノ國ヲ奪ヒ取ラントスルナラバ、民ヲ害シ國ヲ殘フナリ、我ガ有スルトコロヲ堅ク  
有トセバ、人安ク國モ寧ンズベシ、人ノ有テムサボラバ、殘滅スベキナリ、殘滅ノ政ハ、ソノ時ノ君ノミナラズ、累  
世ニ及ンデ、國土ノ患ヲノコシ、人氏ノ惱ミヲナスナリ、前代ヨリモ、國モ治マリ、人モ富メルナラバ、ソレヲ失ハ  
ヌヤウニ、堅固ニシテ、我ガ德ヲ務メテアラバ、自然ニ土地モ廣ク、人來服スベキナリ、我ガ物ニモナリガタキ貪欲  
ヲ企テバ、殘滅ノ政ニテ、一世ニカギラズ、世ヲカサネテノ患難ナリト云ヘリ、造作過制トハ、制ハ制度ナリ、侈ッ  
テ制度ヲ越エ、分ニ過グルコトヲナス事ナリ、タトヘ一旦ハ成就スト云ヘドモ、制ヲ過グルコトハ、必ず敗ル、モノ

ナリ、秦ノ始皇ガ阿房宮ヲ作りテ、二世ニシテ滅亡スルガ如ク、成ルトイヘドモ、必ず敗ル、ナリ、唐ノ太宗ノ四海  
ヲ平ゲテ後ニ、遼東ヲ窮メテ、高麗ニ取ツテカ、リ、コレヲ取ラントスル、コレ地ヲ廣クシ、人ノ有テム食ルモノナリ  
然レドモ、後ニヨク合點アツテ、後悔アリ、臍ヲ噬ムト云フテ、イラヌコトヲシタリト思ハレタリ、コレモ分ニ過グル  
コトヲ知り、人ノ有テム食ルハ殘滅ノ政ナリト知リタルナリ●勝久謂ヘラク、本朝ノ豊臣秀吉公、文祿元年ニ朝鮮國ヲ  
征セシガ如キ、コレ近キヲ舍テ、遠キヲ謀リ、人ノ有テムサボルモノナリ、コノ故ニ、吾ガ朝草業ノ功アリト云ヘド  
モ、守成全カラズ、遂ニ秀頼ニ至ツテ滅亡ス、嗚呼、秀吉寛仁ノ量ヲ以テスルユヘニ、一旦異邦ノ戰、勝利ヲ得ルト  
云ヘドモ、廣地ヲ務メテ、廣德ヲ以テ四夷八蠻ヲ服スルコトヲ知ラズ、蓋シ智者千慮一失ノ誤カ、關白一生ノ不覺ト  
云ツベシ、主將タル者、慎マザルベケンヤ【大全】ニ云フ、務廣德者強、對廣地言、廣地則人多愁怨、故曰荒、廣  
德則人多喜悅、故曰強、強則地自廣矣、者字指國君言●能有其有者安、重能有二字、不以人之有、而貪取之、止  
自有其有、而保守之、既無希幸之想、復無空隙之竄、豈不上下相安●能有其有、正是聖人治世、大公無我之心【翼  
註】ニ云フ、德恩惠也、恩惠偏及于天下、則天下思歸矣【題矩】ニ云フ、廣德只是使天下小民、各得其所、土地日衆、物  
力日繁、不期強而自強【全解】ニ云フ、此題寔義在德字、著力在務字、廣字者字、指國君說、強字承務、廣德說、量  
解ニ云フ、此言務末之無功、務本之有成、以戒人之當修德、不可貪殘也【開宗】ニ云フ、此言釋近謀、遠而  
務廣其地者必無功、

舍己而教人者逆、正己而化人者順、逆者亂之招、順者治之要。

己を捨て、人を教ふるものは逆、己を正しうして人

を化するものは順、逆は亂の招、順は治の要。

舍己トハ、民ヲ教エ、人ヲ正シウセシコトヲ教フルナラバ、先ズ我ガ行フトコロヲ能クスベシ、自己ヲパウチ捨テ、

ナリ次第ニシテ、人ヲバ化セントスルニヨツテ、人化シ難キナリ、我が行フトコロニヨツテ、下タル者ハ、ソレヲ手本ニシテ、ソノ如クスルモノナリ、然ルテ、自己ヲ舍テ置イテ、人ヲ正シウセントスルハ逆ナリ、繩規ヲユガメテ置イテ、ソレヲカタニシテ作ル、器ヲ直ニセント思フガ如クナリ、直ニハナリガタシ、正レ己而化レ人者順トハ、己ガ正シクンバ、人ヲモ正シウナルベキナリ、堯舜ハ己ヲ修メテ人ヲ正シウシ、湯王武王ノ身ヲ正シテ人ヲ化スル、コレミナ順ナリ、逆者亂之招トハ、逆ヲ以テ人ハ化シガタシ、然ラバ、亂ヲ招クニナリ、順ヲ以テハ人ヲ修ム、人オサマレバ國家平安ナリ、然レバ、順ハ治ノ要ナリ、要トハ、至要肝要ノ義ナリ、活亂ノ根本ハ、主君ノ行フトコロノ逆ト順トニアルト云フノ義ナリ【大全】ニ云フ、舍レ己教レ人者逆、逆則雖令不行、正レ己化レ人者順、順則令而行、故曰治之要【全解】ニ云フ、己者人之謁也、未レ有己不正而能化レ人者、故人君修レ徳行レ仁、是正レ己處、己正レ而推レ之有レ準、施レ之有レ方、凡血氣之倫、悉游于範圍之中、其機何等順レ之、故曰正レ己而化レ人者順【覺解】ニ云フ、由レ本該末、以レ己及レ人、自然成治【開宗】ニイフ、此言欲レ行ニ教化者、宜ニ先正レ己、

道德仁義禮。五者一體也。道者人之所蹈。德者人之所得。仁者人之所親。義者人之所宜。禮者人之所體。不可無一焉。

るところ。一なくむばあるべからず。

コレ言フハ、道德仁義禮ノ五ツノモノハ、コレ人ノ天ニ原ゾイテ、心ニソナハルモノナリ、モト一體ニシテ、分レテ五ツノ名アリ、一體ト云フハ、五ツノモノハ、固ト一箇ノ理ナリ、コレ即チ一體ナリ、ソノ用ニ至ツテハ分別アリ、下ノ文ニ云フ、夙興夜寐以下、コレ其用ノ萬殊ナルナリ、聖人ハ、コレ五ツヲ兼テ用ヒテ、天下ト共ニ之ヲ行フナリ、道者トハ、事物當然ノ理ヲ云フ、人之所踏トハ、大ナル路ヲ萬人ノ往來シテ、踐ミ踏ムノ理ニシテ、事事物物、

道德仁義禮。五者は一體なり。道は人の蹈むところ、徳は人の得るところ、仁は人の親むところ、義は人の宜しきところ、禮は人の體するところ。

コノ道ヲ離レタルト云フコトナシ、人ゴトニ、大路ヲバ踏ンデ行クモノナリ、萬事萬物、コトゴトク、コノ道ヲ離ルルコトナシ、コノ故ニ所踏ト云ヘリ、道如大路ト東坡ガ云ヘルモ是レナリ、徳トハ、徳ハ得ナリ、道ヲ行ウテ得ルトコロアリ、コノ故ニ徳ト云フ、徳ハ己ニ足ツテ外ニ待ツコトナキモノナリ、仁者人之所親トハ、我人ヲ愛スレバ、人亦タ我ヲ親愛ス、慈愛ノ深キモノナリ、コノ故ニ、人人シタシミ歸服シテ、ソノ愛ニナヅクナリ、義者宜也トテ、事事物物ニワタツテ宜シキアリ、タトヘバ、無道ヲ伐チ、ソノ人ヲ誅ス、コレ義ナリ、宜シキナリ、時ノ宜シキニアタツテ行ヒ、事ノ宜キニ随ツテ用フル、コレ義ナリ、コノ故ニ、人ノ宜シキトコロヲ義ト云フ、禮者天理ノ節文、人事ノ儀則ナリ、人ノ體スルトコロトハ、我が身ニ具足シテ、體シテ行フトコロナルホドニ、體ト云フ、コノ五ツノモノハ、人ニ四支アルガ如クナリ、一體モカクルコトアリテ、具セザレバ、コトナラズ、コノ故ニ、不可無一ト云ヘリ●按ズルニ、羅山ノ抄ニ、博ク愛スルヲ仁ト云フト、勝久按ズルニ、博愛之謂仁ノ句ハ、韓愈ガ原道ニ云フトコロニシテ、ソノ誤、程子朱子、詳ニ之ヲ辨ズ【性理大全】三十五ニ見エタリ、今ゴ、ニ贅セズ、博愛ノ説、從フベカラズ【覺解】【大全】等、亦タ博愛ノ説ヲ取ルコトアリト云ヘドモ、予、コレヲ取ラズ●按ズルニ【直解】ニ云フ、仁義禮智、徳也、道散之萬事、徳備於一心、分而言之、各有體有用、統而論之、其原皆出於天、而體則歸於一【覺解】ニ云フ、不觀其用、弗知備理之全也、不觀其體、弗知會理之本也、天下無性外之道、即無性外之徳、無性外之徳、即無性外之仁、即無性外之義、所謂道與徳者此理也、所謂仁與義與禮者亦此理也、同出一源者也、豈有精粗之別乎、豈有本末内外之異乎、

故夙興夜寐。禮之制也。討賊報讐。義之決也。惻隱之心。仁之發也。得己得人。徳之路也。使人均平。不失其所。道之化也。

夙興夜寐に寐ぬるは、禮の制なり、賊を討ち、讐を報するは、義の決なり、惻隱の心は仁の發なり、己に得る人に得るは、徳の路なり、

人をして均平ならしめ、その所を失はざるは道の化なり。

按ズルニ【開宗】ニ、讐ノ字、仇ニ作ル、今、世本ニ從フ●コレ亦タ重ネテ、上ノ五ツノモノヲ釋スルナリ、早朝ニハ興キテ、夜ニハ寐ネ、ソノ行跡威儀ヲ正シクスルハ禮ノ制ナリ、スコシモ其節ヲ失ハザルナリ、節アルユヘニ、制ト云ヘリ、早ニ起キテ、夜ニイヌルマデノ間、シバラクモ敬シテセズト云フコトナキノ義ナリ、討賊報讐トハ、賊虐ノ人ヲ伐シ、君ノ讐ヲ報ジ、父ノ怨ヲムクユルハ、コレ義ノ決ナリ、或ハ民ノ害ヲノゾキ、萬民ノ苦ヲ除クモ、コレ義ノ決ナリ、義ハ必ズ爲ルニアリト云フハ此意ナリ、賊ヲ討ズルモ、仇ヲ報ズルモ、義理ノ決定シ決斷シタル意ナリ、惻隱之心トハ、人ヲ憐レミイタハル心ナリ、發トハ端ナリ、心ニ發起スルノ義ナリ、仁ノ心ガ人ゴトニ備ハリテアル故ニ、危キコトヲ見テハ、アハレヲ思ヒイタハル、コレ惻隱ノ心ナリ【孟子】ノ四端ニ惻隱之心仁之端也ト云ヘリ、童ノ井ニ陥ラントスルヲ見テハ、憐レト思フ心ノキザスヲ云フ、得己得人トハ、得己トハ、我方心ニ得ルノ義ナリ、得人トハ、人心ヲ得テ我ニ歸服スルヲ云フ、コレ即チ徳ノ路ナリ、ソノ徳通ゼザレバ、人ヲ得ルコトモナラズ、己ヲ得ルコトモナラヌナリ、コレ内ニ徳アリテ外ニ顯ハル、ノ路ナリ、使三人均平トハ、大道ヲ行フトキハ、天下均平ニシテ、ソノ所ヲ失ハズ、大用ノ流行スルナリ、コノ道ヲ以テ、人ヲ化スルトキハ、國モ家モ等シク治平ナリコノ故ニ不レ失、其所ト云ヘリ、事事物物ノトコロ、萬般諸事ニ、コノ道ノ及バヌト云フトコロナシ、故ニ不レ失、其所ト云ヘリ、道人化也トハ、政教ヲ以テ人ヲ化スルノ道ナリト云ヘリ【開宗】ニ云フ、此言ニ爲國者、當盡五事之體用、五事ハ一體、而義獨言、討賊報讐、蓋師以義爲質、道德仁義則載之以行者、

出君下臣。名曰命。施於竹帛。名曰令。奉而行之名曰政。

といふ、奉じて之を行ふを名づけて政といふ。

君より出でて臣に下る、名づけて命といふ、竹帛に施すを名づけて令

按ズルニ【大全】ニ、竹帛名ノ字ヲ命ニ作ル、傳寫ノ誤ナルベシ、今、世本ニ從フ●命令政ノ三ツハ、名ハ各別ナレドモ、ミナ同ジク主君ヨリ出デ、臣ニ下シテ之ヲ行フナリ、君ヨリ仰セ出サル、條目ヲ命ト云フナリ、ソノ條條ヲ臣下ガ能ク竹帛ニ書キ記シテ置イテ、又ソノ下タル萬民ヲ使用スル、コレヲ令ト云フ【事物紀原】卷ノ十二云フ、王言惟作命、不言臣下、故稟令、是則王者之言、下守之而爲令也ト、百官コトゴトク其令ヲ聞イテ、禁法ヲ犯サズ、戒ヲ守リ、事ヲ治ムルヲ政ト云フ、故ニ奉而行之ト云ヘリ、奉ハウケタマハルノ字ナリ、政ハ正ナリ、百官卿相、各コレヲ奉ゲテ行フユヘニ、天下國家ニ流行シテ治マル、コレ政ナリ【大全】ニ云フ、命令政三者、要知相統聯之意、人知國家立政之名、因乎人情、本乎土俗、而不知政之所、以名爲政者、由于朝廷之命令、以領行之天下者也、萬國九州之所、由以奉而行之者也、故奉而行之名曰政、

夫命失則令不行。令不行則政不立。政不立則道不通。道不通則邪臣勝。邪臣勝則主威傷。

夫れ命失すれば令行はれず、令行はれざれば政立たず、政立たざれば道通ぜず、道通ぜざれば邪臣勝つ、邪臣勝てば主の威傷る、

按ズルニ【講義】ニ、二ツノ立ノ字ヲ正ニ作ル、今、世本ニ從フ●言フハ、君ヨリノ詔命ガ失スコトアレバ、臣下トシテ、號令ヲ下スコトモナリガタシ、君命ノ過失アルナレバ、マタ百官ノウケタマハルトコロ、行フトコロモ、正シク立タズ、令正シク立タザレバ、治道モヨク萬國中ニ流通セヌナリ、或ハ道ト云フハ、三綱五常ノ道モ通ゼヌト云ヘリ、三綱ハ君臣ナリ、父子ナリ、夫婦ナリ、五常ハ仁禮智信ナリ、コノ道通ズルユヘニコソ、臣ハ君ニ命ヲ致シ、子ハ父ニ孝ヲナシ、婦ハ夫ノ教ヲ守ルナリ、通ゼザレバ、邪臣ソノスキ間ヲネラヒテ奸ヲナスナリ、コノ故ニ邪臣勝ト云ヘリ、邪臣ガハビコリテ權ヲ奪フユヘニ、主人國君ノ威勢ハ傷レ敗スルナリ、勝トハ、人主ノ權ヨリモ、奸邪ノ臣下ノ權威ガ強クナルト云フノ義ナリ、コレ國ノ敗傷スルノ基本ナリ、國君一人ノ詔命ニ過失アルユヘニ、カクノ如

【開宗】ニ云フ、此言立政當嚴命令、以杜邪臣窺伺、

千里迎賢其路遠。致不肖其路近。是以明君舍近而取遠。故能全功。尚人而下盡力。

千里賢を迎ふるは、その路遠し、不肖を致すは、その路近し、これを以て、明君は近きを捨て、遠きを取る、故に能く功を全うす、人を尙んで下力を盡す、

按ズルニ【講義】ニ、明君ヲ明主ニ作り、尙人ヲ尙賢ニ作ル、今、世本ニ從フ●賢者ハ得ルコト難シ、不肖者ハ得ルコトヤスシ、千里ニ迎フルトハ、甚ダ遠キヲ云ハンガタメナリ、コレ求メ得ルコトノ難キヲ云ハンタメナリ、賢人ヲ求メ得ルコト、千里ノ外ニ迎フレドモ得ガタシ、不肖ノ者ハ、ナニトゾシテ、人ニ用ヒラレテ、身ヲ立テント思フユヘニ、求ムルニ、ソノマ、至ルナリ、コノ故ニ、ソノ路近シト云ヘリ、近シトハ、求メ得ルコトノ安キト云ハンタメナリ、是以明君トハ、聖君ハコレニヨツテ、ソノ近クシテ求メヤスキテ舍テ、路遠ク求メ難キヲ取ルナリ、タトヘバ太公ヲ渭濱ニ求ムル如ク、傳說ヲ岩野ニ求ムル如クナリ、故能全功トハ、忠功アルモノヲ保全シテ、擧ゲ用ヒ、賢人ヲ貴ビ任ジテ、何事ヲモウチマカセテ、國ヲ治メ整フルトキニハ、下タル萬民モ、コトゴトク力ヲ盡シテ、君ヲ思ヒナヅクナリ、力ヲ盡スト云フハ、精力ヲアリシダイ君ニ忠功ヲ抽ンデンコトヲ思フナリ、コレミナ衆人ノ心ヲ得ルユヘナリ、伊尹稷契ガ類、ミナ是レナリ●勝久按ズルニ、遠近ノ二字ハ、路途ノ遠近ヲ云フニアラズ、求メ難ク、求メ易キノ二ツヲ云フノミ【大全】ニ云フ、舍不肖之易致、而取夫賢人之難、求者、則其致治之功、自然高出於人●一説ニ、全功尙人、非是言致治之功、超出于人、乃是進賢而不肖、其功僅半耳、惟又進賢、又退不肖、乃爲全功、全功便是、舍近取遠四字、不作兩層、尙人者、只在人身上、著精神之說、不能取賢者、固不能成功、能取賢而不能舍不肖、衆君子爲之而不足、一定人敗之而有餘、何得云全【開宗】ニ云フ、此言爲政當取賢之難、求、舍、不肖之易、求、

廢一善則衆善衰。賞一惡則衆惡歸。善者得其祐。惡者受其誅。則國安而衆善至。

一善を廢すれば衆善衰へ、一惡を賞すれば衆惡歸す、善者その祐を得、惡者その誅を受くれば、國安くして衆善至る、

一善トハ、善人一人ヲ廢シテ退クレバ、ソノ一人ノミナラズ、衆善ガ衰フルナリ、必ズ擧ゲ用ヒラルベキ者ヲ一人退ケテ用ヒネバ、コトゴトクノ善者ガ心ス、マズシテ、善惡同ジコトヨト云フノ理ニナルナリ、コレ衆善ノ衰微スルナリ、賞一惡トハ、ヒトリノ惡人ヲ擧ゲテ賞スレバ、ソレヲ見習ヒテ、衆惡ガ歸スルナリ、コレ程ヨキコトハナキゾト思ヒテ、惡ヲ改ムルコトナシ、古シヘハ、一人ノ君子ヲ用フルトキハ、天下相賀スト云フテ喜ブナリ、一人ノ小人ガ朝廷ニ用ヒラルレバ、天下相弔フト云フテ、悲ミ憂フルナリ、君子一人ニテ國ヲ治ムルニテモナケレドモ、一人ノ君子ヲス、メテハ、衆善人ガス、ムナリ、一人ノ小人ニテ、國ノ敗ル、ニテハナケレドモ、衆惡ガ歸スルニヨツテナリ、歸トハ、歸入ノ義ナリ、ミナ惡ニナルト云フノ心ナリ、善者得其祐トハ、賞罰ノ明カナルナリ、善者ニ祿ヲ與ヘ、爵ヲ授クルハ、コレ祐ヲ得ルナリ、コレ善ヲナスノ福ナリ、惡者ハ誅ヲ受ケテ罰セラル、ナレバ、コレ惡逆ノ報ナリ、禍ナリ、カクノ如ク賞ト罰トヲ嚴明ニスルナレバ、國家ハ安寧ニシテ、衆善コトゴトク至ルナリ【論語】ニ、擧レ直措レ枉則民服ト云ヘリ、賢人ガ上ニアレバ、ソノ類ヲ引クユヘニ、又擧用スルモノモ賢人ナリ、コレヲ衆善至ルト云フ【正義】ニ云フ、賞罰正、而善者益勉、于爲善、惡者自斂、迹潛藏、又焉有邪說搖惑民心、而國本因之不安者乎【覺解】ニ云フ、善人國之楨、今不使善者受不安之禍、則衆善俱至矣、未レ有衆善至而國不安者、亦未レ有國安而衆善不至者【指南】ニ云フ、國安二字、未レ可輕談、進賢人容易、進賢而使國安、遠小人容易、遠小人而使國安、難、今既取賢舍不肖、而國已安矣、衆善又何慮哉【開宗】ニ云フ、此言善惡之進退、各以其類、一人君能祐善誅惡、則衆善畢至、

衆疑無定國。衆惑無治民。疑定惑還。國乃可安。

訓衆、疑へば定國なく、衆、惑へば治民なし。疑定まり、惑還つて、國乃ち安かるべし。

疑ト惑トハ、同ジヤウナレドモ、疑ウテ後ニ惑フナリ、疑ノ甚シキヲ惑ト云フ、衆人ガ疑情ヲ起ストキハ、國ヲ安定ニスルコトハナリガタシ、衆ガ惑フナレバ、萬民ヲ平治スルコトナラズ、人ノ心ノ變リ移ルコト暫クモヤマズ、トヤセシカクヤヒント疑惑スルユヘニ、國家ノ安定ハナキナリ、何事ヲシテカ害ニアフベキゾト、事事ニ觸レテ、疑惑ヲ生ズルナレバ、民ノ心ノ安ク治マレルコトハナシ、コレ賞ト罰トノ正シカラザルニヨツテ、衆民ガ疑惑ヲ起スナリ、上下ノ間ニ疑惑ヲ起ス、コレ國ヲ傷ルノ本ナリ、君臣上下ノ疑ナキヤウニスル、コレ安寧ノ本ナリ、コノ故ニ、疑定惑還、國乃可安ト云ヘリ、還トハ、疑惑ヲサマリテ、モトノ如ク和順ニナルノ義ナリ【大全】ニ云フ、疑定惑還、國乃可安、亦要根上章詁喜誅惡來不不然泛講疑惑二字、有何趣味【開宗】ニ云フ、此言疑惑之當去、疑則國事搖搖如鼎沸、惑則民心焚焚如亂絲、賞罰明則衆無疑惑而安矣、

一令逆則百令失。一惡施則百惡結。故善施於順民。惡加於凶民。則令行而無怨。

訓一令逆へば百令失し、一惡施せば百惡結ぶ、故に善、順民に施し、惡、凶民に加ふれば、令、行はれて怨なし。

按ズルニ【全解】【彙解】ニ、二ツノ於ノ字、于ニ作ル、今、世本ニ從フ●一令トハ、大將ノ令スルトコロ、主君ノ命ズルトコロナリ、一トハ本ナリ、本ガユガメバ、末ハナホユガムモノナリ、主將ノ令法ガ逆ナレバ、衆人ノ移ルトコロ百令トモニ失スルナリ、失ハ過失ナリ、去ルホドニ、一惡ヲ施ストキハ、百惡結スルナリ、一事ノ惡ヲ施ストキハ、百事ノ惡ガ結ボフルナリ、コレ又一ハ本ナリ、百ハ末ナリ、本ヲ正シウセネバ、末治マラズト云ハシタメナリ、善施於順民トハ、順民ハヨキ民ヲ云フナリ、上ヨリノ風化ニ從フ民ナリ、善トハ善事ナリ、學問ヲサセ、兵法ヲナラハセ、六藝ヲサスルコトナリ、カヤウノ善事ヲバ、順民ニアテガフナリ、凶トハ凶頑ナリ、順ハ順服ナリ、惡加於凶

民トハ、我が風化ニ從ハズ、カヘツテ、治法ヲ逆キ害ヲナス民ナルユヘニ、惡令ヲ以テ加フルナリ、惡令トハ、鞭朴械繫ノ類ナリ、コレヲ以テ威スベキ理ナリ、惡ヲ以テ恐ル、ヤウニスルナリ、カクノ如ク惡ト善トノ戒法ノ令アルユヘニ、ソノ令行ハレテ、下タルモノ怨ナク、上ヨリモ下ヲ疑ハズ、上下ノ心一ツニナルナリ、コノ故ニ、令行而無怨ト云ヘリ【直解】ノ意ニハ、善ヲバ合法ノ善令ト見タリ、惡ハ惡令ト見タリ【講義】ノ意ハ、只ダ善事惡事トバカリ見タリ、善令惡令ト見レバ、下ノ令行ハル、ノ令ノ字ト重ルユヘニ、タゞ善惡トバカリ見ル説可ナリ、

使怨治怨。是謂逆天。使讐治讐。其禍不救。治民使平。致平以清。則民得其所。而天下寧。

訓怨をして怨を治めしむ、これを天に逆ふといふ、讐をして讐を治めしむ、その禍救はず、民を治めて平ならしめ、平を致すに清を以てすれば、民、その所を得て天下寧し、

按ズルニ【大全】【全解】ニ、以清ヲ使清ニ作ル、今、世本ニ從フ●又【全解】ニ、讐ノ字、仇ニ作ル、コレ亦タ世本ニ從フ●コレ言フハ、我ニ怨アルモノ、マタ怨ヲ以テ怨ヲ治メントセバ、治ムルコトナリガタシ、互ニ怨ミテハ、何ノ益カアラシヤ、コレ天理ニ逆フノ義ナリ、讐ヲシテ讐ヲ治ムト云フモ同ジ義ナリ、讐ヲ以テ讐ヲ伐タントスルナラバ、亂ル、コトノ治マル事ハアルマジキナリ、然レバ、禍不救ト云フテ、天下ノ害トナルホドニ、ソノ禍、救ヒ難シト云ヘリ、民ヲ治ムル道ハ、國家ノ平均ナランヤウニスルナリ、コノ故ニ、治民使平ト云フ、私ノ讐ヲ以テ國ヲ亂シ民ヲ勞ズルハ道ニハアラズトナリ、コレ施氏ガ【講義】ノ説ナリ、劉氏ガ【直解】ノ説ニ云フ、憎イト思フモノニ、ソノ者ノ訴訟ナドヲサスルコトナリ、コ、ニ、一人ノ罪アル人アリ、コレヲ咎アルカ無キカト辨セントスルニ、怨讐アルモノニ、辨ゼザリセバ、タトヒ罪人ニテナクトモ、罪アルヤウニ上ヘ申サンナリ、然レバ、何ガ治マルベキゾト云ヘリ證據ヲ引イテ云ク、秦ノ二世、趙高ニ李斯ガ獄ヲ治メシムルガ如シ、趙高ト李斯トハ、中ノアシキ者ナルニ、趙高ガ李斯ガ訴訟ヲ聞キシホドニ、惡シキヤウニセシナリ、致平以清トハ、平ハ太平ナリ、清ハ利欲ニ私スルコトナク、

清潔ニ行フコトヲ云フ、私ノ欲ニフケリテ、賭ヲ取り、金銀ニ溺レヌヲ清ト云フ、私ノ欲ヲ以テセネバ、民ヲモセブ、リ傷メザルユヘニ、民方其所ヲ得ルト云フテ、ソノ土地ヲ全クシテ、天下モ安寧ナリト云ヘリ●勝久按ズルニ、コノ一段、諸注ニ明解ナシ、且ツ所謂施氏劉氏ガ解モ、本文ト熱合セズ、故ニ臆説ヲ附シテ、識者ヲ俟ツ、情ヲ上下ノ文ヲ見來ルニ、コノ一段ハ、上ノ文ノ善施ニ於順民ニ惡加ニ於凶民ニ則令行而無怨ノ句ニ根ザシ來ツテ、反覆シテ之ヲ云フナリ、蓋使ニ怨治ヲ怨トハ、上ヲ法令正シカラズシテ、民、コレヲ怨ム、ソノ怨ムル人ヲシテ、ソノ怨ムル法令ヲムリニ治メ保テト下知ス、コノ故ニ、民ノ心益ス上ヲ怨ムルコト甚シ、コレ上一人恣ニシテ、萬民ヲ苦シム、コレヲ以テ天ニ逆フト云フ、コレ天理ニ違フノ謂ナリ、上ノ怨ノ字ハ、民人ニカケテ見ル、下ノ怨ノ字ハ、政令ノ正シカラザルニカケテ見ルベシ、使ニ讐治ニ讐トハ、民ヲ苦メ、ソノ油ヲ搾リ取ツテ、己ガ心ノマムナルコトヲセントスル、民ノタメニ讐トナルモノヲ以テ、司奉行トナシ、民モ亦タ其人ヲ憎ミ恐ツテ、讐セントスル其民ヲ治メシム、コレ水剋火ナリ、コノ故ニ、吏ハ民ヲ攻メ、民ハ吏ヲ惡ミ怒ル、コノヲ以テ、ソノ禍救ヒガタシ、上ノ讐ノ字ハ、奉行頭人ノ邪欲奸曲ナルニカケテ見ルベシ、下ノ讐ノ字ハ、民ノ怨ミ怒ルニカケテ見ルベシ、サルホドニ、萬民ヲ治メテハソノ心ノ均シク平カナルヤウニスベシ、ソノ民心ノ平カナルヤウニスルモノハ、主君ヨリ奉行ツカサニ至ルマデ、清潔ニ無欲ニシテ、民ヲ苦シメ傷メザルトキハ、萬民各ソノ所ヲ得テ、至善ノ地ニ止マリ、安泰ニ住シテ、天下自ラ安ンズルナリ、コノ故ニ、治民使平致平以清、則民得其所而天下寧ト云ヘリ、猶ホ識者ノ明解ヲ俟ツノミ●又按ズルニ【大全】ニ云フ、天下之不寧者、皆民之失其所耳、民之失其所者、皆由上失其道耳、今既治民使平、而草野無飢寒疾苦之病、致平以清、而官府絕深文法網之煩、則海內之治、優游咸理、天下寧矣●此承致平以清說來、清者無慾之謂、君能清心寡欲、便無許多征求之擾、所以民自得所、民既得所、天下自無揭竿斬木之亂、豈不寧乎【題炬】ニ云フ、得所在衣食居處上說●又云フ、民得其所、從上致平以清看出、天下寧、就從民得其所推出【指南】ニ云フ、

王心既無欲、平民自無爭、是王道蕩蕩、王民坦坦、各得其所矣、得所如魚得淵、鳥得林一般【指歸】ニ云フ、民爲邦本、本固邦寧、故民非無所而不能自得其所、必在上者、無苛擾之政、而使之安居樂業、盡力于賦輸之中、則民安而國必不至于危殆【開宗】ニ云フ、此言人君當清心以平仇怨、而後令可行、

**犯上者尊。貪鄙者富。雖有聖主。不能致其治。犯上者誅。貪鄙者拘。則化行而衆惡消。**

●上を犯すものは尊く、貪鄙なるものは富む、聖主ありと雖も、その治を致す能はず、上を犯すものは誅し、貪鄙なるものは拘ふれば、化行はれて衆惡消ゆ、

按ズルニ、主ノ字【大全】ニ、王ノ字ニ作ル、今、世本ニ從フ●犯上トハ、君ヲアナドリ輕シメ、吾ヨリ上タル人ヲ犯シテ、自ラ尊シトシ、位ニ居リ、高官ニアツカルナリ、コノ如キモノハ誅罰スベキモノナリ、然ルニ、尊クシテ、仰ガレ尊バレテ居ルナリ、廉直ノ者コソハ尊ブベキニ、暴逆ノモノヲ尊ブ、貪鄙トハ、卑鄙ヲムサボリテ、物ヲホシガリ、利欲ヲ盛ニスルモノナリ、カヤウノモノハ、富マスベカラズ、イカニモ逼迫サセテ、惡心ヲモ慾ラスベキニ、富ヲホシヒマ、ニセバ、コノ時ニアタツテハ、聖主ガ國ヲ治メントスルト云ヘドモ、法ヲ正シテ、ヨク治ムルコトハナルベカラズトナリ、上ヲ犯スモノハ尊ク、貪鄙ノ者ハ富ムナレバ、下ヲ馭スル權ヲ奪ハル、ユヘニ、聖主ト云フトモ、治メガタシ、コノ故ニ、上ヲ犯ス者ヲハ誅伐スベキナリ、貪鄙ノ者ヲバ、拘ト云フテ、捕ヘテカラメ置キ、法ノ如クニ行フベキナリ、カヤウノ逆人ヲ誅罰ニ行ヘバ、化行ハレテ、自ラ衆惡モ消滅スベキナリ、化ハ政化ナリ●或抄ニ云ク、聖主ヲ聖人ト作スベシ、主ニテハ解シガタシ、聖主ノ世ニハ上ヲ犯スモノハアルベカラズ、周ノ衰ヘテ孔子ノ出ヅル時節ナルベシ、主ノ字ハ、恐ラクハ誤ナルベシ、聖人トスベシト云ヘリ●勝久按ズルニ、コノ節、甚ダ附會ナリ、從フベカラズ、蓋シ、コノ本文ニ聖主ト云ヘルモノハ、寔ニ指ストコロアツテ云フニアラズ、タバツヨク其害アルコトヲ戒ムルノ詞ナリ、所謂孫子ニ智者アリト云ヘドモ、其後ヲ能クスルコト能ハズト云フノ意ナリ、誤リ

見ルコトナカレ【全解】ニ云フ、聖主誅<sup>シ</sup>犯<sup>レ</sup>上<sup>ヲ</sup>、拘<sup>テ</sup>貪鄙<sup>ヲ</sup>、而化行<sup>ニ</sup>天下<sup>ニ</sup>、孰有<sup>テ</sup>不<sup>レ</sup>沐<sup>ニ</sup>其化<sup>者</sup>乎、惟沐<sup>ニ</sup>其化<sup>者</sup>、則衆惡<sup>遂</sup>于此<sup>ニ</sup>、而潛消<sup>ス</sup>矣、尙敢違<sup>レ</sup>化<sup>以</sup>逞<sup>也</sup>哉【大全】ニ云フ、天下之惡、莫<sup>甚</sup>于犯<sup>レ</sup>上<sup>貪鄙</sup>之人、國家苟能誅<sup>之</sup>、拘<sup>之</sup>、自然化行而衆惡消<sup>ス</sup>、

清白之士。不可以爵祿得。節義之士。不可以刑威脅。

【訓】清白の士は、爵祿を以て得べからず。節義の士は、刑威を以て脅すべからず。

按ズルニ【講義】ニ、刑威ヲ威刑ニ作ル、今、世本ニ從フ●人ノ氣質ニハ、各千萬ノ移ルトコロアリ、君タル人ヨク其人ヲ致スニ、又異術アリ、清白ノ士トハ、イカニモ潔白ナル、利欲ナドニ目ヲカケザル清廉ノ士ナリ、コノヤウナル人ハ、清潔ナルコトバカリテ志ノ常トスルユヘニ、功名ヲ見テモ喜バズ、爵祿ヲ以テシテモ貴シトセズ、富ハ浮ベル雲ノ加シ、高位高官ヲモ忝シト思ハヌユヘニ、爵祿ヲ以テ得ベカラズト云ヘリ、節義之士トハ、忠節ノアル義ヲ本トスル士ナリ、カヤウノ人ハ、鼎鑊モカヘリミズト云フテ、鼎ニテ奠ラル、コトヲモ恐レズ、白刃モ鮮セズト云フテ、劍刃ノ上ヲモ一足モヒカヌ様ナル心アルユヘニ、刑威ヲ以テラドシテ、迎ヘ來ラセント思フベカラズト云ヘリ、刑威トハ、刑法權威ナリ、人ヲラドスノ則ナリ、來ラズンハ聞クマジキナドト云ウテ、來ルコトニテハナシト云フノ義ナリ、コノ故ニ、下ノ句ニ、明主ノ清白節義ノ士ヲ致スノ術ヲ云ヘリ【全解】ニ云フ、澄而不濁曰清、瑩而不汚曰白、士操至<sup>レ</sup>此<sup>ニ</sup>、無<sup>レ</sup>以<sup>レ</sup>尙<sup>レ</sup>矣、今若<sup>キ</sup>以<sup>レ</sup>爵祿<sup>ヲ</sup>致<sup>ス</sup>之<sup>ニ</sup>、彼必不<sup>レ</sup>從<sup>ス</sup>、故云、不<sup>レ</sup>可<sup>レ</sup>以<sup>レ</sup>爵祿<sup>ヲ</sup>得<sup>ス</sup>、

故明君求賢。必觀其所以而致焉。致清白之士。修其禮。致節義之士。修其道。然後士可致而名可保。

【訓】故に明君賢を求むるに、必ずその所以を觀て致す。清白の士を致すには、その禮を修め、節義の士を致すには、その道を修む。然る後に、士致すべくして名保つべし。

按ズルニ【講義】ニ、然後ヲ而後ニ作ル●又【全解】彙解ニ、名可保ノ名ノ字ヲ民ノ字ニ作ル、蓋シ其說考フベシ、

今暫ク世本ニ從フ●上ノ文ヲ承ケテ云フ、賢士ノ氣質ニ異ナルコトアルニヨツテ、コレヲ致スノ術ニ異ナルコトアリ清白ノ士ハ、爵祿ニ目ヲカケズ、コノユヘニ、明君ハ必ズ其人ヲ招クニ禮ヲ厚クシ、尊敬シテ待スベシ、己ヲ潔白ニ思フユヘニ、禮ヲ修シテ、コレヲ來シ迎フルナリ、コノ如ク賢ノ心ニ從ツテ求メ來スヲ觀ニ所以ト云フナリ、イカヤウニシタラバ、我ニ從ヒ來ルベキゾト云フノ所以ヲ察シテ、コレヲ致シ來ラシムルナリ、節義ノ士ハ、道德ヲ修シ行フトコロヲ勵マスタ尙ブユヘニ、道ヲ修シテ迎フベシ、道ヲ行フヲ感ジテ來ルノ義ナリ、カクノ如クシテ、賢士ヲ致スナリ、コノ故ニ、明君ノ名モ失ハズシテ保ツベシ、士ヲ致シテ、國家ヲ長久ニシテ、君道ヲ正シウスルユヘニ、ソノ名モ保全スベキナリ【全解】ニ云フ、致者致<sup>ス</sup>之<sup>ニ</sup>之<sup>ニ</sup>使<sup>ル</sup>來<sup>也</sup>、所以致<sup>ス</sup>者、蓋言<sup>フ</sup>賢人必有<sup>ニ</sup>一段自重處<sup>ニ</sup>、我内<sup>ニ</sup>其重者<sup>ニ</sup>而致<sup>ス</sup>之<sup>也</sup>、故明君有<sup>ニ</sup>求<sup>レ</sup>賢<sup>之心</sup>、必先觀<sup>ニ</sup>其所以致<sup>ス</sup>者<sup>ニ</sup>、而後賢爲<sup>ニ</sup>我附<sup>也</sup>、即下文修<sup>ニ</sup>其禮<sup>ヲ</sup>、以致<sup>ニ</sup>清白之士<sup>ニ</sup>、修<sup>ニ</sup>其道<sup>ヲ</sup>、以致<sup>ニ</sup>節義之士<sup>ニ</sup>、是也【題矩】ニ云ク、人君盡<sup>シ</sup>思<sup>フ</sup>求<sup>レ</sup>賢<sup>而不</sup>知<sup>レ</sup>賢之所<sup>ニ</sup>以致<sup>ス</sup>、賢終<sup>ニ</sup>不<sup>レ</sup>爲<sup>ニ</sup>我用<sup>也</sup>、惟明君必觀<sup>ニ</sup>賢之所<sup>ニ</sup>尙<sup>ニ</sup>而致<sup>ス</sup>之<sup>也</sup>、【大全】ニ云フ、此題精神全在<sup>ニ</sup>所以致<sup>ス</sup>三字<sup>上</sup>【開宗】ニ云フ、此言<sup>フ</sup>人君欲<sup>レ</sup>致<sup>レ</sup>治<sup>、當</sup>明<sup>所</sup>以致<sup>レ</sup>士<sup>之道</sup>也、

夫聖人君子。明盛衰之源。通成敗之端。審治亂之機。知去就之節。

【訓】夫れ聖人君子は盛衰の源を明かにし、成敗の端に通じ、治亂の機を審にし、去就の節を知る。

按ズルニ【開宗】ニ、機ノ字ヲ幾ニ作ル、從フベカラズ、今、世本ニ從フ●聖人トハ、神明不測ノ號ナリ、補ニシテ明ナルコト、凡智凡慮ヲ以テ計ルコトナラザルユヘニ、不測ト云フ、君子ハ才德衆人ニ抽ンデタルノ稱ナリ、材力智德ノ秀デタルコト、衆ヲ出デ、群ヲ抜ク、盛德ノ君子ナリ、コノ如キ聖人君子ハ、ヨク世ノ盛ナルト衰フルトノ根源ハナニノ子細デアリヤト云フコトヲ明カニ知ルナリ、源トハ、水ノ源ノゴトク、物ノハジメノ義ナリ、國家ノ盛衰ハ、古今ノ源アルガユヘナリ、通ニ成敗之端トハ、國家ノ成ルト敗ル、トナリ、成就ト敗亡トノ二ツナリ、端ハ端倪ナ

リ、國家成敗ノ端倪ヲ通達シテ、ヨク知ルト云フノ義ナリ、審ニ治亂ノ機トハ、國家ノ治マルト亂ル、トノ機ナリ、機トハ發動ノ機ナリ、事未ダ顯ハレザルトコロヲ云フ、治平擾亂ノ機ヲツマビラカニ知ルナリ、知ニ去就之節トハ、節ハ限量ナリ、ヨキ程ノ限り分量ナリ、士ノ出デテヨキ時ト退イテヨキ時ノ去就ノ節ナリ、コノ節ヲ能ク知ルナリ、聖人君子ハ、時ヲ待ツテ其智ヲ藏スモノナリ、時ニ遇ヘル聖君アリ、時ニ會ハザル聖君アリ、聖ノ會ハザルニハアラズ、世ノ治亂、時ノ運ニアツカルコトナリ、源ヲ明察シ、端ヲ通達シ、機ヲ審詳シ、節ヲ知識スルコト、至成前知ノナストコロニアラザレバ、ナシガタシ【正義】ニ云フ、聖人不レ指レ君、乃濟レ世之聖人、如三太公伊尹流也、已盛已衰、人人皆知至盛伏ニ於衰中、衰ニ於盛之中、此盛衰之源也、非聖人不レ能明、明即知也【衷旨】ニ云フ、本源方萌、其機最隱、聖人之心、虛明不昧、所以能預先明之也【文訣】ニ云フ、源字要ニ看得切實、謂所ニ由來ニ處也、世運盛衰、人所易見、惟盛衰之所ニ由來ニ其端最爲隱微、故非聖人不レ能明盛衰二字、在氣運上ニ

雖窮不處亡國之位。雖貧不食亂邦之粟。

窮すと雖も、亡國の位に居らず、貧しと雖も、亂邦の粟を食はず、

按ズルニ【講義】ニ、粟ノ字ヲ祿ノ字ニ作ル、今、世本ニ從フ●窮ハ窮窶ナリ、又困窮ナリ、ナスベキ様モナキトテモ敗亡シ滅亡スベキ國ヘ行キテ、官位ナドニ備ハリテハ居ラヌナリ、貧乏ニシテ餓死スルトテモ、亂邦トテ、無道暴逆ノ國ニ入ツテ、ソノ穀粟ヲバ食ハヌナリ、コレ聖人君子ノ義ナリ、伯夷叔齊ガ首陽山ニ入ツテ、餓エテ死セシガ如キ是レナリ、富ト貴トラムサボラズ、貧賤ヲモ嫌ハズ、道ヲ本トスレバナリ【論語】ニ危邦不レ入、亂邦不レ居ト云フモ、亦タコノ意ナリ、若シ始ヨリ危邦ニ仕ヘ、亂邦ノ祿ヲ食マバ、主ト存亡ヲ共ニスベシ、所謂箕子比干、是レナリ、

潛名抱道者。時至而動。則極人臣之位。德合於己。則建殊絕之功。故其道高而名揚。

於後世。

名を清少道を抱くもの、時至つて動けば、人臣の位を極む、徳己に合へば、殊絶の功を立つ、故に其道高くして、名、後世に揚がる、

潛名トハ、名ヲ出サズ、アラハサヌヲ云フ、抱道トハ、道ヲ本トシテ道ヲ抱合スルナリ、カヤウノ君子聖人ハ、時ニ遇ハズシテハ、動クコトナシ、時節至ツテハ動クナリ、動クトハ、出デテ人ニ舉用セラレ、官ニモ備ハリ、爵ニモアツカルナリ、コレ人臣ノ位ヲ極ムト云フ、時ヲ得テ、主ニ遇ウテ、人臣ノ位ヲ得テ、高位ニアルトテモ、ソノ時ニ至ツテハ、愧ヅルコトハナキナリ、コレ君子ノ尊バル、道ナルユヘナリ、邦ノ亂ル、ニ入ツテ、位ニ在ラバ、コレ君子ニアラズ、危邦ニ居テ尊バルレバ、コレ君子ノ徳ニアラジ、人ノ知ランコトヲ求メズ、道ニマカセテ身ヲ行フユヘニ、潛名抱道ト云フ、動ヒテ用ヒラルベキ主アル時ハ動ク、ソノ時ハ、人臣ノ位ヲ極ムルナリ、道ヲ枉ゲテ動クコトハ、分毫モナシ、徳合於己トハ、主ノ心ト己ガ謀トヨク同意ナレバ、殊絶ノ功ヲ建ツルナリ、イカホド主ヲ諫メテモ同意ナラザレバ、勳功ヲナシガタシ、ソノ主ト同ジカラン主ヲミスマイテ使フルユヘニ、君子ノ徳ヲアラハシソノ主ノ徳ト合シテ、莫大ノ功ヲ建ツルナリ、殊絶トハ、イチジルシク勝ル、ト云フ義ナリ、殊ハ殊絶ナリ、絶ハ奇絶ナリ、君子ノ徳、主君ノ徳ト相合スルユヘニ、ソノ道高ウシテ、國家モ繁榮ニシテ、長久ナリ、ソレユヘニ、道徳ノ名ヲ後世ニ揚グルナリ、タトヘバ、太公望ノ商ヲ去ツテ、北海ノ濱ニ居テ、時ヲ得テ主ニ遇ハントスルナリ、周ノ既ニ興ルニ及デ、時至リヌト思ヒ居タルニ、文王立ツテ、コレヲ師トセラレタリ、コノ時ニ、人臣ノ位ヲ極ム、文王一タビ太公ヲ見テ、允哉ト云フテ、之ニ命ジ、武王ハ善哉ト云フテ、コレヲ稱美シ玉フハ、徳ノ己ト合ヘルナリ其ノ後ニ、周ヲ佐ケテ、商ヲ伐ツテ、社稷ヲ立ツ、コレ太公ノ功ナリ、徳己ニ合ウテ、殊絶ノ功アルナリ【全解】ニ云フ、聖人時至而動、聖人は周公孔子之類、見得聖人宰制萬物、與時偕行、決不違時、以退亦不于時、以進見其時之至也、而乘時以動之、則其不妄動也、可知矣●必時至後動、則時未至而必不、動可知【大全】ニ云フ、聖人建殊絶之



功云云、聖人亦指爲人臣言、與人不可相等、曰殊、一見不可再得、曰絕、言聖人處草莽、以潛名抱道、然而德合於己、時有可爲、則建殊絕之功、如禹稷契皋陶伯益、治水教稼、明刑興禮、作樂、是也。聖人道高而名揚、名揚二字、不甚重、重在道高上、道高從上文建殊絕之功看出、而殊絕之功又從聖人看出、生而敦敏、長而狗齊、制器尚象、皆出於哲謀、肅又之中、令人不可攀躋、豈不道高而名揚、開宗云云、此言聖人君子出處之不苟、人君當識所以致之、明氣數、識人事、審世道、知進退、處則泥蟠、出則天飛、惟伊尹太公之儔、足以當之、人君欲盡其用、人不可於尋常節義事功中求之矣、蓋其義盡之矣、

聖王之用兵非樂之也、將以誅暴討亂也。

聖王之兵を用ふる、これを樂むに非ざるなり、將に以て暴を誅し亂を討むとするなり、

按ズルニ、聖王ノ二字【大全】【解】皆、聖人ニ作ル、今【直解】【開宗】【講義】ニ從フ●按ズルニ、司馬ガ言ニ云フ、人ヲ殺シテ人ヲ安セハ、コレヲ殺シテ可ナリ、ソノ國ヲ攻メ、ソノ民ヲ愛セバ、コレヲ攻メテ可ナリ、是レ即チ聖人ノ兵ヲ用ユルコトノ、好ンデスルコトニアラザルナリ、タダ暴逆ノ君臣ヲ誅シ、亂レタルヲ討ツテ、コレヲ治ニ歸セントス、コレヲ義兵ト云フ、全ク樂ンデ用ユルニハアラズ、樂ハ好樂ノ義ナリ【正義】ニ云フ、天道以レ生レ物爲レ心、聖人亦以レ愛レ民爲レ心者也、故聖王討暴誅亂、惟體天道肅殺之氣、而行之、重傷人物、而不致輕進兵也、

夫以義誅不義、若決江河而澆燭火、臨不測而擠欲墮、其克必矣。

夫れ義を以て不義を誅するは、江河を決して燭火に澆ぎ、不測に臨んで墮ちむと欲するを擠すが如く、その克つこと必せり、

按ズルニ【字彙】ニ云フ、川之大方曰江【釋名】ニ云フ、江公也、小水流入其中、所公共也、河出積石山、自乾位來、千里一曲、九曲而入海、ト、云云●又按ズルニ、燭ハ【字彙】ニ、子尙切、音燭【莊子】ニ、日日出矣、燭火不息、燭火炬火

也●又卽約、音爵、義同●我トハ、聖人ノ興ストコロノ義兵ナリ、不義ノ者ハ暴逆ノ君臣ナリ、義ヲ以テ不義ヲ討伐スルコトハ、至ツテ易キコトナリ、タトヘバ大江大河ノ水ヲ決ツテ、燭火ニカケテ消スガ如クナリ、燭火ハ炬火ノコトナリ、燈火ナリト云ヘリ、燭ノ字、モエクヒト訓ズ、臨ニ不測トハ、イカホド深キトモ、底ノ知レヌ淵ノコトナリ、義ヲ以テ不義ヲ伐タバ、淵ニ落チカ、ツテ居ルモノヲ、後カラ手ヲ以テツキ落サウニナスナリ【孟子】ニ、三杯ノ水ヲ以テ、輿薪ノ火ヲ救フコトハナラヌト云ヘリ、コレ其勢ノ當ラザルヲ云フナリ、今コ、ニ云フトコロハ河水江水ニテ燭火ヲ消スホドニ、何ヨリモ易キコトナリ、コノ故ニ、其克必矣ト云ヘリ、義兵ヲ以テ暴逆不義ノ者ヲ討伐スルコトハ、安キコトナリ、必ズ克ツベシト言ハンタメナリ【講義】ニ云フ、蓋聖人之兵義兵也、以義誅不義、天下夫誰與敵

所以優游恬淡而不進者、重傷人物也、夫兵者不祥之器、天道惡之、不得已而用之、是天道也。

所以に、優游恬淡して進まざるは、人物を傷くるを重るなり、夫れ兵は不祥の器、天道これを惡む、已むを得ずして之を用ふ、これ天道なり、

優游トハ、ユタカニ肆ナル形ナリ、活淡モ、剛勇ナラザル寛大ナル體ナリ、優游活淡トシテ、敢テ進ミ戰フコトヲ遮ラザルハ、人物ヲ傷ケンコトヲ重ンジテナリ、民ヲイタマシメ、衆人ヲ勞スルユヘニ、進ンデ戰フコトヲ爲サザルナリ、人物トハ、人ハ諸人ナリ、物ハ財物萬物ナリ、コレヲ傷殘スルヲイタハリテ、カローシク兵ヲ擧ゲ戰ヲナサズ夫兵者不祥之器ト云フテ、生ヲ殺シ物ヲ殘スノ器具ナルユヘニ、天道ニ異フナリ、天ハ生育ヲ本トス、兵ハ殺伐ヲ主ルホドニ、天道惡レト云ヘリ、兵トハ、武夫ノ持ツテ戰フ器具ナリ、武夫ヲ兵ト云フ、コレ人ヲ殺シ物ヲツイヤシ傷ルユヘニ不祥ノ器ト云ヘリ、不得已トハ、聖人ノ義ヲ以テ兵ヲ興スハ、萬類ヲ安ンジ、天下ヲ安全ニシテ、暴逆ヲ防セガタメナルユヘニ、詮カタナクシテ、兵ヲ用フルヲ不得已ト云フ、義ヲ以テ兵ヲ用ルユヘニ、天道ニ合フ

ナリ、故ニ是天道也ト云ヘリ。按ズルニ【全解】ニ云フ、聖人誅暴討亂、體天道肅殺之氣、而行者、蓋以重傷人物、而不驟進兵也、何則天道以生物爲心、而聖人以愛民爲本、故云、聖人之天道、天道好生而惡殺、聖人不得已、而用兵、正是好生惡殺念頭、所謂殺亦是生也、天道不難講、難在講聖人之天道的之字【老子經】ニ、兵者爲不祥之器、矣ト云フモ、亦タ是レナリ、

夫人之在道若魚之在水。得水而生。失水而死。故君子常懼而不敢失道。

夫れ人の道に在る、魚の水に在るが若し、水を得て生き、水を失つて死す、故に君子は常に懼れて、敢て道を失はず、

按ズルニ、夫ノ字【講義】ニ天ノ字ニ作ル、誤レリ、又懼ノ字ノ上ニ畏ノ字アリ、今、世本ニ從フ。又按ズルニ【覺解】ニ、懼ノ字、惧ニ作ル、義相同ジ。人ノ道ノ中ニ在ルコトハ、魚ノ水中ニ居ル如クナリ、魚ヲバ人ニタトヘ、水ヲバ道ニタトヘテ云フ、魚ハ水ヲ得テ生キテハタラキ、水ヲハナレ失ツテハ死ス、人トシテハ、道アレバ存シテ、國家モ全シ、道ナケレバ、亡シテ、國家モ敗ル、ナリ、コノ故ニ、君子ハ常ニ懼レテ、大道ヲ失ハズ、道ヲ少シモ離レズ。コノ道ヲ失フトキハ、國家ノ保全安泰ハ成リガタキ理ナリ【中庸】ニ道也者不可須臾離ト云フモ、同意ナリ、兵ヲ用ユルト云ヘドモ、天道ニ法ツテ用ヒズンバ勝ヲ全ウスベカラズ、常ニ懼ルト云フハ、平生ノ心ヲ云ヘリ、時ニ當ツテ、道ヲ行フトモ益ナシ、常住ノ戒懼ヲ證ニセヨト云フノ義ナリ、常ニ道ノ中ニ非ズンバ、時トシテハ、必ズ越度アルベシ、コノ故ニ、常ト云フ字ヲ切ニ用イテ云フ、須臾モ離ルベカラズノ義リ、行止坐臥、コトゴトク道アルベシ【大全】ニ云フ、人之在道、如魚之在水、人頼道以存、猶魚頼水以生也、故聖人用兵、以伐暴除殘者、所以反本復始、使大道常存於天地、豈敢失道、輕動哉【經武要略】ニ云フ、上天下地、總一道之流行、飲食動息、即是道、人無時不在道之中【全解】ニ云フ、人不可離道、猶魚不離水、此比喻之最切者【大全】ニ云フ、君子常懼而不

失道、常懼二字、乃是君子存心處、道即兵道、但道字所包者廣、如仁德義禮、俱是道、這箇道即是用兵的根本、如失此道、雖百勝、俱非其務、矣、作文要說、所以常懼而不失之意、懼處正是道常懼處、正是不敢失道、上文不得已而用兵、亦懼也【註疏】ニ云フ、天道主于好生、故君子不得已而用兵、心恆兢兢、恐致違失、常慎字、不敢字、俱以心言、覺解ニ云フ、道謂事物當然之理、與生俱生者也、一有不謹、則陷身于不義、故守道之君子、拳拳焉奉持、而不敢失之【開宗】ニ云フ、此節發明用兵之本心、

豪傑秉職、國威乃弱、殺生在豪傑、國勢乃竭、豪傑低首、國乃可久。

豪傑、職を秉れば國威乃弱し、殺生、豪傑に在れば、國勢乃弱し、

豪傑トハ、人ニ勝レタル強情ナル我意モノナリ、勇モスグレ、材智モアル者ナリ、カヤウノ者ガ臣下トナツテ、百官ノ職ヲホシイマ、マニ乗ルナレバ、國ノ威ハ弱キナリ、主君ノ權威ヲ奪フユヘニ、國王ノ下知スルコトヲモ、衆卒ガキカヌナリ、彼ノ豪傑ノ臣バカリニ恐ル、ホドニ、君モ臣下ヲ自由ニ計フコトナラズ、サルホドニ、國威乃弱ト云フ、殺生在豪傑トハ、人ヲ殺スコトモ、生カスコトモ、傑豪ノ臣下ガマ、ニスルナレバ、君ノ命ヲバ輕シメ、豪傑ノ臣ヲ恐ル、ナリ、主ノ命ニテ、コノ殺生ヲハカラフベキニ、臣トシテハカラフホドニ、國ノ勢、竭クルナリ、豪傑低首トバ、豪傑ノ臣、首ヲ地ニタレテ、君ヨリノ制法ヲヨク受ケテ行ヒ、權威ヲ振ラザレバ、國祚長久ナリ、漢ノ高祖ノ臣下、張良韓信蕭何ノ三人ヲ三傑ト云フ、コレ豪傑ノ臣ニテ、首ヲ低ルルナリ、コノ故ニ、四百年ノ天下ノ基ヲ大ニヒライテ、國長久ナリ、天下有道則政不在大夫ト、夫子ノ善言、暗ニ發明スベシ【大全】ニ云フ、生殺之柄、國之大權所係、故必操之在人君、而不可操之在豪傑、

殺生在君、國乃可安、四民用虛、國乃無儲、四民用足、國乃安樂。

殺生、君に在れば、國乃安かるべし、四民の用虚

しければ、國乃ち儲なし、四民用足れば、國、乃ち安樂なり、

殺生トハ、上ニ云フガ如シ、臣トシテ、ハカラハズ、君命ニ從ツテ殺生ヲ謀ルナラバ、國モ安穩ナルベシトナリ、四民トハ士農工商ナリ、前ニ詳ニ四民ノ出處ヲ舉グ、コノ四ツノ民ノ用ガ虚シケレバ、ソノ國ニ肝要ノ儲ナキナリ、國ノ儲トハ、國中ニ財寶米錢ノ數多ナルコトナリ、四民ノ用足ルトキハ、ソノ國ハ豊饒ニシテ安樂ナリ、四民ノ用豊足ナレバ、百姓足ルナリ、百姓足ルトキハ、君モ亦タ足ルナリ、コレ國乃チ安樂ナリ、四ツノ民ガ常ノ業ヲヨク勉メテ、ソノ用足ルトキハ、國ハ安クシテ繁昌スルナリ、敗亡ノ國ハ、必ズ四民ガ豊足ナラザルモノナリ、君ト民トハ一體ナリ、天下一家ナリ、民ニ餘財アレバ國ノ用モ豊足シテ、ナンドキモ事ヲカ、ヌナリ、コノ故ニ、ヨク國ヲ治ムルモノハ、富天下ニ滿ツベシ【全解】ニ云フ、四民爲邦國之本、治國者能使四民家室富足、財用不匱、則百姓既足、君無不足、上下豊裕、教化可興、國有不安樂者、豈【開宗】ニ云フ、此言收君權、足民用之道也、

賢臣内則邪臣外。邪臣内則賢臣斃。内外失宜。禍亂傳世。

に傳ふ、

賢臣内なれば邪臣外、邪臣内なれば賢臣斃る、内外宜しきを失へば禍亂世

賢智明哲ノ臣下ガ内ニ在ルナレバ、邪奸ノ臣ガ内ヘ犯シ入ルベキヤウナシ、故ニ邪臣外ナリ、邪臣ガ内ニ在リテ、事ヲ行ヒ用ヒラルレバ、賢者ハ必ズ志ヲ得ズシテ、或ハ讒言ナドニ合ヒ、サナクテモ、ソノ主君ニハトゲヌモノナリ、コノ故ニ、斃ルト云フ、内外失宜トハ、邪奸ノ臣下ヲ内ニシテ、賢哲ノ臣ヲ外ニスルトキハ、内外ニ宜シキヲ失フナリ、邪ハ用ヒラレ、賢ハ退クノ義ナリ、カクノ如クナレバ、禍亂ハ世ニ傳ハツテ、治平ナコトナシ、秦ノ治皇ガ六國ヲ并吞スレドモ、惡逆ノ禍亂ヲ後世ニ傳ヘテ、二世三世ニ及ンデ敗亡スルナリ【全解】ニ云フ、内者親附之意、外者疎遠之意、夫賢臣在、内則邪臣自不得而入之也、故曰、賢臣内則邪臣外【開宗】ニ云フ、此簡言邪止不容並立、人君當内レ

賢而外邪

大臣疑主。衆姦集聚。臣當君尊。上下乃昏。君當臣處。上下失序。

大臣、主を疑へば、衆姦集聚し、臣、君の尊に

當れば、上下乃ち昏く、君、臣の處に當れば、上下序を失す、

大臣トハ、家ノ舊臣高官ノモノナリ、疑主トハ、君臣相信ゼサルノ義ナリ、下ヨリ上ヲ疑フナリ、下トシテ君ヲ疑フユヘニ、必ズ徒黨ヲ結ンデ、コレヲ敗ルナリ、コレヲ敗ルユヘニ、衆奸ハアツマリ集マルナリ、臣當君尊トハ、臣下ト君ト、尊貴ヲ相當スレバ、上ト下トノ分ナシ、君臣ノヘダテナキユヘニ、上下之昏ト云フ、下トシテ上ノ權ヲ侵スホドニ、君モクラク、臣ハ君ヲカスメ犯スナレバ、臣ノ道ニアラヌホドニ、臣モ昏シ、故ニ上下昏シト云フ、君當臣處トハ、君ノナスツザラ臣ガサシコ、ロヘテ行フユヘニ、君ハ臣下ノ職ヲ行フナリ、臣ノハタラキヲ主君ガナスハ次第ヲ失フモノナリ、コノ故ニ失序ト云フ、序トハ次第ナリ、コレハ君ト臣トガ、サカサマナリト云フ義ナリ【開宗】ニ云フ、此言君臣當信心而明也、

傷賢者殃及三世。蔽賢者身受其害。嫉賢者其名不全。進賢者福流子孫。故君子急於進賢而美名彰焉。

急にして、美名彰る、

賢を傷ふものは、殃、三世に及ぶ、賢を蔽ふものは、身、その害を受く、賢を嫉むものは、その名、全からず、賢を進むるものは、福、子孫に流る、故に君子は、賢を進むるに

コレ言フハ、賢人ヲ傷ヒ破ルモノハ、ソノ殃、三世ニ及ブナリ、蔽フモノハ、ソノ次ナリ、コノ故ニ、ソノ身ニ害ヲ受クルト云フ、蔽フトハ、賢人ノ才徳ヲカクシテ、ソノ徳ノアラハレヌヤウニシナスヲ云フ、ソノ咎カロキユヘニ、後マデニハ及バズシテ、ソノ身ニ害ヲ受クルト云フナリ、賢ヲ嫉ムハ、又ソノ次ナルユヘニ、ソノ名不レ全ト云ヘリ、

不<sub>レ</sub>全<sub>ト</sub>ハ、善人ノ名ヲ得ルコトハナキゾトナリ、コレハ賢ヲ害スル禍ノ輕重ヲ云フナリ、賢人ヲ傷害スルハ、ソノ禍甚ダ重キユヘニ、殃及三世ト云ヒ、蔽隱シテ進セヌヤウニスルバ、傷害ヨリモ輕キユヘニ、害ヲ其身ニ受クルマデナリト云フ、賢ヲ嫉ムハ蔽隱スルヨリモ輕キユヘニ、名不<sub>レ</sub>全<sub>ト</sub>云フナリ、進<sub>レ</sub>賢<sub>ト</sub>ハ、賢人ヲ見テ進メテ用ヒントスルモノハ、ソノ善福、一世ノミニアラズ、子孫ニ流フナリ、賢人ヲス、メテ用フルトキハ、人必ズソノ進ムル人ヲ推シテ稱スルモノナリ、故ニ君子急<sub>ニ</sub>於進<sub>レ</sub>賢<sub>ト</sub>云ヘリ、賢人ヲス、メテ用フルコトヲ急ニシテ、任用セントスルホドニ美名アラハル、ナリ、美名トハ、美譽ノ佳名ナリ、賢ヲ得ル主ハ名ヲ彰シ、主ヲ得ル賢ハ名ヲ彰スナリ、故ニ君ト臣トハ、水ト船トノ如クナリ●按ズルニ【全解】ニ云フ、賢者國之幹、君之輔、君子忠<sub>レ</sub>君、愛<sub>レ</sub>國之心切、故其進<sub>レ</sub>賢、常恐<sub>ニ</sub>其不<sub>レ</sub>急、時刻不<sub>レ</sub>敢<sub>ニ</sub>怠<sub>ニ</sub>緩<sub>ニ</sub>于心、故曰急、急者指<sub>ニ</sub>其進<sub>レ</sub>賢<sub>之心</sub>、言非<sub>レ</sub>僅指<sub>ニ</sub>其進<sub>レ</sub>賢<sub>之事</sub>、言●君子以<sub>レ</sub>進<sub>レ</sub>賢<sub>爲</sub>美、而不<sub>レ</sub>計<sub>レ</sub>及<sub>ニ</sub>于己之聲名<sub>也</sub>、惟不<sub>レ</sub>計<sub>レ</sub>及<sub>ニ</sub>于己之聲名<sub>者</sub>、正進<sub>レ</sub>賢<sub>而</sub>名彰<sub>矣</sub>、此美名豈彰<sub>ニ</sub>于一時<sub>而已</sub>哉、蓋且流及<sub>ニ</sub>後世<sub>矣</sub>【大全】ニ云フ、三略一書、開口便說<sub>ニ</sub>務學<sub>ニ</sub>英雄<sub>、所以</sub>結<sub>云</sub>、還是君子急<sub>ニ</sub>於進<sub>レ</sub>賢<sub>、如何</sub>進<sub>レ</sub>賢<sub>要</sub>急、蓋國家之禍亂、唯賢人能靖<sub>レ</sub>之、我欲<sub>レ</sub>使<sub>ニ</sub>國家無<sub>ニ</sub>禍亂<sub>、莫</sub>急<sub>ニ</sub>於進<sub>レ</sub>賢<sub>、能進<sub>レ</sub>賢<sub>則</sub>我不<sub>ニ</sub>必有<sub>ニ</sub>戰勝<sub>之</sub>績<sub>、而實收<sub>ニ</sub>戰勝<sub>之</sub>勳<sub>、此君子所以</sub>急<sub>ニ</sub>於進<sub>レ</sub>賢<sub>也</sub>【開宗】ニ云フ、此言<sub>ニ</sub>君子當<sub>ニ</sub>以<sub>レ</sub>進<sub>レ</sub>賢<sub>爲</sub>心、</sub></sub>

利<sub>一</sub>害<sub>百</sub>。民去<sub>ニ</sub>城郭<sub>。利一</sub>害<sub>萬</sub>。國乃思<sub>レ</sub>散。去<sub>一</sub>利<sub>百</sub>。人乃慕<sub>ニ</sub>澤<sub>。去一</sub>利<sub>萬</sub>。政乃不<sub>レ</sub>亂。

一を利して百を害すれば、民、城郭を去る、一を利して萬を害すれば、國、乃ち散を思ふ、一を去つて百を利すれば、人、乃ち澤を慕ふ、一を去つて萬を利すれば、政、乃ち亂れず、一トハ一人ナリ、百ハ百人ナリ、コレ利害ノ大小ヲ云フ、一人ヲ利シテ、百人ヲ害スルヤウナコトハ、甚ダ失ナリ、民去<sub>ニ</sub>城郭<sub>ト</sub>云フテ、城アリ、敦アリトモ、守ルコト能ハズシテ、失去スベキナリ、コレ大ヲ害シテ小ヲ利スルノ義ナリ、利<sub>一</sub>害<sub>萬</sub>トハ、百ト萬トノ違ヒハ大キニ違ヒアリ、コノ故ニ、國中散亂シテ危急ナリ、コレ又利スルトコロ

ハ小ニシテ、害スルコトハ大ナリ、故ニ國ヲ以テコレヲ云フナリ、去<sub>一</sub>利<sub>百</sub>トハ、コレハ始ニ反シテ云フナリ、一人ヲ去ツテ百人ヲ利スルナリ、害スルトコロ小ニシテ、利スルトコロ大ナリ、コノ故ニ、人乃慕<sub>ニ</sub>澤<sub>ト</sub>云フ、澤ハ恩澤ナリ、德澤ナリ、人トハ庶民ナリ、慕ハ思慕ナリ、民ガソノ人ヲシタヒ思フ義ナリ、去<sub>一</sub>利<sub>萬</sub>トハ、百ヨリモ萬ハ大ナリ、コノ故ニ、政民不<sub>レ</sub>亂<sub>ト</sub>云ヘリ、國家ノ政化散亂擾動セズ、イカニモ靜安ニアルゾト云ヘリ、害スルトコロ小ニシテ、利スルトコロ大ナリ、コノ故ニ、一ヲ害シテ萬ヲ利スレバ、政教行ハレテ、事トシテ善ナラズト云フコトナシ、故ニ政不<sub>レ</sub>亂<sub>ト</sub>云ヘリ【全解】ニ云フ、如<sub>ニ</sub>舜<sub>誅<sub>ニ</sub>四凶<sub>、而</sub>天下<sub>咸服</sub>、孔子誅<sub>ニ</sub>少正卯<sub>、而</sub>魯國<sub>大治</sub>、即此題意也【開宗】ニ云フ、此申<sub>ニ</sub>上文<sub>進<sub>レ</sub>賢<sub>之意</sub>、</sub></sub>

卷之下終

## 六韜略傳

六韜ハ古來ヨリ、周ノ大公望ノ著ストコロノ兵書ナリト云ヒ傳ヘタリ、後世事ヲ好ムモノ増加スルノ説アリ、最モ書中疑フベキモノ多シ、且ツ其傳記亦タ詳ナラズ、略本視ルトコロノ説ヲ取ツテ、コレヲ左ニ舉ゲテ童蒙ニ示ス、我が兵家者流ニ於テハ、亦タ一言ノ廢スベク疑フベキナシ、文王武王ノ聖德アル上ノ問答ニ於テハ、暫ク之ヲ疑フベシ、儒家者流ノ人、尤モ笑ヲ催スベキノ説アリ、我が兵家ニ於テハ、大旨、太公望ノ作書トシテ之ヲ視テ可ナリ、六韜トハ、文韜。武韜。龍韜。虎韜。豹韜。犬韜ノ六ツ、ソノ篇、都ベテ六十篇アリ、六ハ陰ノ數ナリ、陰ハ殺戮ヲ主トス、兵ヲ用ヒテ無道ヲ殺伐スルコトヲ教ユルノ書ナルユヘニ、殺氣ニモトゾイテ、大目篇目、共ニ陰數ヲ用ユルト見ヘタリ、韜ハ【字彙】ニ、他刀切、音叨、劍衣、又藏也、寬也ト、又弓衣ナリ、包ムノ義ナリ、智謀ヲ内ニ藏シツ、ンデ、勝利ヲ外ニ決スルノ意ナリ、藏ノ義、包ノ義、コレ同ジ義ナリ、兵ハ深密不測ノ機ヲ要トス、コノ故ニ韜藏ヲ以テ義トス、是ヲ以テ、コノ書ヲ六韜ト號スト、

按ズルニ【前漢書】ノ藝文志ニ曰ク、周史六韜六篇、師古云、即今之六韜也、蓋言取天下及軍旅之事、註ニ云ク、周史生ニ於惠襄之間、或曰、生ニ於顯王時、藝文志ニ又云フ、太公兵法二百三十七篇、謀八十一篇、言七十一篇、兵八十五篇、註ニ曰フ、尙父本有道者、或者近世有以爲太公術者所增加也ト、太公が著シタル書ハ、僅ニ十紙ホドアリタルヲ、太公が兵術ヲ學ブモノ増加シテ、二百三十七篇トナシタルモノナルベシト註セリ、ソノ故ハ、漢興ツテ、張良韓信が兵書ヲ序ツルニモ、漢ノ成帝ノ時ニ任宏カ兵書ヲ論次スルニモ、コノ六韜ヲ載セズ、六韜ハ、唐ノ李靖が始メテ云ヒ出シタルコトナリ、即チ太宗問對ニ云フ、張良所學、太公六韜三略是也ト云ヘリ、ソノ先ハ、根本太公が遺書ナ

ルヲ、周ノ史官、或ハ黃石公ナドガ推シ演ベテ、増加シタルカ、或ハ藝文志ニ云ヘル謀言兵ノ三ツハ、コノ六韜ノ中ニ皆コレアリ、元來ハ、太公ガ書ハ二百三十七篇ナルヲ、後ノ人、肝要ノトコロヲ取ツテ、コノ六韜六卷六十篇トナシテ、今ニ世ニ存スルナルベシ、委シクハ、コノ義モ考ヘガタシト【直解】ノ説ニ見エタリ、

【莊子】卷之八徐無鬼ガ論ニ云ク、横説之則以詩書禮樂、縦説之則以金版六韜トアリ、玄英ガ注ニ云フ、禮樂トハ六經ノ事ナリ、金版トハ周書ノ異名ナリトアリ、尙書ノ中ノ周書ノ事ニテバナシ、或ハ祕議ノ事ヲ書シタルヲ、金版ト、玄英ハ英ハ注セリ、但シ希逸ガ新註ニハ、金版六韜ハ即チ太公ガ兵法ナリト云ヘリ、又注ニ金櫃石室ノ書ト注セリ、コノ六韜ノ事ヲ云フナリ、然レドモ、隋ノ代、唐ノ代ノ書目錄ニ、太公ガ金櫃二卷ト載セテ、次ニ又、太公ガ六韜ト別ニ記シタルバ、金櫃石室ノ書ト六韜トハ、別ナルト見ヘタリ、又王應麟ガ【困學紀聞】卷之十一ニ云フ、武王伐紂、ト龜不吉、群公皆懼、惟太公強之、コノ事ヲ【尙書】ノ正義ニ、六韜ニ云ヘリト引イテアレドモ、今コノ書ノ中ニハ無シ、司馬遷ガ【史記】ニハ、六韜ハ後ノ人ノ作スルトコロナリ、事ヲ好ムモノ、太公ニ名ヅケテ著作スルモノナリト云ヘリ、又【事文類聚】卷之十一ニモ、唐ノ李靖ガ言ヲ引イテ、張良所學六韜三略是也ト、異説甚ダ多シ世ニ傳フルトコロ太公ガ兵書ナリト云ヘリ、故ニ世人亦タ取ツテ、太公ガ兵法ノ遺書トス【真仙通鑑】ニ云フ、呂尙者冀州人也、生而內智、預見存亡、避紂之亂、隱於遼東、四十年、西適周、匿於南山、釣於磻溪、三年不獲魚、比閭皆曰可已矣、尙曰、非余所及也、已而果得兵於魚腹中、文王夢得聖人、聞尙、遂載而歸、至周、武王伐紂、尙作隱謀百餘篇、服澤芝地髓、且二百年而告亡、有難而不葬、後子紇葬之、無尸、唯有玉鈴六篇、在棺中、太公ガ死シテ後ニ子紇ガ葬禮ヲセシニ、棺ノ中ニ玉鈔六篇アリ、即チ今ノ六韜是レナリト云ヘリ、是レ亦タ一説ナリ、

【武經寬解】ニ云フ、龜氏云、六韜周呂望撰、按漢藝文志無此書、梁隋唐始著錄、分文武龍虎豹犬六目、兵家權謀之書也元豐中、以六韜、孫子、吳子、司馬法、黃石公三略、尉繚子、李衛公問對、頒行武學、令習之、號七書也、

【武經開宗】ニ云フ、按六韜中、大禮明傳文啓諸篇、真帝王術治遠欲、龍韜以後四十三篇、論中有暇、世疑其爲丹、【講義】ニ云フ、六韜作於太公、以其時而論則周也、而敘書者列於孫吳司馬之後者何也、蓋書之所傳、以其所得之先後而爲序、不必拘其時也、邢祀成湯之詩也、商人之所歌也、而乃列魯頌之後、魯焉得先於商乎、必其所得有先後也、六韜不獲首於肅吳、亦此例也、

【事林廣記】丙集五ニ云フ、唐ノ肅宗上下元年ニ、太公ヲ尊ンテ武成王トナス、廣ヲ立テ、祭ル、宋朝ノ太宗皇帝、嘗テ幸シテ武成王ヲ祭リ玉フト云々●太公望ノ傳ハ、文師ノ篇ニ詳ニス、故ニ今之ヲ略ス、

# 武經七書合解大成俚諺鈔卷之十五

## ●文韜

古シヘヨリ、天下國家ヲ治ムルニハ、必ズ文武ノ二ツヲ以テス、コノ二ツノモノハ、人ノ左右ノ手ノ如ク、鳥ノ兩翼ノ如ク、車ノ兩輪ノ如シ、一ツモ缺ケテハ、四海ヲ治ムルコトナルベカラズ、然レドモ、文ヲ左ニシ、武ヲ右ニスルホドニ、先ヅ文韜ヲアラハスナリ、文ハ仁義ヲ四海ニ施シテ萬民ヲ親愛シ、政ヲ寬厚ニシテ、國家ヲ豐饒ニスルナリ、サルホドニ、吳子モ内ニハ文徳ヲ修メ、外ニハ武備ヲ治ムト云ヘリ、コレ亦々文武ヲ兼ネテ用フルノ義ナリ、先ニ文徳ヲ以テ、百姓庶民ヲ撫育セズンバ、武備モ治ルベカラズ、コノ故ニ、内ニ文ヲ治ムト云フ、文ヲ左ニスルノ謂ナリ、コノ故ニ、六韜マタ文韜ヲ以テ始トス【直解】ニ云フ、此内雖有兵端、必本道德、故曰文韜、文事謂先於武備也、

## ●文師第一

周ノ文王、渭水ノ陽ニ田シテ、大公望ニ對面シテ、大ニ悅ビ與ニ俱ニ載セテカヘリ、即チ師トセラレタルホドニ、文師ト云ヘリ、コノ篇始ニ、ソノ事ヲ云ヘリ、文王ノ師ト云フ義ニテ、文師ト云フ、諸解ミナ之ニ從フ●羅山ノ抄ニ云フ、一義ニ文王ノ師ト云フニテハナシ、コノ篇ハ、文道ヲアラハス篇ナリ、コノ故ニ、文ヲ師トスルノ義ニ見ルベシト云ヘリ、是レ亦々并セ見ルベシ【全解】ニ云フ、首以文師名篇者、正見文王而亦有師在也、今天下豈復有太公其人乎、千古神師、不可復得、然太公不在而書在、則對六韜猶對尚父也、

文王將田。史編布卜曰。田於渭陽。將大得焉。

文王、將に田せむとす、史編、卜を布いて曰く、渭陽に田せば、將に大に得ることあらむとす、

文王ハ后稷十二世ノ孫ナリ、周ノ西伯姬昌ナリ、文ハ諡號ナリ、王ハ追稱ナリ、詳ニ【史記】ノ本紀ニ見エタリ、今コレヲ贅セズ、史編ハ周ノ太史官ナリ、名ヲ編ト云フ、トヲ掌ルモノナリ、田ハ狩ノ總名ナリ、春ノ狩ヲ蒐ト云ヒ、夏ノ狩ヲ苗ト云ヒ、秋ノ狩ヲ獮ト云ヒ、冬ノ狩ヲ狩ト云フ、田ノ字ハ四季ニ通ズルナリ、文王田ニ出デ玉ハントアリシニ、史編ガト法ヲナシテ云ヘルハ、渭水ノ陽ニ田シ玉ハバ、大ニ得タマフトコロノモノアラントナリ、渭陽ハ渭水ノ北ナリ、水ノ北ヲ陽ト云フ●按ズルニ、渭水ハ【大明一統志】ニ云フ、西安府渭河、在ニ府城北五十里、出臨洮府渭源縣鳥鼠山西北谷、東流經三盤屋咸陽渭南、至華陰界、入黄河【全解】ニ、明良遇合、原自不偶故、將田之時、必有應徵、所以下文有非龍非黿、非虎非熊、兆得公侯等言也、

非龍非黿。非虎非熊。兆得公侯。天遺汝師。以之佐昌。施及三王。

龍に非ず、黿に非ず、虎に非ず、熊に非ず、公侯を得たり、天、汝に師を遣らむ、これを以て昌を佐けば、施いて三王に及ばむ、

按ズルニ【開宗】ニ、龍ノ字ヲ熊ニ作ル、今、世本ニ從フ●言フハ、ソノ得ルトコロノモノハ、龜龍虎熊ノ四ツノ猛獸ノタグヒニテハアラズトナリ、龍ハ、鱗アルモノ三百六十ノ長ナリ、鱗アルヲ蛟龍ト云フ、翼アルヲ應龍ト云フ角アルヲ蟠龍ト云フ、角ナキヲ蟠龍ト云フ、黿ハ蟠ト同ジ、龍ハ其形熊ニ似テ、鬚ヲ被ツテ人ノ如クニ立ツ、甚ダ力アリ、虎ト云ヘドモ之ヲ恐ル、至ツテ猛獸ナリ、ヒグマト訓ズ、カクノ如キ獸ノタグヒニテハアラズ、兆公侯ヲ得ルホドニ、天ヨリ、文王ノ師トナランモノヲ遣ツテ、文王ヲ輔佐シテ、施イテ、三王ニ及ボサントナリ、三王トハ、文王、武王、成王ヲ云フナリ、昌トハ文王ノ名ナリ、コレ史編ガト兆ナリ【周禮】ニ、大史、小史、內史、外史、御史ト云

フアリ、コレ皆書ヲ掌ルノ官ナリ、漢土ニハ、君ヲ臣ガ請スルニモ、スコシノ事ニモト法ヲナスナリ【禮記】ニ龜曰レト著曰レ筮ト、

文王曰。兆致是乎。史編曰。編之太祖史嚳。爲舜占得臯陶。兆比於此。

文王曰く、兆これを致すか、史編

曰く、編の太祖史嚳、舜の爲に占つて臯陶を得たり、兆、これに比す、

按ズルニ【講義】大全ニ、舜ノ字ヲ禹ニ作ル、從フベカラズ【論語】ニ云フ、舜有天下、選於衆、舉臯陶、不仁者遠、コレ其ノ證ナリ、蓋シ【直解】ニ云フ、今本皆曰爲禹、占得臯陶、此蓋傳寫誤也、舜虞帝姓姚氏、瞽叟之子、臯陶禹皆舜臣名、禹後受禪、爲天子、國號夏、姓姒氏ト、コノ説、是レナリ、故ニ今【直解】【全解】【開宗】【正義】ニ從フ●文王、史編ガト法ノ兆ヲ聞キテ曰ク、然ラバ、吉事ノウラカタニテアルヨ、申ストコロノ如クナルベキカトナリ、コノ故ニ兆致レ是乎ト云ヘリ【覺解】ニ云フ、有不二世出之君、必有二世出之臣、有非常之遇合、便有非常之兆應、明良喜起、精神寤寐之交、自見于兆中、有非且暮、所不能測者矣、

文王乃齊三日。乘田車。駕田馬。田於渭陽。卒見太公坐茅以漁。

文王乃ち齊すること三日、田車に乗じ、田馬に

駕し、渭陽に田し、卒に太公が茅に坐して漁するを見る、

文王、ステニ史編ガ言フコトヲ聞キテ、天ヨリ送ルコトアリト知ルニヨツテ、輕々シク出デ給ハズ、コノ故ニ、三日ノ齊ヲスルナリ、齊ガコトタル、齊トテ、散亂スル心ヲヨク收メテ思慮ヲ齊シクスルヲ云フナリ【事物紀原】卷之一ニ云フ、春秋命誥圖曰、黃帝請問太一長生之道、太一曰、齊六丁、可以成功、內傳曰、帝誓剪雖尤、乃齊三日以告上帝、此齊戒之始也ト、コノ時、田ノ禮ヲナシテ、田車トテ輕キ車ナリ、田獵ノ馬ハ足ノ疾キ馬ナリ、渭水ノ陽ニ田シタマ



ウナリ、卒ニ太公が茅草ニ坐シテ漁シテ居ルヲ見ルナリ、コノ時ハ、太公が年七十歳ナリ、六十歳ヨリ十年ノ間、釣  
 漁シタレバ、十年メニ文王ニ對面セリ、漁ハ魚ヲ捕フルナリ【大明一統志】卷之三十四ニ云フ、鳳翔府磻溪、在寶雞、  
 縣東南八十里、磻溪谷中、石壁深邃、林木秀阻、東南隅有石室、蓋太公所居、其水清冷神異、北流注渭、又云フ、磻溪石  
 在寶雞縣東南磻溪上、即周太公釣處、石上有兩膝所著之跡、【史記】齊世家第二、太公呂尚者、東海上人、先祖嘗爲四  
 獄、佐禹平水土、甚有功、虞夏之際、封於呂、或封於申、姓姜氏、夏商之時、申呂或封枝庶、子孫或爲庶人、尙其後、苗  
 裔也、本姓姜氏、從其封姓、故曰呂尙、呂尙蓋嘗窮困年老、以漁釣好、周西伯、【大全】ニ云フ、身在水濱、志在廟廊、  
 不<sub>レ</sub>得<sub>レ</sub>已、姑借坐<sub>レ</sub>茅、以自待<sub>レ</sub>焉、自與<sub>レ</sub>苟就<sub>レ</sub>功名<sub>レ</sub>者<sub>レ</sub>不<sub>レ</sub>同、

文王勞而問之曰。子樂漁耶。太公曰。臣聞君子樂得其志。小人樂得其事。今吾漁甚  
 有似也。殆非樂之也。

按ズルニ、數本ニ臣聞ノ二字及ビ殆非樂之也ノ五字ヲ脱ス、今施氏【講義】ノ說ニ從フ、見ル者、幸ニ焉ヲ訂セヨ●文  
 王太公ヲ見テ慰勞シテ問フナリ、勞トハ、苦勞ノ勞ニ非ズ、イタハルナリ、久シク漁釣スルハ辛勞ナルベシトイタハ  
 ルナリ、ネギラフト訓ズ、サテ、汝ハ漁スルコトヲ樂トスルカト問ヒ玉フナリ、如何サヤ、子細アル大丈夫ナリト思  
 ヒテ、勞ツテ問ヒ玉フナリ、太公、文王ノ言ヲ聞イテ、聖人ナルコトヲ察シテ、因ツテ其志ヲ申スナリ、臣聞トハ  
 太公ノ自ラ指シテ云フナリ、君子ハ志ヲ得<sub>レ</sub>ンコトヲ樂ムナリ、志トハ、志スコトノ道アリテ賤シキ事ヲナシテ居テ  
 モ樂シムトコロガアルゾトナリ、一タビ、聖主賢君ニ遇ウテ、天下ヲ扶ケテ、民ヲ救ヒ世ヲ治メントスルノ志ナリ、  
 コノ故ニ、君子ノ志ハ、必ズ得ルコトアルコトヲ期スルナリ、太公ガ志ノ漁ヲ樂ムニアラズト云フノ本意ヲ此語ニ  
 テ斷ルナリ、小人樂得其事トハ、小人ハ其ノナストコロノ當然ノ業ヲ一徧ニタノシテ居ルナリ、コノ故ニ、漁者ハ

魚ヲ捕フルコトヲ一向ニ樂シミ、材工ヲスルモノハ、ソノ工バカリヲ樂シムヲ云フナリ、コレ小人ノ樂ムトコロナリ  
 今吾漁其有似トハ、ソノ所作ヲスルトコロハ漁ナリ、志ハ君子ノナストコロニ似タルコトアルナリ、殆ンド、漁ヲ樂  
 シムニハアラズトナリ、事ヲナスコトハ、此ニ在ツテ、意ハ彼ニ在ルノ義ナリ、一向ニ小人ノ漁ヲ樂シミ、耕ヲ樂シ  
 ムニハアラズ、非樂<sub>レ</sub>之トハ、漁釣ヲ樂シムニアラズ、別ニ志コソアレトナリ【大全】ニ云フ、樂<sub>レ</sub>得其志<sub>レ</sub>正是太公  
 以<sub>レ</sub>君子<sub>レ</sub>自居<sub>レ</sub>之意、漁者雖多、論<sub>レ</sub>其樂、總<sub>レ</sub>不過<sub>レ</sub>志樂<sub>レ</sub>事<sub>レ</sub>之兩事、樂<sub>レ</sub>事者、就<sub>レ</sub>漁中<sub>レ</sub>有<sub>レ</sub>所得<sub>レ</sub>利也、樂<sub>レ</sub>志者、就<sub>レ</sub>漁  
 中<sub>レ</sub>有<sub>レ</sub>所寓<sub>レ</sub>意也、所以有<sub>レ</sub>君子<sub>レ</sub>小人<sub>レ</sub>之分【直解】ニ云フ、舊說、君子小人以<sub>レ</sub>位言、君子得<sub>レ</sub>其行<sub>レ</sub>道<sub>レ</sub>之志、小人得<sub>レ</sub>其所<sub>レ</sub>  
 爲<sub>レ</sub>之事<sub>レ</sub>故樂也【開宗】ニ云フ、首揭<sub>レ</sub>二志字<sub>レ</sub>、便見<sub>レ</sub>淵源無<sub>レ</sub>限經綸、不<sub>レ</sub>徒在<sub>レ</sub>一釣<sub>レ</sub>一絲<sub>レ</sub>間、謂<sub>レ</sub>君子意<sub>レ</sub>不在<sub>レ</sub>漁、適<sub>レ</sub>其志<sub>レ</sub>耳、  
 小人喜<sub>レ</sub>業<sub>レ</sub>魚利<sub>レ</sub>樂<sub>レ</sub>其事<sub>レ</sub>切、細玩<sub>レ</sub>下文<sub>レ</sub>有味<sub>レ</sub>乎<sub>レ</sub>其言<sub>レ</sub>矣、

文王曰。何謂其有似也。太公曰。釣有三權。祿等以權。死等以權。官等以權。夫釣以求  
 得也。其情深可以觀大矣。

文王曰く、何をか其れ似たるありといふや、太公曰く、釣に三權あり、祿等は以  
 て權し、死等は以て權し、官等は以て權す、夫れ釣は得るを求むるなり、その情深くし  
 て大を觀るべし、  
 漁ヲナシテ似タルコトアリト云ヘルハ、何トシタル事ゾト、太公ニ問フナリ、太公、コノ故ニ、釣ノ三權ヲ舉ゲテ、  
 祿ト死ト官トノ三ツヲ對フルナリ、權ハ權道ナリ、釣ハモト得ルコトアランコトヲ求ム、タトヘバ、人ノ名ヲ求メ  
 利ヲ求ムルガ如ク、其ノ名利ニ役セラル、ナリ、魚ノ餌ヲ求メテ釣ニカ、ルガ如クナリ、ソノ釣ニ三權アリト云フハ  
 祿ヲ取ルベキニモ權アリ、取ルベキ道ニ叶ヒテ取ラバ、萬鍾ノ祿ヲモ受クベシ、コレ權アツテ、祿ヲ取ツテムサボ  
 ツテ求ムルニハアラズ、死等以權トハ、死スベキ道ニアタツテハ、タトヒ骨ヲ碎カル、トモ、堪忍シテ死スルナリ、  
 コレヲ難義トモ思ハメハ、コレ權道ナリ、官等以權トハ、權アツテ位ニ就クナラバ、三公ニモノナハリ任ズベシ、

官ヲ胃シ位ヲ儉マザルハ、コレ權ナリ、ソノ位ニ誇ラザルモ、コレ權ナリ、夫釣以求得トハ、魚ヲ釣ルニ餅ヲサシテ、魚ガ其餌ヲ得ルコ、ロアリテ、釣ニカ、ル其魚ヲ取ランタメナリ、コノ故ニ求レ得ト云フ、君子ハ聖賢ノ臣下ヲ求ムルコ、ロアリテ、道ヲ行ヒ、祿ヲ貴クスルナリ、ソノ情深クシテ遠シ、可ニ以觀大トハ、釣ヲナスコトハ小ナル事ノヤウナレドモ、コノ三權ノアル釣ハ、コトノホカ志情ノ深遠ナルコトナリ、然レバ、小事ナレドモ、大事ヲ觀ルベシト云フ、釣ニヨセテ、三權ヲ云フホドニ、觀大ト云フナリ【直解】ニ云フ、以餌取魚、似以祿取人也、死等以權、謂香餌之下必有死魚、似重祿之下必有死士也、官等以權、謂魚之大小各異、其用似賢人之大小各異其任也、コノ解ハ人事ト釣ト合セテ云フナリ、前ノ解ハ、釣バカリヲ云フ、漁ヲ道ニ似タルト云フノ問話ニヨツテ答フルホドニ【直解】ノ說ニ從フベシ、權ハ、ハカリナリ、物ノ輕キ重キニ從ガツテ、テモリヲケツヨセツスル、コレ宜シキニ從ツテ、事ヲ行フヲ權道ト云フナリ【大全】ニ云フ、此題精神、全在釣有二字上、三權不借釣中之作用、以爲喻、即此一言、而太公樂志之實昭然矣【全解】ニ云フ、這是太公借釣來說、不獨釣魚謂之釣、即人主取士亦謂之釣、權是權柄在、我言我欲釣、方却有三等權柄、蓋以祿釣、以死釣、以官釣也●情深可ニ以觀大、情深便是釣之情、視大言不止于釣已也、稔之言、即釣可ニ以視、釣帝釣王釣國釣天下、釣當代、釣千百年也、但天下事即微可ニ以視大、惟未至于情深、則不知小之可以視大、情深者究其事情之深遠處也【開宗】ニ云フ、次揭三情字、便見師向父以天下爲己任、言釣有三等權柄、始焉爲以餌取魚、既焉香餌之下必有死魚、終焉因魚之大小而異用之、今以祿取人、等以餌取魚之權、重祿之下必有死士、等香餌之下必有死魚之權、官人必因其才之大小而異任、等因魚之大小而異用之權、夫得人大事也、而權寓於釣、其情深、可以視大矣、舊訓可以觀取天下之大事、非旨●此ノ說、等ノ字ヲ解ク、

文王曰。願聞其情。

文王曰く、願はくは、其情を聞かむ。

文王、ソノ情ノ深キコトヲ聞クベキゾトノ玉フ、太公對フルニ、物ト人トヲ合セテ云ヘリ、下ノ文ニ詳ナリ、

太公曰。源深而水流。水流而魚生之情也。根深而木長。木長而實生之情也。君子情同而親合。親合而事生之情也。言語應對者情之飾也。言至情者事之極也。

れ、水流れて魚生するの情なり、根深くして木長じ、木長じて實生するの情なり、君子は情同じうして親合す、親合して事生するの情なり、言語應對は情の飾なり、至情を言ふは事の極なり、

コレハ、太公、文王ニ對フルニ物ノ情ト人ノ情トヲ合セテ云フナリ、源ハ水ノ源ナリ、水ノ源至ツテ深クシテ遠ナルユヘニ、日夜常住ニトドコナリナク、水ハ流ル、ナリ、水ヨク流レテ止ラザルユヘニ、モロモロ魚、コノ水ニ生ズコレ魚ノ生ズル情ナリ、根ガ深キユヘニ、木ハ能ク生長ズルナリ、根深クシテ、風雨ノ爲ニ侵サレズ、ヨク生長シテ枝ヲウチ、葉ヲ茂ラスユヘニ、實ハ生ルナリ、コレ實ノ生成スル情ナリ、魚ハ水ヲ離レテハスマズ、葉實ハ木ヲ離レテハ生ゼズ、コレ物ノ情ノ常ニシテ、自然ナルナリ、君子情同而親合トハ、君ト臣ト、志意同ジフシテ、和睦シテ親合スレバ、天下國家ノ萬事萬用ハ皆成就スルナリ、然レバ、君ト、臣ト、親合スルハ、萬事ノ生ノ情ナリ、コノ故ニ【書經】ニ元首明哉、股肱良哉、庶事康哉ト云ヘルモ、君臣ノ親合シテ、治道ヲノゾカラ生ルノコトナリ、君タル人、臣タルモノト情ヲ同ジウシ、親シテ相和スレバ、事必ズ生ルノ基ナリ、言語應對トハ、情ト云フハ、喜怒哀樂愛惡欲ノ七情ノ起ルトコロナリ、コノ情ハ、外ヘアラハレテハ見エヌモノナリ、言語ニアラハレ、應對ノ間ニツイテ外ニ現ハル、モノナリ、コノ故ニ、情ノ飾ナリト云ヘリ、言ハ心ノ聲ナリト云ヘリ情ガ中ニ動クユヘニ、言語應對ニアラハル

ル、コレ情ノ飾ナリ【詩經】ノ序ニ、情動ニ於中ニ而後形ニ於言ト云フコレナリ、言ニ至情トハ、至極シタル情ト云フ義ナリ、我が思ヒハカル、アリタケテ盡シテ云フヲ至情ト云フナリ、アリタケテコトヲ申シタルハ、コレ事ノ至極ナリト云ヘリ【大全】ニ云フ、親合ニ字最重、惟親合所以事生、如太公與文王親合矣、而後周家之事生、見得君之與臣要情氣相投、纔能做事、不獨太公文王惟然、即桓公之於管仲、燕昭之於樂毅、漢高之於張良、玄德之於孔明、苻堅之於王猛、太宗之於房杜、俱是親合、所以數家事業自是超絶、親合即情深之旨、事生即觀大之旨、

今臣言至情不諱。君其惡之乎。文王曰。唯仁人能受正諫。不惡至情。何爲其然。

【訓】今、臣、至情を言うて諱まず、君、其れ之を惡まじや、文王曰く、唯だ仁人は能く正諫を受けて至情を惡まず、何すれぞ其れ然らむ、

按ズルニ【講義】ニ、正諫ヲ至諫ニ作ル、今、世本ニ從フ●臣トハ太公ナリ、太公ガ云ヘルハ、今コトゴトク情ノ至極ヲ申スホドニ、文王ノ機ニ違フコトアルベシ、ソレヲモ諱ミサケ玉フマジキカ、恐ラクハ、文王ノ心ニサハリテ、惡ミ玉ハンコトアルベシトナリ、至情ヲ出サントテ、先ヅ文王ノ心ヲコ、ロムルナリ、文王對ヘテノ玉ハク、何トテ惡ムコトノアルベキヤ、唯タ仁人ハヨク正シキ諫言ヲウケテ、情ノ至レル言ヲハ中々忌ミ惡ムコトハナキゾ、何ニシニ其レ然ラシ、ソウアルベキゾヤトナリ、文王ノ太公ヲ得テハ、太公ガ至情ヲ受ケ、俱ニ事ヲハカラント思フヲ心トス忠言ヲ納レンコトヲ何トテ惡ムベキト云フナリ【大全】ニ云フ、即是仁人不惡至情、二語可見、文王爲君不在文辭之粉飾、而在情意之幽深【全解】ニ云フ、此文王以仁人自居之言也、言至情所以開公示誠、雖爲世主所忌、不爲仁人所惡、予何爲其然乎●情之至者、必有至理、文王以至理爲依歸、安敢于至情而忽之也、不惡非僅于不惡、有欣欣受教、虛懷折節之意、此文王之所以爲仁人也、

太公曰。緡微餌明。小魚食之。緡調餌香。中魚食之。緡隆餌豐。大魚食之。

【訓】太公曰く、緡微にして餌明ならん、小魚これを食む、緡調にして餌香すれば、中魚これを食む、緡隆にして餌豐すれば、大魚これを食む、

按ズルニ、數本ニ調ノ字、緡ニ作ル【字彙】ニ、緡、他力切、音叨、纏也、韜也、又與稠同ト、今【講義】ニ從フ、見ル者、幸ニ焉ヲ訂セヨ●緡ハ【詩經】ノ召南ニ、維絲伊緡トアリ、釣ヲ垂ル、謂ナリ、緡ヲイカニモホソク、微ニシテ、エバノ明カニ見ユルヤウニスレバ、小魚ガ來テコレヲ食フモノナリ、緡ヲヨクト、ノヘテ、餌ヲ香シクスレバ、中魚ガ來テ食フモノナリ、緡ヲ太クシテ、餌ヲモ豊大ニ澤山ニサシテ釣レバ、大魚ガカ、ルモノナリ、コレハ人ノ祿ヲムサボツテ、君子ニ仕ラル、コトヲ言ハンガタメニ、魚ノ大小ニヨツテ、餌ノコシラエヤウ、緡ノ大小マデニ變リアリト云ヘリ、魚ニヨツテ餌ノコシラエヤウニ異ヒアル如ク、人ニヨツテ、祿ノ高下アルコトヲ云フナリ【全解】ニ云フ、餌者釣魚之物、緡釣魚之緡也、言餌雖有明香豐之不同、緡雖有微隆隆之不一、魚雖有大小中之不等、然魚食其餌、必牽其緡、有必致之理者也、喻人食其祿、乃服于君者也【大全】ニ云フ、天下之物盡餌也、天下之物盡緡也、既已餌之、安得不食、既已食之、安得不牽、看來世故當以忘情淡欲爲王、

夫魚食其餌。乃牽於緡。人食其祿。乃服於君。故以餌取魚。魚可殺。以祿取人。人可竭。以家取國。國可拔。以國取天下。天下可畢。

【訓】夫れ魚は其餌を食うて、乃ち緡に牽かる、人は其祿を食うて、乃ち君に服す、故に餌を以て魚を取らば、天下畢くすべし、

魚食其餌トハ、餌ヲハムニヨツテ、緡ニカ、ル人ノ祿ニカ、ツテ、君ニ服スルヲ云ハンタメナリ、上ニ云フ文段ヲ合セテ云フナリ、人ハ緡ヲ食ムユヘニ、イカナル難ヲモイハズ、死ヲモ忘レテ、一命ヲナゲウツナリ、以餌取魚ト

ハ、餌ニテ魚ヲツリテハ、魚ハ餌ノタメニ殺サル、ナリ、祿ヲ以テ人ヲ取レバ、天下ノ人ヲバ盡シテ取ルベシ、野ニ遺賢ナシト云フノ義ナリ、家ヲ以テハ、國ヲ取ルベシ、家トハ士大夫ナリ、以テ國トハ、國ヨリ天下ヲ取ルベシ、天下トハ一天子ナリ、道ヲ行ヒ、謀ヲヨクセバ、大夫トシテモ國ヲ取ルニ國ヲ抜クベシ、國トハ諸侯ナリ、諸侯トシテ、天下ヲ取ラバ、天下モ畢ク掌握ニ在ルベキナリ、コレ祿ヲ以テ人ヲ制スルト云フコトヲ云ハムガタメナリ【全解】ニ云フ、人才有大小而皆可以以祿取之、猶魚有大小而皆可以以餌取之、盡得人才而用之、則國人之心可拔而起、天下人之心可舉而收、所謂親合而事生者此也、所謂至情者亦此也【大全】ニ云フ、只一取魚中、遂生出、取人取國取天下、只因魚可殺、遂生出人可竭、國可拔、天下可舉來、情深觀大之說、豈不信哉【開宗】ニ云フ、此因文王欲聞其情、而告以取人之情ト、按ズルニ、コノ一段【三畧】ニ所謂重賞之下必有死夫ト云フ義ニ相類ス、

嗚呼曼曼綿綿其聚必散。嘿嘿昧昧其光必遠。微哉聖人之德。誘乎獨見。樂哉聖人之慮。各歸其次而立歛焉。

嗚呼、曼曼綿綿、其聚必散、嘿嘿昧昧、其光必遠、微哉聖人之德、誘乎獨見、樂哉聖人之慮、各歸其次而立歛焉。かな聖人の徳、獨り見るに誘ふ、樂しいかな、聖人の慮、各その次に歸して歛を立つ、按ズルニ、綿ノ字、世本、緜ニ作ル、嘿ノ字【開宗】ニ默ニ作ル、今、世本ニ從フ、立ノ字【講義】樹ノ字ニ作ル、コレ亦世本ニ從フ●按ズルニ【字彙】ニ、曼ハ謨官切、音滿、曼曼長也、又路遠也、緜ハ【詩經】ノ周頌ニ綿々其鬮ト【前漢書】嚴助傳ニ、綿力薄才、師古云フ、其弱如綿、又不絶貌ト、云云、嘿ハ【字彙】ニ與默同、匡衡傳ニ嘿々不自安、云々、味莫佩切、音妹、暗昧、又味爽且微明也●嗚呼トハ、太公ガ嘆嗟シテ云フナリ、曼々トハ長大ノ貌、綿綿トハ絶エザルノ義ナリ、一族親類ナドノ長大ニシテ、連綿トシテ、イカニモ繁昌ナルヲ云フナリ、コノ如ク其ノ勢ノ盛ナルモノハ、必ズ衰フルモノナリ、コノ故ニ、聚而必散ト云フナリ、盛者必衰ノ義ナリ、散ハ分散ノ義ナリ、夏ノ桀、昆吾、韋、顧、方、木ノ一本ヨリ、三ノヒコバエテ生ズル如ク、聚マツテ盛ナレドモ、成湯ノ征伐ニ遇ウテ、ヤガテ分散セシガ如シ、嘿嘿昧昧トハ、光ヲ包ミ、跡ヲ隠シ、イカニモ温ニシテ、道ヲ守リ、己ヲ正シウスルモノヲ云フ、コノ如キモノハ、必ズ時ヲ得テ、ソノ光華ガアラハレテ、ソノ光ガ遠大ナルナリ、文王ノ聖徳アリテ、道ヲ謹シミ、殷ノ紂王ニ從ヒ、遂ニ後ニハ、日月ノ光輝ノ天下ヲ照ラスガ如クナルヲ云フ、今太公ガコノ如ク、文王ニ申スハ底ノ心ニハ、殷ノ紂王ガイカニ曼曼綿綿トシタリトモ、只今ノ中ニ文王ノ嘿嘿昧昧トシテ、埋レタルヤウナリトモ、光ハ發スルトコロガアルモノヲト云フ心ナリ、微哉トハ、聖人ノ徳ノ微妙ニシテ、不測ナルトコロヲホメテ云フナリ、獨見トハ、聖人ノ徳ハ、凡人ノ智、小人ノ慮ヲ以テハ見ガタシ、サルホドニ、獨リ顯ハル、ノ義ナリ、至ツテ微妙ナルホドニカク云ヘリ、誘トハ、人コトノク聖ノ徳ヲ誘ンデ歸シ服スルナリ【論語】ニ、孔子ノ循循然善誘人ト云フノ誘ノ字ノ心ナリ、文王ノ天下ヲ三分ニシテ、其ノ二ツヲ保ツト云フハ、徳ヲ以テ人ヲ誘クナリ、樂哉トハ、コレモ聖人ノ徳ヲホメテ云フ、聖人ノ思慮スルコトハ、ヨク何事ニテモ當ルナリ、審ニ察スルヲ云フ、思フトコロノ外レヌヲ云フナリ、歸次トハ、次ハ舍ナリ、聖徳ニ歸スルバ、我が止宿ニ歸スルヤウニ、聖徳ニ止マルトノ義ナリ、立歛トハ、天下ノ人、コトゴトク聖ノ道代ニナツテ歸スルホドニ、收歛ノ法ヲ立テ、コトノク聖ノ徳ニ萬民ガサマルト云ノ義ナリ、人ノ心ヲ外ヘヤラズシテ、コノ方エ歸セシムルヲ歛ト云フ、人ノ心ヲ收斂スルノ法ハ、下ノ文ニ云ヘル仁徳義道ナリ

【大全】ニ云フ、微哉根嘿嘿昧昧而來、言聖人寂靜幽暗、豈不極其微妙哉、而其光華昭著、以至遠被者、又何其引進天下之以德也、復能若是乎、所以天下亦相忘於聖人之德、而不知其實爲其德所招徠矣●言一權字一餌字、明明是誘人之法、此却以誘字說入、德中、以三德誘字、說入、微中、乃見文王小心翼翼、用晦而明處、皆是以德誘人之妙●德字對三術字、看、蓋誘以術者、顯而易見、其爲誘、則天下未必爲其誘也、誘也、德者、微而不知、其爲誘、則天下自忘于誘也、故非聖人不能【開宗】ニ云フ、此告文王以順民心之情、如夏桀時、昆吾氏、韋氏、顧氏、一本而生三、其叢聚、盛矣、成湯征之、則散莫救、人君誠能輪隱迹、遵養時晦、其光華後必遠被、此文王所以不大大聲色、光

四方<sup>ヲ</sup>而顯<sup>ル</sup>西土<sup>ト</sup>也蓋此說至矣

文王曰立歛何若而天下歸之太公曰天下非一人之天下乃天下之天下也同天下之利者則得天下擅天下之利者則失天下

天下の天下なり、天下の利を同じうするものは、天下を得、天下の利を擅にするものは天下を失ふ、

文王ノ問ヒ玉フハ、人ノ心ヲ收歛スルノ法ヲ立ツルコト、イカヤウニシテカ、天下ノ人來服スベキゾトナリ、太公ガ對フルノ義ハ、天下ト共ニ天下ヲ得ルコトヲ云フ、天下ハ一人ノ天下ニアラズ、天下ノ人ノ天下ナリ、コレ公ノ天下ナリト云フノ義ナリ、私ヲ以テ道ヲ行ヒ、私ヲ以テ利ヲ求ムル天下ニテハナキナリ、一人ノ天下ヲ云フハ、私ヲ以テ行フヲ云フナリ、天下ノ天下トハ、公道ヲナスヲ云フナリ、同天下之利トハ、天下ノ人ノ心ヲ一ツニシテ得ルノ利ナリ、萬民ト天下ノ利ヲ同ヅウスレバ、天下ヲ得ルナリ、一人トシテ、天下ヲ擅ニスレバ、必ズ天下ヲ失フナリ【全解】ニ云フ、歛者收歛人心<sup>ニ</sup>而使<sup>ム</sup>之來<sup>ル</sup>也、有<sup>ル</sup>國家<sup>者</sup>、以<sup>テ</sup>收歛<sup>ス</sup>人心<sup>ニ</sup>爲<sup>ス</sup>本、人心得<sup>ル</sup>則<sup>チ</sup>天下自無<sup>レ</sup>不歸<sup>ス</sup>矣、故文王問曰、今欲<sup>ス</sup>立<sup>テ</sup>收歛<sup>ス</sup>人心<sup>ニ</sup>之法<sup>ヲ</sup>、何若<sup>シ</sup>、二字、當<sup>ニ</sup>重發<sup>ス</sup>、言<sup>フ</sup>天下至大、人歸<sup>ス</sup>至難、收歛<sup>ス</sup>人心<sup>ニ</sup>之法<sup>ヲ</sup>、豈<sup>ハ</sup>是<sup>レ</sup>易事<sup>ナリ</sup>、必有<sup>ル</sup>所以<sup>ニ</sup>立<sup>テ</sup>劍<sup>之</sup>者<sup>ナリ</sup>、在<sup>ル</sup>也、作<sup>ル</sup>文須<sup>ク</sup>將<sup>テ</sup>天下<sup>ニ</sup>仁義道德<sup>ヲ</sup>提<sup>テ</sup>來<sup>ル</sup>講<sup>ス</sup>、天下<sup>ノ</sup>人心<sup>ニ</sup>、無<sup>ク</sup>月<sup>ニ</sup>不<sup>レ</sup>向<sup>テ</sup>往<sup>ス</sup>、亦<sup>ハ</sup>無<sup>ク</sup>月<sup>ニ</sup>不<sup>レ</sup>歸<sup>ス</sup>、但<sup>シテ</sup>不<sup>レ</sup>仁<sup>ニ</sup>不<sup>レ</sup>義<sup>ニ</sup>無<sup>ク</sup>無<sup>ク</sup>道<sup>ニ</sup>則<sup>チ</sup>天下<sup>ニ</sup>無<sup>ク</sup>所<sup>ニ</sup>適<sup>ス</sup>歸<sup>ス</sup>、所以<sup>ニ</sup>要<sup>ス</sup>先<sup>ニ</sup>明<sup>ク</sup>收歛<sup>ス</sup>人心<sup>ニ</sup>之法<sup>ヲ</sup>、重<sup>ク</sup>立<sup>テ</sup>劍<sup>ニ</sup>、二字、下文<sup>ニ</sup>仁義道德<sup>ヲ</sup>、皆是<sup>レ</sup>立<sup>テ</sup>劍<sup>之</sup>事<sup>ナリ</sup>、同<sup>ニ</sup>天下<sup>ノ</sup>利<sup>ヲ</sup>得<sup>ル</sup>、天下<sup>ノ</sup>利<sup>ヲ</sup>、本<sup>ニ</sup>天下<sup>ノ</sup>之<sup>レ</sup>民<sup>ノ</sup>所<sup>ニ</sup>自<sup>ラ</sup>有<sup>ル</sup>、我<sup>ガ</sup>能<sup>ク</sup>不<sup>レ</sup>奪<sup>ス</sup>、其<sup>ノ</sup>所<sup>ニ</sup>有<sup>ル</sup>、即是<sup>レ</sup>同<sup>ニ</sup>天下<sup>ノ</sup>利<sup>ヲ</sup>矣、豈<sup>ハ</sup>有<sup>ル</sup>不<sup>レ</sup>得<sup>ル</sup>天下<sup>ノ</sup>者<sup>ナリ</sup>哉【直解】ニ云フ、愚謂<sup>フ</sup>、孔子<sup>ノ</sup>罕<sup>ク</sup>言<sup>フ</sup>利<sup>ヲ</sup>、孟子<sup>ノ</sup>不<sup>レ</sup>言<sup>フ</sup>利<sup>ヲ</sup>、太公<sup>ノ</sup>聖<sup>人</sup>之<sup>レ</sup>流<sup>ニ</sup>、而<sup>モ</sup>首<sup>ニ</sup>以<sup>テ</sup>利<sup>ヲ</sup>言<sup>フ</sup>何<sup>ヲ</sup>哉、蓋<sup>シ</sup>利<sup>者</sup>將<sup>テ</sup>欲<sup>ス</sup>利<sup>ニ</sup>乎<sup>ナリ</sup>、也、將<sup>テ</sup>利<sup>ニ</sup>乎<sup>ナリ</sup>天下<sup>ノ</sup>也、若能<sup>ク</sup>利<sup>ニ</sup>人<sup>ニ</sup>能<sup>ク</sup>利<sup>ニ</sup>天下<sup>ニ</sup>、而<sup>モ</sup>存<sup>ス</sup>夫<sup>ノ</sup>天<sup>理</sup>之<sup>レ</sup>公<sup>ニ</sup>、何<sup>ヲ</sup>爲<sup>ス</sup>而<sup>モ</sup>不<sup>レ</sup>可<sup>シ</sup>、若<sup>シ</sup>夫<sup>ノ</sup>擅<sup>ス</sup>一<sup>己</sup>之<sup>レ</sup>私<sup>ニ</sup>、而<sup>モ</sup>惟<sup>テ</sup>欲<sup>ス</sup>利<sup>ニ</sup>乎<sup>ナリ</sup>、已<sup>ニ</sup>、此<sup>ノ</sup>孔子<sup>ノ</sup>所<sup>ニ</sup>以<sup>テ</sup>罕<sup>ク</sup>言<sup>フ</sup>、孟子<sup>ノ</sup>所<sup>ニ</sup>以<sup>テ</sup>不<sup>レ</sup>言<sup>フ</sup>也、太公<sup>ノ</sup>之<sup>レ</sup>言<sup>ハ</sup>、其<sup>ノ</sup>有<sup>ル</sup>旨<sup>ナリ</sup>歟、

天有時地有財能與人共之者仁也仁之所在天下歸之

天に時あり、地に財あり、能く人と之を與にするものは仁なり

リ、仁の在るところは、天下これに歸す、

コレヨリ以下ハ、仁德義道ノ四ツヲ云フナリ、天ニハ、春夏秋冬ノ四時アリテ、少シモソノ時ヲ違エズ運轉スルナリ、地ニハ品品ノ貨財ヲ出產スルナリ、天ノ時ヲ得、地ノ財ヲ得テ、人トコレヲ同ジウシテ、ヨク用フルハ仁ナリ、サルホドニ、仁ノアルトコロハ天下ガ歸服スルナリ、仁ハ親愛ヲ義トス、コノ故ニ、天下ノ人、ソノ仁ニ來リ服スルナリ【全解】ニ云フ、仁義道德四者、乃太公對文王立歛<sup>ス</sup>人心<sup>ニ</sup>之法<sup>ヲ</sup>、言<sup>フ</sup>人心最難<sup>ニ</sup>于<sup>テ</sup>收<sup>メ</sup>、況<sup>シ</sup>天下<sup>ニ</sup>非<sup>ズ</sup>一人<sup>ノ</sup>天下<sup>ニ</sup>如何<sup>ニ</sup>輕易<sup>ニ</sup>言<sup>フ</sup>歸<sup>ス</sup>、然而<sup>モ</sup>研究<sup>ス</sup>不<sup>レ</sup>難<sup>ナリ</sup>也、臨<sup>ニ</sup>之<sup>ニ</sup>以<sup>テ</sup>勢<sup>ヲ</sup>、有<sup>ル</sup>時<sup>ニ</sup>而<sup>モ</sup>去<sup>リ</sup>、撫<sup>ニ</sup>之<sup>ニ</sup>以<sup>テ</sup>仁<sup>ヲ</sup>、不<sup>レ</sup>召<sup>ス</sup>而<sup>モ</sup>來<sup>ル</sup>、是<sup>レ</sup>仁<sup>ノ</sup>之<sup>レ</sup>所在<sup>ナリ</sup>、即<sup>チ</sup>天下<sup>ノ</sup>歸<sup>ス</sup>之<sup>レ</sup>所在<sup>ナリ</sup>也【指南】ニ云フ、仁<sup>ノ</sup>之<sup>レ</sup>所在<sup>ナリ</sup>、仁<sup>ノ</sup>字<sup>ノ</sup>根<sup>ニ</sup>上<sup>ニ</sup>能<sup>ク</sup>順<sup>ス</sup>天<sup>ノ</sup>時<sup>ヲ</sup>、因<sup>リ</sup>地<sup>ノ</sup>利<sup>ヲ</sup>三句<sup>ノ</sup>上來<sup>ル</sup>ト、

免人之死解人之難救人之患濟人之急者德也德之所在天下歸之

人の死を免れ、人の難を解き、人の患を救ひ、人の急を濟ふものは徳なり、徳の在るところ、天下これに歸す、

死難患急ハ、最モ人ノ苦シムトコロナリ、死罪ヲ有<sup>ス</sup>免<sup>ス</sup>シ、難艱ヲ解<sup>キ</sup>イテ安<sup>カ</sup>易<sup>ニ</sup>ニシ、憂患ヲ救<sup>ヒ</sup>テ歡<sup>喜</sup>悦<sup>セ</sup>シメ、危急ヲ濟<sup>ス</sup>ヒテ、康寧<sup>ナ</sup>ラシムル、コレミナ徳ナリ、コレニヨツテ、生民ミナ徳ニナツヒテ、仰<sup>グ</sup>ゴト父母<sup>ノ</sup>如<sup>ク</sup>スルホドニ天下コレニ歸スルナリ【大全】ニ云フ、天下之所<sup>ニ</sup>苦<sup>ム</sup>者<sup>ナリ</sup>、莫<sup>シ</sup>如<sup>ク</sup>死難<sup>ノ</sup>急患<sup>ノ</sup>之<sup>レ</sup>事<sup>ナリ</sup>、在<sup>ル</sup>上<sup>ニ</sup>者<sup>ナリ</sup>、有<sup>ル</sup>能<sup>ク</sup>免<sup>ス</sup>解<sup>キ</sup>救<sup>ヒ</sup>濟<sup>ス</sup>之<sup>レ</sup>、則<sup>チ</sup>生民<sup>ノ</sup>咸<sup>ク</sup>頼<sup>ル</sup>矣、豈<sup>ハ</sup>不<sup>レ</sup>天下<sup>ノ</sup>歸<sup>ス</sup>之<sup>レ</sup>、故<sup>ニ</sup>曰<sup>フ</sup>、徳<sup>ノ</sup>之<sup>レ</sup>所在<sup>ナリ</sup>、

與人同憂同樂同好同惡者義也義之所在天下赴之

人と憂を同じうし、樂を同じうし、好を同じうし、惡を同じうするものは義なり、義の在るところ、天下これに赴く、

コレモ衆ト心ヲ同ジウスルコトヲ云フナリ、憂フルトキハ、衆ト憂テ同ジウシ、樂ムトキハ、衆ヲ同ジウシ、衆ノ好ムコトヲ同ジウシ、惡ムコトヲ同ジウスル、コレ君タル人ノ義ナリ、義ハ宜ナリ、コノ故ニ、人ゴトニ義ニハ由ラズト云フコトナシ、天下之ニ赴クノ義ナリ【大學】ニ、民之所好好之、民之所惡惡之、謂之民之父母ト云ヘリ、即チ此義ナリ【全解】ニ云フ、義在裁制恩惠上講、赴即歸也、言憂樂與同、好惡與同、正是義之所在處、義之所在、而天下自超之矣【講義】ニ云フ、仁與德與道、皆言天下歸之、而義獨謂之赴之者、蓋以義制事、人所共欲、故必趨赴之、衆人ガスキ好シテ從ヒ赴クノ意ナリ、コノ故ニ、義ニハ赴クト云フ、

凡人惡死而樂生。好德而歸利。能生利者道也。道之所在。天下歸之。

凡人死を惡んで生を樂み、

德を好んで利に歸す、能く利を生ずるものは道なり、道のあるところ、天下、これに歸す、

死ヲ惡ミ、生ヲ好ミ樂シミ、德ヲ好ミ、利ニ歸スルハ、人情ノ常ナリ、コノ故ニ、ソノ好ムトコロニ必ズ歸スルモノナリ、能生利者道也トハ【直解】ニハ、生財有大道ノ義ナリト云ヘリ、又一説ニハ、萬物ノ上ニ利アラズト云フコトナシ、道アラバ必ズ利アリ、道ニ非ズシテ利スルハ利ト云フベカラズ、能生利ハ道ノ利ナリ、生ハ生ヲ好ムノ生ナリ、利ハ歸利ノ利ナリ、惡死而樂生ヲ一句ニ見テ、好德而歸利ヲ一句ニ見ルベシ、生ト利トヲヨクスルハ道ナルユヘニ、天下コトゴトク道アル君ニ歸スト云ヘリ【全解】ニ云フ、歸即赴也、歸者歸其生、人利人之有道也、太公雖言利、而終歸于仁義道德也、

文王再拜曰。允哉。敢不受天之詔命乎。乃載與俱歸。立爲師。

文王再拜して曰く、允なるかな、敢て天の詔命を受けざらむ

やと、乃ち載せて與に俱に歸り、立て師となす、

按ズルニ【開宗】ニ、俱ノ字ヲ脱ス、今、世本ニ從フ●文王、太公ヲ尊シト思ヒテ、再拜シテウヤマヒ、允哉ト云ヘリ允哉トハ、太公ガ云ヘル仁義道德ノ四ツヲ實ナリト聞キイレ、又ハ天道ニ汝師ト云ヘルト法ノ辭ヲ實ナリトモ云ヘリ天之詔命トハ、太公ヲ天ヨリ賜ハルトアレバ、天ノ詔命ヲ受ケザランヤト云フテ、即チ太公ヲ文王ノ車ニ載セテ、與ニ俱ニ歸ルナリ、爲師トハ、太公ヲ以テ臣下ナドニスベキ人ニハアラズ、コノ故ニ、師匠トナシテ尊フベキゾトナリ太公ヲ師尙父ト云フハ、コレヨリナリ【大公】ニ云フ、敢不受天詔命之說、因前史編布ト有天道ニ汝師之言而發、世間有五大、曰天、曰地、曰君、曰親、曰師、文王既以詔命歸之天、故不敢不伐天以子民、亦不敢不立太公以爲師【開宗】ニ云フ、此告文王以下得天下歸之之道、兩聖遇合自此始、得天下謂得天下之歸心、非謂必得天下也、正欲以仁義道德灌漑斯世、令斯民各得其所也、

●盈虛第二

コノ篇ハ、國ノ治亂ヲ云フナリ、盈ハ興ルナリ、治マルナリ、虛ハ衰フルナリ、亂ル、ナリ、盈虛ノ二ツハ、人事ノ得失ニヨルナリ【直解】ニ云フ、盈虛者、氣化盛衰人事得失之所致也、氣化盛人事治爲盈、氣化衰人事失爲虛【全解】ニ云フ、盈虛之數、亦氣化之常、不盡關于君之賢不肖、但聖君語常而不語變、故盡歸之君、乃是文王翼翼、太公敬謹意也、

文王問太公曰。天下熙熙。一盈一虛。一治一亂。所以然者何也。其君賢不肖不平等乎。其天時變化自然乎。

文王、太公に問うて曰く、天下熙熙、一盈一虛、一治一亂、然る所以のものは何ぞや、その君の賢不肖等しからざるか、その天時變化自然なるか、

按ズルニ【開宗】ニ、天時ヲ天道ニ作ル、今、世本ニ從フ●熙熙トハ、廣大ナル貌ナリ【尙書】ノ堯典ニ云フ、允釐百

工、庶績、咸、熙、孔、注、熙、廣、也、韻、會、三、云、熙、熙、和、樂、貌、也、天下熙々トハ、廣大ニシテ和樂ナルノ義ナリ、文王ノ太公ニ問ヒ玉フハ、天下熙熙トシテ廣大ナリ、然ルニ、一タビハ、盈チテ盛ニ治マリ、一タビハ、虛シクシテ亂レ接ル、ハ、ナニトシタル子細ゾヤ、ソノ時ノ君子ノ賢不肖ノ變リアルニヨツテカ、タダシ、ソノ天ノ時ノ變化ノ自然ノ理ニヨツテ、天ノ運ニテ然ルカトノ玉ヘリ、氣化サカンニシテ、人事トモニ全キテ盈ト云ヒ、化モテトロエ、氣モシヅンデ、人事ニ失アル、コレヲ虛ト云フナリ、一治トハ、堯舜ノ代ノ如ク、比屋可封ノ時ヲ云フ、一亂トハ、桀紂ガ代ノゴトク、比屋コトクノク誅戮セラル、時ヲ云フ、一治ハ即チ一盈ナリ、一亂ハ即チ一虛ナリト見ルベシ【全解】ニ云フ、玩、盈、虛、治、亂、四、字、原、包、人、事、天、道、兩、意、在、內、文、王、舉、此、兩、意、爲、問、者、亦、有、人、定、勝、天、之、理、在、其、意、中、重、在、上、句、君、賢、不、肖、上、此、句、乃、設、疑、之、問、故、先、問、其、君、乎、繼、問、其、天、道、乎、下、文、太、公、答、以、在、君、不、在、天、亦、不、是、抹、煞、天、道、意、也、

太公曰。君不肖則國危而民亂。君賢聖則國安而民治。禍福在君。不在天時。

肖なれば、國危くして民亂れ、君賢聖なれば、國安くして民治まる、禍福は君に在り、天の時にならず。

君トハ、在位在徳ヲ兼オタル君子ナリ、不肖トハ、肖ハ似ト云フ字ナリ、不肖ノ者ト云フ、道ヲモ知ラズ徳モナキ者ナリ、時ノ君ガ、サヤウノ人ナレバ、國家アヤウクシテ、民モ擾亂スルナリ、人君ガ賢聖ナレバ、國家モ安泰ニシテ萬民モ治平ナリ、サルニヨツテ、天下國家ノ禍福ハ、時ノ君ノ一身ニアツテ、全ク天ノ時ニハアラズトナリ●勝久謂ク、禍福ノ二字ヲ治亂ノ二字ニ作テ見ルベシ、ソノ義自ラ安シ【大全】ニ云フ、君賢聖全要、在清心寡慾上、講惟無欲則無有以啓、蒙於國、故國安、無有以紛、擾於民、故民治、無危之謂、安無亂之謂、治、國安、民、治、要、講、得、融、治、又、要、謙、得、君、賢、聖、有、情、便、是、題、旨、則、字、有、功、效、甚、速、之、意、觀、下、文、禍、福、在、君、一、句、此、題、重、在、上、三、字、上、賢、聖、亦、不、必、分

太公曰く、君不

開、總是總明睿智省、身克己之主、國安民安、亦是一連的、觀、一、而、字、民、治、又、要、在、國、安、內、看、出、國、安、所、該、者、廣、無、奸、黨、無、盜、賊、無、兵、戎、無、土、木、之、役、無、苛、歛、重、刑、之、苦、皆、是、國、安、之、效、即、皆、是、民、治、之、效、【開、宗】ニ、云、フ、賢、聖、兼、心、法、身、法、治、法、講、君、聖、則、制、國、臨、民、有、道、故、國、安、民、治、禍、福、即、上、盈、虛、治、亂、言、人、事、動、於、下、則、天、道、應、於、上、不、專、在、天、時、

文王曰。古之聖賢。可得聞乎。太公曰。昔者帝堯之王天下。上世所謂賢君也。

古しへの聖賢、得て聞くべきか、太公曰く、むかし、帝堯の天下に王たる、上世の謂ゆる賢君なり。

按ズルニ、聖賢ノ二字【講義】ニ賢君ニ作ル【開宗】【正義】ニ賢聖ニ作ル●又王天下ノ下ニ也ノ字アリ、今【直解】【大全】【翼解】【全解】等ノ書ニ從フ●國家ノ安危モ、生民ノ治亂モ、天ノ時ノ運ニテハナシ、皆人君ノ聖賢ナルト不肖ナルトノ二ツニテアルゾト云フコトヲ、文王ヨク聞キ玉ヒテ、然ラバ、古シヘノ聖賢ノ君ノ治政事業ヲ聞キ玉ハントナリ公對ヘテ申サク、ムカシ帝堯ノ天下ニ王タリシ、コレ上古ノ賢君ニテマシマセシナリ、堯ハ帝嚳ノ子ナリ、姓ハ伊祈氏ナリ、初メテ唐侯ト爲リ、外ツテ天子トナリ、國ヲ唐ト號ス、堯ハ其諡ナリ、平陽ト云フ所ニ都ヲ建テ、居玉フナリ、傳ハ詳ニ【史記】ニ見ヘタリ、今コ、ニ略ス【大全】ニ云フ、或云、君道莫過于堯、故上世以堯爲賢君之最、而其要尤在下爲天下、得人上、惜太公尙未言此【全解】ニ云フ、言帝堯之治天下、無一物不儉約、自奉無一事不與民計、安危所謂賢德之君也●所謂要切下文節己愛人好賢禮士治心治身治世之法而言、惟其如此、所以上世稱爲賢君、

文王曰。其治如何。太公曰。帝堯王天下之時。金銀珠玉不飾。錦繡文綺不衣。奇怪珍

異不視。玩好之器不寶。淫佚之樂不聽。宮垣屋室不聖。蔓栢椽楹不斲。茅茨徧庭不剪。

文王曰く、その治如何、太公曰く、帝堯の天下に王たるの時、金銀珠玉飾らず、錦繡文綺衣せず、奇怪珍異視ず、玩好の器寶とせず、淫佚の樂聽かず、宮垣屋室聖せず、蔓栢椽楹斲らず、茅茨庭に徧げれども剪らず。

按ズルニ、如何ノ二字【全解】開宗【正義】ニ如何ニ作ル、今、世本ニ從フ、ソノ義相同ジ●繡ノ字【講義】【正義】ニ繡ニ作ル、今、世本ニ從フ【字彙】ニ、綺、綿、一片、又曰、綿、一斤ト、云云、又繡ハ息救切、音秀、五采刺文、又畫也、繡ノ字ヲ是トスベシ●文王ノ曰ク、然ラバ、堯王ノ時ノ天下ヲ治メ玉ヲヤウハ、如何ヤウナルコトニテアルゾトナリ、太公對ヘテ申サク、帝堯ノ天下ニ王タリシ時ニハ、金銀珠玉ヲ以テハ、物ノ飾ナドヲモ會テセザルナリ、衣裳ナドニハ、綿ヤ繡ナドアルモノヲ用ヒズ、文綺トハ、アヤアルノ羅綺ヲモ衣ヌナリ、綺ハ【說文】ニ繪也、飾古曰、今、細綾ト云ヘリ、奇怪珍器トハ、世上ニマレナル珍ラシキ物、不思議奇異ノ道具ナリ、カヤウノ物ヲトリハヤシテ、ミゴトナリトセズ、イカニモ目ナレツケタル、ソムウノモノヲ用ユルナリ、玩好之器トハ、モテアソビ物ノナグサミニナル具ナリ、サヤウノ面ムキノ用ニモナキモノヲバ、寶トハセザルナリ、淫佚之樂トハ、淫聲ノ樂ノ事ナリ、淫佚トハ淫放ナリ、雅樂ヲバ奏シテ、コレヲ聞イテ和樂スルナリ、淫佚ノ樂ノ聲ハ聞カズ、鄭衛ノ樂ノ耳ヲ亂ル、類ヲ淫佚ノ樂ト云フナリ、コレ禮樂ヲ亂ス淫亂ノ音ナレバナリ、宮垣屋室トハ、宮殿ノ垣牆ナリ、室ニモ屋ニモ粉堊ヲヌリ色ドリヲナサヌナリ、宮ハ【事物紀原】卷之八ニ云フ、宮中也、言處郡邑之中也、又宮方也、爲宮必以雉堞方正也、垣ハ【字彙】ニ、干權切、音貝、墻也、卑曰垣、高曰墻【釋名】ニ、垣、援也、人所依阻以爲援衛也、屋ハ【釋名】ニ、屋、奧也、【淮南子】ニ云フ、舜築墻茨屋、新語云、堯舜之人、比屋可封、以言民居也、易上棟下宇、蓋其始矣、其謂之屋、則自堯舜始矣、室ハ【爾雅】ニ云フ、宮謂之室【風俗通】ニ云フ、室其外也、宮其内也、蓋自黃帝始、而周書亦黃帝作、呂氏春秋則云、高元作室也、聖ハ【釋名】ニ云フ、聖者亞之也、次也、先泥之次以灰飾之也【穀梁傳】ニ云フ禮天子諸侯之禮黜留、堯

桶椽楹トハ、ミナ屋體ナリ、蔓ハ【直解】ニ、屋棟所ニ以承瓦ト云ヘリ、桶ハ方ナルタルキナリ【字彙】ニ、吉岳切、音覺、椽方曰桶、椽ハ重圓切、音傳、コレモタルキノコトナリ【說文】ニ、秦名爲屋椽、周謂之椽、齊魯謂之椽、椽ハ柱ナリ、羅山ノ抄ニ、ウツバリト訓ズルハ誤レリ【字彙】ニ、餘輕切、音迎、柱也【詩經】ノ小雅ニ、有覺其椽【春秋】莊公二十三年秋丹桓宮楹、カヤウノ、タルキ、ウツバリ柱ナドノ類ニハホリモノナドヲセズ、彩色ナトヲセズ、手ヲクタクキテ彫斲セヌヲ云フナリ、茅茨徧庭トハ、茅ハ草ノ名ナリ、茨ハ蒺藜ナリ、ムサトシタル草ヤムバラノ類ナリ、庭ニハエ飯リテアレドモ、コレヲモ剪伐セザルナリ、茅茨不剪、土階三等ト云フ、コレ聖人ノ世ノ治法ノ躰ナリ、下ノ文ニ又詳ナリ、

鹿裘禦寒。布衣掩形。糲粱之飯。藜藿之羹。不以役作之故。害民耕織之時。削心約志。從事乎無爲。

鹿裘寒を禦ぎ、布衣形を掩ひ、糲粱の飯、藜藿の羹、役作の故を以て、民の耕織の時を害せず、心を削り、志を約し、事に無爲に従ふ。

按ズルニ【直解】【正義】【全解】【直解】ニ、皆梁ノ字ヲ梁ニ作ル、從フベカラズ、今【大全】【講義】ニ從フ●又按ズルニ、織ノ字【講義】ニ續ニ作ル、從フベカラズ、今、世本ニ從フ●鹿裘ハ、鹿ノ皮ニテコシラエタル裘ナリ、コレヲ衣テ、寒ヲ防グマデナリ、布衣ハ、布ニテコシラエタル衣裳ナリ、コレニテ形ヲ掩フマデナリ、カヤウノ衣服ヲ不足トセズ、綿繡文綺ヲバ用ヒザルナリ、糲トハ郎達ノ切、ラツノ音ナリ【韻會】蜀ノ韻ニ脫粟也トアリ、ウハ皮バカリヲツキテ、イカニモ黒キ米ナリ、梁モ穀ノ名ナリ、粟ニ似テ大ナルモノナリ、河北ノ冀州ノ地ニ、赤梁梁白梁穀アリト云フ、是レナリ、藜ハ草ノ名、アカザト云フ草ナリ、葉ノワカキトキ、取ツテ人ノ食物トスルモノナリ【字彙】ニ、草似蓬、一名落帚、或曰落藜、初生可食、大可爲杖、藿ハ菽ノ小キモノナリ、又ハ菽ノ葉ナリト云ヘリ、カヤウノ食物ノイカニモ食物ヲ食トシテ居ルナリ、役作トハ、普請ナドヲシテ、民ニアツル臨時ノ役ナリ、民ニイロノノ役ヲアテ



テ男士ノ耕作、女婦ノ織績ヲ妨グルコトナシ、績織ハ女ノ蠶ヲ養フコトナリ、蠶ヲカヒテ絲ニテ績織スルヲ云フ、コレ皆民ノ時ヲ奪ハザルコトヲ云フナリ【孟子】ニ云ヘル如ク、庖ニハ肥エタル肉アリ、厩ニハ肥エタル馬アリ、野外ニハ餓死スル民多シト云フノ類ニハアラズ、削心トハ、我が内心ノ欲ヲ削リ去ツテ、潔白ニスルヲ云フ、人身ノ垢ヲ削リ除クガ如シ、約志トハ、ホシイマ、ニ、我がシタキ事ヲセズシテ、驕修ナラズ、省約ナルヲ云フナリ、從事乎無法トハ、事事ヲナシ物物ヲハカルコト、ミナ無爲ナリ、聖ノナストコロハ、コトゴトク無爲ニシテ爲スナリ、有爲ノ治法ハ、聖人ノ治ニテハナシ、爲ルコトナキヲ治ムル、コレ道ナリ【大全】ニ云フ、無爲兼治身治民言、賢君即堯君、蓋惟削心約志、不事以自擾、又不事以擾民、此所謂無爲而治者也●無爲根、無欲、來、惟無欲、故無爲、蓋君心爲萬化之原●無爲、一字、要看得好、不是空空坐在上面便叫無爲、堯之爲、一夫不獲、引爲予辜、特不欲自擾、以擾天下、耳、此垂裳恭己之治

吏忠正奉法者尊其位。廉潔愛人者厚其祿。民有孝滋者愛敬之。盡力農桑者慰勉之。旌別淑慝表其門閭。

を旌別して、その門閭を表す、

按ズルニ、忠正ノ二字【開宗】ニ守正ニ作ル、今、世本ニ從フ●勉ノ字【大全】ニ免ニ作ル、コレ亦世本ニ從フ●恩ノ字【講義】ニ德ノ字ニ作ル、從フベカラズ、今、世本ニ從フ【尙書】畢命ニ云フ、旌別淑慝、表厥宅里●吏トハ吏官トテ、物ノ奉行ヲスルモノナリ、吏官ガ忠正ニシテ、法ヲ正シクシテ、國法ヲヨク奉ゲテ行フモノアラバ、位ヲ高クススメ舉用スベシ、君ノ命ヲヨク奉ゲテ行フナレバナリ、廉潔愛人トハ、イカニモ其身ヲ清廉潔白ニ能ク行ヒ用ルホドニ、下タル民ヲモ慈ミ愛スルナリ、清廉ナレバ、必ズ貧シキモノナリ、潔白ナレバ無欲ナリ、カクノ如キ人ハ祿ヲ厚

吏の忠正にして法を奉ずるものは其位を尊くし、廉潔人を愛するものは其祿を厚くし、民の孝慈あるものは之を愛敬し、力を農桑に盡するものは之を慰勉し、淑慝

クシテ富マシテ使用スベキナリ、民有ニ孝慈トハ、萬民ノ中ニテモ、父母ニ孝アリ、孤幼ニ慈アルモノニハ、コレヲ愛敬シテ用フベキナリ、父母ニ孝アルモノハ、必ズ君ニ忠功ヲ盡スモノナリ、孤幼ヲ慈ミテ慈アル者ハ、必ズ下タルモノヲ憐ミ救フモノナリ、盡力農桑トハ、農耕ヲヨク務メ、桑蠶ヲヨク養フモノヲ云フナリ、盡力トハ、チカラ一バイ勤ムルヲ云フ、カクノ如キ者ヲバ、ヨク勤ムルゾト云ウテ慰勉スルナリ、慰ハ、ヨクスルゾト彼ノ者ノ喜シガルヤウニスルヲ云フナリ、勉ハ、イヨク勤メサスルヤウニスルヲ云フ、旌別淑慝トハ、淑ハ【字彙】ニ、善也和也ト云ヘリ、善德ノアル人ヲバ、隠レナク人ノ知ルヤウニ、其ノ人ノ門閭ニ表章シテ、善ヲ諸人ニス、ムルナリ、閭ノ字【字彙】ニ、閭侶也、二十五家相羣侶也、又居也、又里門也ト云ヘリ、慝ハ【字彙】ニ、惡也、又隱惡也ト云ヘリ、惡ヲナシ無道ヲ巧ムモノヲモ、同ジク、コレヲ旌別シテ、ソノ惡ヲ諸人ノ知ルヤウニシテ、萬民ノ戒トスルナリ、表トハ、善惡ノシルシヲナスノ義ナリ、旌別ハ【字彙】ニ、旌ハ表ナリト云ヘリ、アラハシ別ツノ義ナリ●勝久謂ラク、聖君ノ世民ヲ治ムルコト、此ノ如ク嚴正ナリ、

平心正節。以法度禁邪僞。所憎者有功必賞。所愛者有罪必罰。存養天下鰥寡孤獨。賑贍禍亡之家。

心を平にし、節を正しうし、法度を以て邪僞を禁じ、憎むところの功あれば必ず賞し、愛するところの罪あれば必ず罰し、天下の鰥寡孤獨を存養し、禍亡の家を賑贍す、

我が心志ヲ平直ニシ、禮節ヲ正ウシテ、我ニ惡シキトモ嫉マズ、我ニヨキトモ最負セズ、平等ヲ以テ萬民ヲ撫育シ、ソノ上ニ法度ヲ以テ奸邪詐惡ノ人ヲバ戒メ禁ジ、平生ニ我がタメニ憎アルモノニテモ、功アレバ必ズ賞シテ祿ヲ與ヘ、官位ニ進ムヤウニス、平生我が愛シ寵スルモノナリトモ、罪アレバ、必ズ罰シテ、法ノ如クニ行フナリ、主君先ヅ己レテ正シウセザレバ、下ニナガル、法ハ行ハレザルモノナリ、コノ故ニ、先ヅ平心正節ト云フ、憎愛ノ二ツニ私ナケレバ、諸人ヨク善ニス、惡ニハ懲ルモノナリ、答アレバ、イカナルモノト云ヘドモ、赦サレバナリ、

録トハ老ヒテ妻ヲモタザルヲ云ヒ、寡トハ老ヒテ夫ナキヲ云ヒ、孤トハ幼クシテ父ナキヲ云ヒ、獨トハ老イテ子ナクモ  
 タザルヲ云フナリ、録寡季猶ノ四ツハ、天下ノ窮民ナリト云フテ、世ニモ迷惑ナル生涯ノ者ナリ、カヤウノ困窮ノ民  
 ナヨク存養シテ、アハレムナリ【孟子】梁惠王ノ篇ニ云フ、老而無妻曰録、老而無夫曰寡、幼而無父曰孤、幼而無  
 老而無子曰獨、此四者天下ノ窮民而無告者【孟子大全】ニ、趙氏徳云、録愁悒不能寐、目常録録然、其字從魚、魚目恒  
 不閉、寡寡果也、果然單獨也、孤顧也、顧望無所瞻見也、獨獨鹿也、鹿鹿無所依也【四書蒙引】ニ云フ、其字義不  
 盡從惟録字爲有義、以孤爲顧、以獨爲鹿、皆所不可知、禍亡之家トハ、禍難ニ遇フテ亡滅シタル家ヲバ、物ヲ  
 トラセテ救ヒ助ケテ賑贖スルナリ、水火風ナドノ難ニアイタルモノヲ云フ、コレ天患ノ及ブトコロナリ、コノ故ニ  
 アハレミテ、賑贖贖養スルナリ【大全】ニ云フ、平心平心志也、是心法止節正禮節也、是身法心法如欽明文思安  
 安是也、身法如允恭克讓是也●心志正則天下無不平、禮節正則天下無不節、禮是修己以安百姓處●平心是  
 無三祇昂、正節是無三度越、觀規文以三法度禁邪僞、一句可見有法有度、心可使之平、無邪無僞、節可使之平、  
 卽此一句正見堯之修己以安百姓處、

其自奉也甚薄、其賦役也甚寡、故萬民富樂而無饑寒之色。百姓戴其君如日月。親  
 其君如父母。

【論語】その自ら奉ずる甚だ薄く、その賦役や甚だ寡し、故に萬民富樂して饑寒  
 の色なり、百姓その君を戴くこと日月の如く、その君に親むこと父母の如し、  
 自奉トハ、ミヅカラ己ヲ奉ズルコトヲ微薄ニシテ、民ヲ使ヒ、役ヲアテガフコトヲ寡クスルナリ、君タル人ノ己レヲ  
 重クスルハ、民ヲ使フコトヲ、ソレホドニ絶クセバナラヌナリ、己ヲ薄クスルホドニ、賦役モ輕ク少キナリ、奉ズ  
 ルトハ、民ヨリ君ニ奉ル貢物ノ意ナリ、賦トハ、年貢ナリ、役トハ、軍役又ハ普請ナドノ役ナリ、然レバ、自奉ト云  
 フハ、我が身ヲ奉養スルトモ見ルベシ、故萬民富樂トハ、君タル人ノ身ヲバ、イカニモ輕クモテナシ、驕リタカブル

コトヲナサズシテ、民ノ賦役ヲ輕クスルホドニ、萬民タノシンデ飢寒ノ色モナク、イカニモ富饒ナルホドニ、百姓ガ  
 其ノ君ノ恩徳ヲ戴クコトハ、日月ノ如クスルナリ、君ヲ親愛スルコトハ、我が骨肉ヲ受ケタル父母ノ如クニスルナ  
 リ、如ニ日月トハ、ウヤマヒ尊ブノ義ナリ、如ニ父母トハ、親ミ愛スルノ義ナリ【全解】ニ云フ、言上有賢徳之君、自  
 奉甚薄、賦役甚寡、而下之民家殷、戶樂、共遊熙皞之天、

文王曰大哉賢徳之君也。  
 【論語】文王曰く、大なる  
 かな、賢徳の君なり、

按ズルニ【講義】ニ、賢君之徳ニ作ル、今、世本ニ從フ●大哉トハ、文王堯王ノ至治ヲヨク聞キ玉ヒテ、扱テモ扱テモマ  
 コトニ、賢君ノ徳ノ廣大ナルコトカナト、大ニ嘉歎シ玉フノ詞ナリ【全解】ニ云フ、大所以大也、堯也、賢徳即上文金銀珠  
 玉不飾等語、太公説堯之徳、文王因而贊之【大全】ニ云フ、此題要在大心法身法治法上見其大【開宗】ニ云フ、此言  
 氣化盈虛治亂、皆人事所致、師尙父開首、卽以帝堯初無爲之道、望其君可見兩聖人初無利天下之心、

●國務第三

コノ篇ハ、國ヲ治ムル要務ナリ、務ハマツリゴトノ義ナリ【全解】ニ云フ、國務者治國之要務也、治國之要務、  
 莫レ外ニ于愛民之六事、或以文王于太公諄諄言之●羅山ノ抄ニ、コレハ文王イマダ王トハナラズ、西伯ニテマ  
 シマス時ナリ、一國ノ政ヲ問フナリト云ヘリ●勝久考フルニ、コノ説、信ズベカラズ、國務ノ二字ニ泥ンデ、  
 文王ノ西伯タルニ合セテ、一國ノ政ヲ問フト云ヘリ、豈ニ聖徳ノ文王、偏ニ一國ノ政務ヲ問ハン、國務ノ二字  
 廣ク天下ニ通ジテ講ズベシ、

文王問太公曰願聞爲國之大務欲使主尊人安爲之奈何太公曰愛民而已。

文王、太公に問うて曰く、願はくは、國を治むるの大務を聞かむ、主をして尊く、人をして安からしめむと欲す、これを爲すこと奈何、太公曰く、民を愛するのみ、

大務トハ、國家ヲ治ムル政法ノ事ナリ、主尊トハ國王ナリ、國ノ主君ヲバ尊クシテアガメ、百姓ヲバ安穩ニシテタキタキモノナルガ、其ノ大務ヲ聞タキト問ヒ玉フナリ、太公對ヘテ云フ、愛レ民而已トハ、國ヲ治ムル大務ハ、民ヲ愛スルノミニテアルゾトナリ、天子王者トナツテ上ニアルハ、下ニ萬民アル故ナリ、コノ故ニ、主ヲ尊クシ、人ヲ安ンズルハ、民ヲ愛スルヲ本トスルナリ、民ハ國ノ本ナレバナリ【翼註】ニ云フ、大務指シテ愛レ民而言、然所ニ以愛レ民者、非ニ私息小惠之說也【指南】ニ云フ、主如何尊、惟人安而尊之也、使レ人不レ安、主即欲ニ自尊、無レ由而尊、故欲ニ主尊人安、必自愛レ民始【大全】ニ云フ、爲レ國大務、眞眞只是愛レ民、足ニ以盡レ之、主尊人安、亦當ニ側重人安、一字ニ爲レ是安人正所尊レ主也、

文王曰。愛レ民奈何。太公曰。利而勿害。成而勿敗。生而勿殺。予而勿奪。樂而勿苦。喜而勿怒。

文王曰く、民を愛すること奈何、太公曰く、利して害する勿れ、成つて敗る勿れ、生じて殺す勿れ、予へて奪ふ勿れ、樂んで苦む勿れ、喜んで怒る勿れ、

按ズルニ【講義】【彙解】ニ、予ノ字、與ニ作ル、義相同ジ【大全】ニ、予ヲ子ニ作ル、傳寫ノ誤、從フベカラズ●コレヨリ以下、民ヲ愛スルコトヲ六ヶ條アゲテ云フナリ、利而勿害トハ、民ノナストコロ、各ソレノ業ヲナサシメ、心ノ安泰ナルヤウニシテ、害ヲ以テスルコトナカレ、成而勿敗トハ、民ノ成就スルコトアラバ、妨ゲナク成就スルヤウニシテ、敗ルコトナカレ、生而勿殺トハ、生ハ生養ナリ、民ヲイカシテ養育スルコトハスベシ、殺スコトハナカレトナリ、予而勿奪トハ、民ニ一タビ恩賜ヲアタヘ、物ヲクレテ、再ビコレヲ奪ヒ取リカヘスコトナカレ、樂而勿苦トハ民ヲハナルホド、ソノ心體ノ安樂ナルヤウニシテ、苦ミ勞セヌヤウニスベシ、喜而勿怒トハ、民ノ憤念怒氣ヲ起サ

マヤウニシテ、喜悅スルヤウニスベシ、詳ニ下ノ文面ニ釋セリ【大全】ニ云フ、言愛レ民之道六事、皆有ニハ勿字、可レ謂切實了當、故太公不レ厭ニ反覆以人告

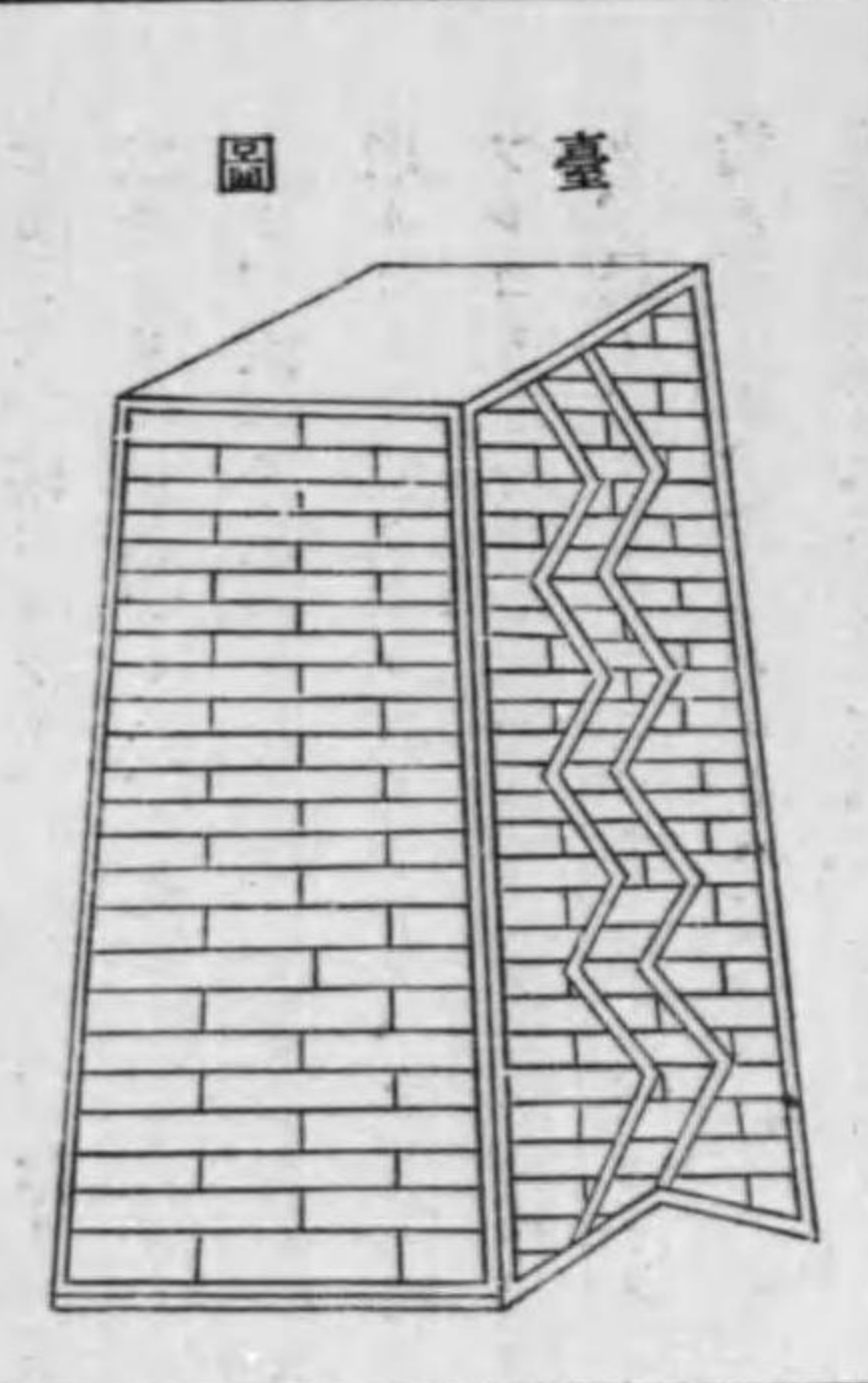
文王曰。敢請釋其故。

文王曰く、敢て請ふ其故を釋け、

文王、太公ガ對フル六ヶ條ノ民ヲ愛スル道ヲ聞イテ、再ビソノ子細ヲコトゴトク云ヒテ、解釋シテ聞カセヨトノ玉フナリ【直解】ニ云フ、故然已之迹也ト、

太公曰。民不レ失レ務則利之。農不レ失レ時則成之。省刑罰則生之。薄賦歛則予之。儉宮室臺榭則樂之。吏清不レ苛擾則喜之。

太公曰く、民務を失はざるは之を利するなり、農時を失はざるは之を成すなり、刑罰を省くは之を生するなり、賦歛を薄くするは之に予ふるなり、宮室臺榭を儉にするは之を樂ましむるなり、吏清くして苛擾ならざるは之を喜ばすなり、



按ズルニ、省刑罰則生之ノ六字、數本、皆、不レ罰レ無レ罪則生レ之ニ作ル●又【開宗】ニハ、罪疑而有則生之ノ七字ニ作ル、イヅレカ是非辨ジ難シ今暫ク【講義】ニ從フ、見ル者コレヲ訂セヨ●又按ズルニ【正義】ニ省刑罰則生之ノ句ヲ脱ス、傳寫ノ誤ト云ツベシ●コノ段ハ、上ニ云フトコロノ六ツヲ再ビ解釋スルナリ、釋スル文ニ表ト裏トアリ、コノ段ハ表ヲ云フ、コノ次ノ段ニ衷ヲ云ヘリ、民不レ失レ務トハ、蠶養ノコト、或ハ已レノガ勝手ニスル私ノツトメナリ、ヨクコノ務ヲナシテ失ハズ、業アレバ、コレヲ利スルナリ、農不レ失レ時トハ、農耕ノ時分ヲ

タガエズ、時ニテクレズ、田ヤ畠ヲ作り、生成シテ收ムルニモ、時アツテ收ム、コレ成レ之ナリ、成ハ成就ナリ、事ノ成ルナリ省ニ刑罰トハ、罪咎モナキ人ヲミダリニ罰セズ、罰アレドモ、刑法ヲ輕クシテ省クホトニ、死罪ヲバ罪ニナシ、流罪ヲ籠舎サセテ置クナリ、去ルニヨツテ、生カスノ義ナリ、民ヲ生養スルナリ、薄賦歛トハ、年貢ヲ上ヘ取ルコトヲ輕ク薄クスルホドニ、民ニ賜物ナトヲ與フルノ義ナリ、漢土ニハ、十一ノ法トテ、十分ガ一ヲ取ルナリ、ソレヨリ過分ニ取ルハ歛ヲ厚クスルナリ、儉宮室榭トハ、家居ナドヲ結構ニスルハ、ミナ民ノ勞苦ナリ、コトゴトク、民ノ力ヲ疲スニヨツテ、隨分儉約ニシテ居ルホドニ、民ヲ樂マシムルナリ、儉トハ、分ヨリモ謙下スルヲ云フ、儉約ノ義ナリ、宮室ノコトハ前ニ詳ナリ、臺榭ハウテナナリ●按ズルニ【爾雅】ニ云フ、觀四方高曰臺、有水曰榭【山海經】ニ云フ、沃民之國、有軒轅臺、黃帝內傳云、帝既斬蚩尤、因之立臺榭、此蓋其始也ト、吏清トハ、吏ハ吏官ナリ物ノ奉行タルモノ、スベテ清白ニシテ欲ニフケラズ、苛キ法ヲ行ハズ、擾害ナラズ、ユタカニシテ、濫リガハシカラネバ、民ガ喜悅スルナリ、苛ハ苛政ト云フテ、カラキ法セワシキコトナリ、擾ハ擾亂ナリ、コレマテハ、ミナ表ヲ解釋スルナリ、コレヨリ以下ハ、コノ裏ヲ云フナリ【全解】ニ云フ、國之所重在民、民之所重在務、民不失業、務之一語、太公可謂深見治本矣、

民失其務則害之。農失其時則敗之。無罪而罰則殺之。重賦歛則奪之。多營宮室臺榭以疲民力則苦之。吏濁苛擾則怒之。

民、その務を失へば之を害す、農、その時を失へば之を敗る、罪なくして罰すれば之を殺す、賦歛を重くすれば之を奪ふ、多く宮室臺榭を營み、以て民力を疲らせば之を苦しむ、吏濁つて苛擾なれば之を怒らす

按ズルニ【講義】ニ、罰ノ字、討ノ字ニ作ル、今、世本ニ從フ【正義】ニ民力則ノ三字ヲ脱ス、又吏濁ノ二字ノ上ニ廉潔之三字アリ、諸本考フルトコロナシ、今、世本ニ從フ●民失其務トハ、君タル人、民ヲ常任ニ責メ使フトキハ、民

己々ガ勝手ノ業ヲ失ツテ、困窮スルホドニ、コレ民ヲ害スルナリ、農ハ耕作ノ時ヲ奪ハレテ、軍役ナドトテ度々ツカハル、ホドニ、民ノ事成ルベキモ、敗ル、モソナリ、民ノ罪咎ニテナケレドモ、刑罰スルホドニ民ヲ殺スナリ【論語】ニ刑罰不中則民無所措手足ト云ヘルガ如キ、是レナリ、賦歛ヲ重クシテ、民ノ財ヲ盡クシテ、シボリ取ルホドニ、奪フナリ、宮室ヲサマノニタテナラベ、結構ニ工ヲツクシテ、侈ヲ極ムルホドニ、民力ヲ疲ラシテ、民ヲ苦ムルナリ、吏官ノ心ヲゴリテ、利欲ニテボレ、惡逆無道ナルホドニ、苛刻擾害シテ、民ノ心、喜ブコトナク、怒ヲ起シ、憤ヲナスコトノミナナリ【大全】ニ云フ、民不失業、這六事正是愛民之實政、惟行此愛民之六政、自然民得其安、民得其安、自然主成其尊、若民失其務、農失其時、无罪而罰、重賦歛、營臺榭、吏苛擾、民心不得其安了、民既不得其安、人主雖欲自專其尊、勢必不能、豈非不愛民之所致歟、

故善爲國者馭民如父母之愛子。如兄之愛弟。見其饑寒則爲之憂。見其勞苦則爲之悲。賞罰如加於身。賦歛如取於己。此愛民之道也。

故に善く國を爲むるものは、民を取ること、父母の子を愛するが如く、兄の弟を愛するが如し、その饑寒を見ては、之が爲に憂ひ、その勞苦を見ては、之が爲に悲み、賞罰身に加はるが如く、賦歛己に取るが如し、これ民を愛するの道なり、

按ズルニ【開宗】ニ、兄ノ字ノ上ノ如ノ字ヲ脱ス、傳寫ノ誤ナリ●如加於身ノ於字ヲ其ノ字ニ作ル、今、世本ニ從フ【覺解】【全解】ニ己ノ字ノ上ノ於ノ字ヲ、諸ノ字ニ作ル、今【直解】ニ從フ【大全】ニ、二ツノ於ノ字、皆、諸ノ字ニ作ル●又歛ノ字、飲ノ字ニ作ル、傳寫必然ノ誤ナリ【講義】ニ、己ノ字ノ下ニ物ノ字アリ、又上ノ於ノ字ヲ脱ス、今、世本ニ從フ【正義】ニ、饑ノ字ヲ機ニ作ル、コレ亦タ必然ノ誤ナリ●又賞罰ヲ刑罰ニ作ル、從フベカラズ●言フハ、善く國ヲ治ムルモノハ、民ヲ馭スルコト、御者ノ車ヲヤリタキ方ヘヤル如クニスルナリ、馭ト御ト、ソノ義同ジ、國中ノ民

人ヲイカヤウニモシタイマ、ニスルヲ云フナリ、タトヘバ、父母ガ我が子ヲ愛シ、兄ガ弟ヲ愛スルヤウニ親ミテ、愛撫スルホドニ、思フマ、ニナルマジキニアラズ、民ノ飢寒ノ體ヲ見テハ、我が身ノ飢ニノゾミ、寒ニ迫ルヤウニ憂ヒトスルナリ、民ガ辛勞スルヲ見テハ、我が勞苦スル如クニ悲ムナリ、コレ皆民ヲ愛スルノ至レルナリ、賞罰如レ加ニ於身トハ、賞スレバ我ニ賞祿アルヤウニ嬉シク、罰アレバ我が身ヲ罰セラル、ヤウニ悲シク思フナリ、賦歛ヲ取ルコトモ、自己ノ財物ヲ取ル如ク、イタハリテ取ルナリ、コレ民ヲ愛スルコトノ至レルナリ【全解】ニ云フ、君之愛レ民貴レ有レ其真心ニ而行レ其寔事、夫父母愛レ子、未レ有レ不レ驚寔ニ者也、君之愛レ民、亦如レ父母愛レ子一般則民有レ不レ受レ其恩惠ニ者鮮矣、如此馭レ民、可レ謂善爲レ國者、馭字即治レ民待レ民之意【開宗】ニ云フ、此言ニ爲レ國之大務、在レ愛レ民、六事皆愛レ民之務、

●大禮第四

コノ篇、専ラ君臣ノ禮ヲ云フ、大トハ小ニ對スルノ詞ナリ、大君大臣ノ禮ナルニヨツテ、大ト云フナリ【彙解】ニ云フ、大禮者、千古以來君臣之大禮也、君臣之禮、等ニ于天地、故謂之曰大禮ト、

文王問太公曰。君臣之禮如何。太公曰。爲上唯臨。爲下唯沈。臨而無遠。沈而無隱。爲上唯周。爲下唯定。周則天也。定則地也。或天或地。大禮乃成。

曰く、上としては唯だ臨み、下としては唯だ沈み、臨んで遠ざかるなく、沈んで隠すなし、上としては唯だ周、下としては唯だ定、周は天に則るなり、定は地に則るなり、或は天、或は地、大禮乃ち成る、按ズルニ【大全】ニ、爲下ノ字ヲ惟ノ字ニ作ル、蓋シ傳寫ノ誤ナリ●文王ノ君臣上下ノ禮ハ如何ト問ヒ玉フナリ

太公對ヘテ申サク、爲上唯臨ト、上、人ニ君トシテハ、唯ダ善事善行ヲ以テ、下タル萬民ヲ照臨スルナリ、臨ハ、上ヨリ下ニノゾムノ義ナリ、爲下唯沈トハ、下タル臣ハ、順ヲ以テ識分トスルユヘニ、上君タル人ヲウヤマヒテ沈伏スルナリ、臨而無遠トハ、人君ハ威勢ガ自然トオゴソカナルホドニ、下民ソノ威ニ恐レテ、隔心アルモノナリ、コノ故ニ、遠ザケズシテ、臣タルモノヲ親ミナツクベシ、沈而無隱トハ、沈伏シテ、インギンニ恐レ敬フバカリニテ、云フベキコトヲモイハズ、隱密スルバカリニテハ、臣ノ道ニアラズ、コノ故ニ、敬フベクシテ、又隱スコトナク、思フタケヲバ上ヘ申シ斷ハルベキナリ、諫言隱スコトナカレト云フモ此義ナリ、爲上唯周トハ、主君タル人ハ、善事善行ヲ以テ下民ニ施シ、恩惠アマネク至ラズト云フトコロモナキガ如クニスベシ、爲下唯定トハ、臣下トシテハ、ソノ分ヲ能ク守ツテ、我が職ヲ變ゼヌヤウニ、安定スルヲ云フ、周則天也トハ、天ノ周ク萬物ヲ生育シテ漏ラサルガ如ク君、善行恩澤ヲ以テ、下ヲ無育シテ、モラスベカラズ、コノ故ニ、周ハ天ニ則ルト云ヘリ、定則地也トハ、地ノ萬物ヲ載テ變動セザルガ如ク、臣タルモノハ、ヲノノノ職ヲ守リ、分ヲ正シウシテ、轉移セザルヲ云フナリ、或天或地トハ、天ハ尊クシテ君ノ位タリ、地ハ卑フシテ臣ノ位タリ、乾ト坤トノ位定マリ、君ト臣トノ職分アリ、君臣ノ大禮、コ、ニ乃シ成ルト云ヘリ、天ハ君ニタトヘ、地ハ臣ニ配シテ云ヘリ【大全】ニ云フ、則天則地、緊根ニ唯周唯定ト來、周如三天無レ不レ覆也、定如三地有レ常職也、故曰、則天則地、大禮乃成●臨レ民之禮、固在ニ周遍、事レ上之禮、固在ニ安定、然又須上下通情、地天交泰、乃可也●按ズルニ【易】ノ履卦ニ、上天下澤履、君子以辨上下、定民志、禮者人之所履、亦所以辨也、可見一天一地、高卑陳、貴賤位、君周則天、臣定則地、天無レ不レ覆、地無レ不レ載、大禮行ニ于其間矣【開宗】ニ云フ、此言君臣之禮、等ニ於天地ト、

文王曰。主位如何。太公曰。安徐而靜。柔節先定。善與而不爭。虛心平志。待物以正。

訓讀 文王曰く、主位如何、太公曰く、安徐にして靜に、柔節にして先づ定まり、善く與へて争はず、心を慮しうし、志を平にし物を待つに正を以てす。

文王、太公ニ問ヒ玉フハ、主君タルモノ、大禮ヲ行フ位ハ如何トナリ、太公對ヘテ申サク、安徐而靜トハ、ミダリニ物ニ動搖セズ、イカニモ心廣ク、體寛カニスベシ、靜トハ散亂ナルコトナキヲ云フナリ、柔節先定トハ、己テヘリ下リテ、イカニモ剛猛ナラズ、節義ヲ以テ治定スルナリ、靜ナルハ、ヨク柔節ナリ、己テ謙ニスルホドニ、物ニ勝タントスル心ナシ、故ニ與而不争ナリ【直解】ニハ、與フトハ、人ニ物ヲ施シ與ヘテ争ハザルナリト云ヘリ、虛心トハ我ハ才アリトモ、能アリトモ思ハザルヲ云フ、一義ニハ【論語】ノ虛己ト云フノ注ニ、虚謂清其心トモ云ヘリ、平志トハ、欺カザルヲ云フ、一義ニハ、私曲ナキヲ云フ、コレ皆、公ノ道ヲ以テ下ニ應ズルナリ、コノ故ニ待物以レ正トナリ、物ハ萬事萬物ナリ、正ハ偏黨ナラズ、物ヲマツスグニ正直ニスルヲ云フ、公ヲ以テ應ズルホドニ、正道ニスコシモソムカズ、物々ニ對シテ能ク行フ、コレヲ主ノ位トハ云フナリ【大全】ニ云フ、安徐而靜數語、眞是人君中和之德、主極ニ果能如是、何遜ニ唐虞規模、尙何有愧ニ于居尊位乎【彙解】ニ云フ、心虚而無滿假、則其德日進ニ于高明、志平而無偏曲、則其德日臻ニ于坦易、以此待物、自無偏黨之私【全解】ニ云フ、此言主位以三心德爲要之意也、心不虛則無以受益、志不平則無以去私、待物不以正、則無以杜邪曲、故人君之居尊位、不可不虛平而以正也【開宗】ニ云フ、言履君位之大禮、

文王曰、主聽如何。太公曰、勿妄而許。勿逆而拒。許之則失守。拒之則閉塞。高山仰止、不可極也。深淵度之、不可測也。神明之德、正靜其極。

訓讀 文王曰く、主聽如何、太公曰く、妄にして許す勿れ、逆にして拒く勿れ、これを許せば守を失ふ、これを拒げば閉塞す、高山は仰げども、止、極むべからざるなり、深淵これを度れども、測るべからざるなり

なり神明の德、正靜にして其れ極まれり、

按ズルニ【正義】ニ、主聽ノ二字ヲ守德ニ作ル、諸本、考フルトコロナシ、今、世本ニ從フ【講義】ニ、仰止ノ止ノ字ヲ之ノ字ニ作ル、コレ亦タ世本ニ從フ【彙解】ニ、正靜ノ二字ヲ靜正ニ作ル、コレ亦タ世本ニ從フ●コ、ニハ、人主ノ聽ヲ論ズルナリ、主タル人ノ物ヲ聽クハ如何ト太公ニ問ヒ玉フナリ、太公對ヘテ申スハ、凡ソ聽クト云フハ、スベテ耳ニ屬ス、ソノ心ヲ正シク、靜ニシテ、ヨク人ノ言フコトヲ聞キ入ル、トキハ、善惡邪正分明ニシテ、ソノ聽クトコロ、偏辟ノワヅラヒナシ、勿妄而許トハ、人ノ言ヲ聞イテ、ソノ邪正得失ヲヨク我が心ニ辨ヘザルニ、イカニモトテ、カルクシク、ソノ言ニ從フコトナカルベキナリ、勿逆而拒トハ、上ノ句ヲ反シテ云ヘリ、ミダリニ人ノ言ニ從エバ、必ず我が心ノ守リ、主ナルモノヲ失フ、然レトモ、亦タ人ノ言ヲ聞イテ、ソノ言ヲ逆ヒ拒イテ、マタマカラ、イヤノトカキ消スコトナカレトナリ、許之則失守トハ、ミタリニ人ノ言ニ從ヘバ、吾ガ心ノ守ヲ失フ、拒レトハ、又人ノ言ヲキイテ、ナニモカモ、用ヒザルヤウニシテ、我が一己ニテ埒ヲアクルヤウニスレバ、人々カサネテイカヤウノ善キコトアリテモ、コレヲ主君ニ申シ上クルコトナシ、コノユヘニ、我が耳ノ聰ヲ閉ヂ塞グナリ、高山仰止不可極トハ、人主ノ人ノ言ヲ聞イテ用フルカ用ヒザルカト云フコトヲ、人々極メ見ルコトノナラザルハ、タトヘバ、高山前ニアツテ、コレヲ仰ギ見ルニ、ソノホドヲ量リ知ルコトノナラザルヤウニスベシトナリ、仰止ノ止ハ語ノ助ナリ、別ニ意ナシ、深淵度之トハ、又深キ淵ノソノ底ヲ度ツテ、ハカリ知ラレザル如クニスベシ、コレ人主ノ聽ナリ、高山ハ、ソノ盡シ極ムベカラザルニタトヘ、深淵ハ、ソノ測リ知ルベカラザルニタトフ、二ツナガラ、人主ノ智慮ヲ外ヨリ人ノ極メ測ルコトノナラザルヲ云フナリ、神明之德トハ、心ハ人ノ神明ニシテ、五官ヲ司リ、六腑ヲツカサドル、耳ハキクコトヲ司リ、目ハミルコトヲ司ル、ソノ本ハ、皆心ニ從ツテ、視聽スルモノナリ、コノ故ニ、我カ心德神明ニシテ、正シク偏ナラズ、靜ニシテ、躁シカラザルハ、コレ其極ナリ、此ノ如クナレバ、耳目ノ視聽

ヲノヅカラ邪僻ノ侵スコトナシト云ヘリ【彙解】ニ云フ、止即ノ字、義也、言人主之主聽、當ニ靜心以聽、蓋以天下之言、其事變最無窮盡、如高山在前仰之、而無窮極也。●王漢若曰、神明心也、德心之德也、心本神明之物、而所以見其神明之德者、亦惟是不偏不倚、無思慮、無能靜能正、即神明之德之極至處也、正靜則天下之邪說謬行、不得以惑我、不得以亂我、何不能聽之有哉。●藏雲卿云、應酬萬變者神也、辨別衆理者明也、鎮定不搖者靜也、蕩乎無黨者正也【全解】【大全】【直解】【講義】ニ皆云フ、天下之言、無窮極、如高山在前仰之、而不可盡、愚按文王所問主聽、太公對以勿許勿拒、是蓋人君聽言之量、使人不可窺測、如仰高山云爾、所重在聽也、作者往往就言上講、誠思言即無窮、如何便如高山、且君可反仰天下之言乎、再玩下文正靜其極、正言君心之明有如如此、乃無邪僻之于其義自了然也【開宗】ニ云フ、此言人主聰聽之禮、

文王曰。主明如何。太公曰。目貴明。耳貴聰。心貴智。以天下之目視則無不見也。以天下之耳聽則無不聞也。以天下之心慮則無不知也。輻輳並進則明不蔽矣。

【訓】文王曰く、主明如何、太公曰く、目は明を貴び、耳は聰を貴び、心は智を貴ぶ、天下の目を以て視れば、見ざるなきなり、天下の耳を以て聽けば、聞かざるなきなり、天下の心を以て慮れば、知らざるなきなり、輻輳並び進めば、明蔽はれず、按ズルニ【講義】ニ、輻輳ノ輳ヲ湊ニ作ル、從フベカラズ、今、世本ニ從フ●又並ノ字ヲ竝ノ字ニ作ル、コレ亦々傳寫ノ誤ナリ、從フベカラズ【開宗】ニ、並ノ字ヲ竝ニ作ル、義ニ於テ相通ズ●又無レ不知ノ字、智ノ字ニ作ル、今、世本ニ從フ●人主ノ明トハ、如何ナルコトヲ云フゾト問ヒ玉フナリ、太公ノ云ク、人主ハ目ヲ以テハ、明カニ見ルコトヲ貴ビ、耳ヲ以テハ何モカモ殘サズ、ヨク聞クコトヲ貴ビ、心ニハ萬事萬緒ヲ能ク知ルコトヲ貴フナリ、ソノ耳目心ノツカヒ用ヒヤウハ如何ト云フニ、人主我が一分ノ耳目心ヲ以テスルニアラズ、天下ノ耳目心ヲ以テ我が物トシテ、

用ユルナリ、コノ故ニ、天下ノ目ヲ以テ見レバ萬事ノ善惡邪正、明カニ見ズト云フコトナク、萬象ノ明鏡ニ浮ブカ如クコトク見ユルナリ、天下ノ人ノ耳ヲ以テ、我が耳ニシテ聞クトキハ、コトクク、殘サズ聞カズト云フコトナシ、天下ノ人ノ心ヲ以テ、我が心トシテ知ルトキハ、萬事ヲ知ラズト云フコトナシ、已レ一人ノ見聞心バカリニテハ殘スコトアリ、天下ノ人ノ見聞心ニテハ殘スコトナシ、廣ク知ルノ理ヲ云フ、一人ノ智ヲ以テスレバ、イカナル智慮アル人ニテモ殘ルコトアリ、天下ノ心ヲ以テ知ラバシラズト云フコトナシ、此ノ如クスレバ、善ハ善、惡ハ惡、邪ハ邪、正ハ正ト、ハツキリト殘ルコトナク、コトクク知ル、ナリ、天下ノ人ノ耳目心ヲ以テ知ルホドニ、天下ノ人ミナ樂ンデ來ツテ告グルナリ、輻輳トハ【字彙】ニ、方六切、音福、輪【考工記】ニ、輻者以爲直指也●輳千候切、音湊、輻輳也、輻聚共轂【老子經】ニ云フ、三十輻共一轂、注ニ、古者三十輻法、月數也、共一轂者、轂中有孔、故衆輻湊之、コレ一般ニ衆輻ノアツマル如クニ、人君ノ所ヘコトゴトクアツマリテ、並ビ進ンデ、天下ノ人、天下ノ萬事ヲ告グルナリ、コレ故ニ、人主ノ明、善惡邪正ニ迷ヒ、或ハ事ニ不足ナシ、コレヲ人主ノ明蔽ハレザルモノト云フナリ【大全】ニ云フ、以文王爲君、尙且問主明于太公、況其下焉者乎、所以諺云、愆地聰明如孔子、不遇明師也茫然、誠哉、是言也【開宗】ニ云フ、此言人主視遠之禮、

●明傳第五

明トハ、明白ノ義ナリ、傳ハ傳ヘ及ボスノ義ナリ、言フハ、至道ヲ以テ明カニ、之ヲ子孫ニ傳エ及ボスコトヲ述ブ、コノ故ニ、コノ篇明傳ト名ヅク【全解】ニ云フ、明傳者文王欲以至道之言、指其利害、而明傳之于子孫也、

文王寢疾。召太公望。太子發在側。曰。嗚呼。天將棄予。周之社稷。將以屬汝。今予欲師至道之言。以明傳之子孫。

て、以て明かに子孫に傳へむと欲す。

訓文王、疾に寢ぬ、太公望を召す、太子發、側に在り、曰く、嗚呼、天、將に予を棄てむとす、周の社稷、將に以て汝に屬せむとす、今、予、至道の言を師とし

文王ノ疾ニ寢テ、太公望ヲ召スナリ、太子發トハ、武王ノ名ナリ、側ニ武王モ在シタルナリ、武王ノ傳ハ、詳ニ【史記】周ノ本紀ニ見エタリ、今コ、ニ略ス、嗚呼ハ、嗟嘆スルノ辭ナリ、今天ヨリ文王ヲ棄テントシテ、カヤウニ疾メルホドニ、周ノ社稷ヲコトゴトク太公望ニ屬シテ、預ケ置クベシトナリ、サルホドニ、道ノ至極スルトコロヲ師トシテ、明カニ子孫ニ傳ヘント思フガイカント、太公ヲ召シテノ玉フトナリ【指南】ニ云フ、至道以執中爲主、又曰、道之所、在中而已矣、

太公曰。王何所問。文王曰。先聖之道。其所止其所起。可得聞乎。

太公曰く、王、何の問ふところぞ、文王曰く、

先聖の道、その止まるところ、その起つところ、得て聞くべきか、

按ズルニ【大全】【黨解】【全解】等ニ道ノ字ヲ言ノ字ニ作ル、今、按ズルニ、道ノ字ノ義、親切ナリ、故ニ【講義】【直解】【開宗】【正義】等ニ從フ●按ズルニ【正義】ニソノ所起其所止トス、事ノ順ヲ以テセバ、コノ説、是ナリ、考フベシ、今暫ク世本ニ從フ●太公ノ曰ク、文王ノ問ヒ玉フトハ、何ノ事ゾト云フナリ、文王ノ曰ク、先代聖人ノ道ノ起ルト廢ルトノ二ツヲ聞クベシトナリ、止ムハ、スタルノ義ナリ、

太公曰。見善而怠。時至而疑。知非而處。此三者道之所止也。柔而靜。恭而敬。強而弱。忍而剛。此四者道之所起也。

太公曰く、善を見て怠り、時至つて疑ひ、非を知つて處る、この三者は道の止まる所なり、柔にして靜、恭にして敬、強にして弱、忍にして剛、この四者は、

道の起るところなり、

言フハ、善ヲ見テモ善ヲ行ハズシテ怠リ懈ルナリ、時節イタルト云ヘドモ、疑ヒテ、爲スベキコトヲ爲サズ、非ヲ知ツテ惡シキトハ心ニ知レドモ、マ、其處ヲ去ラズ、非ノ上ニ處ルナリ、コノ三ツノ者ハ、道ノ止ム根元ナリ、柔而靜トハ、和柔順ニシテ、沈靜ナルヲ云フ、事ニ遇ウテ、轉動セザルヲ沈靜ト云フ、恭而敬トハ、容貌ヲウヤウヤシクシテ、事ヲ敬ムヲ云フナリ、コレ禮ヲ以テ、身ヲ修ムルナリ、強而弱トハ、強キバカリニテハ、オレクジタルコトアリコノ故ニ、強ナルベキニハ強ニ、弱ナルベキニハ弱ニスベシ、強弱兼用フルノ義ナリ、忍而剛トハ、忍トハ、ヨク事々ニ堪忍スルヲ云フ、然レドモ、物事ニコラヘタルバカリニテハ失アリ、底ノ心ニ剛勇ナルモノアツテ、忍ブベキニハ忍ビ、忍ブマジキニハ忍ビザルヲ云フナリ、コノ四ツノモノ道ノ起リ行ハルルトコロナリ【全解】ニ云フ、見善而怠、時至而疑、知非而處、全是一片私欲之心、怠惰之志、自然把先王治國安民之道、蔽却之而無存矣、故曰道之所止●有、此三者之弊、則于先聖之治道、自止而不進、故太公急直指之【大全】ニ云フ、四者道之所起、道便是治國安民之道、起即所謂開手入門處也、人君皆知治國安民有、個道、只因起手處失、其中和之德、故於道有所難起、今柔而靜則無委靡之失、恭而敬、則無不足恭之病、強而弱、則強不失去於暴戾、忍而剛、則不失去於畏懼、則於起、道何難、柔而靜、雖未足盡道、乃道之所起也、起即行之意、言有此四德、而后道可因之、行矣、有、此四德、從、此義勝敬勝、則是至道以執中二字作主、

故義勝欲則昌。欲勝義則亡。敬勝怠則吉。怠勝敬則滅。

故に、義、欲に勝てば昌へ、欲、義に勝てば亡び、敬、怠に勝てば吉、怠、敬に

義ガ利欲ノ心ニ勝ツトキハ、國家ノ繁昌スル本ナリ、人欲ノ心、義ニ勝ツテ、義ヲ欲ニテ蔽ヒクラマストキハ、國



家敗亡スルノ本ナリ、義トハ、心ノ制、事ノ宜ナリ、欲ハ、我が心ノ利欲ナリ、見聞覺知ヲナシテ、事々ニ於テ欲ヲ起スヲ云フ、コレ私ナリ、義ハ公ナリ、敬勝ノ意トハ、事々物々ヲ謹ムノ心ガ怠リタワムノ心ニ勝ツトキハ、國家ノ吉兆ナリ、怠慢ノ心ガ、敬意ニ勝ツトキハ、天下國家滅亡スルノ本ナリ、マコトニ、人君ノツ、シミ守ルベキノ一言ナリ【大全】ニ云フ、義者天理之公、欲者人欲之私、人君克去私欲、而以天道爲主、則國家日至昌盛矣●聖聖相傳道脈不外、人心惟危、道心惟行、義即道心、欲即人心、此是太公以天道傳君道也●敬勝ノ意則吉、敬者整齊嚴肅、怠者行惰、苟且能敬、自然勝ノ意、勝ノ意自然獲吉、此帝王主敬之旨●敬與ノ意、原自兩判、摠重ニ一勝字、敬者千古心法之宗、世人誰不知敬、惟怠能敗之、所以去怠、不怠則不去、所以用一勝字、敬勝則意敗矣、故云、吉敬勝ノ意、一語、乃太公一部丹書之要、讀丹書者、不可不略讀過【佐議】ニ云フ、苟百事之義、而有二事之偏、即謂之欲、必純乎義、方可言勝●敬是兢業恐懼、怠是意緩自安、凡事勤于政治、而不三敢怠安、則國有不吉者乎【直解】ニ云フ、義勝二句、以三行事言、敬勝二句、以三存心言【開宗】ニ云フ、此告文王先聖至道之言、以明傳子孫之旨

●六守第六

六トハ、仁義忠信勇謀ノ六ツナリ、コノ六ツヲ守ツテ、失セザルコトヲ、コノ富ニ東ラ云ヘリ、コノ故ニ、六守ト云フ【彙解】ニ云フ、守者抱持之、而弗失也、用賢以守國、使農工商各安其業、則國富強而坐致昌盛矣【大全】ニ云フ、守孰爲要、守心爲要、故言六守、

文王問太公曰、君國主民者、其所以失之者何也、太公曰、不謹所與也、人君有六守三寶、  
文王、太公に問うて曰く、國に君とし民に主たるもの、その之を失ふ所以の者は何ぞや、太公曰く、與ふるところを謹まざればなり、人君に六守三寶あり、

按ズルニ【正義】ニ、君國主民ノ四字ヲ以テ、君主國民ニ作ル、今、世本ニ從フ【講義】ニ、謹ノ字、慎ニ作ル、義相同ジ、今、世本ニ從フ●文王太公ニ問ヒ玉フハ、國家ノ君トナリ、萬民ノ主トナルモノ、或ハ其國ヲ失ヒ、或ハ其民ヲ失フコト、何ノ故ニテアルゾトナリ、之ノ字ハ、上ノ國民ノ二ツヲ指シテ云フ、太公對ヘテ申ス、ソノ國民ヲ失フコトハ、與フルコトヲ謹マヌ故ナリ、與フルトハ、人ヲ舉用シテ高位ニ任ジ、國郡ヲ守護スルコトヲ云フ、コノ與フルコトヲ謹シマヌニヨツテ、人君トシテ、國ヲモ失ヒ、民ヲモ失フコトアリ、コノ故ニ、人ニ君タルモノニハ、六ツノ守、三ツノ寶アリトナリ、六守ハ臣タルモノ、徳ヲ云フ、三寶ハ民タルモノ、業ヲ云フナリ●勝久按ズルニ、與ノ字ハ、附與ノ與ニアラズ、共ニ與ニスルノ謂ナリ、言フハ、人君ト共ニ與ニ國ヲ守ルノ人ヲ謹ンデ擇ビ用ヒズ、人君ノ一己ヲ以テセントスレバ、必ズ國ト民トヲ失フ、コノ故ニ六守アリ、三寶アツテ、ソノ國始メテ盛大ナリ、謹マザルベケンヤ【全解】ニ云フ、六守三寶、原是人君自有的、故說ニ一有字、見得人君不可不知、知所<sub>レ</sub>有也、若不知<sub>レ</sub>是<sub>レ</sub>我所<sub>レ</sub>有、則必爲<sub>レ</sub>人有<sub>レ</sub>了、人有而我窮矣、這有字、是六守三寶の總繫守者、言仁義忠信勇謀、這一等人、乃與<sub>レ</sub>我共守<sub>レ</sub>天下國家之人、故云六守三寶者言大農大工大商、這三等事、乃是我天下國家之寶、故曰三寶、或謂守與寶、兩者要兼全、亦可<sub>レ</sub>偏廢<sub>レ</sub>乎、

文王曰、六守者何也、太公曰、一曰仁、二曰義、三曰忠、四曰信、五曰勇、六曰謀、是謂六守。  
文王曰く、六守とは何ぞや、太公曰く、一に曰く仁、二に曰く義、三に曰く忠、四に曰く信、五に曰く勇、六に曰く謀、これを六守といふ、

按ズルニ【開宗】【正義】【講義】ニ者ノ字ヲ脱ス、今、世本ニ從フ【大全】ニ、謂ノ字ヲ爲ニ作ル、今、世本ニ從フ●文王六守トハ何ゾト問ヒ玉フナリ、太公、六守ヲ一一舉ゲテ云ヘリ、守トハ、人君ノヨク守ツテ國ヲ治メテ失セザル故ニ守ト云ヘリ、仁トハ、本心ノ全徳ヲ云フ、富ンデ犯サザル、コレ仁トスト云ヘリ、富メルモノハ、富ハ侈ツテ、禮

ヲ失フモノナリ、然ルテ、富ンデ其富ヲムサボラズ、禮ヲ犯サバハ仁心アレバナリ、二曰義トハ、貴クシテ驕ラザルヲ云フ、貴キモノハ、人ニホゴリテ驕ルモノナリ、ソノ責ヲタノマズ、大膽ノ心ナキハ、コレ義ニ合フナリ、三曰忠トハ、己ガ誠ノ心ヲ盡スヲ忠ト云フ、カタク守ツテ誠アル、コレ忠ナリ、四曰信トハ、事々ヨクツトメ偽ナク眞實ナルヲ云フ、五曰勇トハ、勇ハ用ナリ、危ニ臨ンデモ恐レズ、死ヲ先ニシテ忠功ヲ致スヲ云フ、六曰謀トハ、センカタナキ所ニテモ、智慮ヲメグラシ、勝ガタキ所ヲモ、ヨク謀ツテ勝ツ、コレヲ謀ト云フ、コノ六ツヲ六守ト云フナリ

●按ズルニ、人臣、コノ六ツノモノ全ク兼テ備フル、マコトニ國家ノ守ナリ、

文王曰。謹擇六守者何。太公曰。富之而觀其無犯。貴之而觀其無驕。付之觀其無轉。使之而觀其無隱。危之而觀其無恐。事之而觀其無窮。

これを富まして、その犯すなきを觀、これを貴くして、その驕るなきを觀、これを付して、その轉するなきを觀、これを使うて、その隱すなきを觀、これを危うして、その恐るなきを觀、これを事にして、その窮するなきを觀る。

文王ノ曰ク、臣トシテ、コノ六守アルカナキカヲ撰ンデ知ルコトハ、何トシタル術アルベキゾト問ヒ玉フナリ、太公ノ云ク、マゾ仁アルカナキカヲ見ントナラバ、彼ニ富ヲ與ヘ、事々不足ノナキヤウニシテ、ソノ富ニ驕ルカ驕ラザルカヲ見ルベシ、義アラシカ、又ナキカヲ見ントナラバ、貴レ之ト云ウテ、ソノ人ヲ高位高官ニ任ジテ、ソノ位ニ居テ、驕ルカ驕ラザルカヲ見ルベシ、忠アリヤナキヤヲ見ントナラバ、付レ之ト云ウテ、宰相執權ノタグヒノ重職ニ任ジ彼レガ心ニ任スルヤウニシテ、彼ノ心ヲ展轉セズシテ、守ルコトヲ堅クスルカ、セザルカヲ見ルベシ、轉ズルトハ逆心ナドノコトナリ、國ノシテキヲ彼ガ心十分ニサセテ、ソノ眞ノ忠アリヤナキヤヲ見ルナリ、信アルカナキヤカヲ見ントナラバ、事レ之ト云ウテ、何事ニテモ、事ヲナサシメテ、スコシモ隱スコトナク、眞ヲナスカサバハルカヲ見ル

ベシ、主君ヘ萬事ヲ少シモ隱サズ、事ヲ作スヲ云フ、勇アリヤ臆病ナリヤト云フヲ見ントナラバ、危レ之ト云フテ、險難ナル危急ノトコロニ到ツテ、勇ナルカ勇ナラザルカヲ見ルナリ、或ハコレニ危キコトヲアテガヒ、爲サシメテ試ムルナリ、智謀ノアルカナキカヲ知ントナラバ、事レ之ト云ウテ、色々ノ事ヲサセ、或ハ事ノ變ヲ問フトキニ、少シモ滯リナク事ニ應ジテ、窮セザルカト、コトリアルカヲ見ルベシ、窮ハ困窮ナリ、迷惑シテトバコホルナリ、猶ホ下ニ詳ナリ、

富之而不犯者仁也。貴之而不驕者義也。付之而不轉者忠也。使之而不隱者信也。危之而不恐者勇也。事之而不窮者謀也。

これを富まして犯さざるは仁なり、これを貴くして驕らざるは義なり、これに付して轉せざるは忠なり、これを使うて隱さざるは信なり、これを危うして恐れざるは勇なり、これを事にして窮せざるは謀なり、

コレ上ノ六守ヲ再釋スルナリ、仁者ハ富ムト云ヘドモ、禮アルモノナリ、コノ故ニ、イカホド禮アリト云ヘドモ、犯スコトナシ、コレ富ヲ與ヘテ見テ犯サヌハ、仁アルモノト知ルベシ、貴キ位ヲ授クルト云ヘドモ、驕ラヌハ義アル人ナリ、之ヲ付シテモ、スコシモ轉逆スルコトナキハ忠心アルノ人ナリ、事ヲ行ヒ、事ヲナスト雖モ、スコシモ主君ニ隱スコトナク、前モ後モ同ジヤウナルハ信アルナリ、危急ノ處ニテモ、恐ル、コトナキハ勇ナリ、奇正ヲ自由ニツカヒナシ、事ニ遇ウテ少シモ滯ラズ、臨機應變シテ、ヨク勝ヲ制シテ、キワマリナキモノハ、コレ智謀アルノ人ナリ、コレミナ人ヲ試ミテ用ウルノ術ナリ、人君タルモノ、ヨク其術ヲ知ラズンバアルベカラズ、

人君無以三寶借人。借人則君失其威。文王曰。敢問三寶。太公曰。大農大工大商。謂之三寶。

人君、三寶を以て人に借すなかれ、人に借せば、君、その威を失ふ、文王曰く、敢、三寶を問ふ、太公曰く、大農、大工、大商、これを三寶といふ、

人君、國主タル人ハ、三ツノ寶ヲ以テ、人ニ借スベカラズ、人ニ借ストキハ、ソノ君ノ威勢ヲ失フナリ、文王ノ曰クソノ三寶トハ、何チカ云ウヅトナリ、太公ノ曰ク、大農、大工、大商、コレヲ三ツノ寶ト云フナリ、農ハ耕作ノ農人ナリ、工ハヨロヅノ細工人ナリ、商ハアキビト、ヨロヅノ物ヲ賣買シテ、天下ノ用ヲ通ズルモノナリ、コレヲ三寶ト云フゾトナリ●按ズルニ、羅山ノ抄ニ云フ、大農トハ大ニ田畠ヲ耕スホドニ、大農ト云フ、大工ハ大工ノ棟梁ナリ、大商トハ大アキナイヲスル人ナリト云ヘリ●勝久考フルニ、コノ說、大ノ字ニ泥ンテ誤リ注スルカ、三ツノ大ノ字ハ、天下ノ三寶ト云フニヨツテ、其用ヲ達スルノ功甚シ、人君ノ寶トスルモノナリ、コノ故ニ、大ノ字ヲ以テス、寶ノ字ニ對シテ見ルベシ、豈ニ大工ノ棟梁ノミヲ大工ト云ハシヤ、又何ゾ大ニ耕スモノノミヲ大農ト云ヒ、大ニアキナヒスル人ノミヲ云フテ、コレヲ大商ト云ハシヤ、下ノ文、農一其郷、工一其郷、商一其郷ト云フ句ニ應ゼズ、蓋シ太公ノ云ヘル三寶ハ、天下ノ農工商ヲスベテ云フ、大ノ字ハ、ソノ功用ヲホメテ云フノ義ナリ、誤リ見ルコトナカレ●勝久謂ヘラク、三寶ノ說、諸家同ジカラズ、六韜ステニ大農大工大商ヲ三寶ト云フ、孟子ニ土地人民政事ノ三ツヲ以テ、諸侯ノ三寶トス、我が本邦ノ神道ニ、禱福智ノ三ツヲ以テ三寶トス、釋氏亦タ佛法僧ノ三ツヲ以テ三寶トス、各ツノ立ルトコロノ理アリ、廣ナルガ故ニ、コレヲ略ス、今暫ク童蒙ノ爲ニ、ソノ名目ヲ記ス、

農一其郷則穀足。工一其郷則器足。商一其郷則貨足。三寶各安其處。民乃不慮。無亂其郷。無亂其族。

農、その郷に一なれば穀足り、工、その郷に一なれば器足り、商、その郷に一なれば貨足る、三寶各その處に安んじて、民、乃ち慮らず、その郷を亂るなく、その族を亂るなけれ、農人が其郷ニ心ヲトメテ、他處ヘ往カンコトヲ思ハズ、一向ニアリツキテ居ルナレバ、五穀ガ滿チテ多キナリ、工匠ガ郷里ニアリツキテ居レバ、器物ノタグヒニコトヲカ、ズ、何事ニテモ其用足ルナリ、商人ガ郷里ニ多クアツマリ居ルトキハ、貨財ガ多クアツマリテ、ソノ國ニ不足ノ物ナシ、コノ三寶、ソノ所ニ安堵シテアルホドニ、民モ他處

ヘ行カント思フコトナク、常ノ業ヲ專ニスルナリ、ソノ三寶ノ居ルトコロヲ亂サズ、ソノ族類ヲ亂サヌヤウニシテイヨノ其處ヲ安ンジテ、安堵スルヤウニシテ置クベキナリ、一トハ專一ニシテ、外ヘ心ノ移ラザルヲ云フナリ●按ズルニ、羅山ノ抄ニ、ソノ居處ヲ別ニシテ置クベシト云ヘルモノハ、附會ノ解ナリ、從フベカラズ、無亂其郷ト云フ句ニ依ツテ云フカ、コレハ、不正不法ヲ以テ、ソノ郷里ヲ亂スノコトナリ、農工商ヲ亂雜シテ置クノ謂ニアラズ猶ヲ識者ヲ俟ツノミ【全解】ニ云フ、各安其處、即各一其郷也、農一其郷、則穀足、工一其郷、則器足、商一其郷、則貨足、是故曰三寶各安其處、觀下文民乃不慮句、可見善治國者、必使吾國之民分治其業、而使有各得之情、又使吾國之民皆樂其土、而不有重遷之意、力能人心暢適、不至借人三寶也、此說正格言也、

臣無富於君。都無大於國。六守長則君昌。三寶全則國安。

三寶全ければ國安し。

臣は君より富むなく、都は國より大なるなく、六守長すれば、君昌へ

按ズルニ【講義】ニ、全ノ字、完ニ作ル、義相同ジ、今、世本ニ從フ●邑ニ先君ノ廟アルヲ都ト云フ、人君ノ居スルトコロヲ國ト云フ、臣下ハ富ンデ君ヨリモ威勢ツヨキヤウニスベカラズ、臣下ノ邑村ヲ國君ノ大廟ヨリモ大ナラシムベカラズ、コレハ、上ヲ以テ下ヲ制シ、大ヲ以テ小ヲ制スルノ義ナリ、分ニ越ユルコトヲ制スルナリ、コノユヘニ、六守長スレバ、人君モ繁昌シ、三寶全ク備ハルトキハ、國土安靜ナリ、賢士ヲ得テ、國法ヲヨクスルホドニ、君昌フルナリ【大全】ニ云フ、全有缺レ一不可之意、農一其郷、則穀食足、而天下無飢民、工一其郷、則器用足、而天下無缺器、商一其郷、則貨財足、而天下無乏財、故曰國安●一說、全即三寶相安之意、一說、全字、當重在三人君愛養上、農工商、既云國寶使、我不愛養之、勢必投奔他邦、則實爲三人有矣、實爲三人有、則國不安也、可知而已●無名氏曰、人君所守必本之以心、所寶必先之以財、然後賢始可爲我守、民可以爲我寶也【彙解】ニ云フ、此章不謹所

與、一句最重。又云フ、通篇只以親賢愛民爲主。【開宗】ニ云フ、此言君國主民者、當謹所與而後君隆國定而無失。

●守土第七

守ハ保守ノ義ナリ、土ハ國ノ土疆ナリ、吾ガ國ノ封疆ヲカタク守ルヲ云フ【彙解】ニ云フ、保守守疆土ニ貴ニ于親賢敷衆、因レ時圖レ事、而得仁義之大綱。

文王問太公曰。守土奈何。太公曰。無疏其親。無怠其衆。撫其左右。御其四旁。無借人國柄。借人國柄則失其權。

借すなかれ、人に國柄を借せば、その權を失ふ。

【訓】文王、太公に問うて曰く、土を守る奈何、太公曰く、その親を疏んずるなかれ、その衆を怠るなかれ、その左右を撫し、その四旁を御し、人に國柄を

按ズルニ【開宗】ニ、旁ノ字、方ニ作ル、今、世本ニ從フ。文王、土ヲ守ルコトヲ問ヒ玉フナリ、太公ノ云ク、九族ノ親戚ヲ疎遠ニスベカラズ、天下國家ノ衆人ヲ怠慢シテ、非禮ヲナスベカラズ、怠トハ、人ニ無禮ヲスルヲ云フ、我が左右ニ近侍スルモノヲ心ヲツケテ、念比ニシテ、ヨク思ヒツクヤウニシテ、我が守リトナシ、常ニ撫育スベシ、撫トハ、慈惠ヲ施シテ、我が子ノ如クスルヲ云フ、コレハ近キヲ能クスルノ義ナリ、御三四旁トハ、遠キヲナヅクルノ義ナリ、四方ノ隣國ヲ常ニ親ミナツケテ、我が心ノマ、ニナルヤウニシテ、事アルトキハ、我が助援トナスナリ、國柄トハ、政柄ナリ、借人トハ、國ノシヲキテ人ニマカセテ、我ハ一向ニ知ラヌ體ニテ居ルヲ云フ、我ト生殺與奪ヲ行ハザレバ、人君ノ威勢ガ失スルモノナリ、コノ故ニ失其權ト云ヘリ、ヨロヅラ臣下ニマカセ置イテ、君ハ知ラネバ、臣下ノ威勢バカリ重クテ、人君ノ威ハナキモノナリ、古人ノ語ニ云フ、國主之柄其淵山耶ト云ヘリ、龍ハ淵ヲ柄ニシ

テ引キコミ居テ、時ニアタツテ威ヲフルヒ、虎ハ山ヲ柄ニシテ引キコミテ、人ヲオドスナリ、ソノ如ク、人君モ政柄ヲ以テ、人ヲオドサザレバ、國家ハ治ラザルモノナリ、コレマデハ、人ヲ統御スルニ就イテ云フナリ、

無掘壑而附丘。

【訓】壑を掘つて丘に附くなかれ。

按ズルニ、コノ一句、古來諸說多シ、今コレヲ舉ゲテ參考ニ備フ【講義】ノ意ニ云フ、壑トハ卑下ノ者ニタトヘテ云ヘリ、下民ヲ指シテ云フ、丘トハ、高官ノ者ヲタトヘテ云フ、卑シキ者ヲバアナドルモノナリ、高位高官ノ人ヲバ崇教スルモノナルホドニ、卑下ノ者ヲアナドリテ、高貴ノ人ノミヲ崇ムベカラズト云ヘリ、壑ハ深谷ナリ、丘ハ大阜ナリ【直解】ノ意ニ云フ、壑、スデニ深クシテ、又コレヲ掘リ、丘、スデニ高シ、又コレニ附ク、主人ノ權寵アル者ニ又權寵ヲ以テ、コレニ與フルガゴトシ、ソノ人、權威アルノ上ニ、又權威ヲ加ヘバ、チコツテ、主人ノ勢ヨリ強ク、其ノ災、制シガタカルベシト云ヘリ【開宗】ニ云フ、如下爲下必因川澤意、喻創制于難也、非謂人有勢、益以國柄、是壑已深而又掘之、丘已高而又附之之說【大全】ニ云フ、此題有二兩解、一解謂人已有利勢、而又借國以益之、是壑已深而又掘之、丘已高而又附之、其勢有不可者、此說亦暢、余以爲不如照下註解、壑深谿也、丘高山也、言掘壑切不可附、丘若附壑、則易足止、人向往之功、必爲下而因之、始成之功不難也、即孟子爲下必因川澤之意、觀本文無掘壑而附丘、一而字可見【全解】ニ云フ、壑極卑而丘則高、掘壑而附丘、其勢甚難、而用力不易、故下ニ無字、前言欲成功者、必先審勢、次言不先審勢、則不能成功、即如掘壑而附丘之類、是也。勝久按ズルニ、コノ段、既ニ【開宗】ノ說ヲ以テ是トス、宜シク【大全】【全解】ノ論ニ從フベシ、後學又コレヲ訂セヨ、

無舍本而治末。

【訓】本を捨て末を治むるなかれ。